

令和5年度  
市民意識調査報告書



船橋市



## はじめに



昭和12年に人口4万3千人ほどで歩み始めた船橋市は、現在では約65万人を擁し、市民の皆様が文化、スポーツ、福祉、環境、教育など、さまざまな分野で輝きを放つ活力あふれる大都市へと発展しました。

また、船橋市は、東京湾に面して恵み豊かな干潟である三番瀬、内陸部には工業地、商業地、住宅地、農地が広がり、バランスのとれた産業と、発達した交通網により、全国有数の都市としてのポテンシャルを持っています。

この全国に誇れるすばらしい市民力と都市力を活かし、住み慣れた地域で健康で安心して暮らせるまち、快適で豊かに暮らせる人と環境にやさしいまちを目指して、さまざまな施策に全力で取り組んでいるところです。

船橋市市民意識調査は、皆様の意見を市政運営に役立てるため、昭和47年度から毎年実施しております。

令和2年1月に国内で初めて感染者が確認された新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月8日をもって5類感染症の区分へ移行されたことに伴い、各地域での様々な行事が再開され、多くの市民の皆様が笑顔で参加する姿が見られました。こうした中、令和5年度は「健康診査および健康意識」や「ボランティア・市民活動」等をテーマとして調査を行いました。

調査結果につきましては、今後の市政運営における貴重な基礎資料として活用してまいります。結びに、調査にご協力いただいた多くの市民の皆様にご心より御礼申し上げます。

船橋市長 松戸 徹

### 市章・市の花・市の木



**市章** (昭和12年制定)  
「舟」の文字を図案化したもので、船橋発展のシンボルです。



#### 市の木 サザンカ

若潮国体(昭和48年に千葉県で開催)の記念事業として、昭和45年に市民の皆さんに選んでいただきました。

#### 市の花 「第24回全国都市緑化ふなばしフェア(平成19年)」の開催を記念して制定しました。



**ヒマワリ**  
太陽に向かって咲き、力強く、将来の船橋市の子どもたちに勇気と希望を与える花



#### カザグルマ

船橋市に自生している貴重種であり、市のシンボルマークとして、大切に保護していくべき花



# 目 次

<b>I. 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査目的 .....	3
2. 調査設計 .....	3
3. 調査内容 .....	3
4. 配布・回収結果.....	3
5. 居住地区区分 .....	4
6. 報告書の見方 .....	5
<b>II. 調査回答者の属性</b> .....	<b>7</b>
1. 性別 .....	9
2. 年齢 .....	9
3. 職業 .....	10
4. 世帯状況 .....	10
5. 居住年数 .....	11
6. 居住地区 .....	11
7. 以前の居住地 .....	12
<b>III. 調査結果の分析</b> .....	<b>13</b>
1. 「住みごち」について .....	15
(1) 船橋市への愛着 .....	15
(2) 船橋市への定住意向 .....	18
(3) 船橋市の住みごち .....	21
(3-1) 船橋市が住みよい理由 .....	24
(3-2) 船橋市が住みよくない理由 .....	27
(4) 「住みごち」概観 .....	31
2. 「広報活動」について .....	32
(1) 情報を入手するためによく利用するもの .....	32
(1-1) よく利用するソーシャルメディア系サービス・アプリ .....	34
(2) 市の事業やイベント情報などの入手方法 .....	36
(3) 広報紙やホームページで知りたい情報 .....	38
(4) 「広報ふなばし」の閲読状況 .....	40
(4-1) 「広報ふなばし」の入手方法 .....	42
(4-2) 「広報ふなばし」の発行回数 .....	44
(4-3) 「広報ふなばし」の読みやすさ .....	46
(4-4) 「広報ふなばし」を読まない理由 .....	48
(4-5) 「広報ふなばし」が読みにくい理由 .....	50

(5) 「広報活動」概観.....	51
3. 「健康診査および健康意識」について .....	52
(1) 加入している健康保険 .....	52
(2) 健康診査・人間ドックの受診状況 .....	54
(2-1) 健診結果を受けての生活習慣の改善状況 .....	56
(2-2) 健康診査・人間ドックを受診しない理由 .....	58
(3) 健康に関する情報源 .....	60
(4) 「フレイル」の認知状況.....	62
(5) 肺がん検診の受診状況 .....	64
(6) 大腸がん検診の受診状況.....	66
(7) 胃がん検診の受診状況 .....	68
(8) 子宮頸がん検診の受診状況 .....	70
(9) 乳がん検診の受診状況 .....	72
(10) 「健康診査および健康意識」概観.....	74
4. 「ボランティア・市民活動」について .....	75
(1) 「ボランティア」または「市民活動」という言葉の認知状況.....	75
(2) ボランティアや市民活動への関心度.....	77
(3) ボランティアや市民活動に対するイメージ.....	79
(4) ボランティアや市民活動への参加状況.....	81
(4-1) ボランティアや市民活動への参加頻度 .....	83
(4-2) ボランティアや市民活動に参加した「きっかけ」 .....	85
(4-3) ボランティアや市民活動に参加しない理由 .....	87
(4-4) ボランティアや市民活動に参加する状況・条件 .....	89
(4-5) ボランティアや市民活動に参加したい活動内容 .....	91
(5) ボランティアや市民活動を活性化していくために望ましいと思う施策 .....	93
(6) 市民活動サポートセンターの認知状況.....	95
(7) 市民活動サポートセンターを利用したいと思う条件 .....	97
(8) 「ボランティア・市民活動」概観 .....	99
5. 「居住する住宅」について .....	100
(1) 居住している住宅.....	100
(2) 居住している住宅の居住年数 .....	102
(3) 居住している住宅の満足度 .....	104
(4) 居住している住宅で困っていることや不安に思っていること .....	106
(4-1) 居住している住宅の今後の居留意向.....	108
(5) 高齢になったときに居住を考える住宅.....	110
(6) 同居または市内に近居している親・子育て世帯の有無.....	112
(6-1) 親・子育て世帯と同居または近居して良かった点.....	114
(6-2) 今後の親・子育て世帯と同居や近居の意向.....	116

(7) 「居住する住宅」概観 .....	118
6. 「市の施策」について .....	119
(1) ここ数年でよくなったもの .....	119
(2) 力を入れるべきもの .....	123
7. 自由意見 .....	127
(1) 自由意見のまとめ .....	127
(2) 自由意見の抜粋 .....	128
<b>IV. 調査票 .....</b>	<b>143</b>



## I. 調査概要

---



# I. 調査概要

## 1. 調査目的

本調査は、愛着心や定住意識、住み良さ、市政の各分野における市民ニーズの基本動向を把握分析するとともに、これまで実施してきた市民意識調査結果との時系列分析等を行うことにより、今後の施策展開に資することを目的とする。

## 2. 調査設計

- (1) 調査地域：船橋市全域
- (2) 調査対象：船橋市在住の満 18 歳以上の男女
- (3) 標本数：3,000 人
- (4) 標本抽出：住民基本台帳から性別、年齢、地域などを考慮して無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送配布－郵送回収  
(※ 調査期間中に督促を兼ねた「礼状はがき」を 1 回送付)
- (6) 調査期間：令和 5 年 10 月 5 日（木）～10 月 25 日（水）
- (7) 調査機関：株式会社総合企画

## 3. 調査内容

- (1) 「住みごころ」について
- (2) 「広報活動」について
- (3) 「健康診査および健康意識」について
- (4) 「ボランティア・市民活動」について
- (5) 「居住する住宅」について
- (6) 「市の施策」について

## 4. 配布・回収結果

- (1) 標本数：3,000
- (2) 回収数：1,406
- (3) 有効回収率：46.9%

年度	有効回収率
令和元年度	47.5%
令和2年度	56.6%
令和3年度	49.5%
令和4年度	45.4%
令和5年度	46.9%

## 5. 居住地区区分

本調査での船橋市内の地区区分（行政ブロック）は、下表・下図の通りである。

## ◆居住地区内町名

地 区	該 当 町 名
南部地区	宮本、市場、東船橋、東町、駿河台、本町、湊町、浜町、若松、日の出、西浦、栄町、潮見町、高瀬町、南本町、海神、海神町、海神町東、海神町西、海神町南、南海神
西部地区	山野町、印内町、葛飾町、本郷町、古作町、古作、西船、印内、東中山、二子町、本中山、旭町、行田町、行田、山手、北本町、前貝塚町、丸山、上山町、馬込西、馬込町、藤原
中部地区	夏見、夏見町、夏見台、米ヶ崎町、高根町、金杉町、金杉、金杉台、緑台、高根台、芝山、新高根
東部地区	前原東、前原西、中野木、二宮、飯山満町、滝台町、滝台、薬円台、薬園台町、七林町、三山、田喜野井、習志野、習志野台、西習志野
北部地区	二和東、二和西、三咲町、三咲、南三咲、八木が谷町、咲が丘、みやぎ台、八木が谷、高野台、松が丘、大穴町、大穴南、大穴北、小室町、小野田町、大神保町、神保町、車方町、鈴身町、豊富町、金堀町、楠が山町、古和釜町、坪井東、坪井西、坪井町

## ◆居住地区区分図（行政ブロック）



## 6. 報告書の見方

### (1) 結果の表示方法

本報告書を見るにあたって、留意すべきこととして以下の事項があげられる。

- ①比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、すべての選択肢の比率の合計が100%にならないことがある。
- ②基数となるべき実数はnとして掲載した。各比率はnを100%として算出した。
- ③複数回答の質問では、すべての選択肢の比率の合計は通常100%を超える。
- ④誤差を考慮し、nが小さい場合(10未満)は、基本的に検討の対象としない。
- ⑤図中にある「その他」の比率は、選択肢として「その他」を選んだ回答者数の比率であり、表にある「その他」の内訳は具体的な内容についての件数である。選択肢「その他」を選んでも内容の記入がないものや、1人の回答者が複数の内容を記入しているものがあるため、「その他」の比率と「その他」の内訳件数は一致しない。
- ⑥分析の都合上、複数の回答選択肢を1つにまとめる加工をしている場合がある。1つにまとめた際にそれぞれの比率の合計と異なる場合があるが、これは四捨五入による差異である。

【「Ⅱ. 調査回答者の属性」の「2. 年齢」(9ページ)を参照】

「60～69歳」と「70歳以上」を『60歳以上』として1つにまとめた場合、「60～69歳」(16.4%)と「70歳以上」(20.3%)の構成比を合わせると36.7%となる。しかし、「60～69歳」(231人)と「70歳以上」(286人)の基数を合わせた517人を、全体の1,406人で割った構成比は36.8%となり、0.1%の差異が生じる。

## (2) 標本誤差

標本誤差は、次式により得られる。ただし、信頼度は一般的に用いられる95%とする。

(注)「信頼度95%」とは、100回同じ調査を実施したときに、おおむね95回はこの精度が得られることを示す。

$$b = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \div \pm 1.96 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ただし、b = 標本誤差

N = 母集団数 (船橋市全体・人)

n = サンプル数 (人) …本報告書ではこれをn (比率算出の基数) で示す。

P = 回答比率

また、Nはnより十分大きいと、 $\frac{N-n}{N-1} \div 1$  とみなしている。

上式をもとに、本調査の標本誤差の早見表を掲げる。

## ◆ 今回の調査結果の標本誤差 (信頼度95%)

回答比率(P) n (人)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,406	±1.57%	±2.09%	±2.40%	±2.56%	±2.61%
1,000	±1.86%	±2.48%	±2.84%	±3.04%	±3.10%
834	±2.04%	±2.71%	±3.11%	±3.32%	±3.39%
571	±2.46%	±3.28%	±3.76%	±4.02%	±4.10%
300	±3.39%	±4.53%	±5.19%	±5.54%	±5.66%
200	±4.16%	±5.54%	±6.35%	±6.79%	±6.93%
100	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%
50	±8.32%	±11.09%	±12.70%	±13.58%	±13.86%

(表の見方) 例えば、ある設問の回答者数が1,406人であり、その設問中にある選択肢の回答比率が50%であった場合、「回答比率の誤差の範囲は±2.61%以内(47.39%~52.61%)である。ただし信頼度が95%であるので、誤差の範囲が±2.61%以内となる確率は95%である。」と見ることができる。

## (3) 時系列比較の出典について

時系列比較の出典は、過年度に実施した市民意識調査の結果によるものである。

## Ⅱ. 調査回答者の属性

---



## II. 調査回答者の属性

### 1. 性別

回答者の性別は、女性（834人・59.3%）の割合が、男性（571人・40.6%）より高くなっている。

	基数	構成比 (%)	配布数
1. 男性	571	40.6	1,516
2. 女性	834	59.3	1,484
3. 自認する性別	0	0.0	
(無回答)	1	0.1	
合計	1,406	100.0	3,000

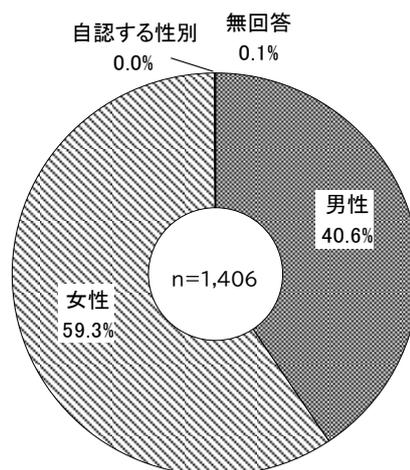


図 II - 1 性別

### 2. 年齢

回答者の年齢は、50～59歳（289人・20.6%）の割合が最も高く、次いで70歳以上（286人・20.3%）が2割を超えている。なお、18～29歳（138人・9.8%）は1割と、最も低くなっている。

	基数	構成比 (%)
1. 18～29歳	138	9.8
2. 30～39歳	175	12.4
3. 40～49歳	246	17.5
4. 50～59歳	289	20.6
5. 60～69歳	231	16.4
6. 70歳以上	286	20.3
(無回答)	41	2.9
合計	1,406	100.0

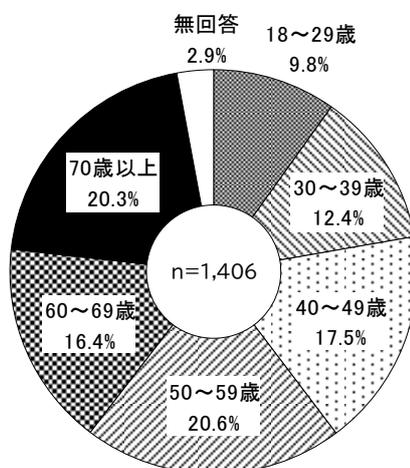
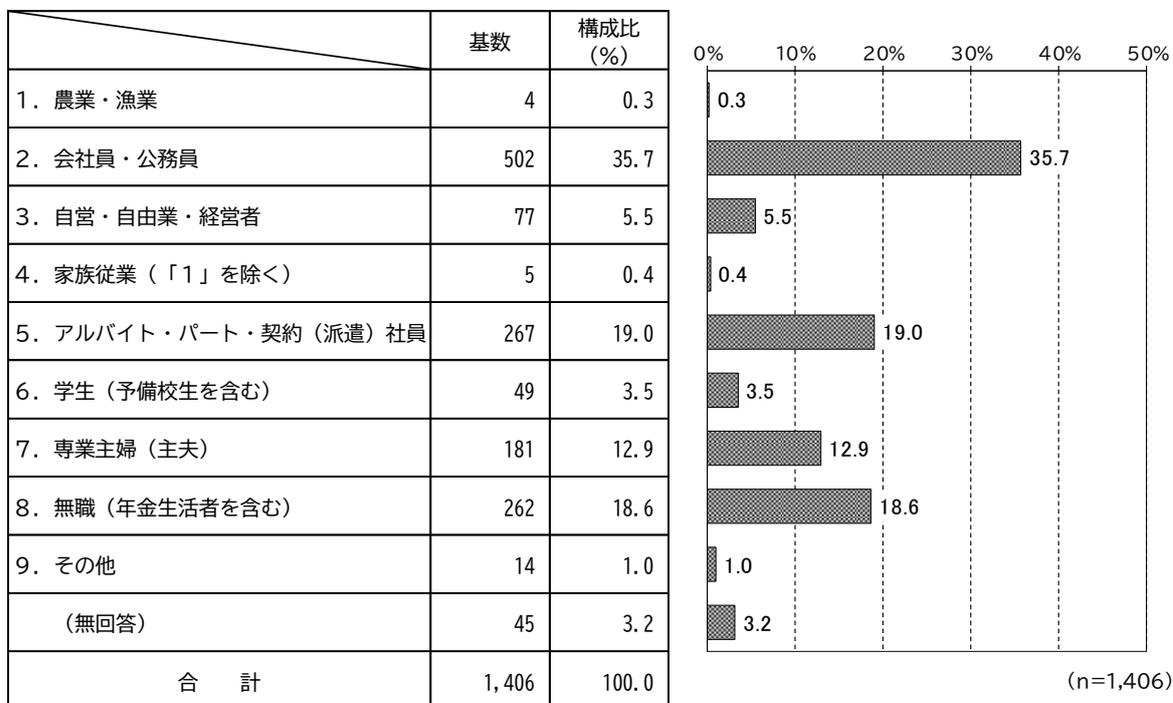


図 II - 2 年齢

### 3. 職業

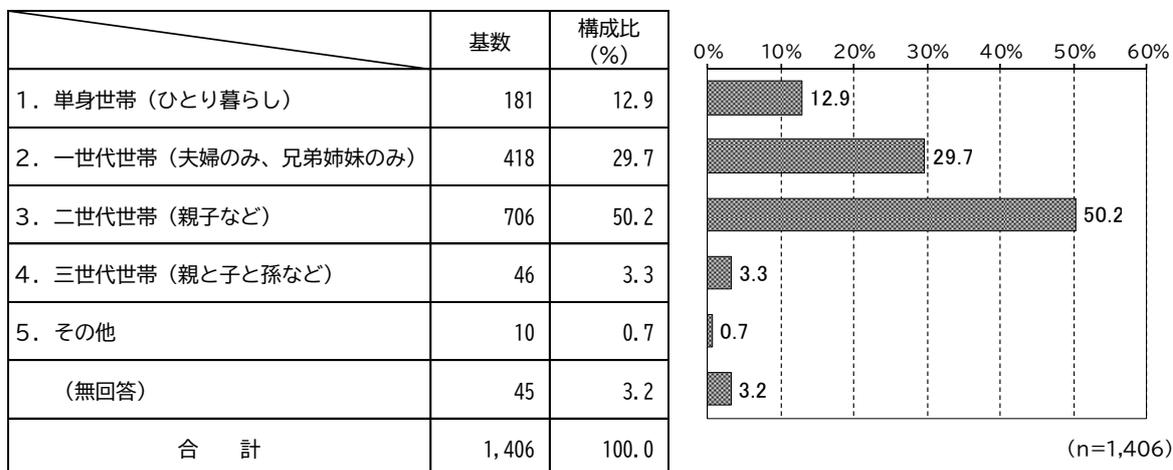
回答者の職業は、会社員・公務員（502人・35.7%）の割合が最も高く、3割を超えている。次いで、アルバイト・パート・契約（派遣）社員（267人・19.0%）、無職（年金生活者を含む）（262人・18.6%）、専業主婦（主夫）（181人・12.9%）と続いている。



図Ⅱ－3 職業

### 4. 世帯状況

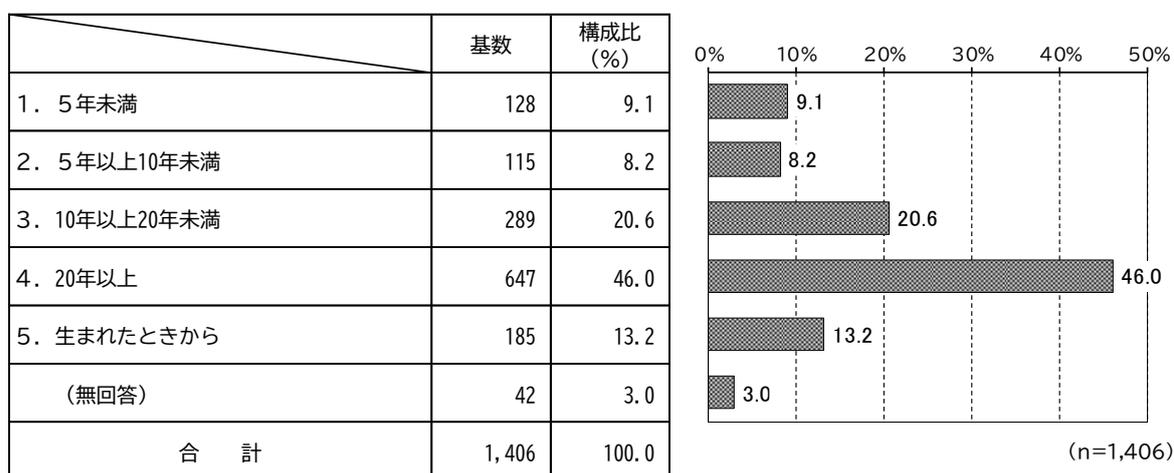
回答者の世帯状況は、二世帯世帯（親子など）（706人・50.2%）の割合が最も高く、5割となっている。次いで、一世帯世帯（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ）（418人・29.7%）、単身世帯（ひとり暮らし）（181人・12.9%）と続いている。



図Ⅱ－4 世帯状況

## 5. 居住年数

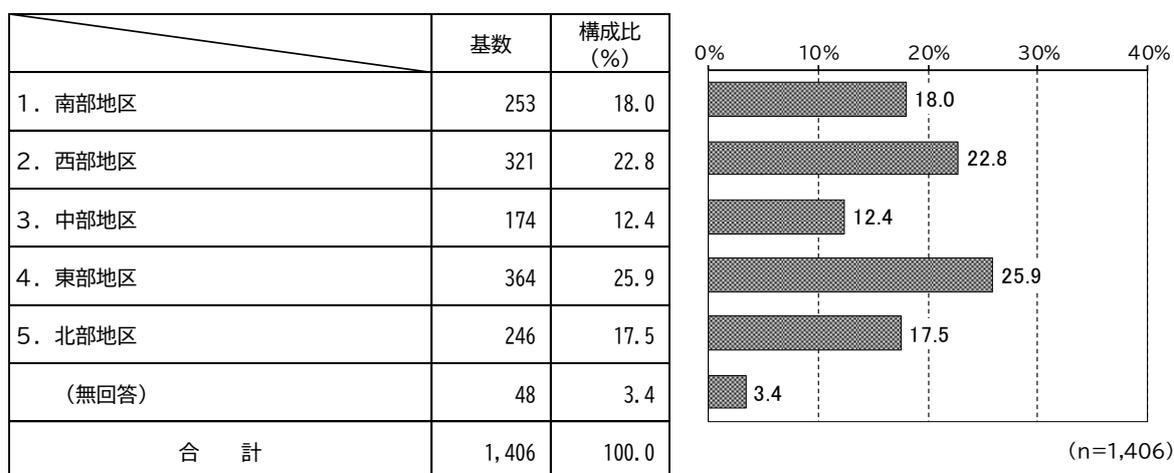
回答者の居住年数は、20年以上（647人・46.0%）の割合が最も高く、4割を超えている。次いで、10年以上20年未満（289人・20.6%）、生まれたときから（185人・13.2%）、5年未満（128人・9.1%）、5年以上10年未満（115人・8.2%）の順になっている。



図Ⅱ－5 居住年数

## 6. 居住地区

回答者の居住地区は、東部地区（364人・25.9%）、西部地区（321人・22.8%）が2割を超え、次いで、南部地区（253人・18.0%）、北部地区（246人・17.5%）、中部地区（174人・12.4%）の順になっている。

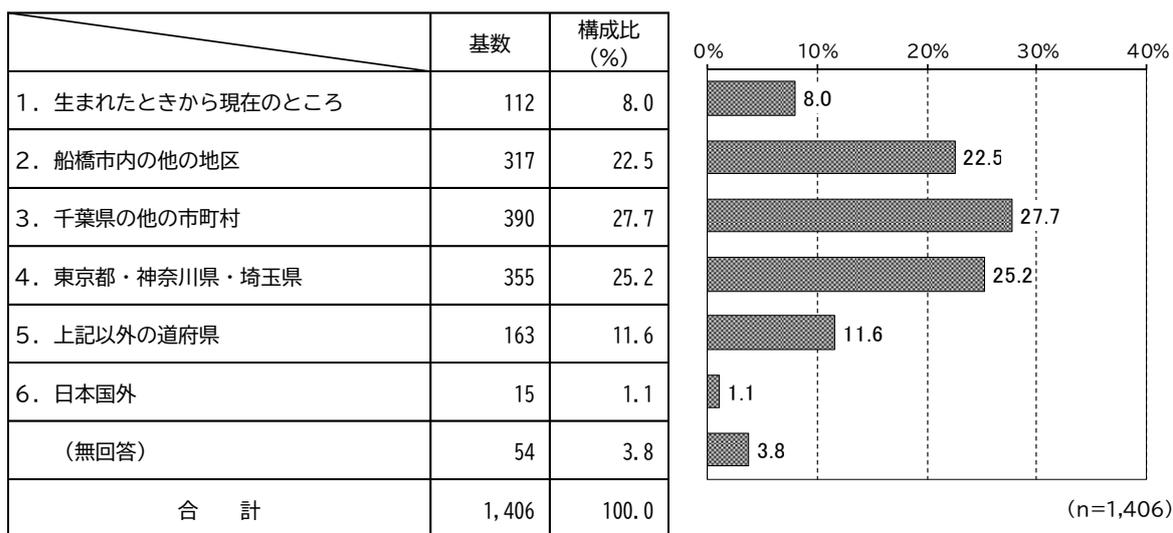


図Ⅱ－6 居住地区

## 7. 以前の居住地

回答者の以前の居住地は、千葉県の他の市町村（390 人・27.7%）が3割近く、東京都・神奈川県・埼玉県（355 人・25.2%）、船橋市内の他の地区（317 人・22.5%）が2割を超え、上記以外の道府県（163 人・11.6%）が続いている。

生まれたときから現在のところ（112 人・8.0%）、日本国外（15 人・1.1%）は1割を下回っている。



図Ⅱ－7 以前の居住地

### Ⅲ. 調査結果の分析

---



## Ⅲ. 調査結果の分析

### 1. 「住みごち」について

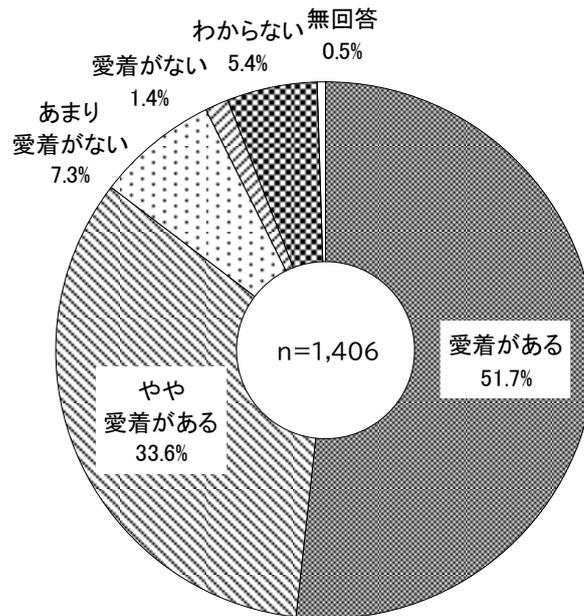
#### (1) 船橋市への愛着

『愛着を持っている人』は8割超

【問1】「船橋市」に愛着を持っていますか。(〇は1つ)

船橋市に愛着を持っているかの質問に、「愛着がある」の割合は51.7%と5割を超えた人が回答している。「やや愛着がある」(33.6%)を合わせた『愛着を持っている人』の割合は、85.3%と8割を超えている。

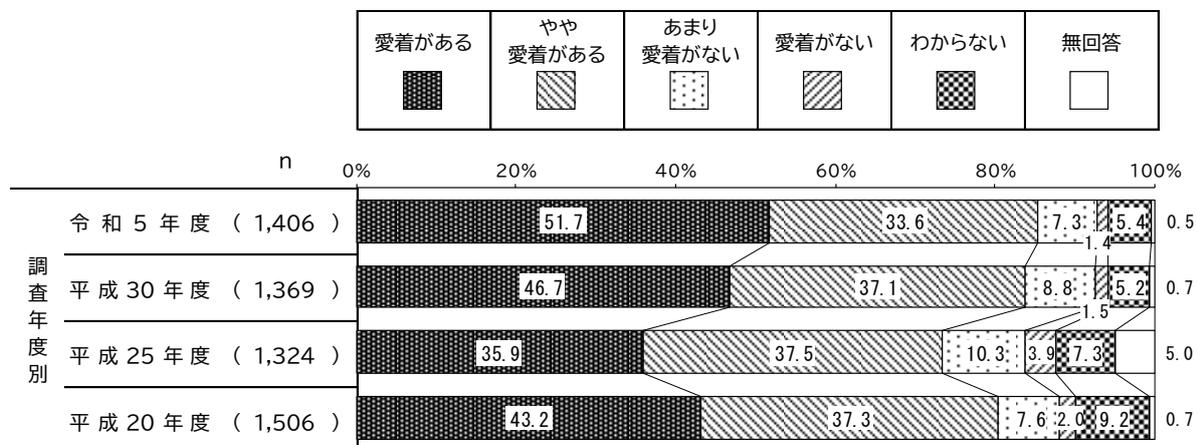
一方、「あまり愛着がない」(7.3%)と「愛着がない」(1.4%)を合わせた『愛着を持っていない人』の割合は、8.7%で1割弱となっている。



図Ⅲ－1 船橋市への愛着

【時系列比較】

時系列で比較すると、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』の割合（85.3%）は平成 25 年度から年々高くなる傾向にあり、平成 25 年度（73.4%）と比べると 11.9 ポイント増加している。

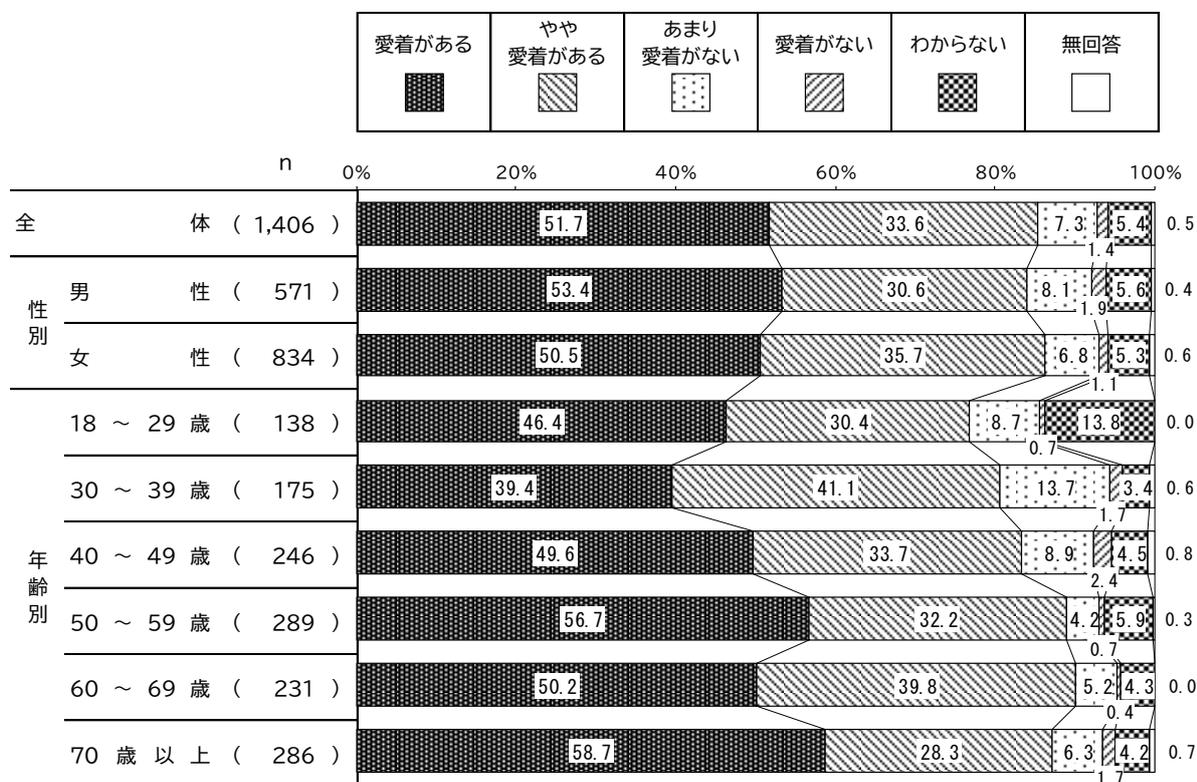


図Ⅲ－2 船橋市への愛着（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』の割合は、女性（86.2%）が男性（84.0%）より 2.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『愛着を持っている人』の割合は、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、60～69 歳では 90.0%と 9 割に達している。

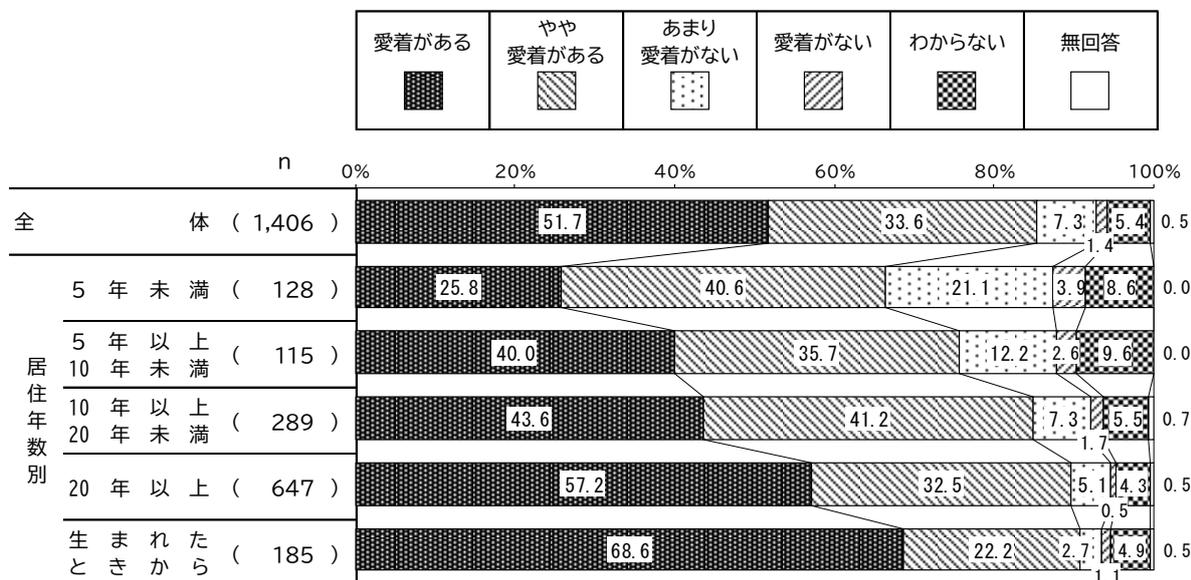


図Ⅲ－3 船橋市への愛着（性別／年齢別）

【居住年数別】

居住年数別にみると、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』の割合は、「生まれたときから」(90.8%) が最も高く 9 割を超えている。

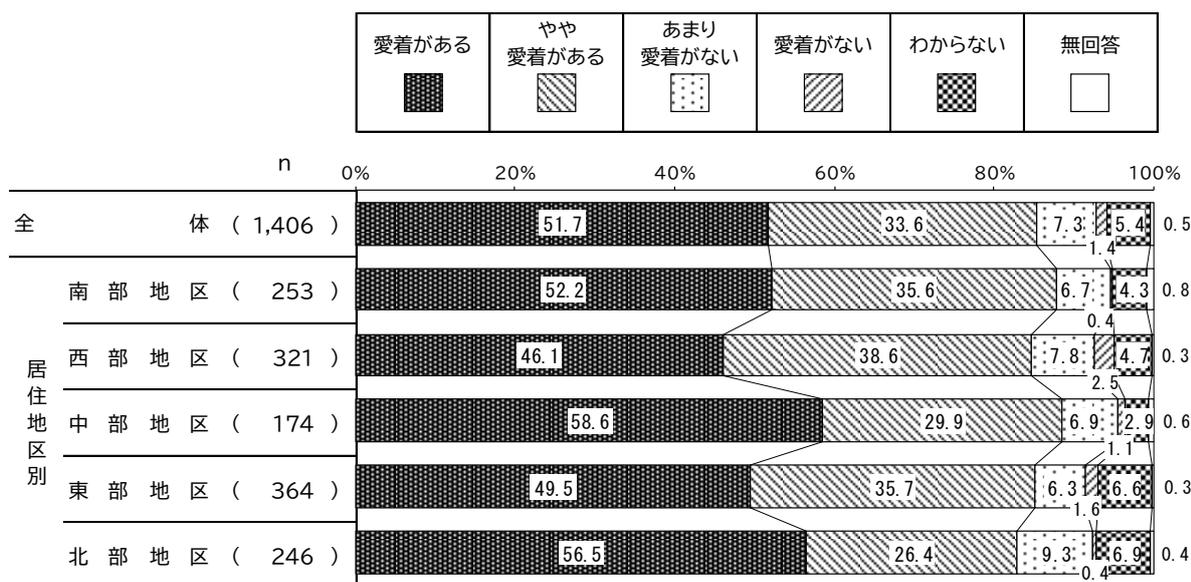
「生まれたときから」を除いた居住年数だけで比べると、居住年数が長いほど『愛着を持っている人』の割合が高く、最も低い「5 年未満」(66.4%) と最も高い「20 年以上」(89.7%) の差は 23.3 ポイントある。



図Ⅲ－4 船橋市への愛着（居住年数別）

【居住地区別】

居住地区別にみると、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』の割合は、中部地区 (88.5%)、南部地区 (87.8%)、東部地区 (85.2%)、西部地区 (84.7%)、北部地区 (82.9%) となっており、全ての地区で 8 割を超えている。



図Ⅲ－5 船橋市への愛着（居住地区別）

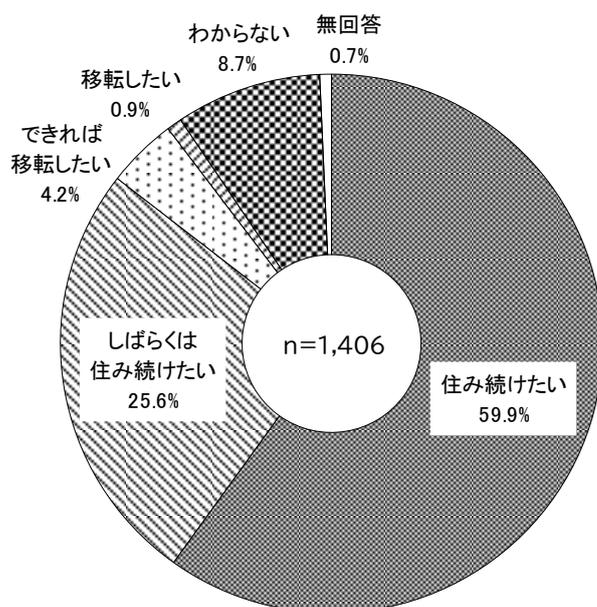
(2) 船橋市への定住意向

『住み続けたい人』は8割超

【問2】今後も「船橋市」に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

今後も船橋市に住み続けたいと思うかの質問に対し、「住み続けたい」(59.9%)と「しばらくは住み続けたい」(25.6%)を合わせた『住み続けたい人』の割合は、85.5%と8割を超えている。

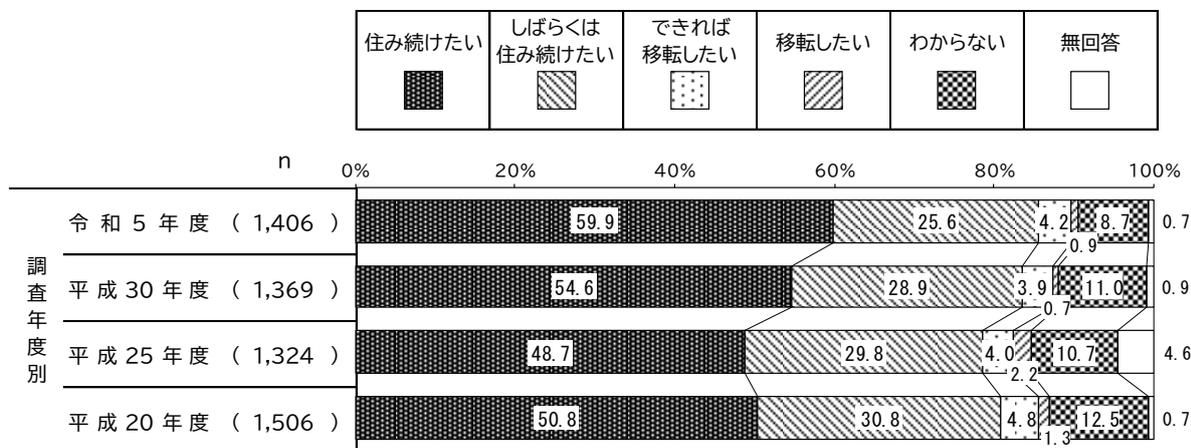
一方、「できれば移転したい」(4.2%)と「移転したい」(0.9%)を合わせた『移転したい人』の割合は、5.1%となっている。



図Ⅲ－6 船橋市への定住意向

【時系列比較】

時系列で比較すると、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合（85.5%）は平成 25 年度から年々高くなる傾向にあり、平成 25 年度（78.5%）と比べて 7.0 ポイント増加している。

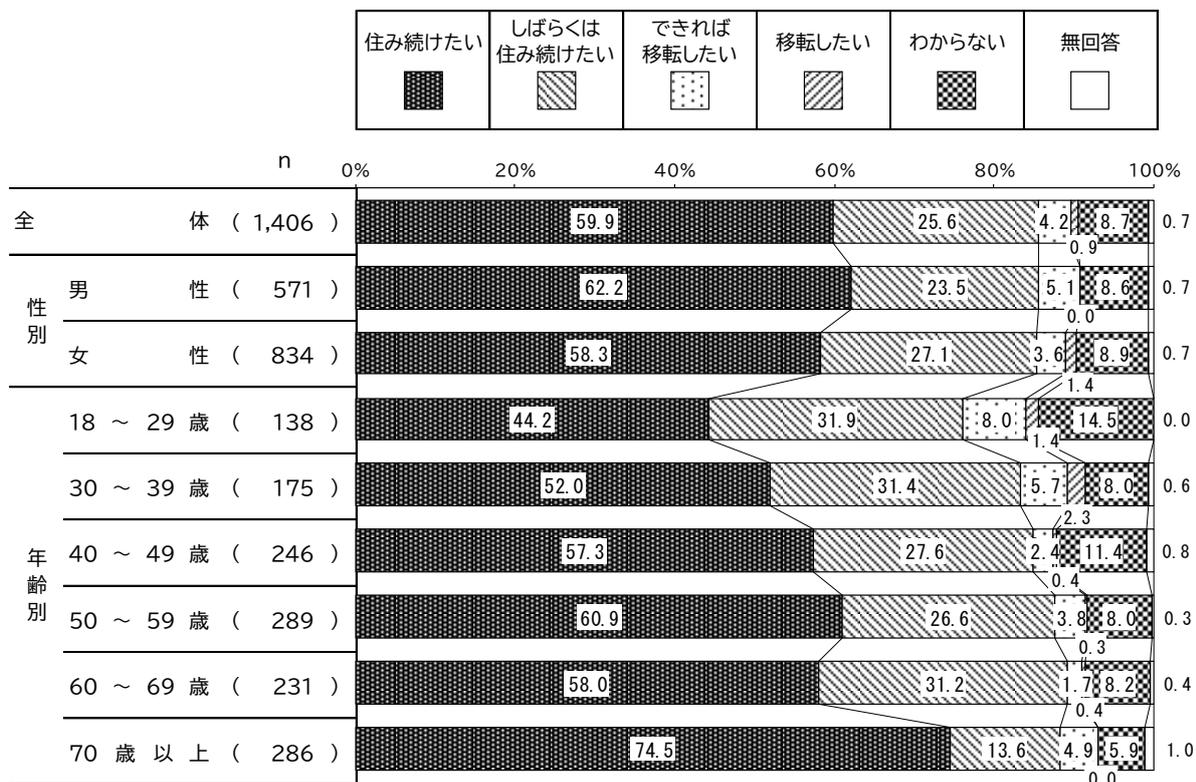


図Ⅲ－7 船橋市への定住意向（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合は、男性（85.7%）、女性（85.4%）でおおむね変わらない。

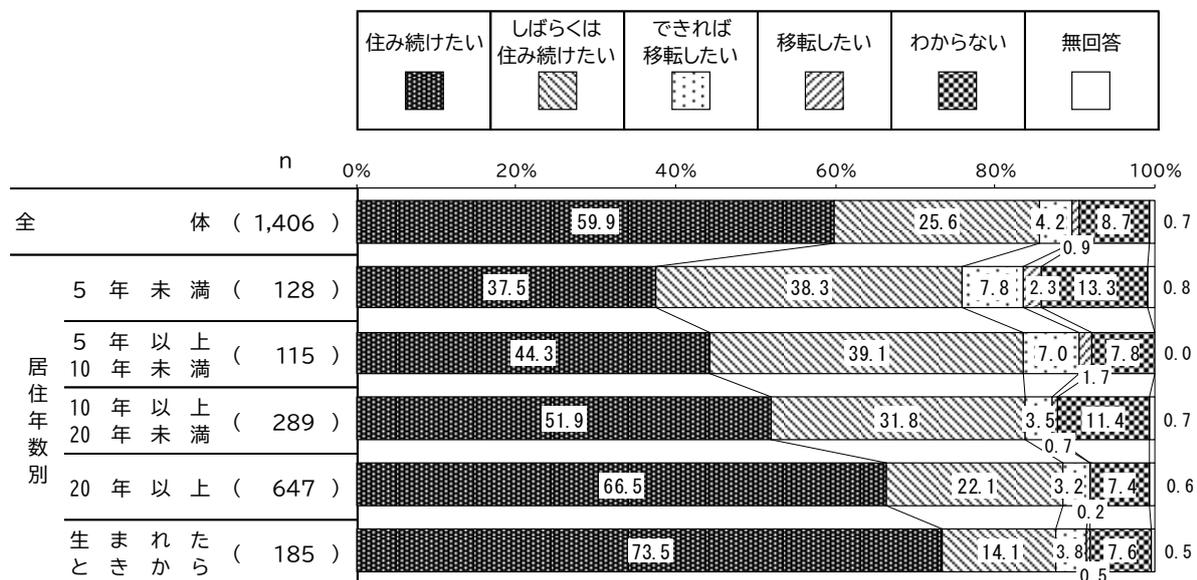
年齢別にみると、『住み続けたい人』の割合は、18～29 歳（76.1%）を除いて、83.4%～89.2% の範囲にあり、8 割を超えている。



図Ⅲ－8 船橋市への定住意向（性別／年齢別）

【居住年数別】

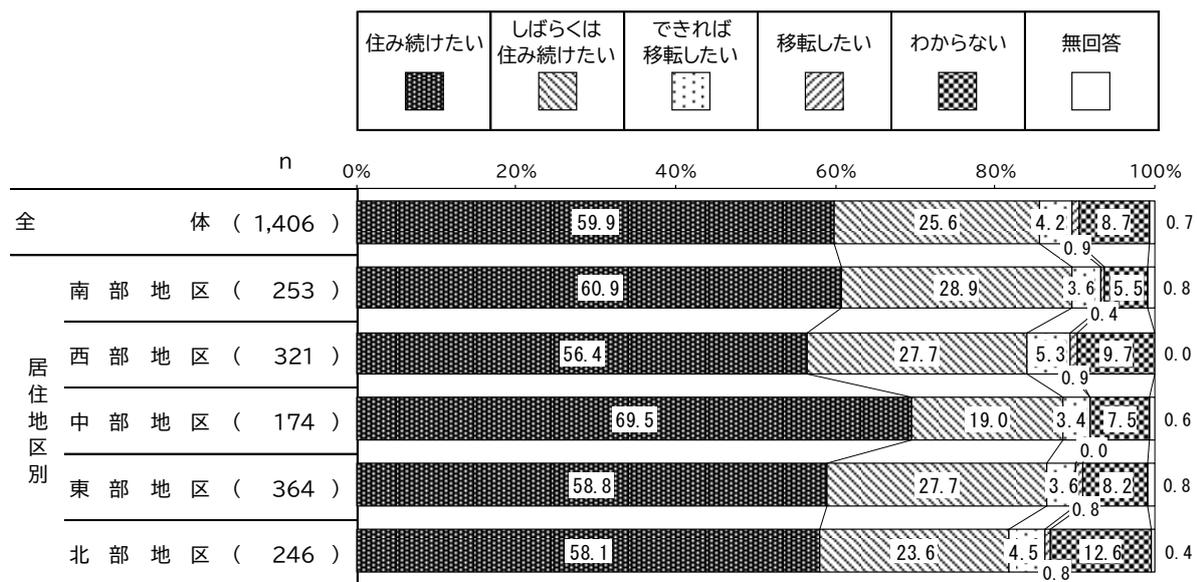
居住年数別にみると、「住み続けたい」と答えた割合が、生まれたときから（73.5%）、20年以上（66.5%）で高く、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合は、5年未満（75.8%）を除き、83.4%～88.6%の範囲にあり、8割を超えている。



図Ⅲ－9 船橋市への定住意向（居住年数別）

【居住地区別】

居住地区別にみると、「住み続けたい」は中部地区（69.5%）で7割と最も高く、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合では、南部地区（89.8%）が9割で最も高くなっている。



図Ⅲ－10 船橋市への定住意向（居住地区別）

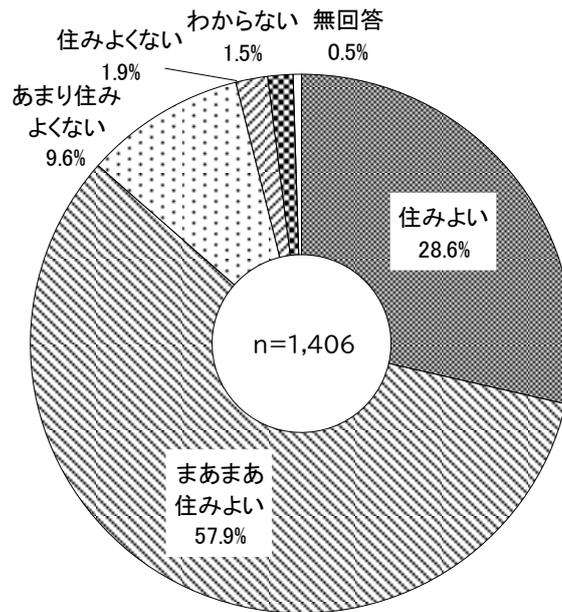
(3) 船橋市の住みごち

『住みよく思う人』は9割近く

【問3】「船橋市」を住みよいまちと感じていますか。(〇は1つ)

船橋市の住みごちを聞いたところ、「住みよい」(28.6%)と「まあまあ住みよい」(57.9%)を合わせた『住みよく思う人』の割合は、86.5%と9割近くとなっている。

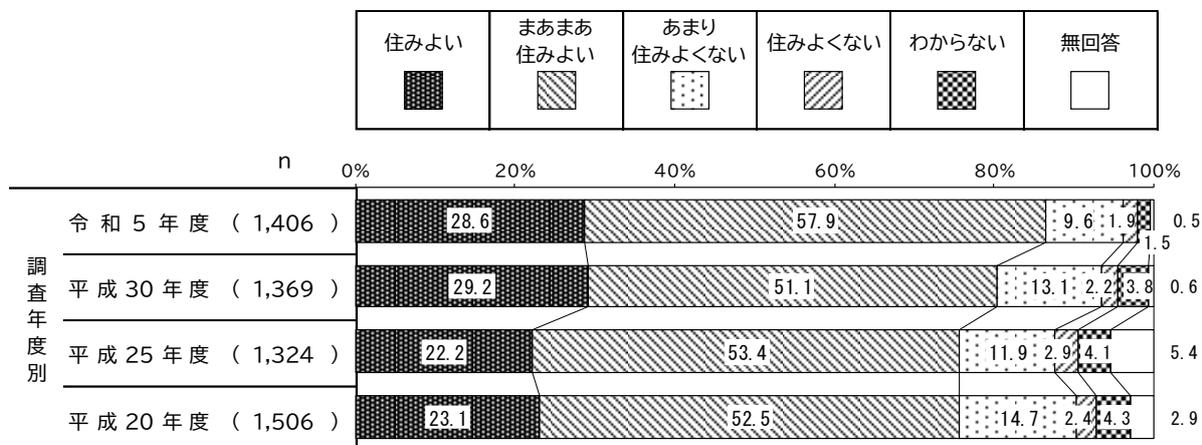
一方、「あまり住みよくない」(9.6%)と「住みよくない」(1.9%)を合わせた『住みよく思わない人』の割合は、11.5%となっている。



図Ⅲ－11 船橋市の住みごち

【時系列比較】

時系列で比較すると、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』の割合（86.5%）は年々高くなり、平成20年度（75.6%）と比べて10.9ポイント増加している。

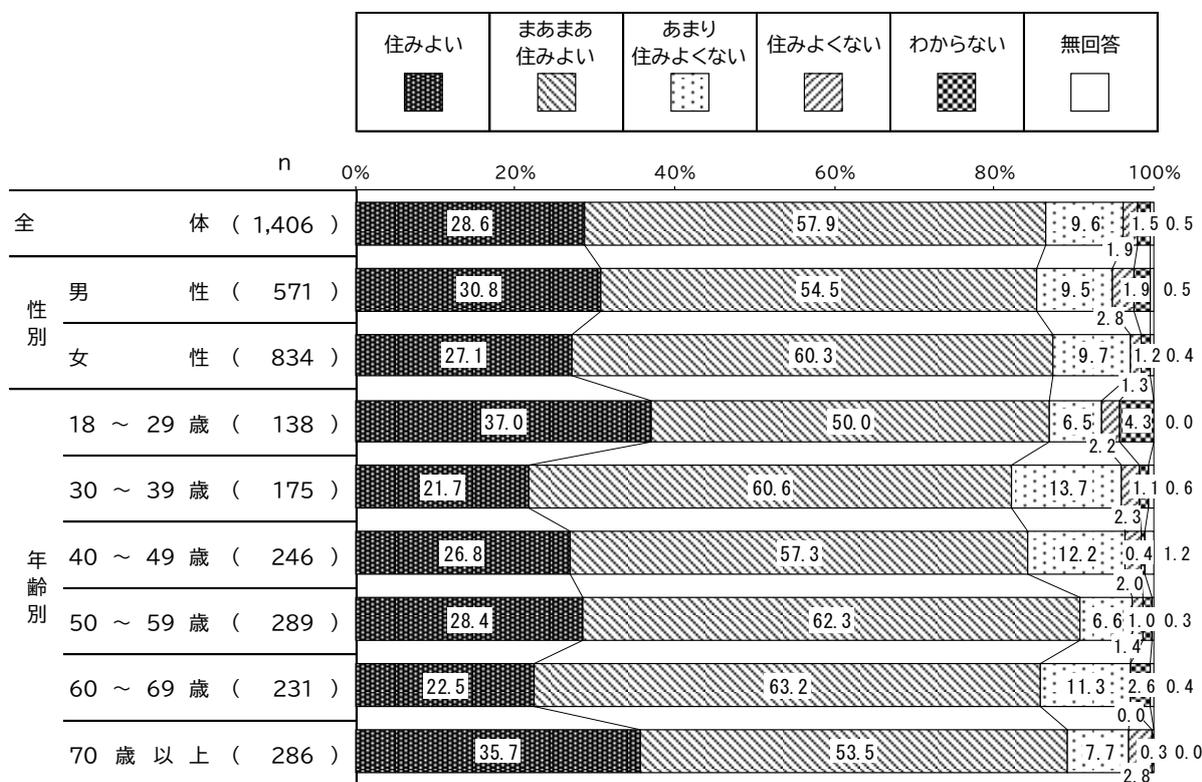


図Ⅲ－12 船橋市の住みごころ（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』の割合は、女性（87.4%）が男性（85.3%）より2.1ポイント高くなっている。

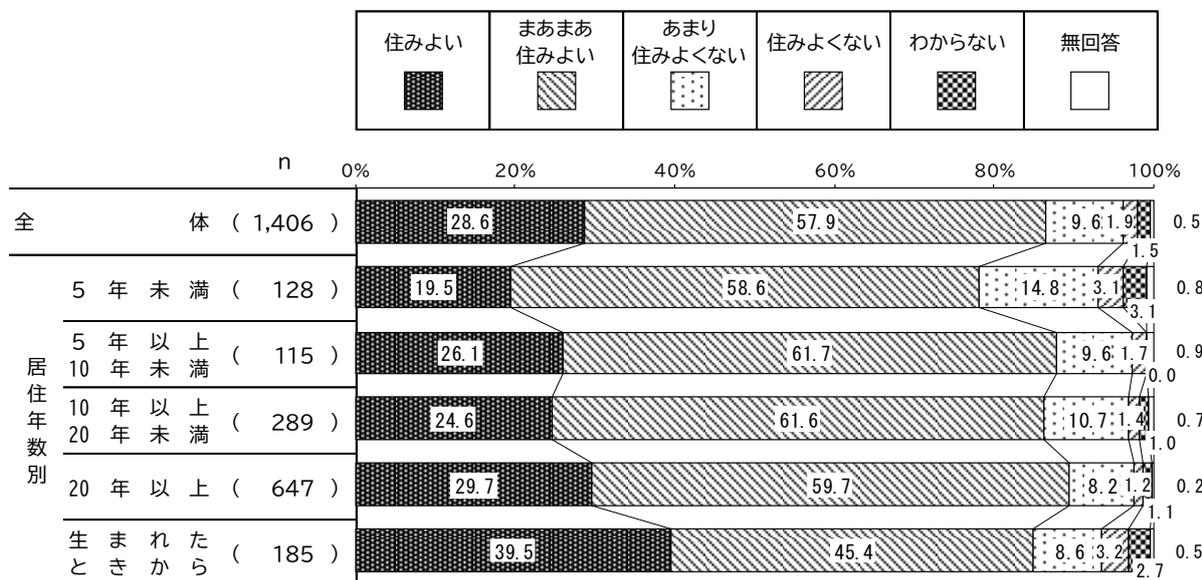
年齢別にみると、『住みよく思う人』の割合は、50～59歳（90.7%）が最も高くなっているが、他の全ての年齢でも8割を超えている。



図Ⅲ－13 船橋市の住みごころ（性別／年齢別）

【居住年数別】

居住年数別にみると、「住みよい」は生まれたときから（39.5%）が最も高いが、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』の割合は、20年以上（89.4%）が最も高くなっている。

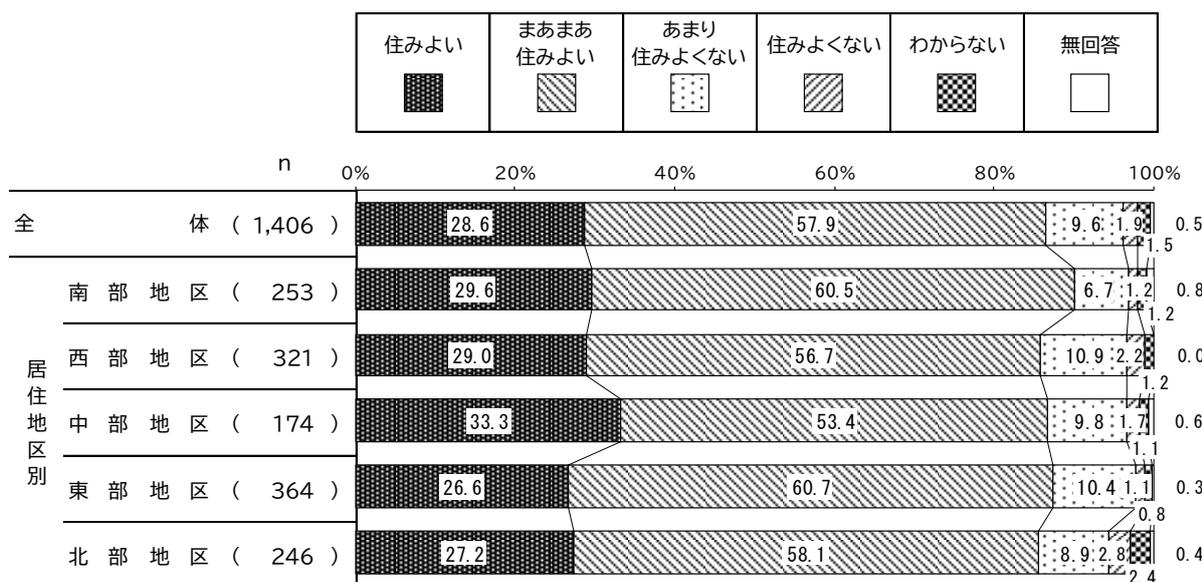


図Ⅲ－14 船橋市の住みごち（居住年数別）

【居住地区別】

居住地区別にみると、「住みよい」の割合は、中部地区（33.3%）が最も高く、東部地区（26.6%）で最も低くなっている。

「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』の割合は、全ての地区で8割を超えており、南部地区（90.1%）では9割に達している。



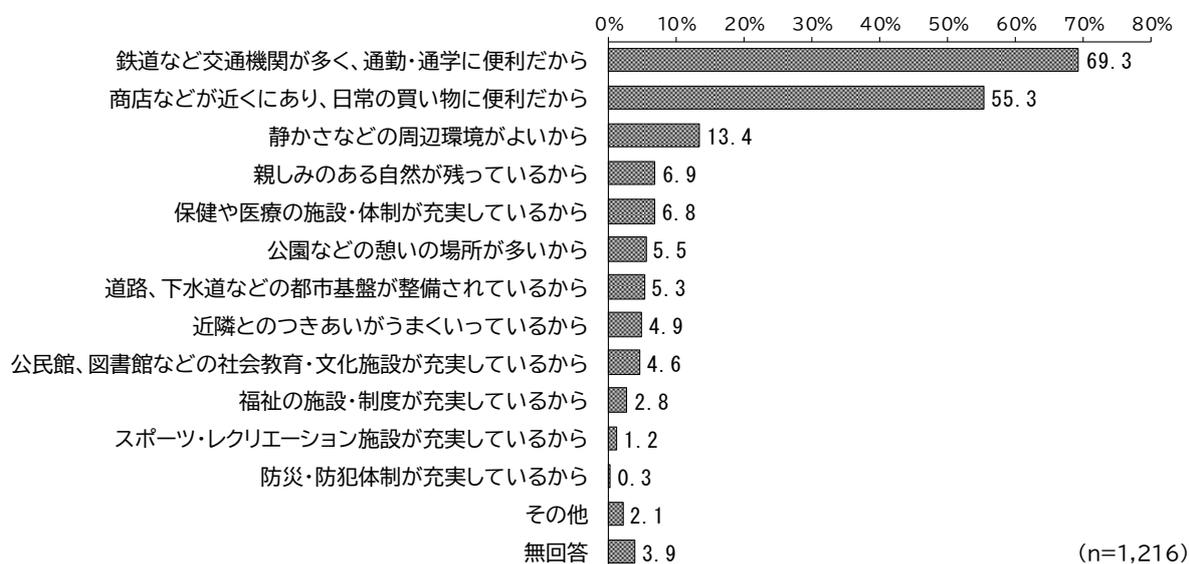
図Ⅲ－15 船橋市の住みごち（居住地区別）

(3-1) 船橋市が住みよい理由

「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」住みよいが7割弱  
 (問3で「1. 住みよい」または「2. まあまあ住みよい」とお答えの方)  
 【問3-1】住みよいと感じるのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

船橋市の住みごころについて「住みよい」、「まあまあ住みよい」と答えた人(1,216人)に対して、その理由を聞いたところ、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」が69.3%で最も高く、次いで「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」(55.3%)までが5割を超えており、この2つを理由として挙げる人が多い。

「その他」については、「生まれ育ったところ・長く住んでいるまちだから」、「災害が少ないから」(ともに6件)などが挙げられている。



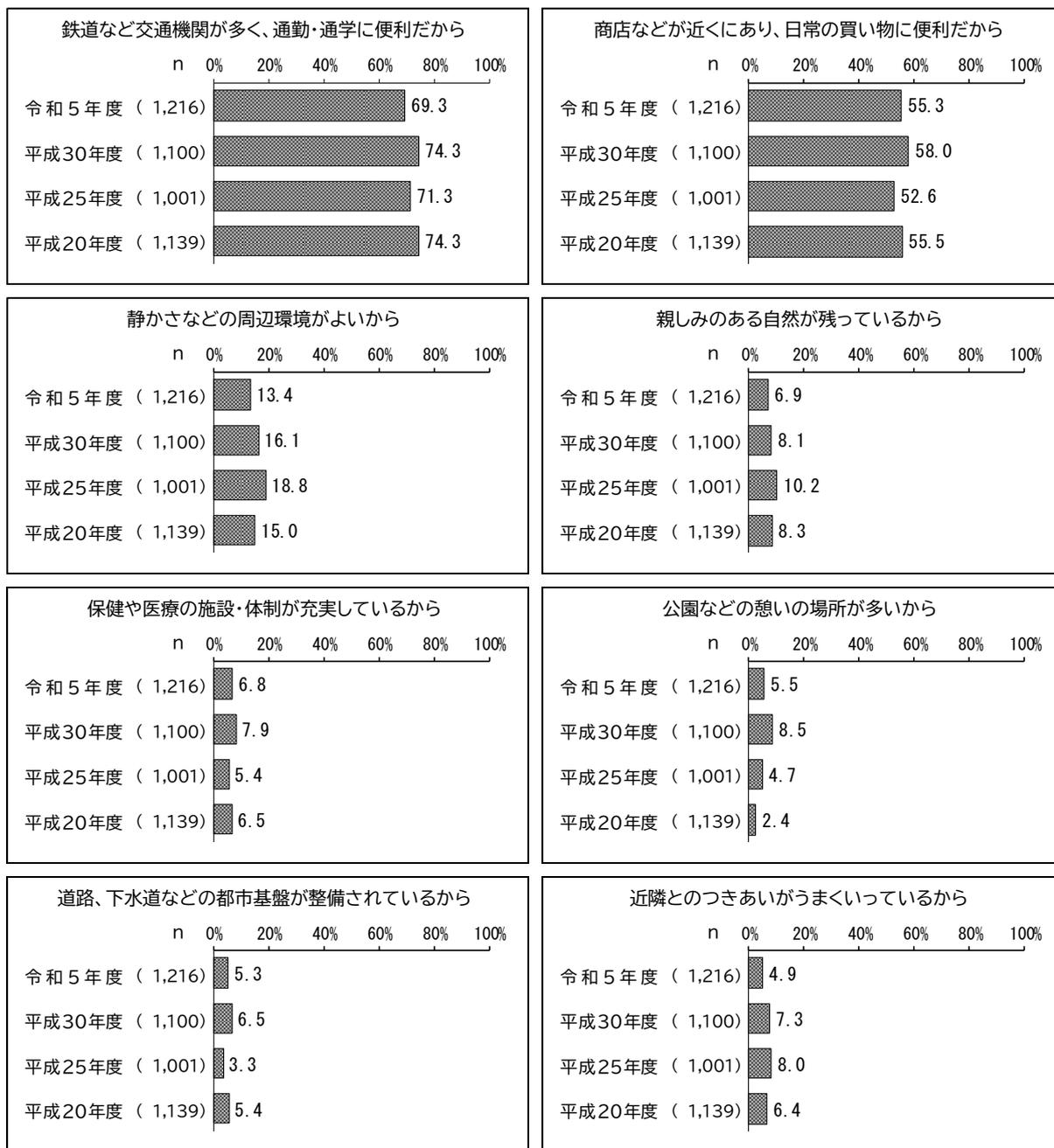
図Ⅲ-16 船橋市が住みよい理由

表Ⅲ-1 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
生まれ育ったところ・長く住んでいるまちだから	6
災害が少ないから	6
ゴミの分別が他の自治体と比べて楽だから	5
移り住んだ人への態度・対応が温かい・友人ができたから	3
百貨店・大型商業施設があるから	2
アクセスがいいから	1
都内に近いから	1
駅近で便利だから	1
船っ子教室、放課後ルーム、児童館が多数あるから	1
温暖で気候がいいから	1
子供が減らないから	1
応援しているプロスポーツチームがあるから	1
ふなっしーが知名度を上げてくれたから	1
合計	30

【時系列比較】（上位8項目）

住みよい理由として挙げられている割合が高い上位8項目について、時系列で比較すると、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」（69.3%）は平成30年（74.3%）と比べて5.0ポイント減少している。また、「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」（55.3%）は平成30年（58.0%）と比べて2.7ポイント減少し、「静かさなどの周辺環境がよいから」（13.4%）も平成30年（16.1%）と比べて2.7ポイント減少している。



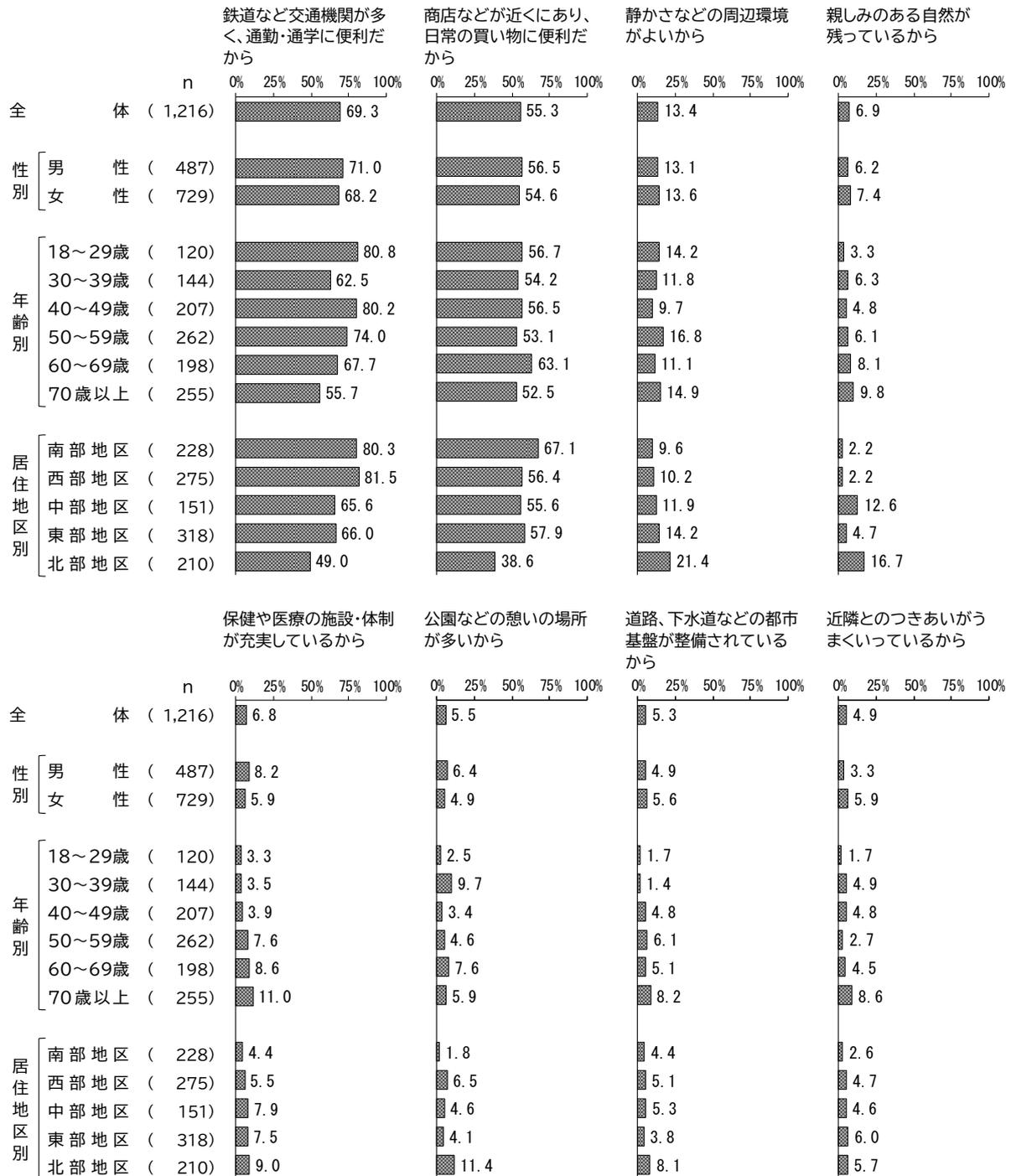
図Ⅲ－17 船橋市が住みよい理由 上位8項目（時系列比較）

【性別／年齢別／居住地区別】（上位8項目）

性別で比較すると、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」で男性（71.0%）が女性（68.2%）より2.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、18～29歳で「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」が80.8%で最も高くなっており、年齢が下がるに従い割合が高くなる傾向が見られる。

居住地区別にみると、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」で西部地区（81.5%）、「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」で南部地区（67.1%）、「静かさなどの周辺環境がよいから」、「親しみのある自然が残っているから」で北部地区（21.4%、16.7%）の割合が高く、地区別の特色が見られる。



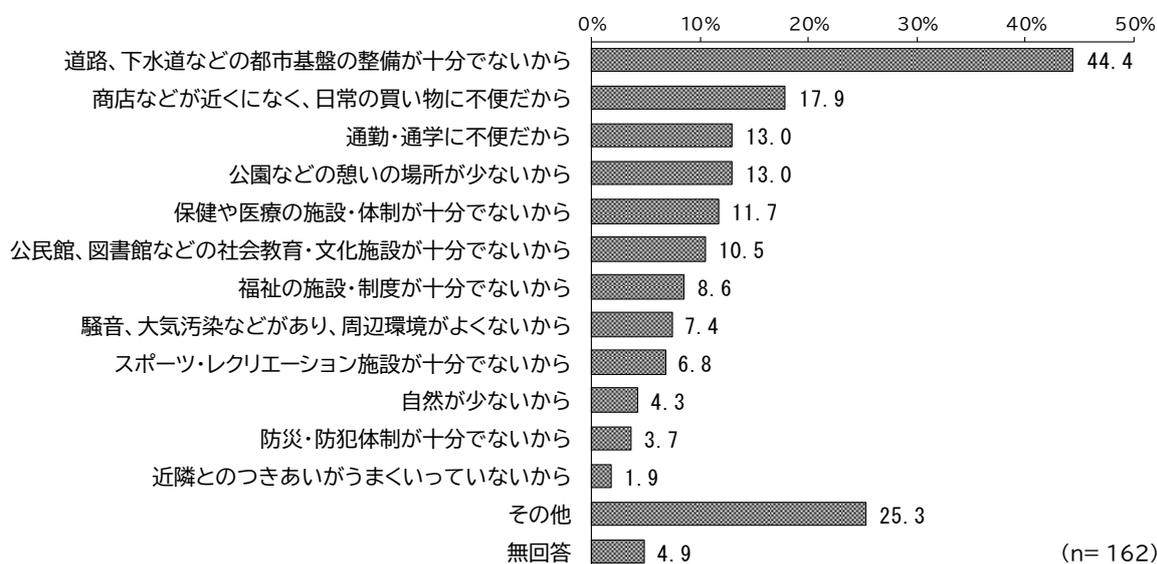
図Ⅲ－18 船橋市が住みよい理由 上位8項目（性別／年齢別／居住地区別）

(3-2) 船橋市が住みよくない理由

「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」住みよくないが4割超  
**(問3で「3. あまり住みよくない」または「4. 住みよくない」とお答えの方)**  
**【問3-2】住みよくないと感じるのはどのようなことですか。(〇は2つまで)**

船橋市の住みごちについて「あまり住みよくない」、「住みよくない」と答えた人(162人)にその理由を聞いたところ、「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」が44.4%で最も高く、次いで「商店などが近づくなく、日常の買い物に不便だから」(17.9%)、「通勤・通学に不便だから」、「公園などの憩いの場所が少ないから」(ともに13.0%)が続いている。

「その他」については、「渋滞が激しい・道路が混んでいるから」(14件)、「道・車道・歩道が狭い・歩道がない・危険な道が多いから」(10件)などが挙がっている。



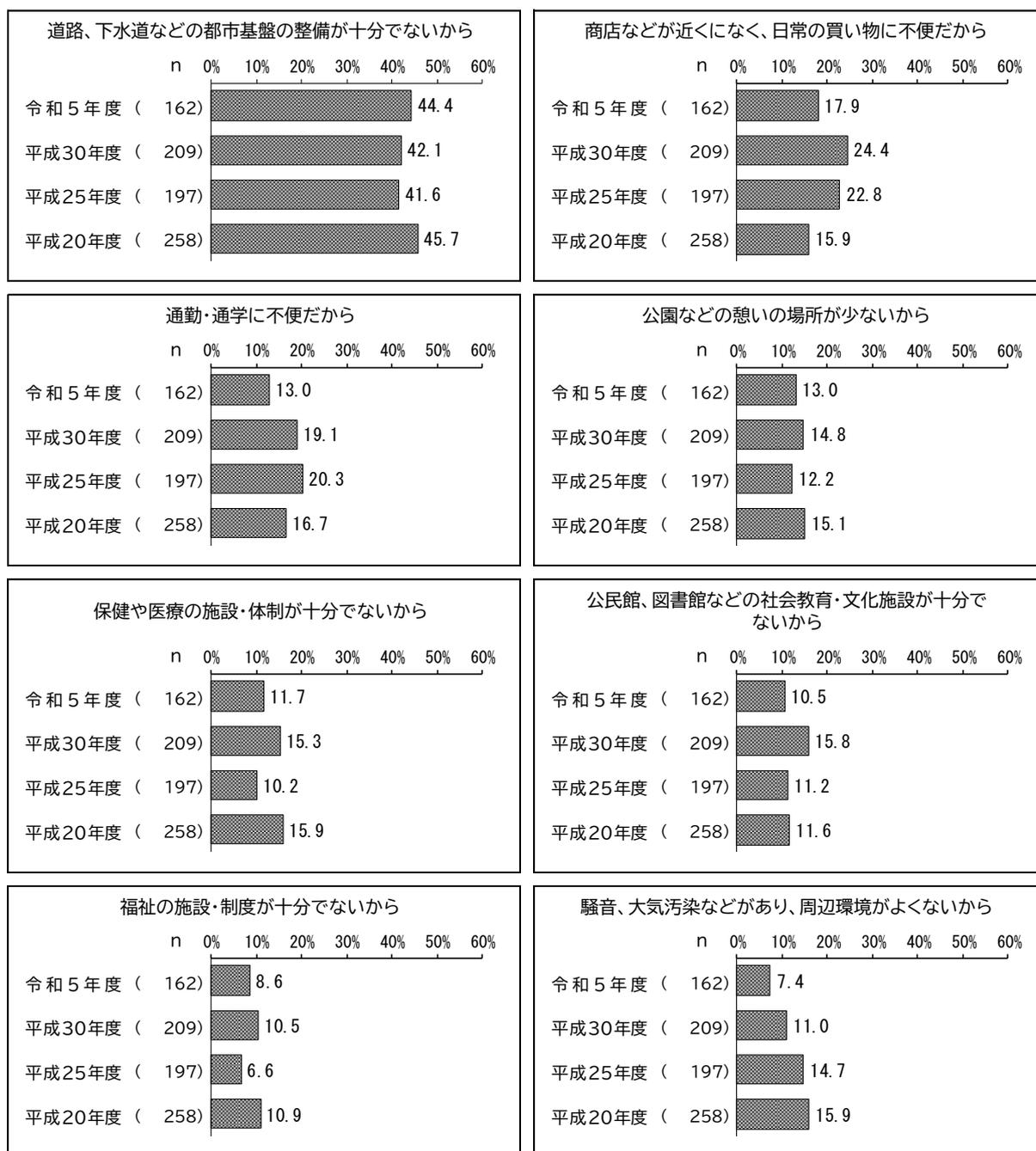
図Ⅲ-19 船橋市が住みよくない理由

表Ⅲ-2 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
渋滞が激しい・道路が混んでいるから	14
道・車道・歩道が狭い・歩道がない・危険な道が多いから	10
子どもに手厚くない・子育て支援が劣っているから	3
東葉高速鉄道の電車賃が高すぎるから	3
自治会・町会がでたらめだから	2
まちが雑然としている・マンションが乱立しているから	2
治安が悪いから	2
その他	11
合計	47

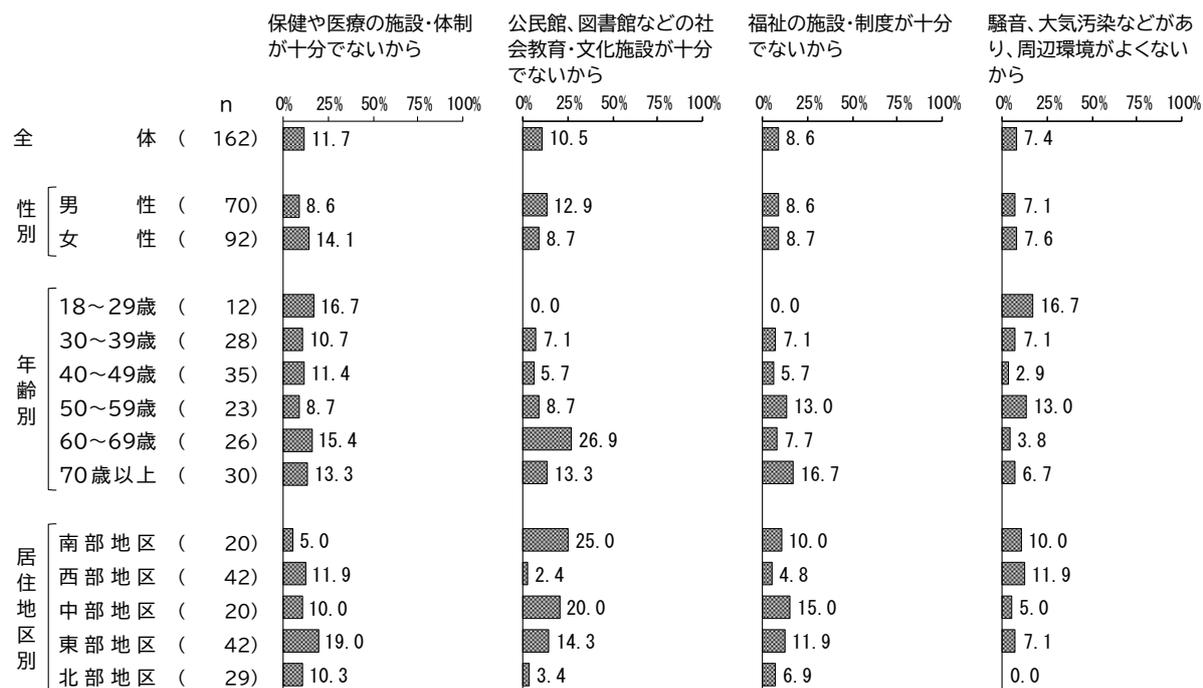
【時系列比較】（上位8項目）

住みよくない理由として挙げられている割合が高い上位8項目について、時系列で比較すると、全体での割合が最も高い「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」（44.4％）は、平成30年度（42.1％）から2.3ポイント増加している。一方、「商店などが近くになく、日常の買い物に不便だから」（17.9％）は、平成30年度（24.4％）と比べて6.5ポイント減少し、「通勤・通学に不便だから」（13.0％）は、平成30年度（19.1％）と比べて6.1ポイント減少している。



図Ⅲ－20 船橋市が住みよくない理由 上位8項目（時系列比較）





図Ⅲ-21 船橋市が住みよくない理由 上位8項目（性別／年齢別／居住地区別）

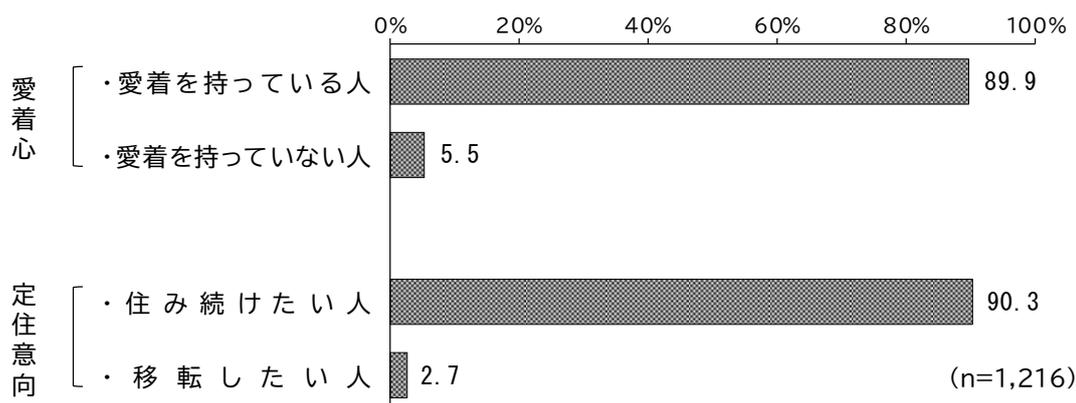
### (4) 「住みごころ」概観

『住みよく思う人』は『愛着を持っている人』『住み続けたい人』がともに9割

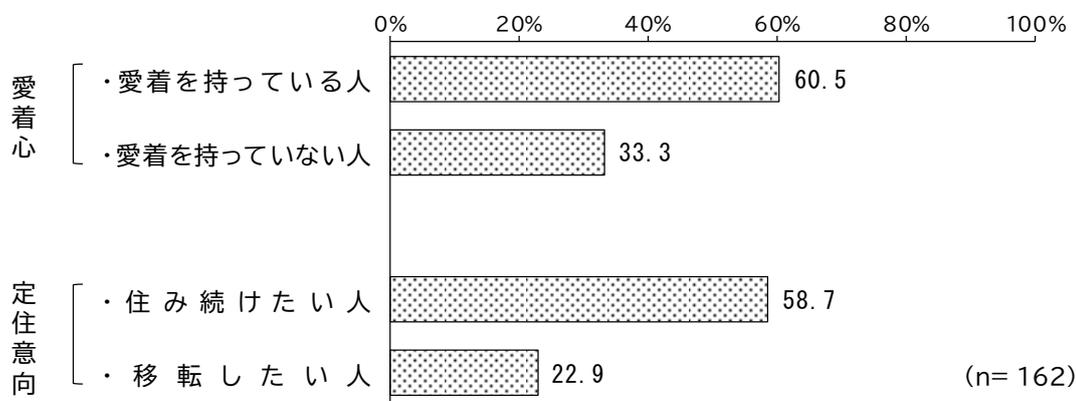
本調査では、市民の船橋市に対する愛着心、定住意向、住みごころ（住みよさ意識）を経年的に聞いている。「人もまちも輝く笑顔あふれる船橋」を実現するため、また、堅調な人口増加と人口構造の変化があっても持続的な発展を遂げていくためには、「愛着があるまち」、「住み続けたいまち」として評価され、多くの人に選ばれるまちとなる必要がある。

そこで、「愛着心」、「定住意向」と「住みごころ」との設問集計を行ったところ、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』（1,216人）では、「愛着がある」、「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』と、「住み続けたい」、「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合は、ともにおおむね9割となっている。一方、「あまり住みよくない」と「住みよくない」を合わせた『住みよく思わない人』（162人）であっても、『愛着を持っている人』の割合は6割を超え、『住み続けたい人』の割合は6割弱となっている。

『住みよく思う人』（n=1,216）



『住みよく思わない人』（n=162）



図Ⅲ－２２ 船橋市への愛着心と定住意向（船橋市の住みごころ別）

## 2. 「広報活動」について

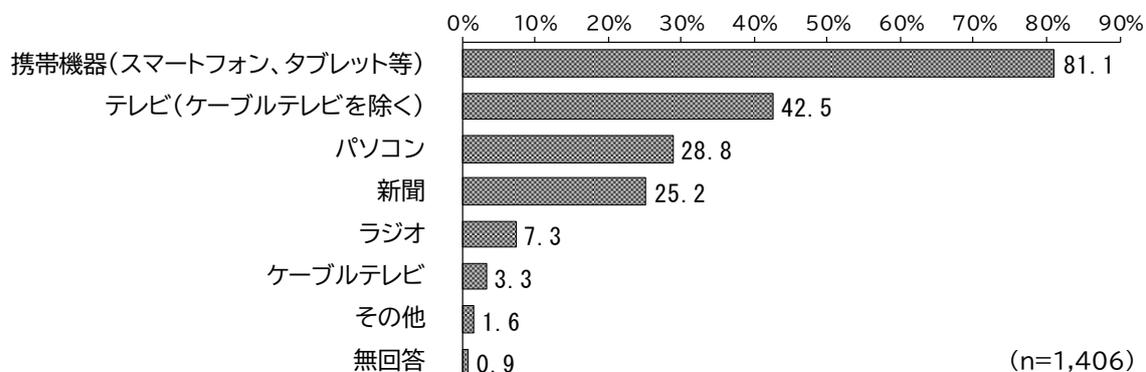
### (1) 情報を入力するためによく利用するもの

情報入手は、「携帯機器（スマートフォン、タブレット等）」の利用が8割超

**【問4】 普段、情報を入力するためによく利用する情報媒体は何ですか。(〇はいくつでも)**

情報を入力するためによく使われているのは、「携帯機器（スマートフォン、タブレット等）」(81.1%)で最も高く、次ぐ「テレビ（ケーブルテレビを除く）」(42.5%)までは4割を超え、これらの情報媒体が広く利用されている。以下、「パソコン」(28.8%)、「新聞」(25.2%)が2割を超えている。

「その他」については、「広報紙」(11件)などが挙げられている。



図Ⅲ－23 情報を入力するためによく利用するもの

表Ⅲ－3 「その他」の内容

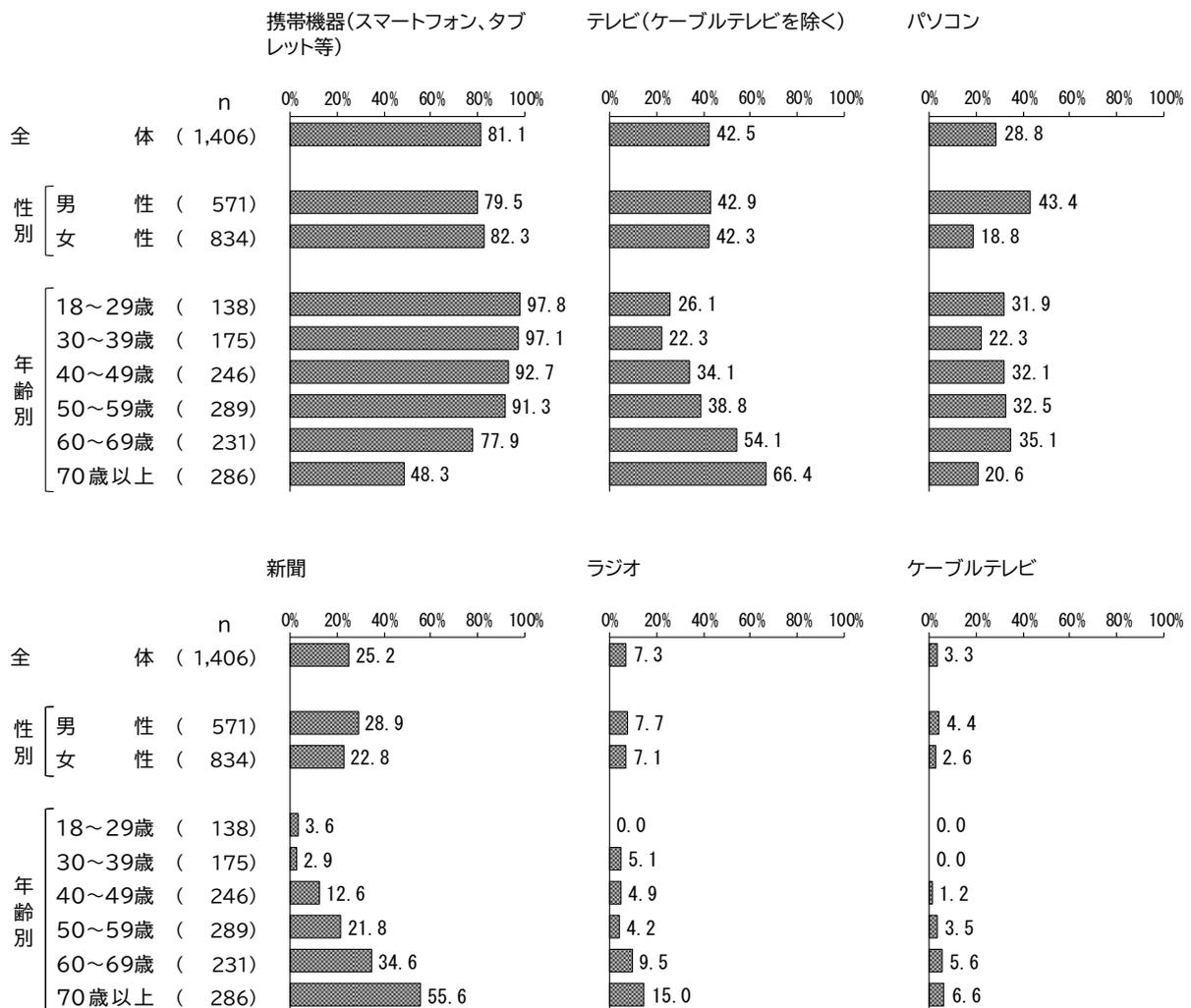
「その他」の内容	件数
広報紙	11
近所・知人からの口コミ	2
チラシ・フリーペーパー	2
myふなばし	1
学校からの手紙	1
地域新聞	1
町会からの回覧物	1
特になし	1
(記載なし)	3
合 計	23

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「携帯機器（スマートフォン、タブレット等）」では、女性（82.3%）の割合が、「パソコン」、「新聞」では男性（43.4%、28.9%）の割合が高くなっている。

年齢別にみると、「携帯機器（スマートフォン、タブレット等）」の割合は、年齢が下がるに従い高くなっており、最も高い18～29歳（97.8%）と最も低い70歳以上（48.3%）に49.5ポイントの差が見られるが、70歳以上でも5割弱の人が利用している。

一方、「テレビ（ケーブルテレビを除く）」、「新聞」の割合は、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、「新聞」においては、最も低い30～39歳（2.9%）と最も高い70歳以上（55.6%）に52.7ポイントの差がある。



図Ⅲ－２４ 情報入手するためによく利用するもの（性別／年齢別）

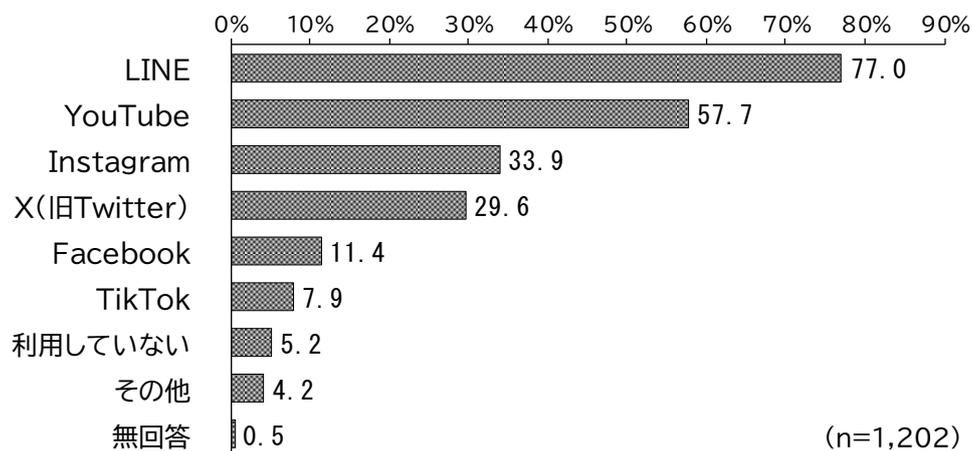
(1-1) よく利用するソーシャルメディア系サービス・アプリ

「LINE」をよく利用する人は8割近い
(問4で「1. パソコン」または「2. 携帯機器(スマートフォン、タブレット等)」とお答えの方)
【問4-1】普段よく利用(閲覧)するソーシャルメディア系サービス・アプリは何ですか。(〇はいくつでも)

情報を入手するためによく利用する情報媒体でパソコンまたは携帯機器(スマートフォン、タブレット等)と答えた人(1,202人)に、普段よく利用(閲覧)するソーシャルメディア系サービス・アプリについて聞いたところ、「LINE」の割合が77.0%と最も高く8割近い人が利用している。

次いで、「YouTube」(57.7%)、「Instagram」(33.9%)、「X(旧Twitter)」(29.6%)、「Facebook」(11.4%)と続いている。

「その他」については、「Yahoo・Yahoo!ニュース」(20件)などが挙がっている。



図Ⅲ-25 よく利用するソーシャルメディア系サービス・アプリ

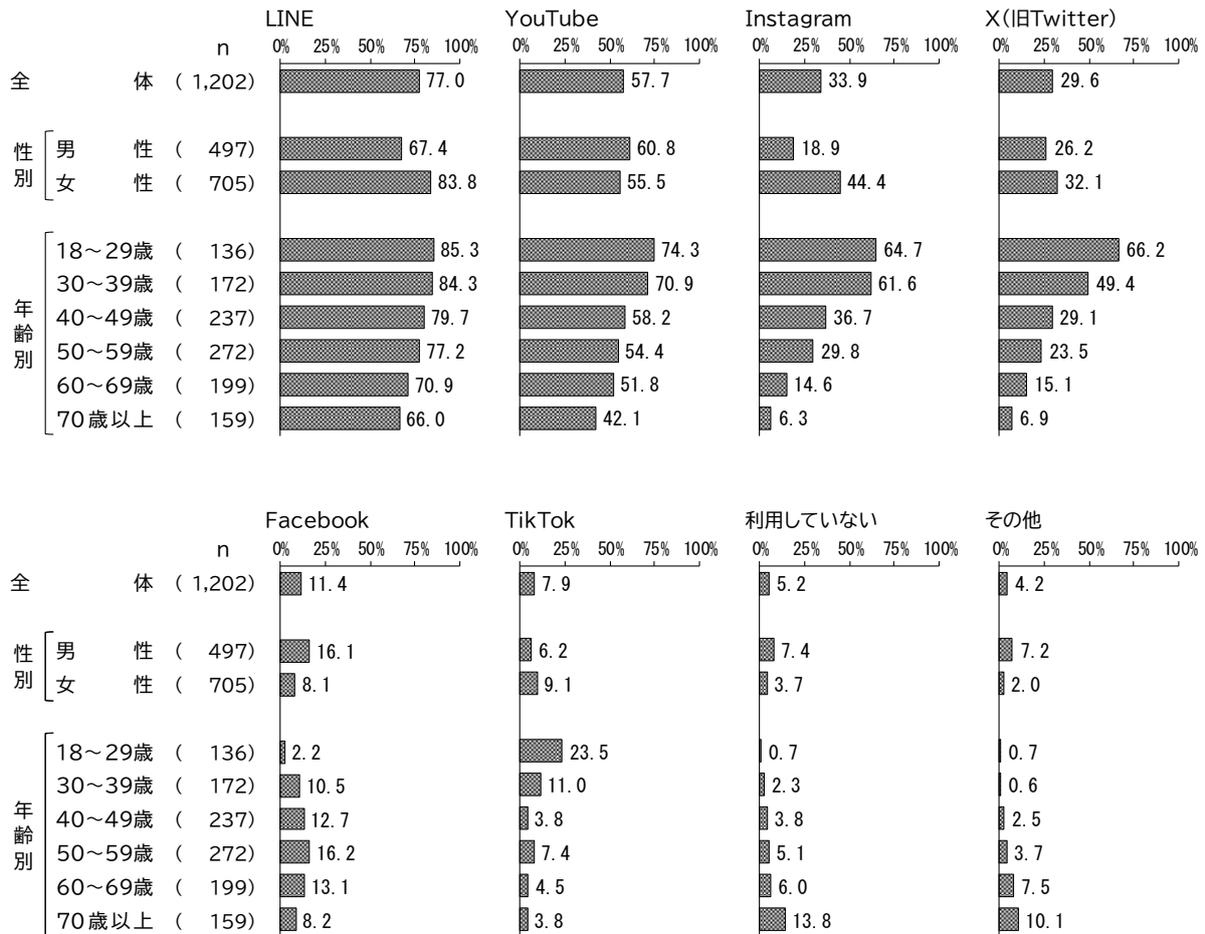
表Ⅲ-4 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
Yahoo・Yahoo!ニュース	20
Google	9
NETニュース・WEBニュース	5
SmartNews	3
その他	12
(記載なし)	4
合計	53

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「LINE」、「Instagram」、「X (旧 Twitter)」では、女性 (83.8%、44.4%、32.1%) の割合が、男性 (67.4%、18.9%、26.2%) に比べて高く、「YouTube」と「Facebook」では、男性 (60.8%、16.1%) の割合が、女性 (55.5%、8.1%) に比べて高くなっている。

年齢別にみると、「Facebook」を除く全てのソーシャルメディア系サービス・アプリで、年齢が下がるに従い割合が高くなる傾向が見られ、18～29歳では「LINE」、「YouTube」、「Instagram」、「X (旧 Twitter)」の割合が 85.3%、74.3%、64.7%、66.2%と 6 割を超えている。



図Ⅲ－２６ よく利用するソーシャルメディア系サービス・アプリ（性別／年齢別）

## (2) 市の事業やイベント情報などの入手方法

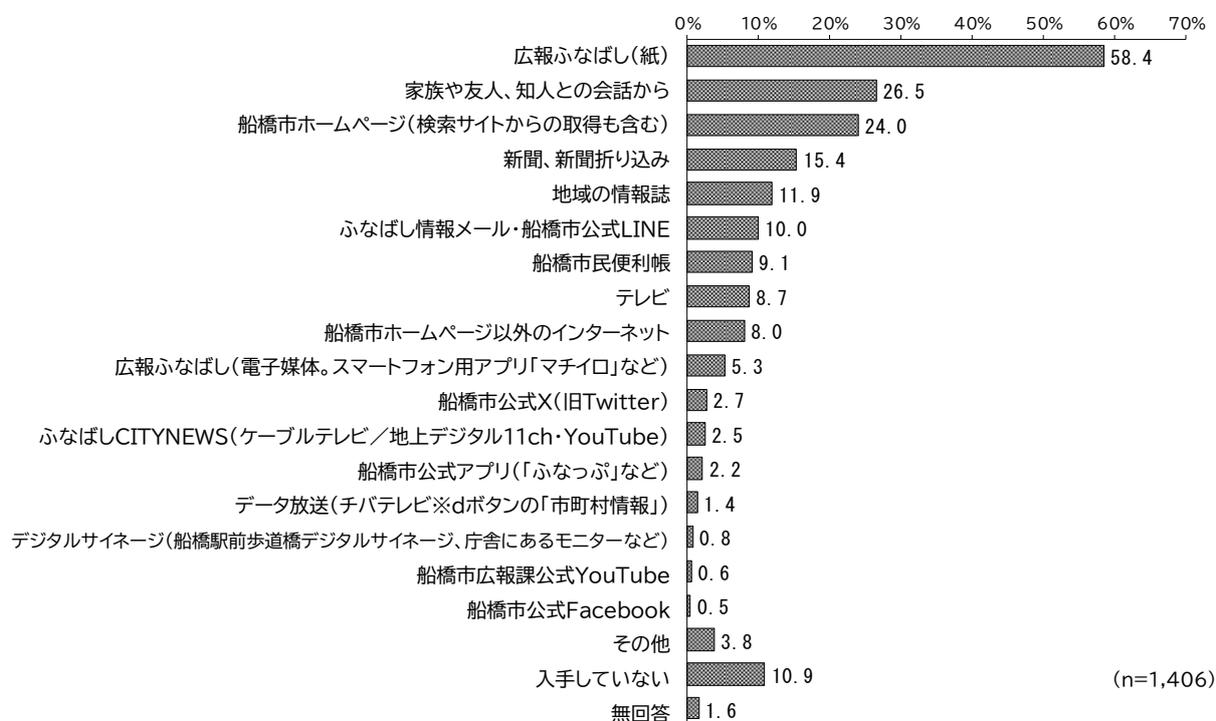
「広報ふなばし（紙）」から情報を得ている人は6割弱

**【問5】 普段、市の事業やイベント情報などをどこから入手していますか。  
（〇はいくつでも）**

市の事業やイベント情報などを得る手段として、「広報ふなばし（紙）」の割合は、58.4%と最も高く6割弱に達している。

次いで、「家族や友人、知人との会話から」（26.5%）、「船橋市ホームページ（検索サイトからの取得も含む）」（24.0%）、「新聞、新聞折り込み」（15.4%）、「地域の情報誌」（11.9%）と続いている。

「その他」については、「学校・幼稚園・保育園等での配布物」（15件）などが挙げられている。



図Ⅲ－27 市の事業やイベント情報などの入手方法

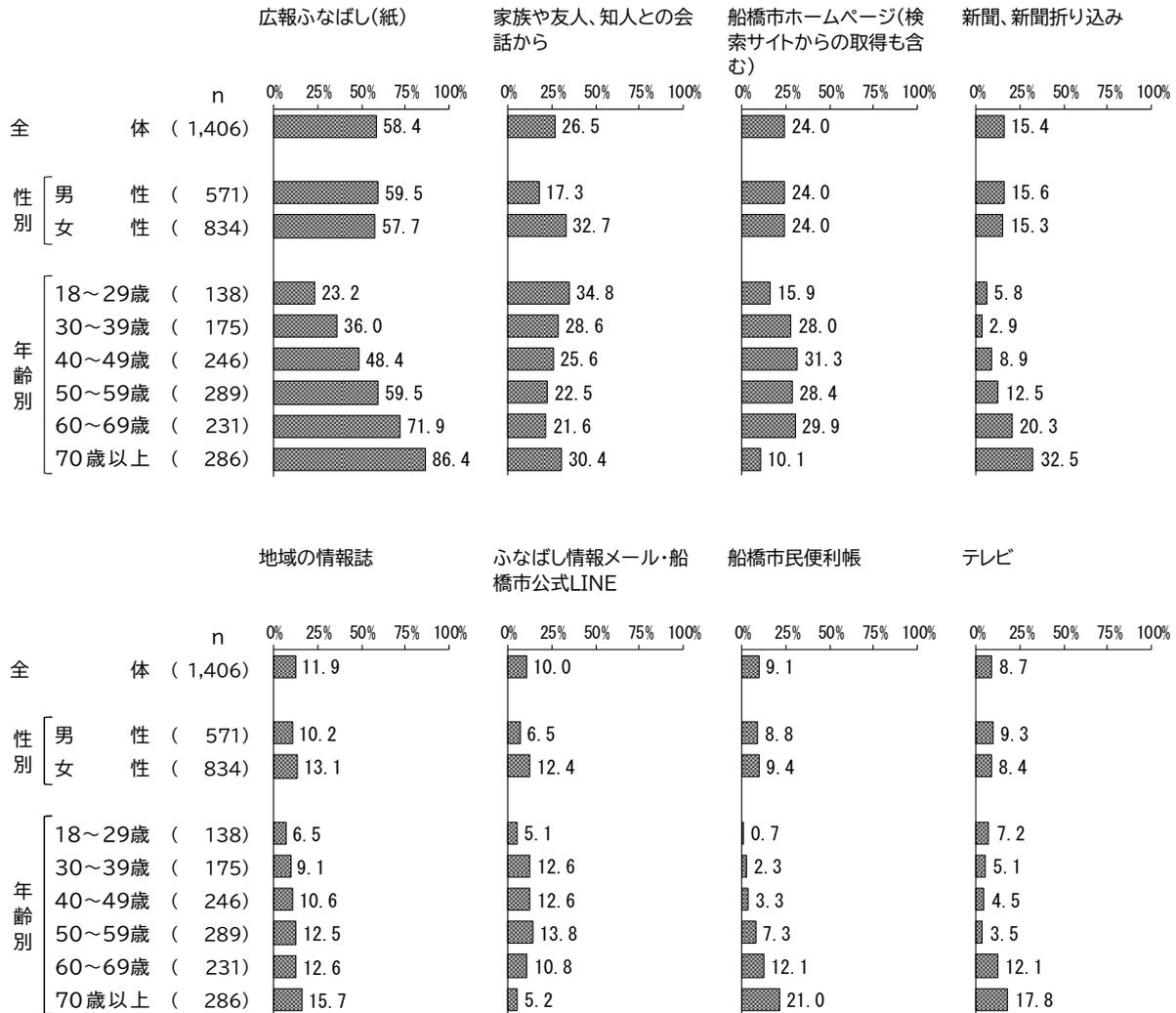
表Ⅲ－5 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
学校・幼稚園・保育園等での配布物	15
町会・自治会・マンションの掲示板、回覧板、配布物	12
街なかでの掲示物、看板、配布物	11
SNSやアプリ、ホームページ検索	3
Myふなばし・船橋つうしん・Mamachi	3
地域新聞	2
ふなばし情報メール	2
その他	3
(記載なし)	5
合 計	56

【性別／年齢別】（上位8項目）

性別で比較すると、「家族や友人、知人との会話から」では、女性（32.7%）の割合が、男性（17.3%）に比べ15.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報ふなばし（紙）」、「新聞、新聞折り込み」、「船橋市民便利帳」、「地域の情報誌」といった紙媒体の割合は年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、70歳以上では86.4%、32.5%、21.0%、15.7%と最も高くなっている。



図Ⅲ-28 市の事業やイベント情報などの入手方法 上位8項目（性別／年齢別）

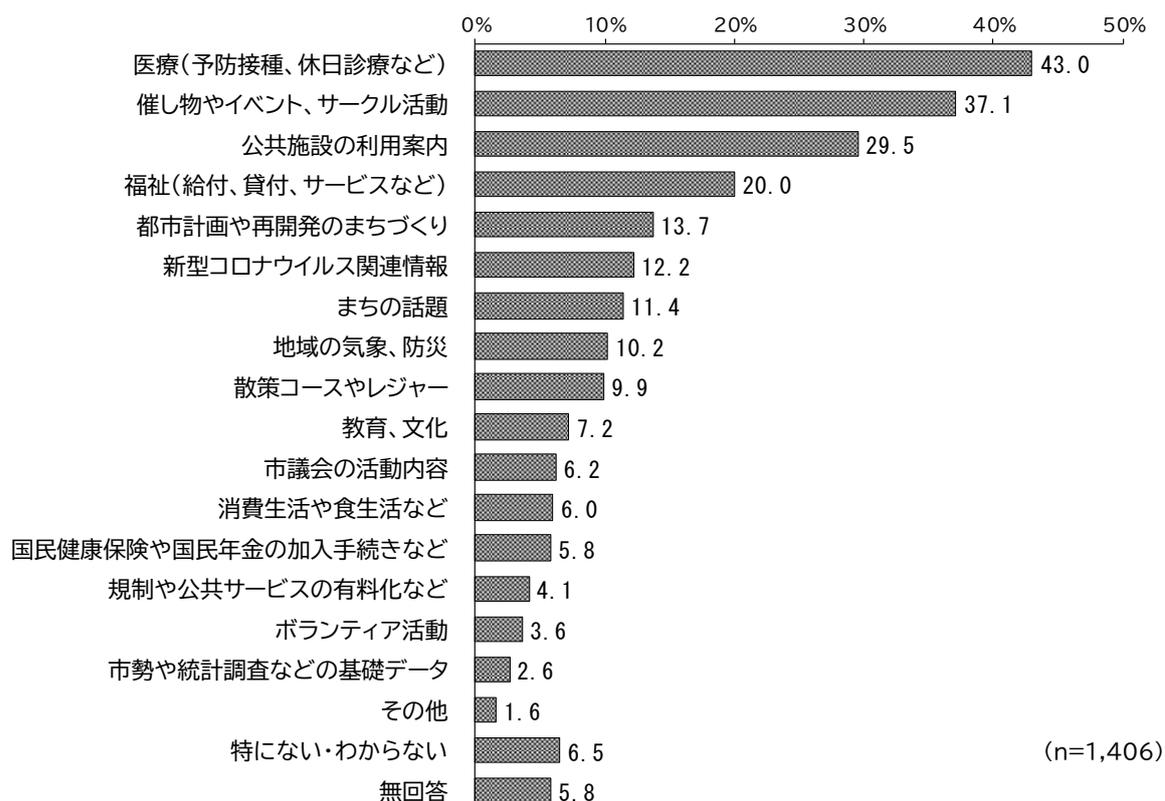
### (3) 広報紙やホームページで知りたい情報

知りたい情報は、「医療（予防接種、休日診療など）」が4割超

#### 【問6】 広報紙やホームページで知りたい情報は何ですか。（〇は3つまで）

広報紙やホームページで知りたい情報として、「医療（予防接種、休日診療など）」（43.0%）が最も高く、次いで、「催し物やイベント、サークル活動」（37.1%）、「公共施設の利用案内」（29.5%）、「福祉（給付、貸付、サービスなど）」（20.0%）と続いている。

「その他」については、「助成金・補助金に関する情報」（8件）などが挙がっている。



図Ⅲ－２９ 広報紙やホームページで知りたい情報

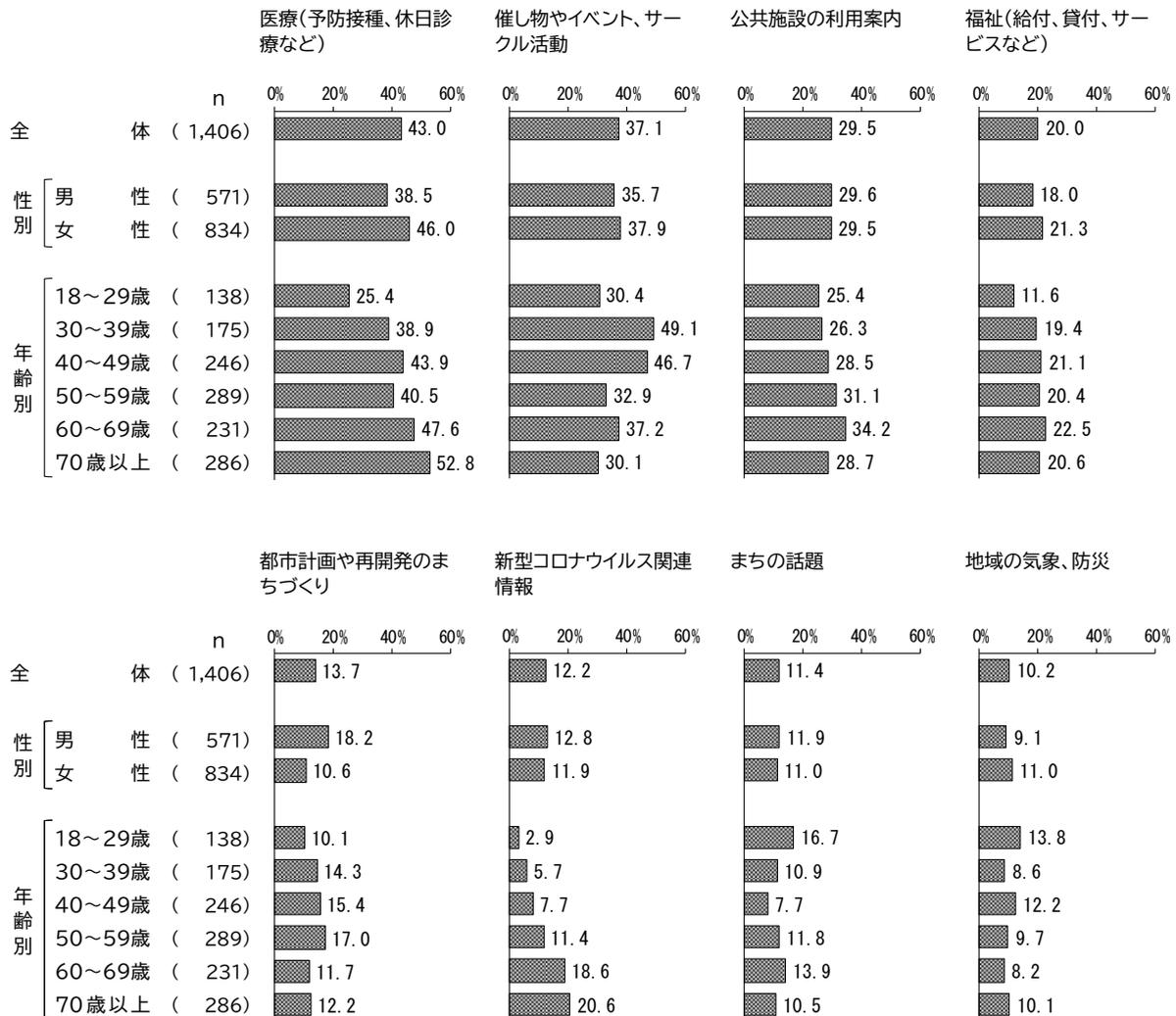
表Ⅲ－６ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
助成金・補助金に関する情報	8
子育てに関する情報	3
職員募集・仕事募集	2
ゴミの分別・収集関係の情報	2
その他	9
合計	24

【性別／年齢別】（上位8項目）

性別で比較すると、「医療（予防接種、休日診療など）」は、女性（46.0%）が男性（38.5%）より、7.5ポイント高い。一方、「都市計画や再開発のまちづくり」は、男性（18.2%）が女性（10.6%）より7.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「医療（予防接種、休日診療など）」では、40歳以上の全ての年齢で4割を超え、「催し物やイベント、サークル活動」は、30～39歳と40～49歳の年齢で4割を超えている。また、「新型コロナウイルス関連情報」は、年齢が上がるに従い高くなり、70歳以上では20.6%と最も高くなっている。



図Ⅲ－30 広報紙やホームページで知りたい情報 上位8項目（性別／年齢別）

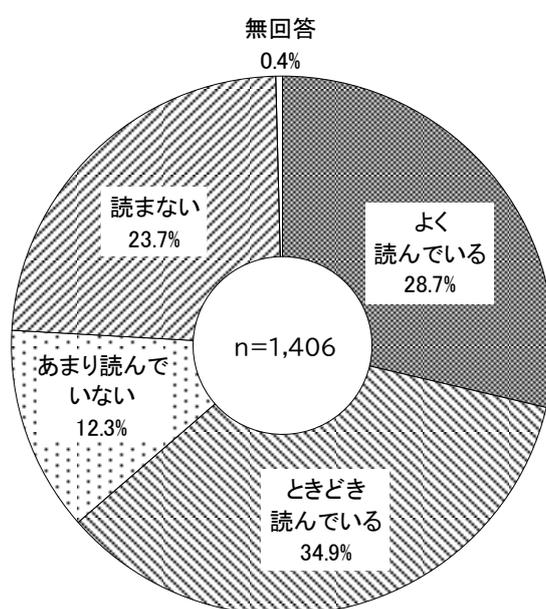
(4) 「広報ふなばし」の閲読状況

『読んでいる人』は6割超

【問7】「広報ふなばし」を読んでいますか。次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

「広報ふなばし」を読んでいるかについて聞いたところ、「よく読んでいる」(28.7%)と「ときどき読んでいる」(34.9%)を合わせた『読んでいる人』の割合は、63.6%と6割を超えている。

一方、「あまり読んでいない」(12.3%)と「読まない」(23.7%)を合わせた『読まない人』の割合は、36.0%で3割を超えている。

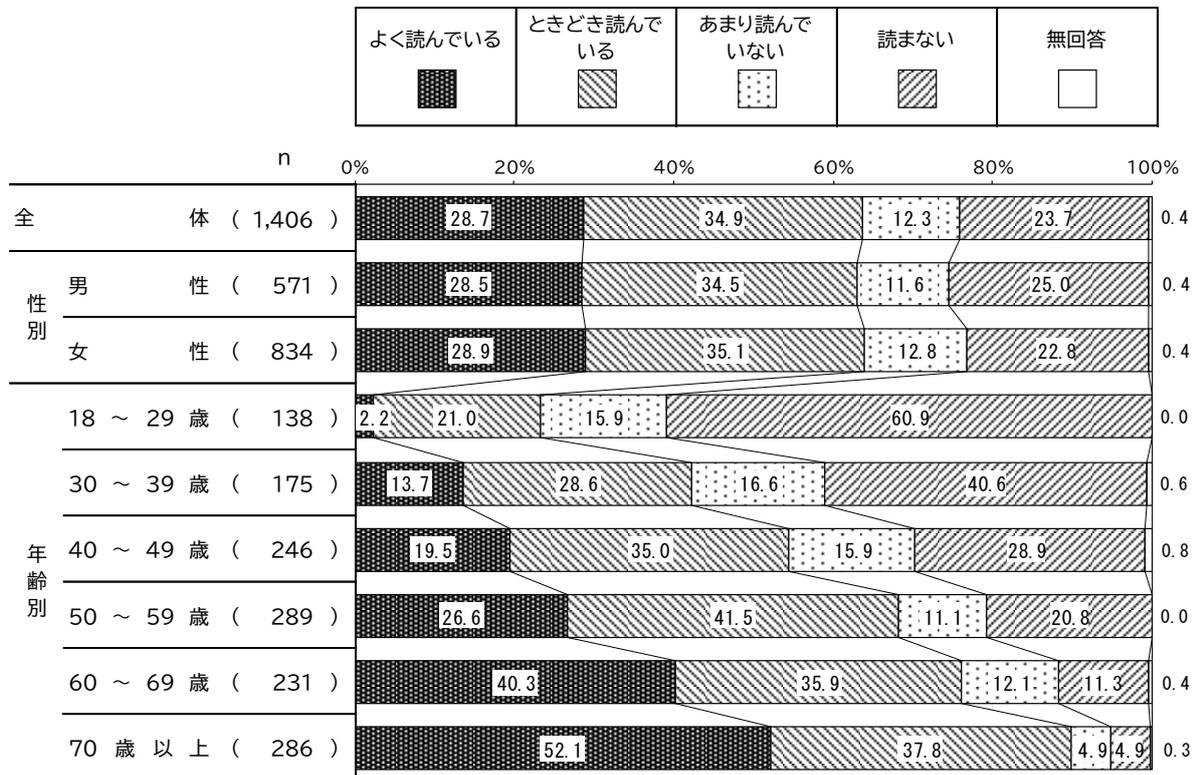


図Ⅲ-31 「広報ふなばし」の閲読状況

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「よく読んでいる」の割合は、男性（28.5%）、女性（28.9%）とほとんど変わらない。

年齢別にみると、年齢が上がるに従い「よく読んでいる」と「ときどき読んでいる」を合わせた『読んでいる人』の割合が高くなっており、割合が最も低い18～29歳（23.2%）と最も高い70歳以上（89.9%）には66.7ポイントの差がある。



図Ⅲ－32 「広報ふなばし」の閲読状況（性別／年齢別）

(4-1) 「広報ふなばし」の入手方法

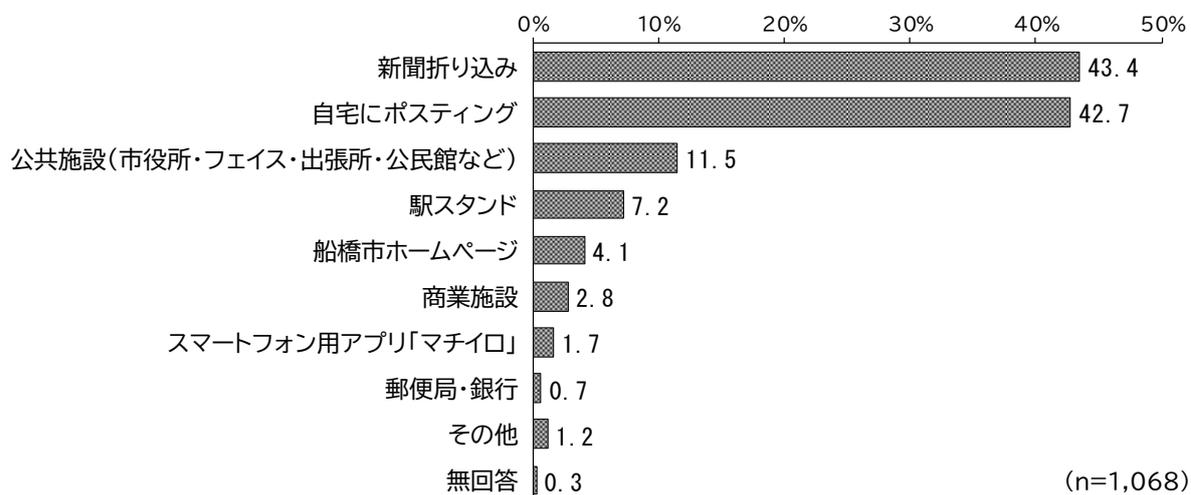
「広報ふなばし」の入手方法は、「新聞折り込み」が4割超

(問7で「1~3」とお答えの方)

【問7-1】「広報ふなばし」をどこで入手していますか。次の中からすべて選んでください。(〇はいくつでも)

「広報ふなばし」を「よく読んでいる」または「ときどき読んでいる」、「あまり読んでいない」と答えた人(1,068人)に、その入手方法を聞いたところ、「新聞折り込み」が43.4%で最も高く、次いで、「自宅にポスティング」(42.7%)までが4割を超え、次いで、「公共施設(市役所・フェイス・出張所・公民館など)」(11.5%)と続き、これら以外の入手方法は全て1割未満となっている。

「その他」については、「郵送・配達」(3件)などが挙げられている。



図Ⅲ-33 「広報ふなばし」の入手方法

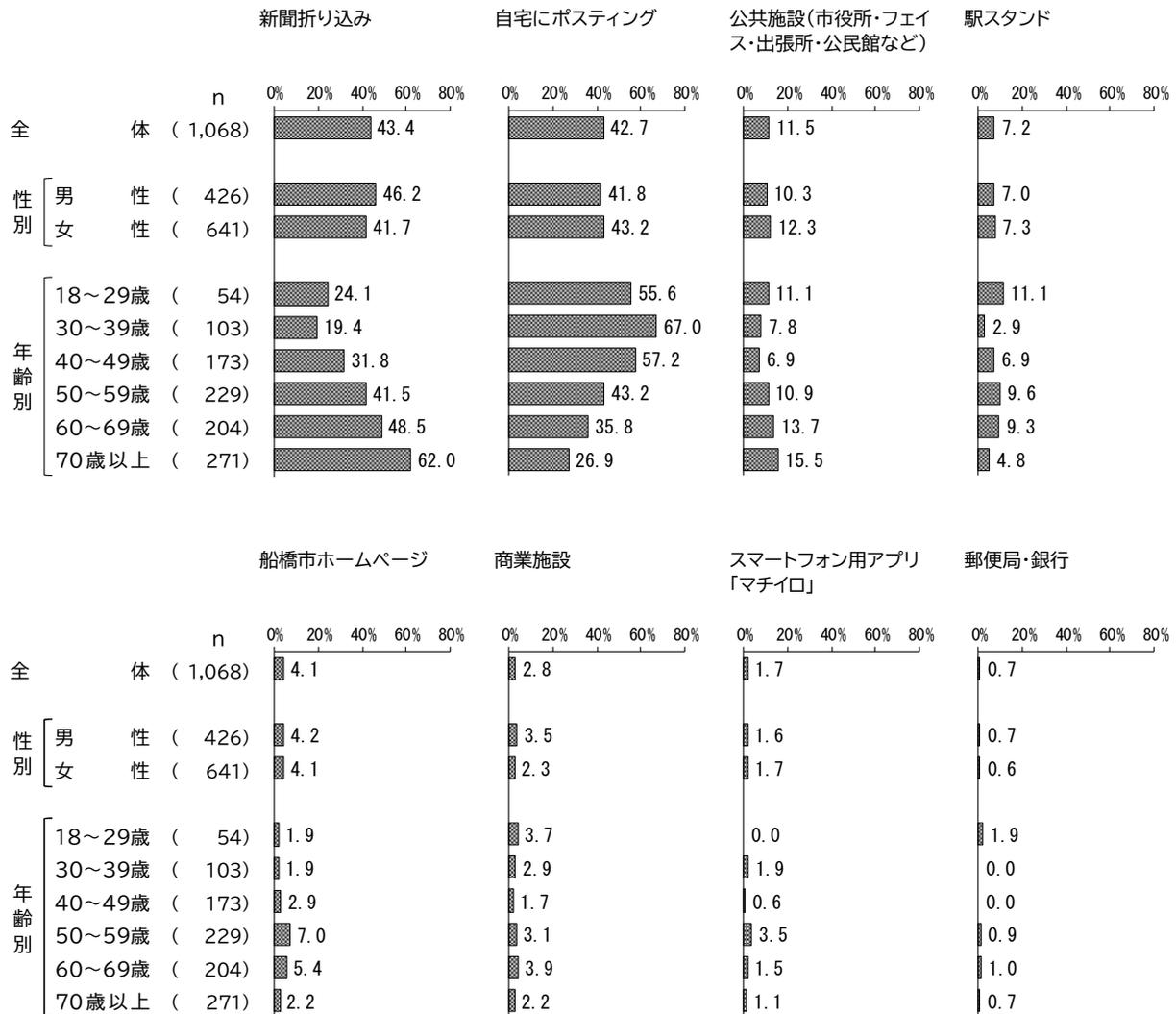
表Ⅲ-7 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
郵送・配達	3
ポスティング	2
職場・仕事先	2
実家	2
町会	2
学校	2
合計	13

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「新聞折り込み」では、男性（46.2%）が女性（41.7%）より4.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「新聞折り込み」では、30～39歳からは年齢が上がるに従い割合が高くなっており、割合が最も低い30～39歳（19.4%）と最も高い70歳以上（62.0%）には42.6ポイントの差がある。一方、「自宅にポスティング」では、30～39歳までは年齢が下がるに従い割合が高くなっており、割合が最も低い70歳以上（26.9%）と最も高い30～39歳（67.0%）には40.1ポイントの差がある。



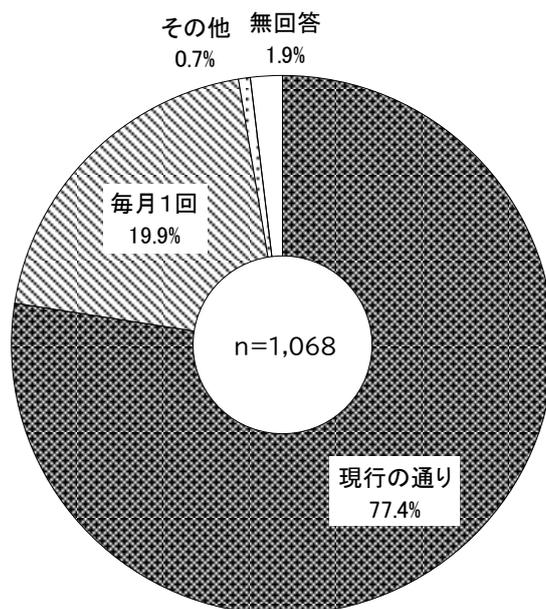
図Ⅲ－34 「広報ふなばし」の入手方法（性別／年齢別）

(4-2) 「広報ふなばし」の発行回数

「現行の通り」が8割近く

【問7-2】「広報ふなばし」は月2回（1日・15日）発行しています。発行回数で好ましいものを、次の中から1つ選んでください。（○は1つ）

「広報ふなばし」を「よく読んでいる」または「ときどき読んでいる」、「あまり読んでいない」と答えた人（1,068人）に、好ましい発行回数を聞いたところ、「現行の通り」が77.4%、「毎月1回」が19.9%となっている。



図Ⅲ-35 「広報ふなばし」の発行回数

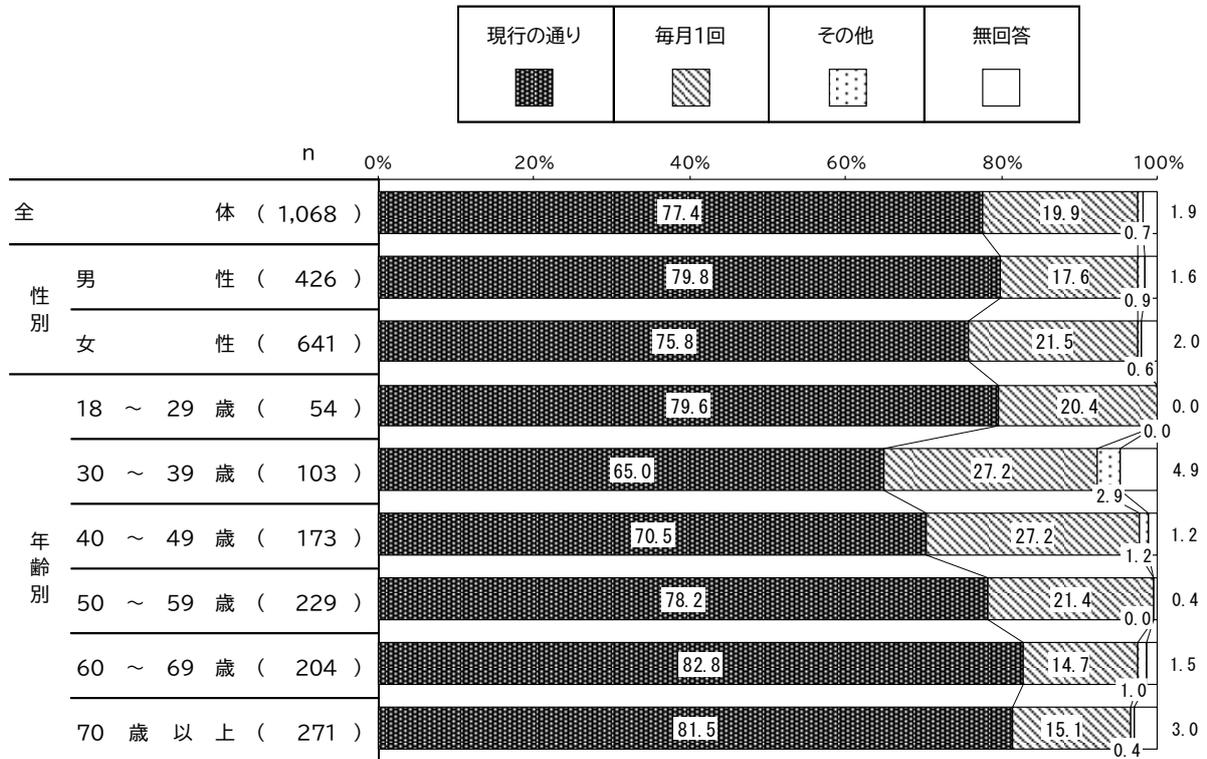
表Ⅲ-8 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
月に3回	1
隔月	1
3カ月に1回	1
原則月1回及び重大情報のあるときの号外	1
必要な時	1
どちらでもよい	1
紙媒体は不要	1
(記載なし)	1
合計	8

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「現行の通り」は、男性（79.8%）が女性（75.8%）より 4.0 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「現行の通り」の割合が最も低い 30～39 歳（65.0%）と最も高い 60～69 歳（82.8%）には 17.8 ポイントの差がある。



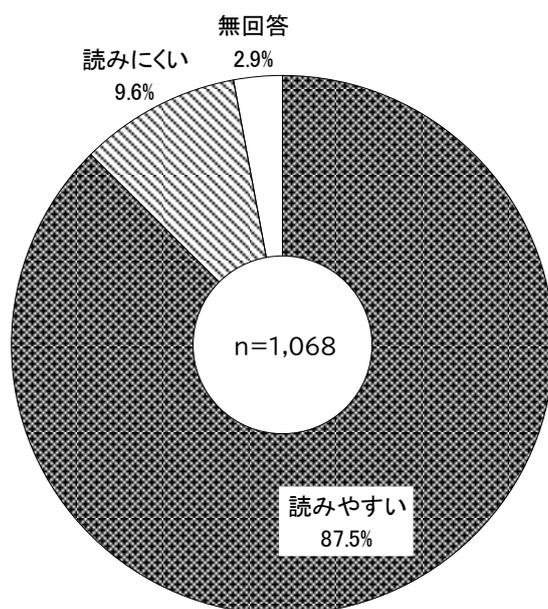
図Ⅲ－36 「広報ふなばし」の発行回数（性別／年齢別）

(4-3) 「広報ふなばし」の読みやすさ

「読みやすい」が9割近く

【問7-3】「広報ふなばし」は読みやすいですか。次の中から1つ選んでください。  
(○は1つ)

「広報ふなばし」を「よく読んでいる」または「ときどき読んでいる」、「あまり読んでいない」と答えた人(1,068人)に、読みやすさを聞いたところ、「読みやすい」が87.5%、「読みにくい」が9.6%となっている。

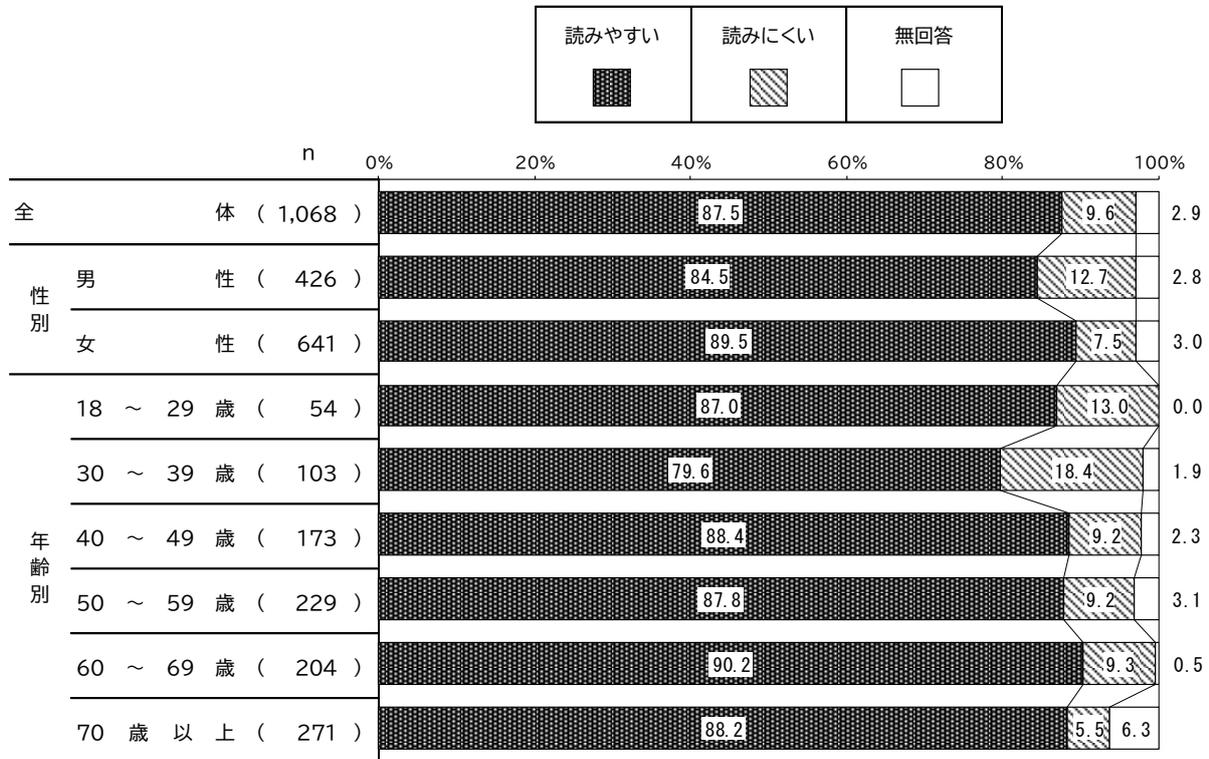


図Ⅲ-37 「広報ふなばし」の読みやすさ

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「読みにくい」は、男性（12.7%）が女性（7.5%）より 5.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「読みやすい」の割合が最も低い 30～39 歳（79.6%）と最も高い 60～69 歳（90.2%）には 10.6 ポイントの差がある。



図Ⅲ－38 「広報ふなばし」の読みやすさ（性別／年齢別）

(4-4) 「広報ふなばし」を読まない理由

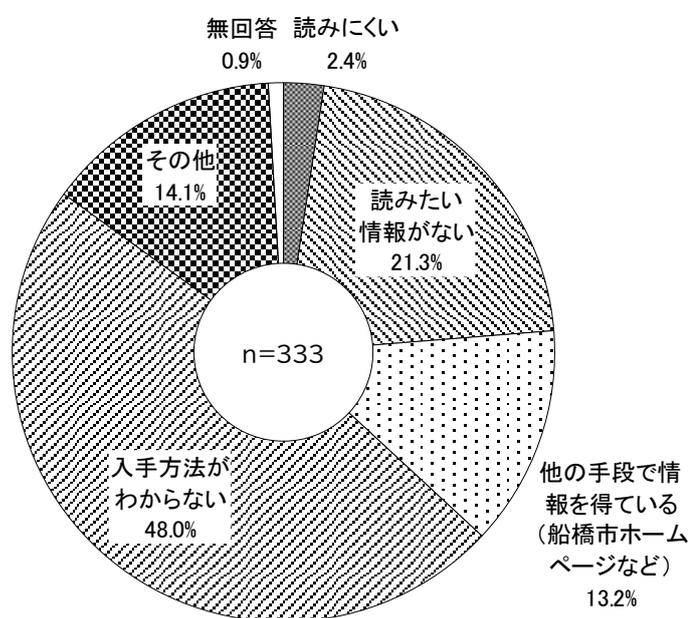
読まない理由は、「入手方法がわからない」が5割弱

(問7で「4. 読まない」とお答えの方)

【問7-4】「広報ふなばし」を読まない理由を次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

「広報ふなばし」を「読まない」と答えた人(333人)に、読まない理由を聞いたところ、「入手方法がわからない」が48.0%で最も高く、次いで、「読みたい情報がない」(21.3%)、「他の手段で情報を得ている(船橋市ホームページなど)」(13.2%)と続いている。

「その他」については、「興味・関心がないから、読む気がしないから」(19件)などが挙げられている。



図Ⅲ-39 「広報ふなばし」を読まない理由

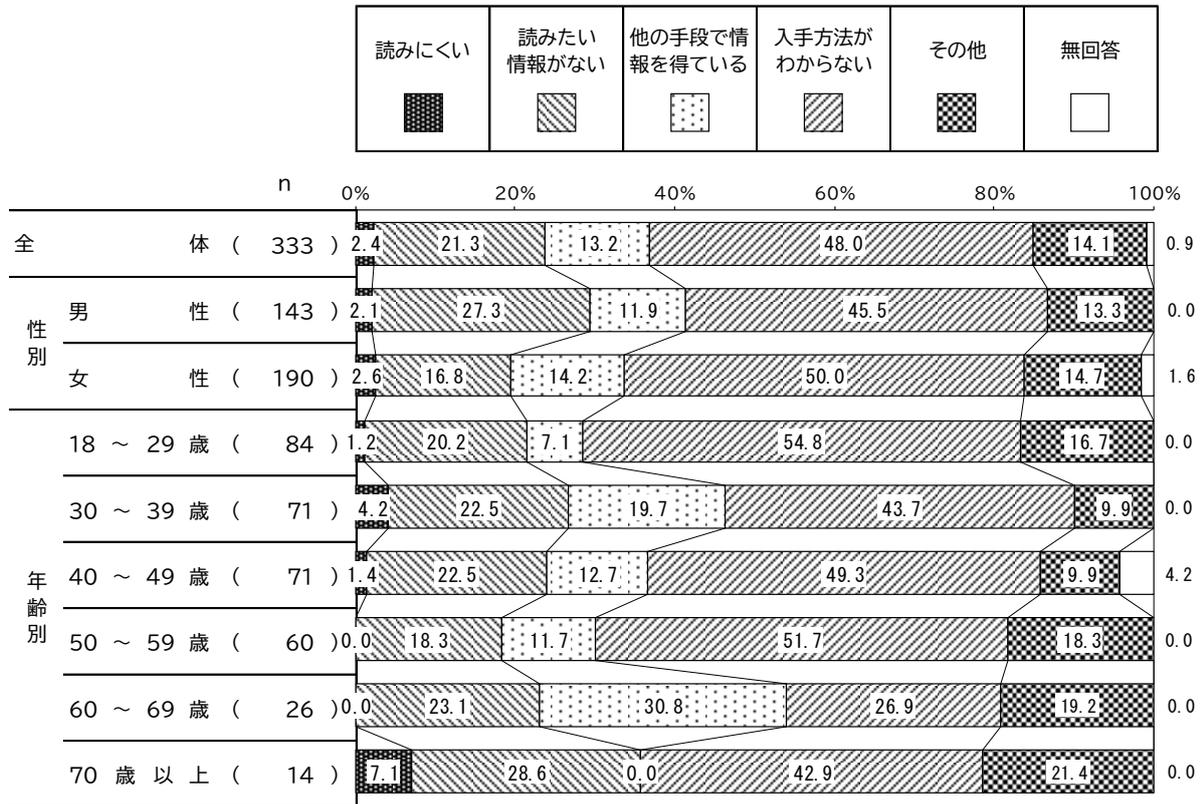
表Ⅲ-9 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
興味・関心がないから、読む気がしないから	19
新聞をとっていないから・新聞購読を止めたから・ポスティングされないから	7
読む機会・タイミング・時間がないから	5
「広報ふなばし」を知らないから	5
入手するのが面倒くさいから・わざわざ入手できる場所に行かないから	4
特に理由はなし	2
その他	3
(記載なし)	3
合計	48

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「読みたい情報がない」は、男性（27.3%）が女性（16.8%）より 10.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「入手方法がわからない」は、最も低い 60～69 歳（26.9%）と最も高い 18～29 歳（54.8%）には 27.9 ポイントの差があり、「他の手段で情報を得ている」は、最も低い 70 歳以上（0.0%）と最も高い 60～69 歳（30.8%）には 30.8 ポイントの差がある。



図Ⅲ－４０ 「広報ふなばし」を読まない理由（性別／年齢別）

(4-5) 「広報ふなばし」が読みにくい理由

読みにくい理由は、「興味のある情報・記事がない、少ない、つまらない」、「文字・活字が小さすぎる」が多い

(問7-3で「2. 読みにくい」または 問7-4で「1. 読みにくい」とお答えの方)

【問7-5】読みにくいとされた具体的な理由をご自由にお書きください。

「広報ふなばし」を「読みにくい」と答えた人(110人)に、読みにくい具体的な理由について自由意見を聞いたところ、「興味のある情報・記事がない、少ない、つまらない」(22件)が最も多く、次いで、「文字・活字が小さすぎる」(17件)、「ページ・記事・情報が多すぎる、ごちゃごちゃしている」、「情報がわかりにくい、必要な情報が探しにくい、要点がわからない」(ともに12件)、「レイアウト・段組み・配置がよくない」(10件)と続いている。

表Ⅲ-10 「広報ふなばし」が読みにくい理由の内容

「広報ふなばし」が読みにくい理由の内容	件数
興味のある情報・記事がない、少ない、つまらない	22
文字・活字が小さすぎる	17
ページ・記事・情報が多すぎる、ごちゃごちゃしている	12
情報がわかりにくい、必要な情報が探しにくい、要点がわからない	12
レイアウト・段組み・配置がよくない	10
文字・活字が多すぎる	5
色の使い方がよくない・フルカラーでない	5
見出しがわかりにくい、見出しが見にくい	4
図・写真が少ない	2
その他	9
(記載なし)	35
合 計	133

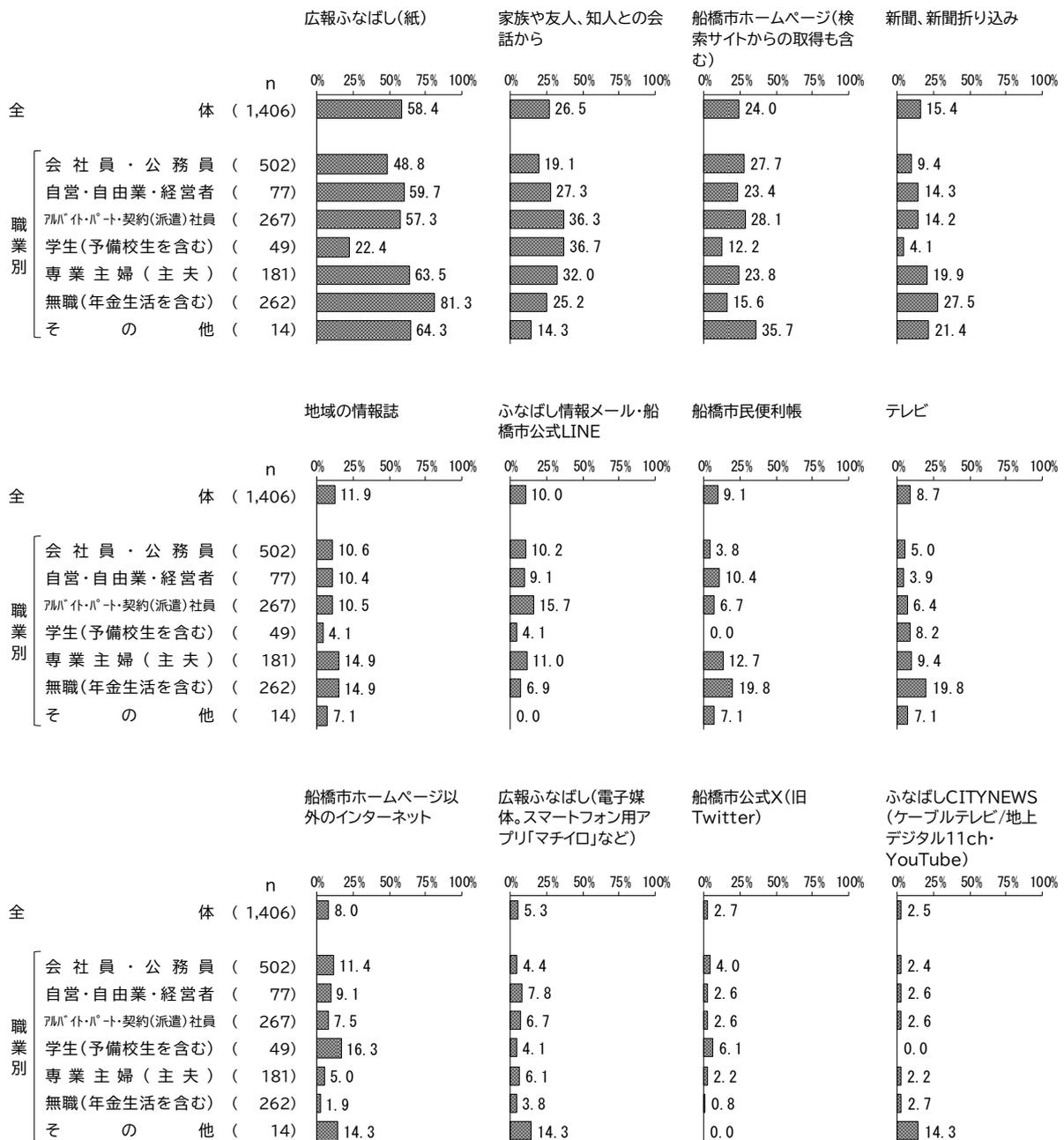
(5) 「広報活動」概観

市の事業やイベント情報などを得る手段は、職業によって大きな差がある

市の事業やイベント情報などを得る手段については、全体、性別、年齢別に比較しているが、ここでは、職業別の区分間で差が見られる項目を挙げる。

※「農業・漁業」はn数が4、「家族従業（農業・漁業を除く）」はn数が5と少ないため掲載せず

職業別にみると、「広報ふなばし（紙）」では、無職（年金生活を含む）（81.3%）、専業主婦（主夫）（63.5%）の割合が高くなっている。「家族や友人、知人との会話から」では、学生（予備校生を含む）（36.7%）、アルバイト・パート・契約（派遣）社員（36.3%）の割合が、「船橋市ホームページ（検索サイトからの取得も含む）」では、アルバイト・パート・契約（派遣）社員（28.1%）、会社員・公務員（27.7%）の割合が高くなっている。



図Ⅲ-41 市の事業やイベント情報などの入手方法 上位12項目（職業別）

### 3. 「健康診査および健康意識」について

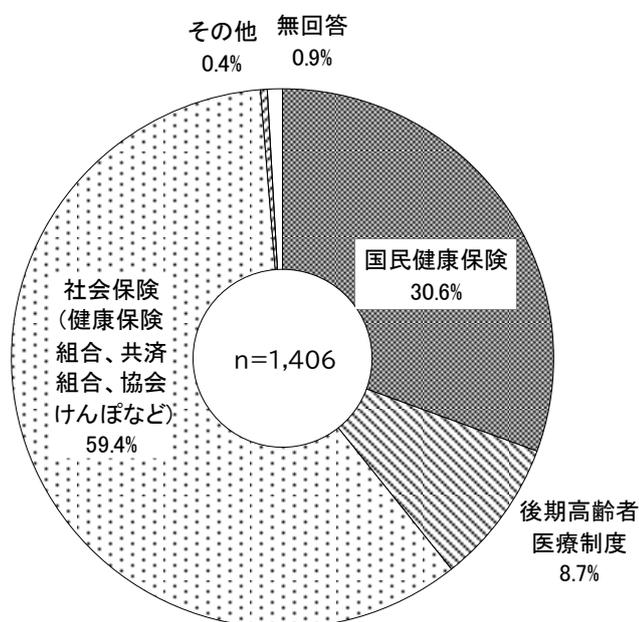
#### (1) 加入している健康保険

「社会保険」が6割弱

【問8】現在ご加入の健康保険は何ですか。次の中から、1つだけ選んでください。  
(〇は1つ)

現在加入している健康保険について聞いたところ、「社会保険（健康保険組合、共済組合、協会けんぽなど）」が59.4%で最も高く、次いで、「国民健康保険」（30.6%）、「後期高齢者医療制度」（8.7%）となっている。

「その他」については、「生活保護受給」（4件）が挙がっている。



図Ⅲ－4 2 加入している健康保険

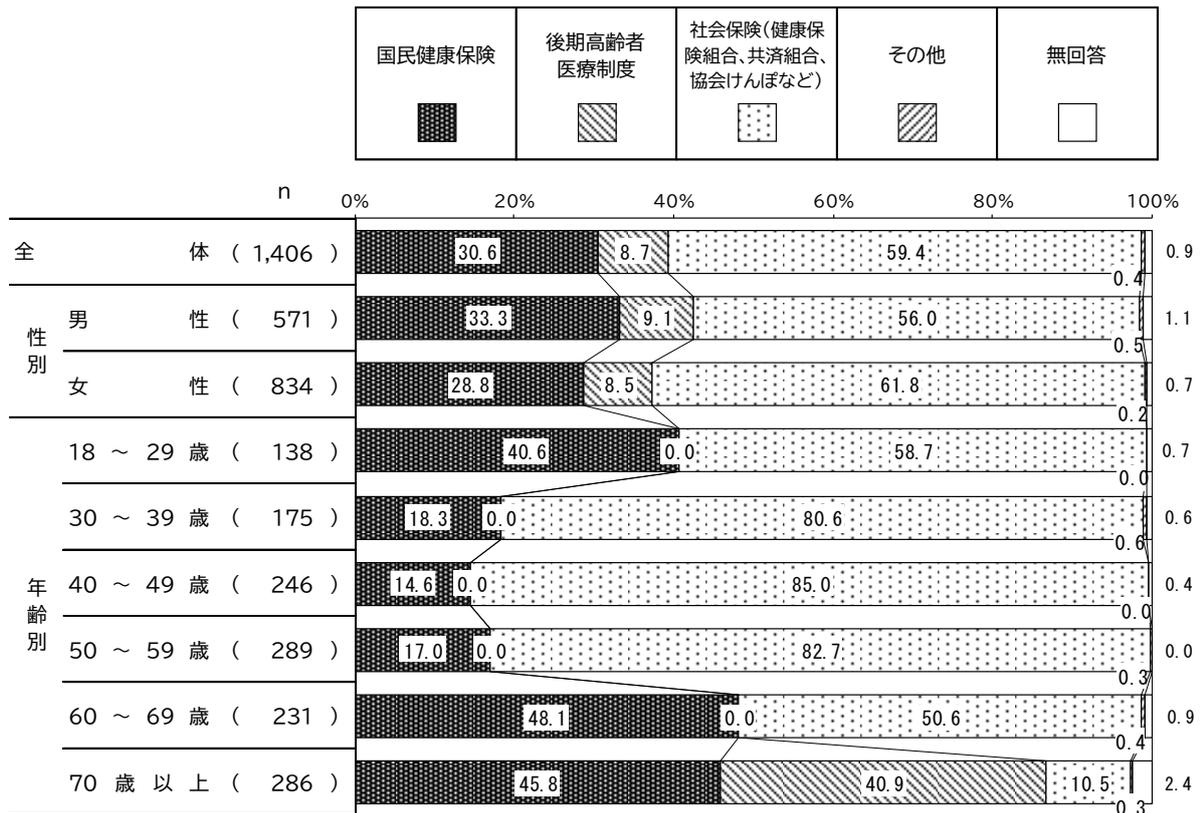
表Ⅲ－1 1 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
生活保護受給	4
(記載なし)	1
合 計	5

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「社会保険（健康保険組合、共済組合、協会けんぽなど）」では、女性（61.8%）が男性（56.0%）より 5.8 ポイント高く、「国民健康保険」では、男性（33.3%）が女性（28.8%）より 4.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「社会保険（健康保険組合、共済組合、協会けんぽなど）」では、30～39 歳（80.6%）、40～49 歳（85.0%）、50～59 歳（82.7%）と 8 割を超えており、「国民健康保険」では、18～29 歳（40.6%）、60～69 歳（48.1%）、70 歳以上（45.8%）と 4 割を超えている。



図Ⅲ－43 加入している健康保険（性別／年齢別）

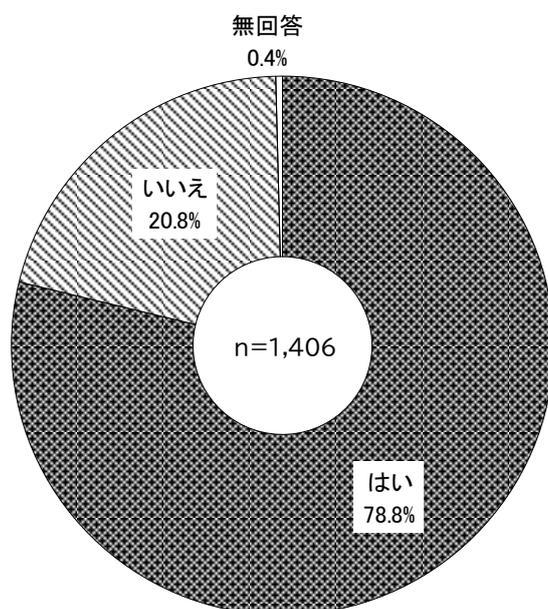
## (2) 健康診査・人間ドックの受診状況

過去3年以内に健康診査・人間ドックを受診した人は8割弱

【問9】過去3年以内で、健康診査・人間ドック（がん検診を除く）を一度でも受診したことがありますか。（○は1つ）

過去3年以内に、がん検診を除く健康診査・人間ドックを一度でも受診したことがあるかについて聞いたところ、「はい」の割合は、78.8%となっている。

一方、「いいえ」の割合は、20.8%となっている。

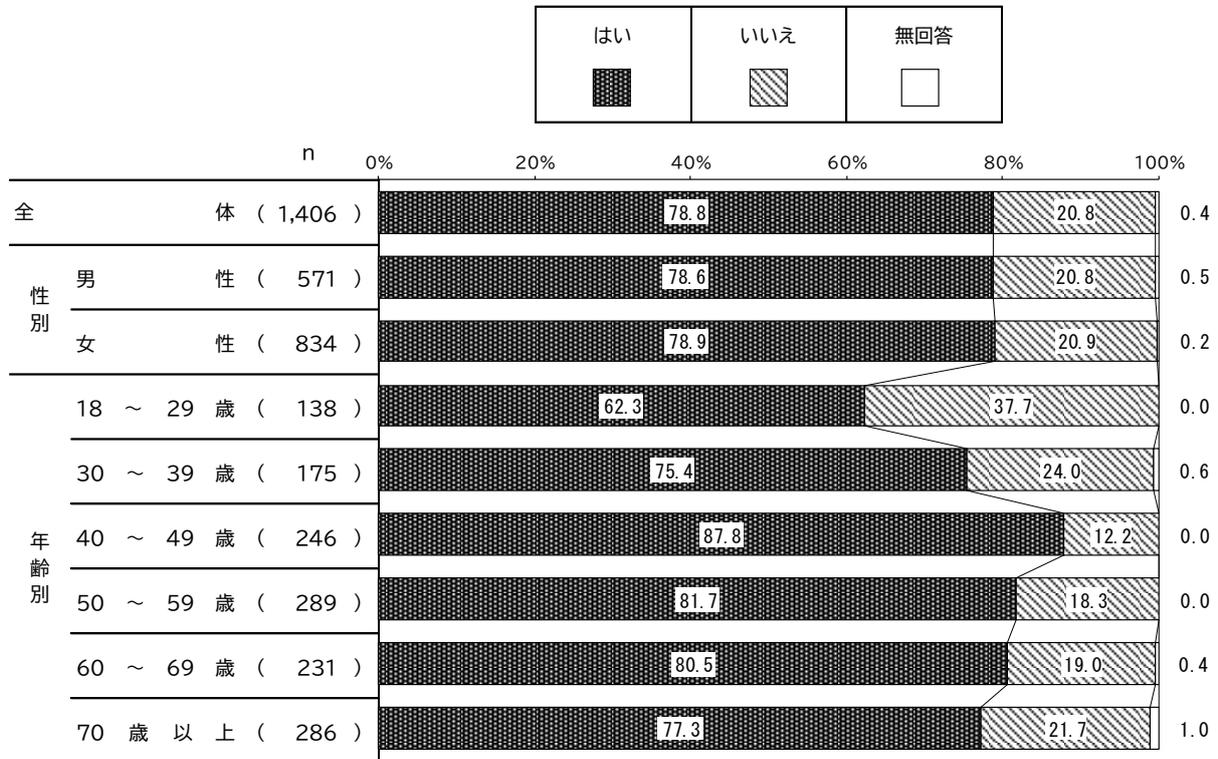


図Ⅲ－4 4 健康診査・人間ドックの受診状況

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「はい」の割合は、男性（78.6%）、女性（78.9%）とほとんど変わらない。

年齢別にみると、「はい」の割合は、最も低い18～29歳（62.3%）と最も高い40～49歳（87.8%）には25.5ポイントの差がある。



図Ⅲ－４５ 健康診査・人間ドックの受診状況（性別／年齢別）

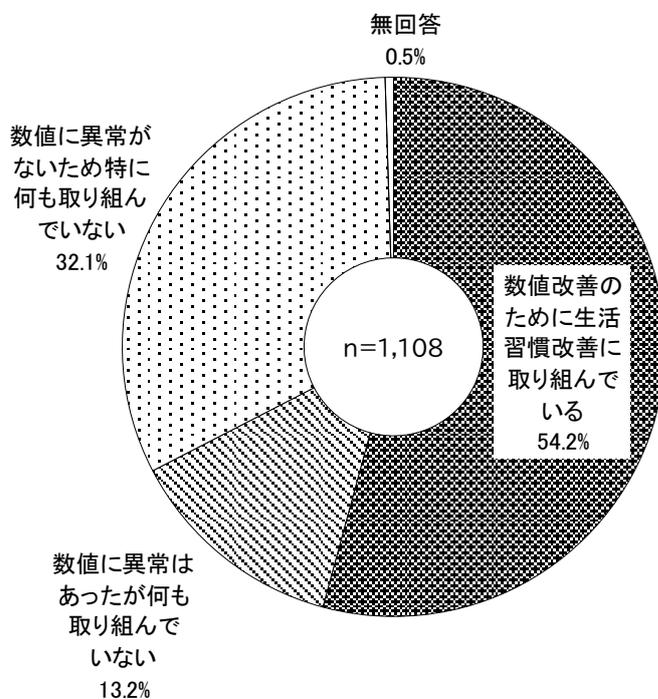
(2-1) 健診結果を受けての生活習慣の改善状況

「数値改善のために生活習慣改善に取り組んでいる」が5割超

(問9で「1. はい」とお答えの方)

【問9-1】健診結果(数値)を受けて、食事や運動等の生活習慣の改善を行っていますか。  
(〇は1つ)

過去3年以内で、がん検診を除く健康診査・人間ドックを一度でも受診したことがあると答えた人(1,108人)に、健診結果(数値)を受けて、食事や運動等の生活習慣の改善を行っているかについて聞いたところ、「数値改善のために生活習慣改善に取り組んでいる」の割合が54.2%で最も高く、次いで、「数値に異常がないため特に何も取り組んでいない」(32.1%)、「数値に異常はあったが何も取り組んでいない」(13.2%)となっている。

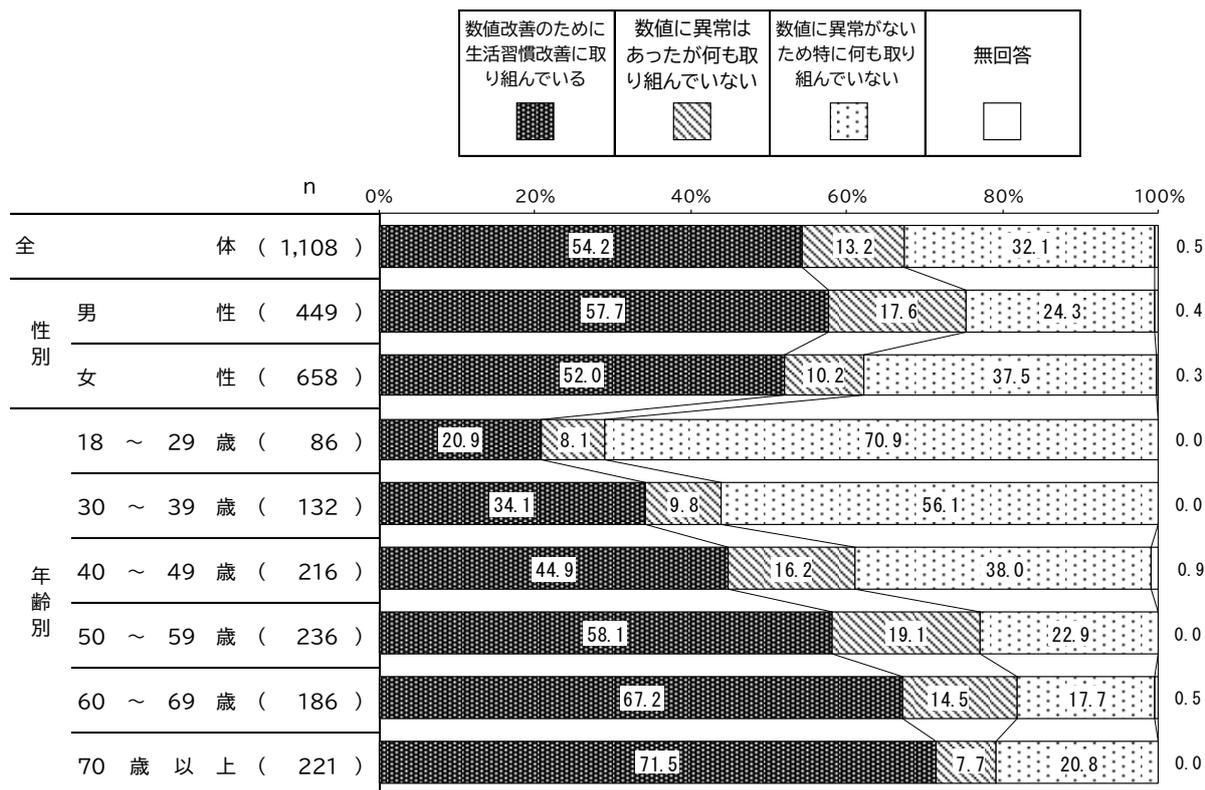


図Ⅲ-46 健診結果を受けての生活習慣の改善状況

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「数値改善のために生活習慣改善に取り組んでいる」では、男性（57.7%）が女性（52.0%）より 5.7 ポイント高く、「数値に異常はあったが何も取り組んでいない」も、男性（17.6%）が女性（10.2%）より 7.4 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「数値改善のために生活習慣改善に取り組んでいる」は、年齢が上がるに従い割合が高くなっており、割合が最も低い 18～29 歳（20.9%）と最も高い 70 歳以上（71.5%）には 50.6 ポイントの差がある。



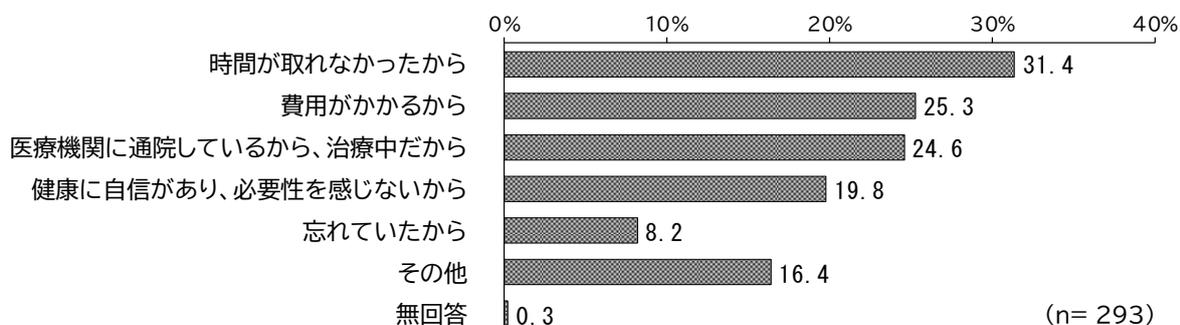
図Ⅲ－４７ 健診結果を受けての生活習慣の改善状況（性別／年齢別）

(2-2) 健康診査・人間ドックを受診しない理由

「時間が取れなかったから」が3割超  
**(問9で「2. いいえ」とお答えの方)**  
**【問9-2】健康診査・人間ドック(がん検診を除く)を受診されない理由について、次の中から当てはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)**

過去3年以内で、がん検診を除く健康診査・人間ドックを一度も受診したことがないと答えた人(293人)に、健康診査・人間ドック(がん検診を除く)を受診しない理由について聞いたところ、「時間が取れなかったから」が31.4%で最も高く、次いで、「費用がかかるから」(25.3%)、「医療機関に通院しているから、治療中だから」(24.6%)までが2割を超えており、「健康に自信があり、必要性を感じないから」(19.8%)と続いている。

「その他」については、「予約に手間がかかる・億劫・面倒だから」(7件)などが挙がっている。



図Ⅲ-48 健康診査・人間ドックを受診しない理由

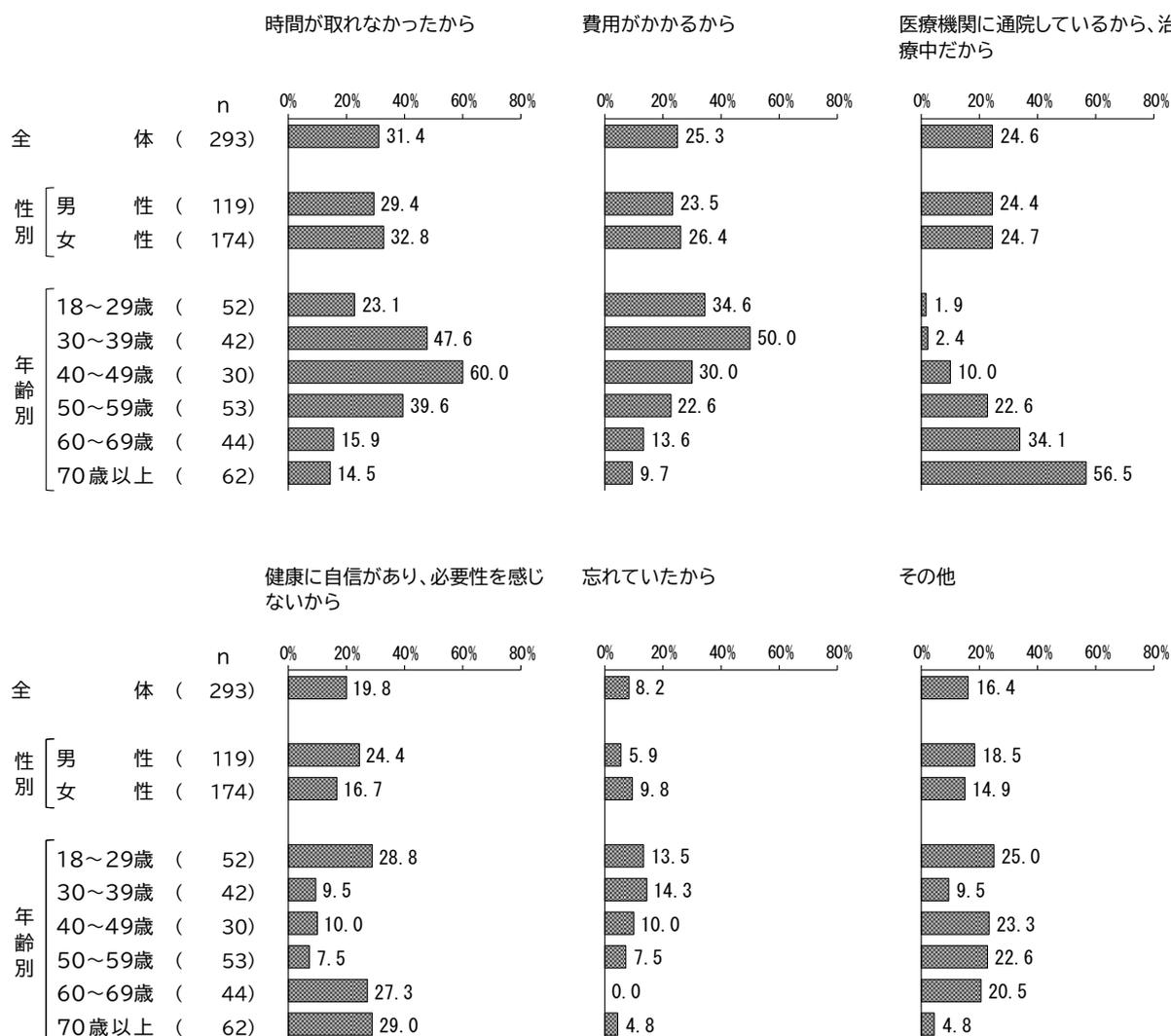
表Ⅲ-12 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
予約に手間がかかる・億劫・面倒だから	7
学生で機会がないから	6
会社で受診しているから	5
コロナ禍だったから・コロナで合併症になりたくないから	4
医療機関によく行っており必要な検査を受けているから	4
健診が必要な年齢でないから・若いから	3
要介護認定を受けているから・病気だから	3
よく理解してない・どこで受けたらいいかわからないから	2
検査を信用していないから	2
検査が苦手だから	2
その他	7
(記載なし)	4
合計	49

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「健康に自信があり、必要性を感じないから」では、男性（24.4%）が女性（16.7%）より 7.7 ポイント高くなっており、「時間が取れなかったから」では、女性（32.8%）が男性（29.4%）より 3.4 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「時間が取れなかったから」では、40～49 歳が 60.0%で最も高く、「費用がかかるから」では、30～39 歳が 50.0%と最も高い。「医療機関に通院しているから、治療中だから」は年齢が上がるに従い割合が高くなっており、割合が最も低い 18～29 歳（1.9%）と最も高い 70 歳以上（56.5%）には 54.6 ポイントの差がある。「健康に自信があり、必要性を感じないから」は、18～29 歳（28.8%）、60～69 歳（27.3%）、70 歳以上（29.0%）と他の年齢と比べ割合が高く 2 割を超えている。



図Ⅲ－４９ 健康診査・人間ドックを受診しない理由（性別／年齢別）

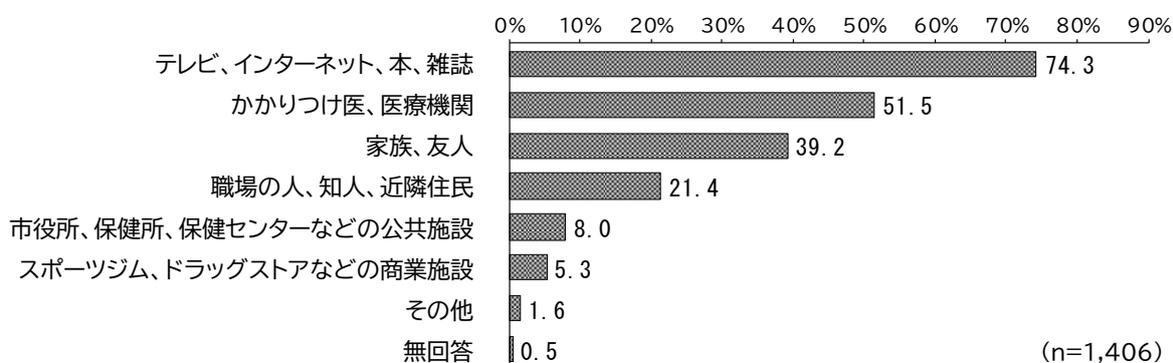
(3) 健康に関する情報源

「テレビ、インターネット、本、雑誌」が7割超

【問10】健康に関する情報を得る場合、どこから得ますか。すべて選んでください。  
(〇はいくつでも)

健康に関する情報を得る場合、どこから得ているかについて聞いたところ、「テレビ、インターネット、本、雑誌」が74.3%で最も高く、次いで、「かかりつけ医、医療機関」(51.5%)、「家族・友人」(39.2%)までが3割を超えており、以下、「職場の人、知人、近隣住民」が21.4%と続いている。

「その他」については、「会社」(5件)などが挙がっている。



図Ⅲ－50 健康に関する情報源

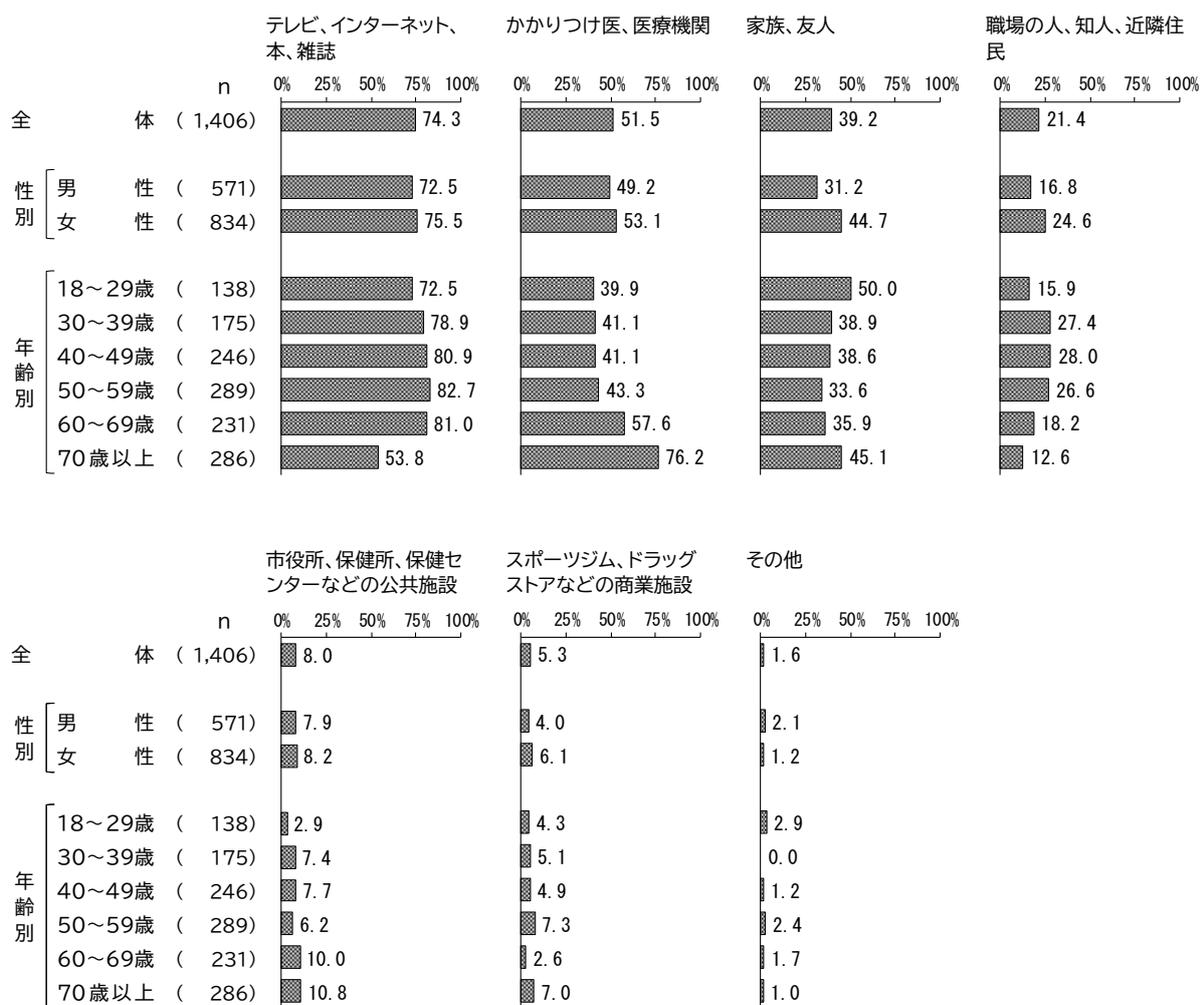
表Ⅲ－13 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
会社	5
本人が医療職に就いている	2
医者・医療関係者のSNS	2
その他	6
特に情報は得ていない	7
合計	22

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「家族、友人」、「職場の人、知人、近隣住民」では、女性（44.7%、24.6%）が男性（31.2%、16.8%）よりそれぞれ13.5、7.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「かかりつけ医、医療機関」では、年齢が上がるに従い割合が高くなる傾向があり、割合が最も低い18～29歳（39.9%）と最も高い70歳以上（76.2%）には36.3ポイントの差がある。また、「テレビ、インターネット、本、雑誌」では、40～49歳（80.9%）、50～59歳（82.7%）、60～69歳（81.0%）が8割を超えて高くなっている。



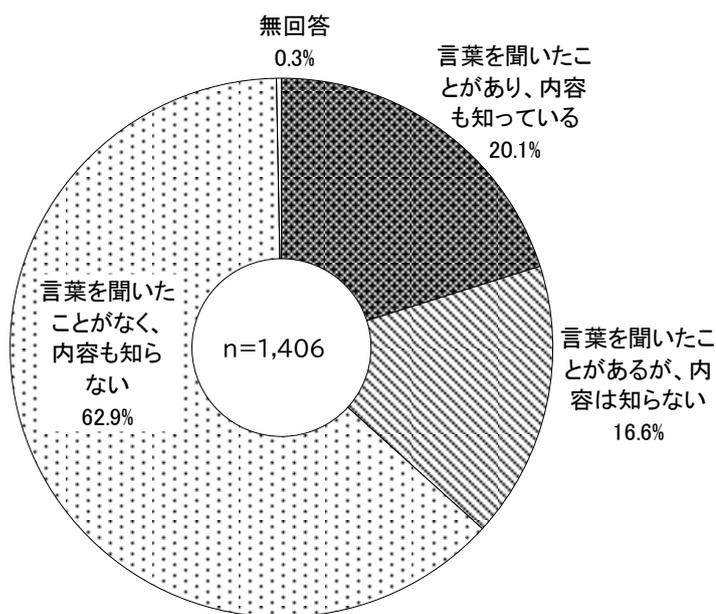
図Ⅲ－5 1 健康に関する情報源（性別／年齢別）

(4) 「フレイル」の認知状況

「言葉を聞いたことがなく、内容も知らない」が6割超

【問11】「フレイル」を知っていますか。(〇は1つ)

「フレイル」を知っているかについて聞いたところ、「言葉を聞いたことがなく、内容も知らない」が62.9%で最も高く、次いで、「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」(20.1%)、「言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない」(16.6%)となっている。

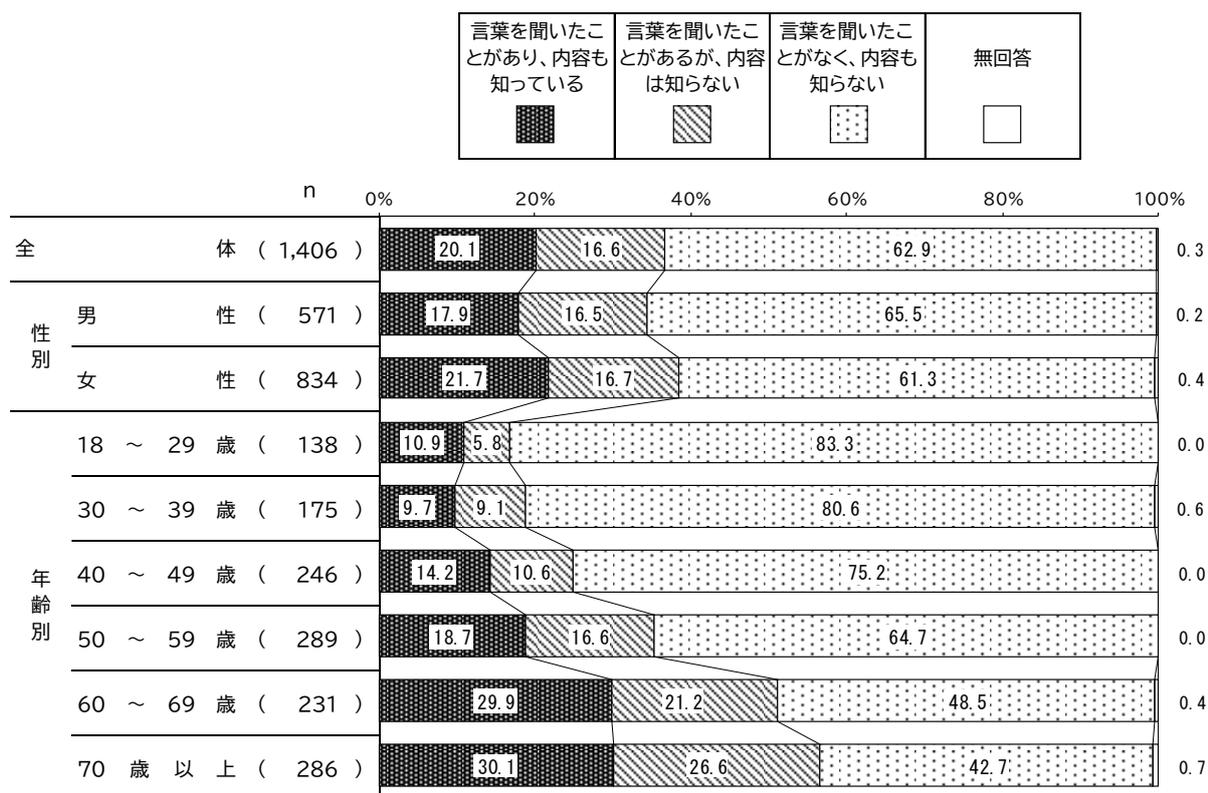


図Ⅲ－52 「フレイル」の認知状況

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」では、女性（21.7%）が男性（17.9%）より 3.8 ポイント高く、「言葉を聞いたことがなく、内容も知らない」では、男性（65.5%）が女性（61.3%）より 4.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」の割合は、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、割合が最も低い 30～39 歳（9.7%）と最も高い 70 歳以上（30.1%）には 20.4 ポイントの差がある。一方、「言葉を聞いたことがなく、内容も知らない」では、年齢が下がるに従い割合が高く、割合が最も低い 70 歳以上（42.7%）と最も高い 18～29 歳（83.3%）には 40.6 ポイントの差がある。



図Ⅲ－53 「フレイル」の認知状況（性別／年齢別）

(5) 肺がん検診の受診状況

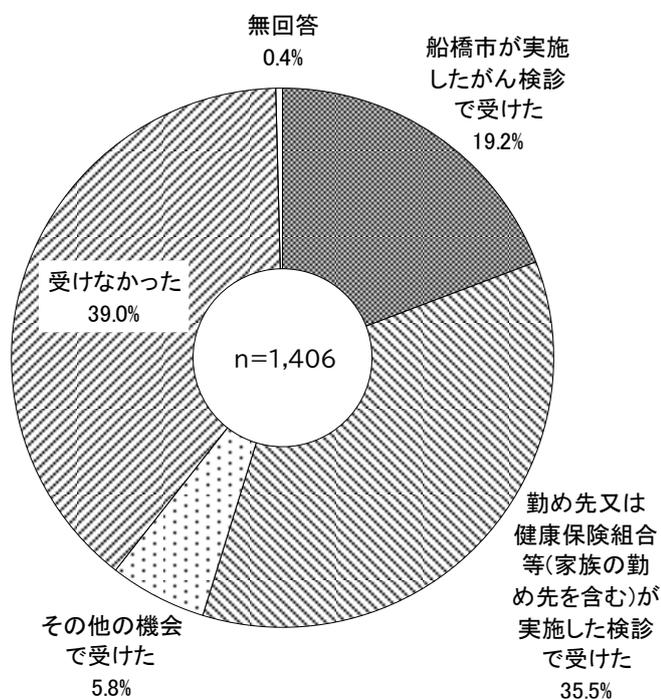
肺がん検診を『受診した人』は6割超

【問12】過去1年間に、肺がん検診〔胸のレントゲン撮影や喀痰（かくたん）検査など〕を受診しましたか。（○は1つ）

過去1年間に、肺がん検診〔胸のレントゲン撮影や喀痰（かくたん）検査など〕を受診したかについて聞いたところ、「受けなかった」が39.0%で最も高く、次いで、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」（35.5%）、「船橋市が実施したがん検診で受けた」（19.2%）、「その他の機会でも受けた」（5.8%）となっている。

なお、「船橋市が実施したがん検診で受けた」、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」、「その他の機会でも受けた」を合わせた『受診した人』の割合は60.5%と6割を超えている。

「その他」については、「かかりつけ医・病院での健診」（29件）などが挙げられている。



図Ⅲ－54 肺がん検診の受診状況

表Ⅲ－14 「その他」の内容

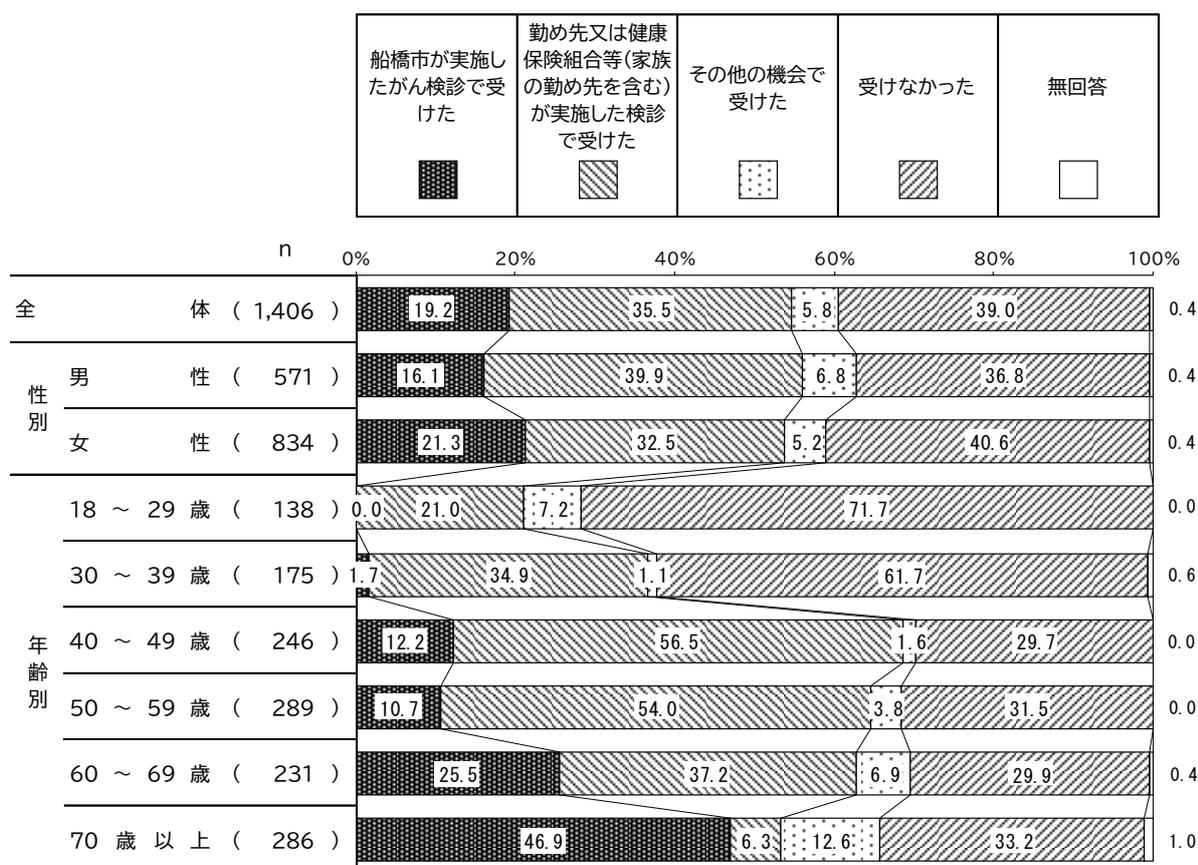
「その他」の内容	件数
かかりつけ医・病院での健診	29
人間ドック	22
通院・入院・治療・コロナ罹患の際の検査	11
学校・大学・専門学校の健康診断	9
肺がん治療・肺がん手術の際の検査	3
その他	3
(記載なし)	5
合計	82

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「船橋市が実施したがん検診で受けた」では、女性(21.3%)が男性(16.1%)より5.2ポイント高く、「勤め先又は健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診で受けた」では、男性(39.9%)が女性(32.5%)より7.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「船橋市が実施したがん検診で受けた」の割合は、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られる。また、「勤め先又は健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診で受けた」では、40～49歳(56.5%)、50～59歳(54.0%)で5割を超えている。

なお、「船橋市が実施したがん検診で受けた」、「勤め先又は健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診で受けた」、「その他の機会を受けた」を合わせた『受診した人』の割合は、40歳以上で65.8%～70.3%と6割を超えている。



図Ⅲ－５５ 肺がん検診の受診状況(性別／年齢別)

(6) 大腸がん検診の受診状況

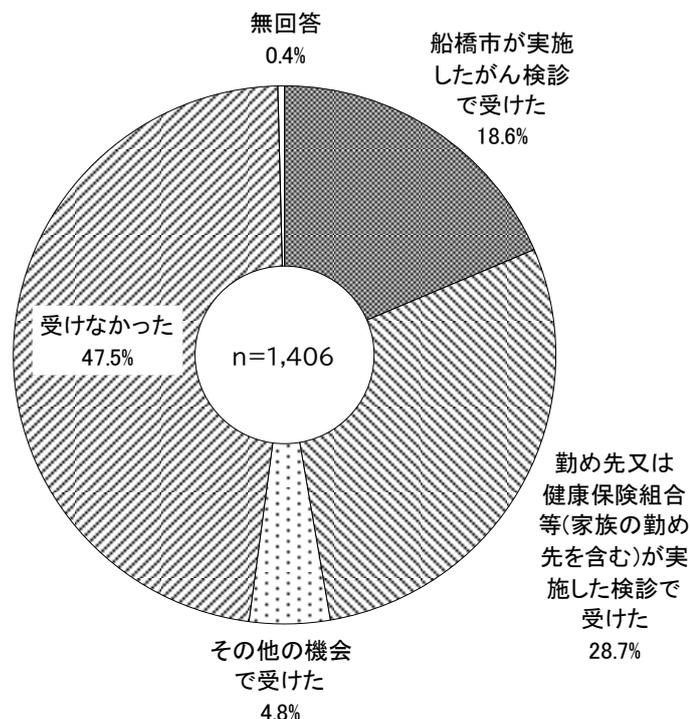
大腸がん検診を『受診した人』は5割超

【問13】過去1年間に、大腸がん検診 {便潜血反応検査(検便)など} を受診しましたか。(〇は1つ)

過去1年間に、大腸がん検診 {便潜血反応検査(検便)など} を受診したかについて聞いたところ、「受けなかった」が47.5%で最も高く、次いで、「勤め先又は健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診で受けた」(28.7%)、「船橋市が実施したがん検診で受けた」(18.6%)、「その他の機会を受けた」(4.8%)となっている。

なお、「船橋市が実施したがん検診で受けた」、「勤め先又は健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診で受けた」、「その他の機会を受けた」を合わせた『受診した人』の割合は52.1%となっている。

「その他」については、「かかりつけ医・病院での健診・自費で大腸内視鏡検診」(28件)などが挙げられている。



図Ⅲ-56 大腸がん検診の受診状況

表Ⅲ-15 「その他」の内容

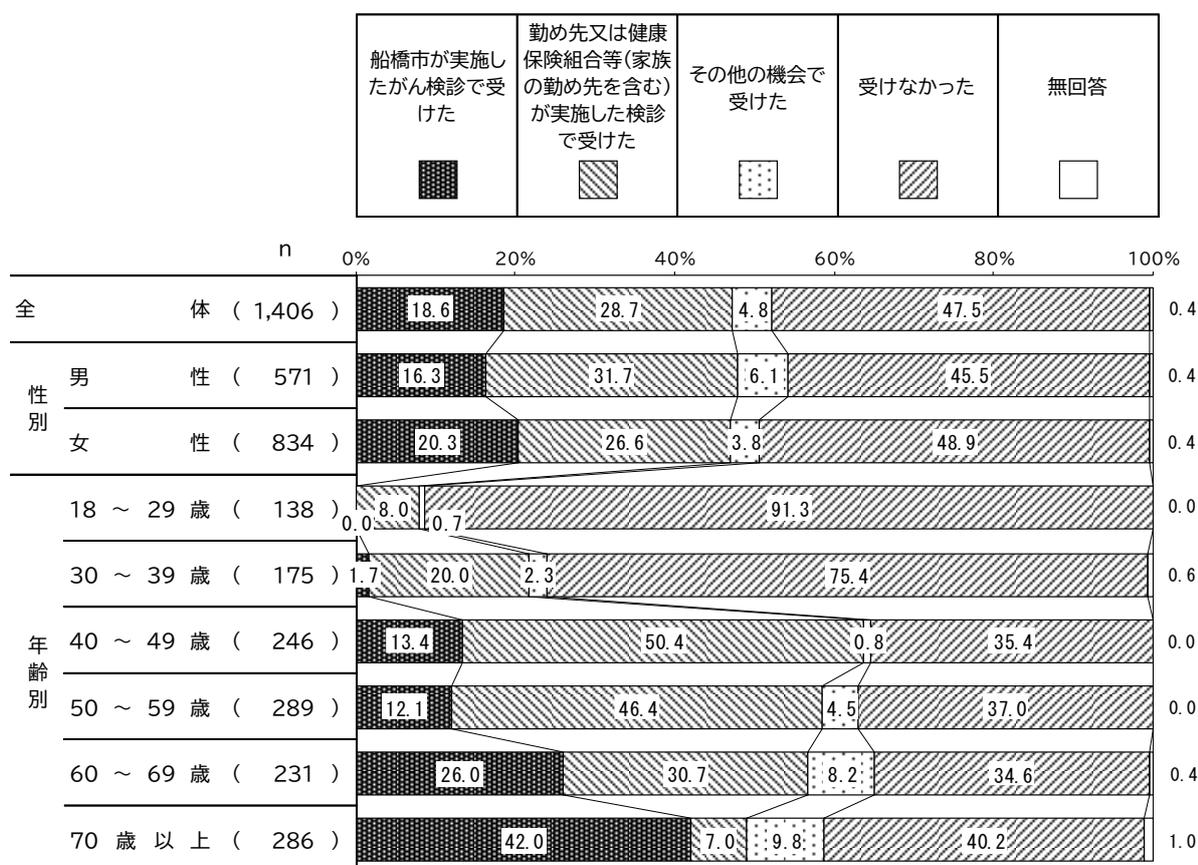
「その他」の内容	件数
かかりつけ医・病院での健診・自費で大腸内視鏡検診	28
人間ドック	25
持病・通院・入院・治療・退院後の検査	3
大腸ポリープ切除・がんセンターのCT検査	2
その他	4
(記載なし)	5
合計	67

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「船橋市が実施したがん検診で受けた」では、女性(20.3%)が男性(16.3%)より4.0ポイント高く、「勤め先又は健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診で受けた」では、男性(31.7%)が女性(26.6%)より5.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「船橋市が実施したがん検診で受けた」の割合は、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、「勤め先又は健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診で受けた」では、40～49歳(50.4%)で5割となっている。

なお、「船橋市が実施したがん検診で受けた」、「勤め先又は健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診で受けた」、「その他の機会を受けた」を合わせた『受診した人』の割合は、40～49歳(64.6%)、50～59歳(63.0%)、60～69歳(64.9%)で6割を超えている。



図Ⅲ－57 大腸がん検診の受診状況(性別／年齢別)

(7) 胃がん検診の受診状況

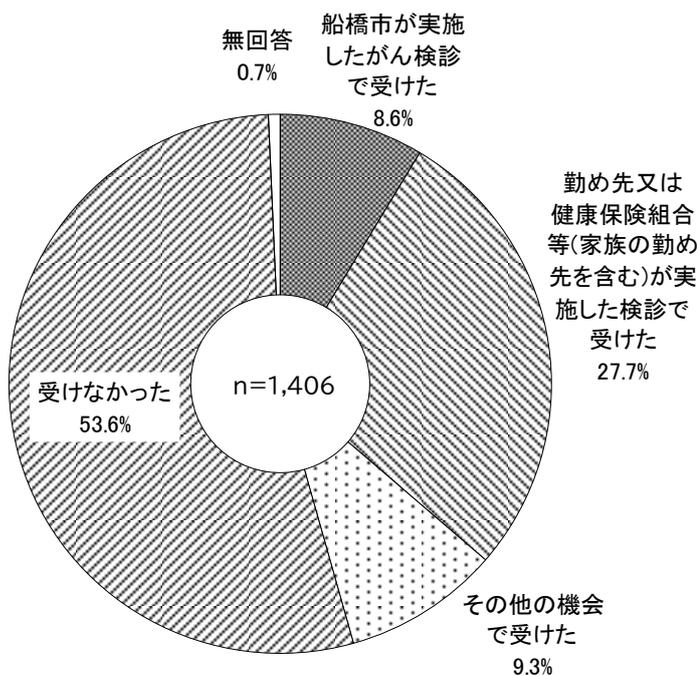
胃がん検診を『受診した人』は4割超

【問14】過去2年間に、胃がん検診 {バリウムによるレントゲン撮影や内視鏡（胃カメラ、ファイバースコープ）による撮影など} を受診しましたか。(〇は1つ)

過去2年間に、胃がん検診 {バリウムによるレントゲン撮影や内視鏡（胃カメラ、ファイバースコープ）による撮影など} を受診したかについて聞いたところ、「受けなかった」が53.6%で5割を超えて最も高く、次いで、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」（27.7%）、「その他の機会でも受けた」（9.3%）、「船橋市が実施したがん検診で受けた」（8.6%）となっている。

なお、「船橋市が実施したがん検診で受けた」、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」、「その他の機会でも受けた」を合わせた『受診した人』の割合は45.6%となっている。

「その他」については、「かかりつけ医・病院での健診・自費で胃内視鏡検査」（64件）などが挙げられている。



図Ⅲ－58 胃がん検診の受診状況

表Ⅲ－16 「その他」の内容

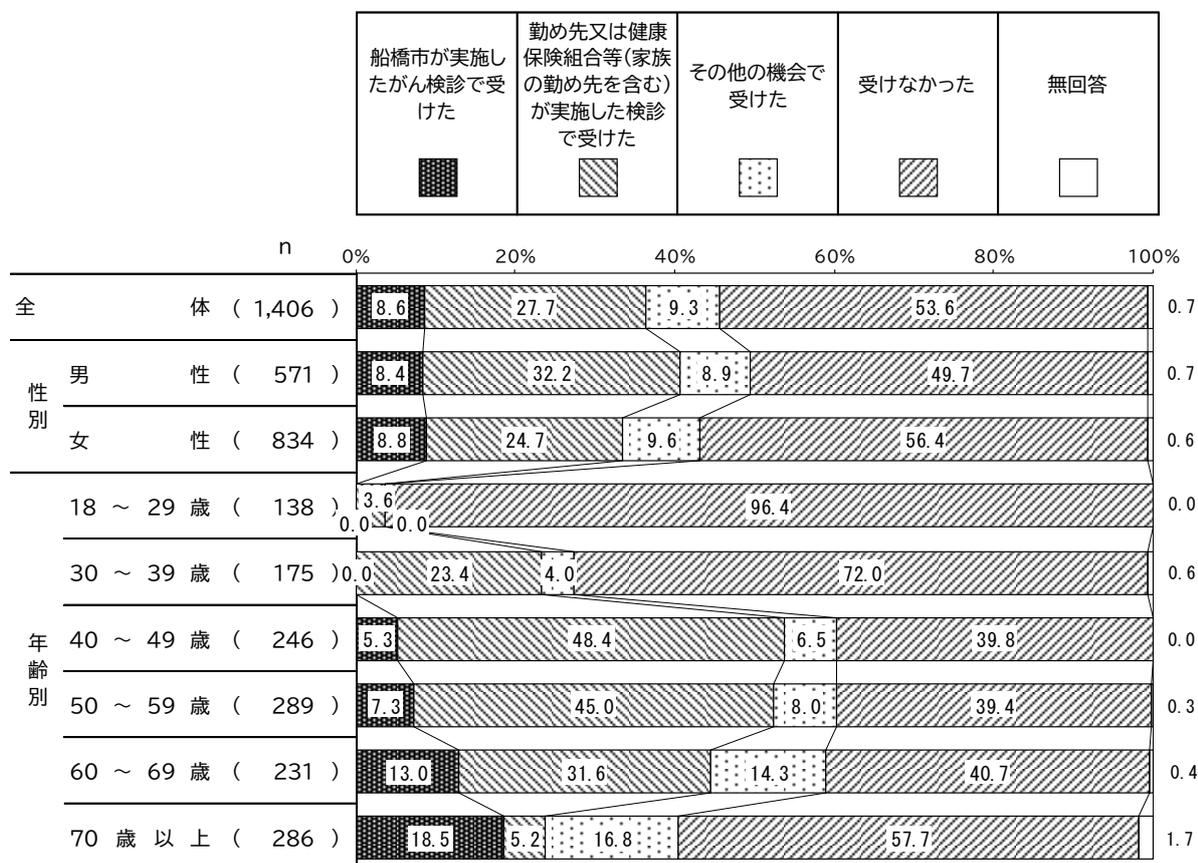
「その他」の内容	件数
かかりつけ医・病院での健診・自費で胃内視鏡検査	64
人間ドック	29
胃痛・入院・コロナ罹患の際の検査	18
二次検査・再検査	2
他の自治体の検診	2
その他	2
(記載なし)	14
合計	131

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「船橋市が実施したがん検診で受けた」では、男性（8.4％）と女性（8.8％）でほとんど変わらない。「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」では、男性（32.2％）が女性（24.7％）より7.5ポイント高くなっている。一方、「受けなかった」では、女性（56.4％）が5割を超えており、男性（49.7％）と比べて6.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「船橋市が実施したがん検診で受けた」の割合は、年齢が上がるに従い高くなっている。また、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」では、40～49歳（48.4％）、50～59歳（45.0％）で4割を超えている。

なお、「船橋市が実施したがん検診で受けた」、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」、「その他の機会を受けた」を合わせた『受診した人』の割合は、40～49歳（60.2％）、50～59歳（60.3％）で6割となっている。



図Ⅲ－59 胃がん検診の受診状況（性別／年齢別）

### (8) 子宮頸がん検診の受診状況

子宮頸がん検診を『受診した人』は5割超

【20歳以上の女性のみ】

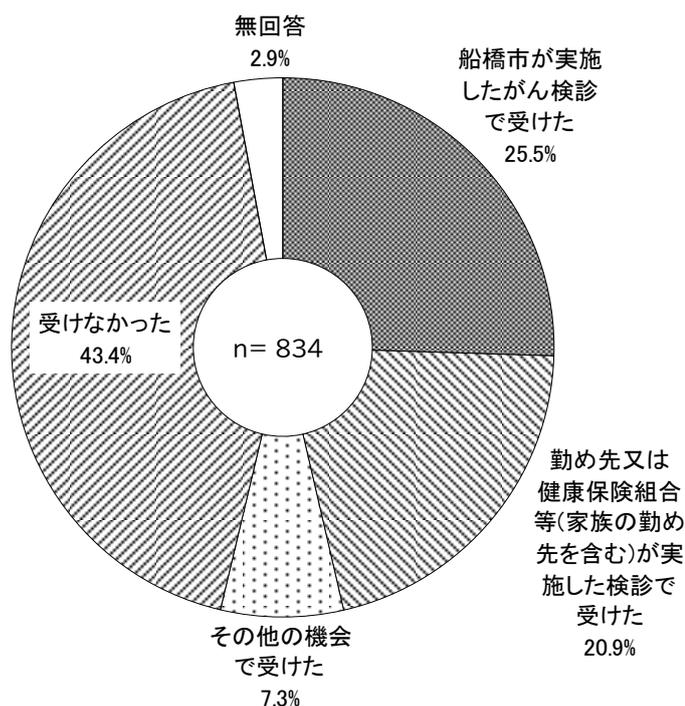
【問15】過去2年間に、子宮頸がん検診（子宮の細胞検査など）を受診しましたか。  
（○は1つ）

※この設問は、20歳以上の女性に限定して聴取しているが、無記名式で実施しているため18歳と19歳の方を特定することはできない。従って、女性の回答者数（n=834）には18歳と19歳の方も含まれている可能性がある。

過去2年間に、子宮頸がん検診（子宮の細胞検査など）を受診したかについて聞いたところ、「受けなかった」が43.4%で最も高く、次いで、「船橋市が実施したがん検診で受けた」（25.5%）、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」（20.9%）、「その他の機会を受けた」（7.3%）となっている。

なお、「船橋市が実施したがん検診で受けた」、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」、「その他の機会を受けた」を合わせた『受診した人』の割合は53.7%となっている。

「その他」については、「かかりつけ医・病院での健診・婦人科定期検診」（20件）などが挙げられている。



図Ⅲ－60 子宮頸がん検診の受診状況

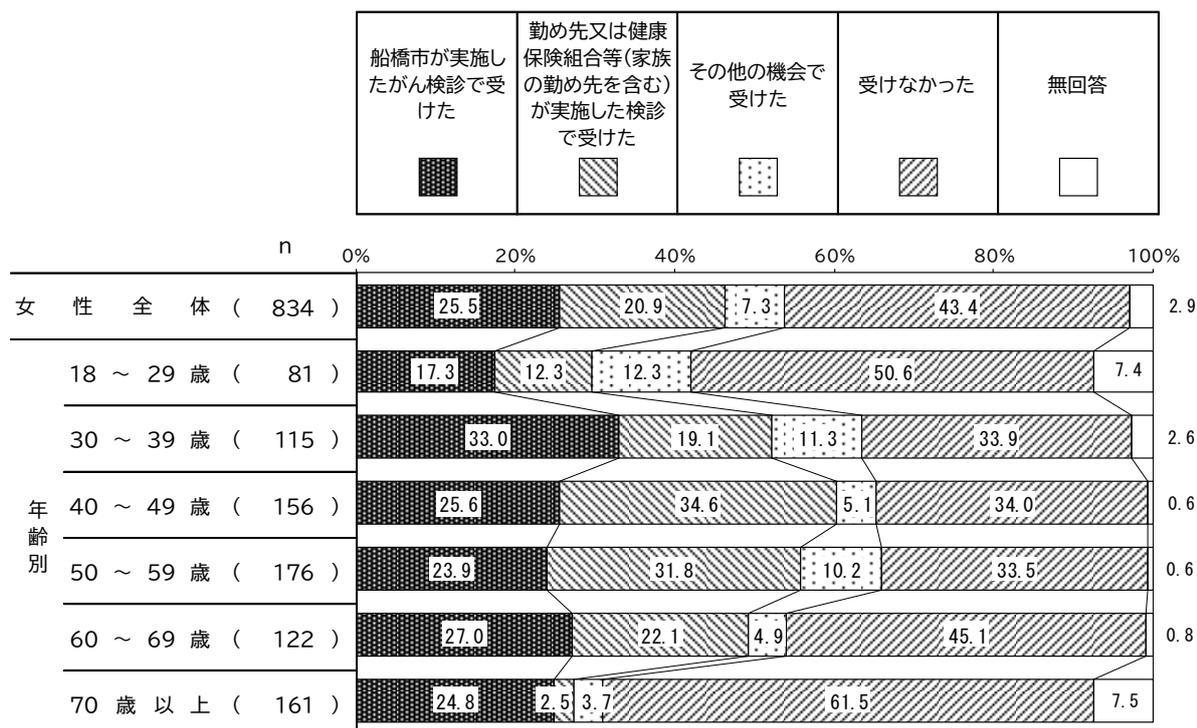
表Ⅲ－17 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
かかりつけ医・病院での健診・婦人科定期検診	20
産婦人科への通院・妊婦検診	19
人間ドック	9
他の婦人科系の病気の検査	4
他の自治体の検診	1
(記載なし)	8
合計	61

【年齢別】

年齢別にみると、「船橋市が実施したがん検診で受けた」では、最も低い18～29歳（17.3%）と最も高い30～39歳（33.0%）には15.7ポイントの差がある。また、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」では、40～49歳（34.6%）、50～59歳（31.8%）で3割を超えている。

なお、「船橋市が実施したがん検診で受けた」、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」、「その他の機会を受けた」を合わせた『受診した人』の割合は、30～39歳（63.4%）、40～49歳（65.3%）、50～59歳（65.9%）で6割を超えている。



図Ⅲ－61 子宮頸がん検診の受診状況（年齢別）

(9) 乳がん検診の受診状況

乳がん検診を『受診した人』は5割超

【20歳以上の女性のみ】

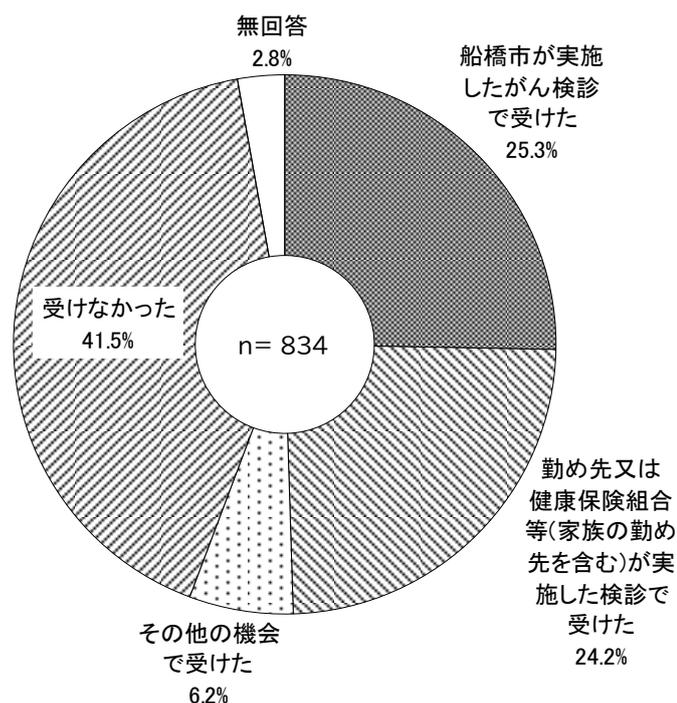
【問16】過去2年間に、乳がん検診 {マンモグラフィ撮影や乳房超音波（エコー）検査など} を受診しましたか。(○は1つ)

※この設問は、20歳以上の女性に限定して聴取しているが、無記名式で実施しているため18歳と19歳の方を特定することはできない。従って、女性の回答者数（n=834）には18歳と19歳の方も含まれている可能性がある。

過去2年間に、乳がん検診 {マンモグラフィ撮影や乳房超音波（エコー）検査など} を受診したかについて聞いたところ、「受けなかった」が41.5%で最も高く、次いで、「船橋市が実施したがん検診で受けた」（25.3%）、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」（24.2%）、「その他の機会 で受けた」（6.2%）となっている。

なお、「船橋市が実施したがん検診で受けた」、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」、「その他の機会 で受けた」を合わせた『受診した人』の割合は55.7%となっている。

「その他」については、「かかりつけ医・病院での健診・乳腺科定期検診」（23件）などが挙げられている。



図Ⅲ－62 乳がん検診の受診状況

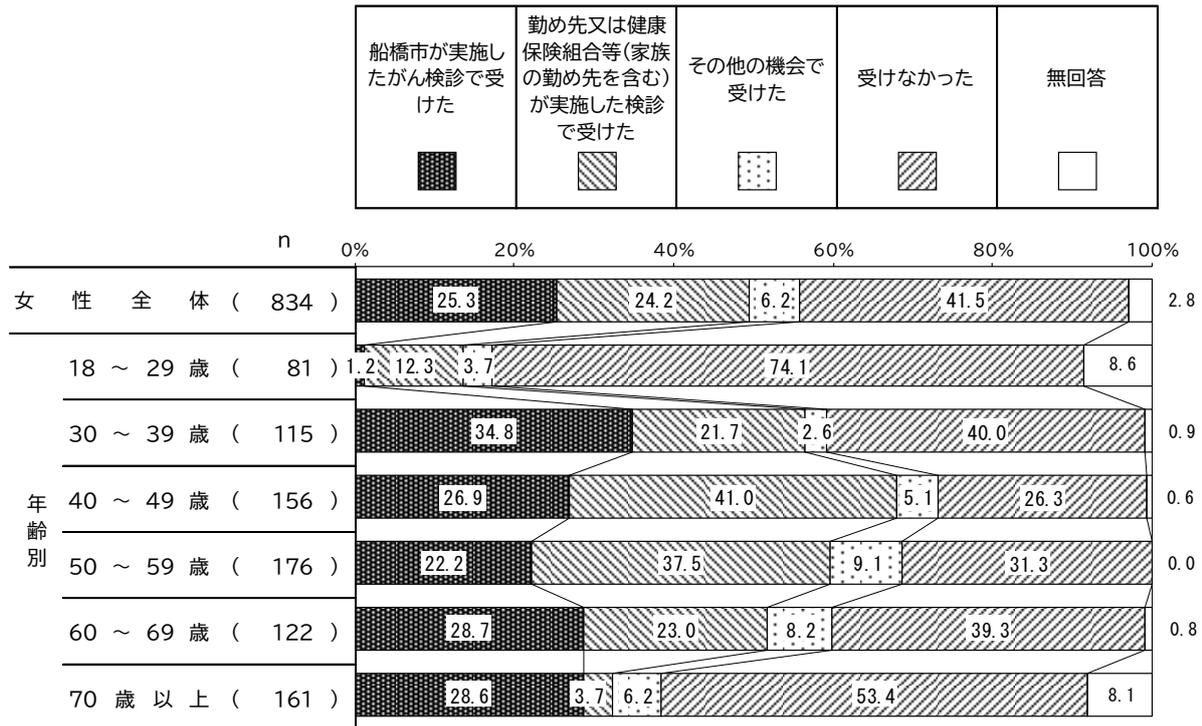
表Ⅲ－18 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
かかりつけ医・病院での健診・乳腺科定期検診	23
人間ドック	11
乳がん治療・乳がん手術・化学療法・経過観察後の検査	8
乳腺の病気・症状発症の際の検査	3
産婦人科への通院	2
(記載なし)	5
合計	52

【年齢別】

年齢別にみると、「船橋市が実施したがん検診で受けた」では、最も低い18～29歳（1.2%）と最も高い30～39歳（34.8%）には33.6ポイントの差がある。また、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」では、40～49歳（41.0%）で4割を超えている。

なお、「船橋市が実施したがん検診で受けた」、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」、「その他の機会でも受けた」を合わせた『受診した人』の割合は、40～49歳（73.0%）、50～59歳（68.8%）で6割を超えている。



図Ⅲ－63 乳がん検診の受診状況（年齢別）

(10) 「健康診査および健康意識」概観

居住地区によっても、『受診した人』の割合に差異あり

【5つのがん検診の受診状況】

5つのがん検診の受診状況について居住地区別にみると、肺がん検診の受診状況は、「船橋市が実施したがん検診で受けた」、「勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた」、「その他の機会でも受けた」を合わせた『受診した人』の割合は、最も低い北部地区（58.1%）と最も高い東部地区（64.0%）に5.9ポイントの差がある。

同様に、大腸がん検診の受診状況についてみると、『受診した人』の割合は、最も低い西部地区（49.8%）と最も高い東部地区（54.7%）に4.9ポイントの差がある。

胃がん検診の受診状況については、『受診した人』の割合が、最も低い北部地区（43.0%）と最も高い南部地区（49.4%）で6.4ポイントの差がある。

子宮頸がん検診の受診状況（20歳以上の女性のみ）については、『受診した人』の割合が、最も低い東部地区（48.6%）と最も高い北部地区（58.1%）で9.5ポイントの差がある。

乳がん検診の受診状況（20歳以上の女性のみ）については、『受診した人』の割合が、最も低い北部地区（52.5%）と最も高い南部地区（60.7%）で8.2ポイントの差がある。

		n	船橋市が実施したがん検診で受けた	勤め先又は健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診で受けた	その他の機会でも受けた	『受診した人』計	受けなかった	無回答	(%)	
肺がん検診	全体	1,406	19.2	35.5	5.8	60.5	39.0	0.4		
	居住地区別	南部地区	253	12.6	39.5	7.9	60.0	39.9	-	
		西部地区	321	14.6	38.6	6.9	60.1	39.9	-	
		中部地区	174	26.4	28.7	3.4	58.5	40.8	0.6	
		東部地区	364	22.5	36.8	4.7	64.0	35.4	0.5	
		北部地区	246	20.3	32.1	5.7	58.1	41.9	-	
大腸がん検診	全体	1,406	18.6	28.7	4.8	52.1	47.5	0.4		
	居住地区別	南部地区	253	13.0	32.8	7.5	53.3	46.6	-	
		西部地区	321	14.6	30.2	5.0	49.8	50.2	-	
		中部地区	174	21.8	25.3	4.0	51.1	48.9	-	
		東部地区	364	21.4	29.7	3.6	54.7	44.8	0.5	
		北部地区	246	22.4	25.2	4.9	52.5	47.2	0.4	
胃がん検診	全体	1,406	8.6	27.7	9.3	45.6	53.6	0.7		
	居住地区別	南部地区	253	7.9	32.4	9.1	49.4	50.2	0.4	
		西部地区	321	6.9	29.3	11.2	47.4	52.3	0.3	
		中部地区	174	11.5	24.7	9.8	46.0	54.0	-	
		東部地区	364	9.1	27.7	8.0	44.8	54.7	0.5	
		北部地区	246	8.5	25.6	8.9	43.0	56.1	0.8	
子宮頸がん検診	女性全体	834	25.5	20.9	7.3	53.7	43.4	2.9		
	居住地区別	南部地区	145	22.8	24.1	9.7	56.6	41.4	2.1	
		西部地区	202	23.8	24.3	7.4	55.5	41.1	3.5	
		中部地区	107	29.9	19.6	6.5	56.0	41.1	2.8	
		東部地区	214	23.8	19.2	5.6	48.6	47.7	3.7	
		北部地区	141	29.8	19.1	9.2	58.1	39.7	2.1	
乳がん検診	女性全体	834	25.3	24.2	6.2	55.7	41.5	2.8		
	居住地区別	南部地区	145	21.4	33.8	5.5	60.7	37.9	1.4	
		西部地区	202	24.3	23.3	6.9	54.5	42.6	3.0	
		中部地区	107	28.0	23.4	3.7	55.1	43.0	1.9	
		東部地区	214	27.1	23.4	5.6	56.1	39.7	4.2	
		北部地区	141	24.1	19.9	8.5	52.5	44.7	2.8	

図Ⅲ-64 5つのがん検診の受診状況（居住地区別）

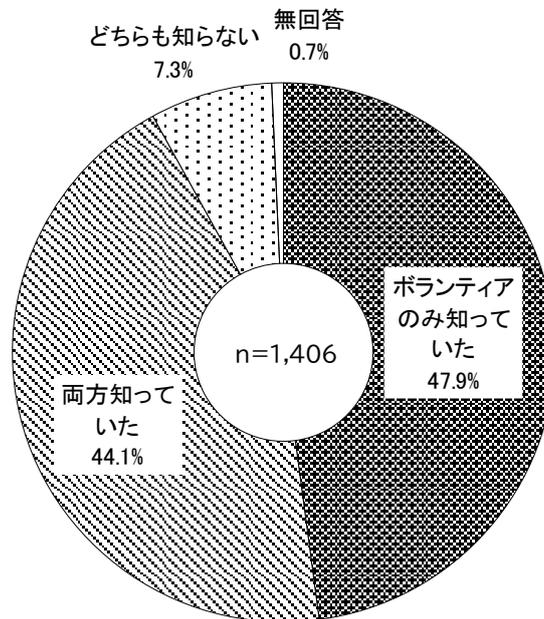
## 4. 「ボランティア・市民活動」について

### (1) 「ボランティア」または「市民活動」という言葉の認知状況

「ボランティアのみ知っていた」と「両方知っていた」がともに4割超

【問17】あなたは、「ボランティア」または「市民活動」という言葉を知っていましたか。次の中から1つだけ選んでください。(〇は1つ)

「ボランティア」または「市民活動」という言葉を知っているかについて聞いたところ、「ボランティアのみ知っていた」が47.9%と最も高く、次いで、「両方知っていた」(44.1%)、「どちらも知らない」(7.3%)となっている。

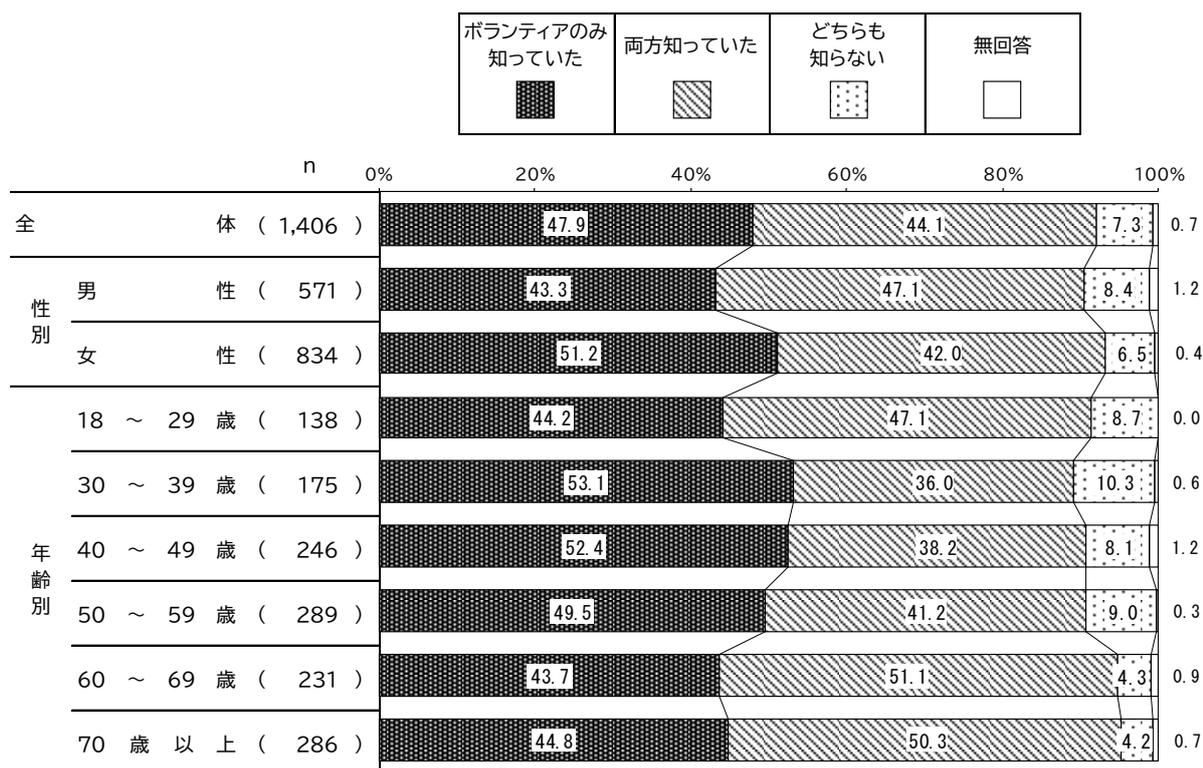


図Ⅲ－65 「ボランティア」または「市民活動」という言葉の認知状況

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「両方知っていた」では、男性（47.1%）が女性（42.0%）より5.1ポイント高く、「ボランティアのみ知っていた」では、女性（51.2%）が男性（43.3%）より7.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「両方知っていた」の割合は、60～69歳（51.1%）、70歳以上（50.3%）で5割を超えており、「ボランティアのみ知っていた」の割合は、30～39歳（53.1%）、40～49歳（52.4%）で5割を超えている。



図Ⅲ－66 「ボランティア」または「市民活動」という言葉の認知状況（性別／年齢別）

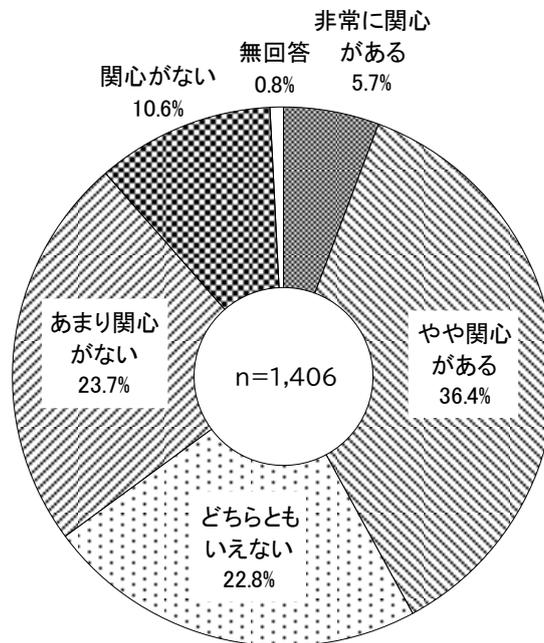
(2) ボランティアや市民活動への関心度

『関心がある人』は4割超

【問18】あなたは、ボランティアや市民活動にどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。(〇は1つ)

ボランティアや市民活動にどの程度関心があるかを聞いたところ、「非常に関心がある」(5.7%)と「やや関心がある」(36.4%)を合わせた『関心がある人』の割合は、42.1%と4割を超えている。

一方、「あまり関心がない」(23.7%)と「関心がない」(10.6%)を合わせた『関心がない人』の割合は、34.3%と3割を超えている。

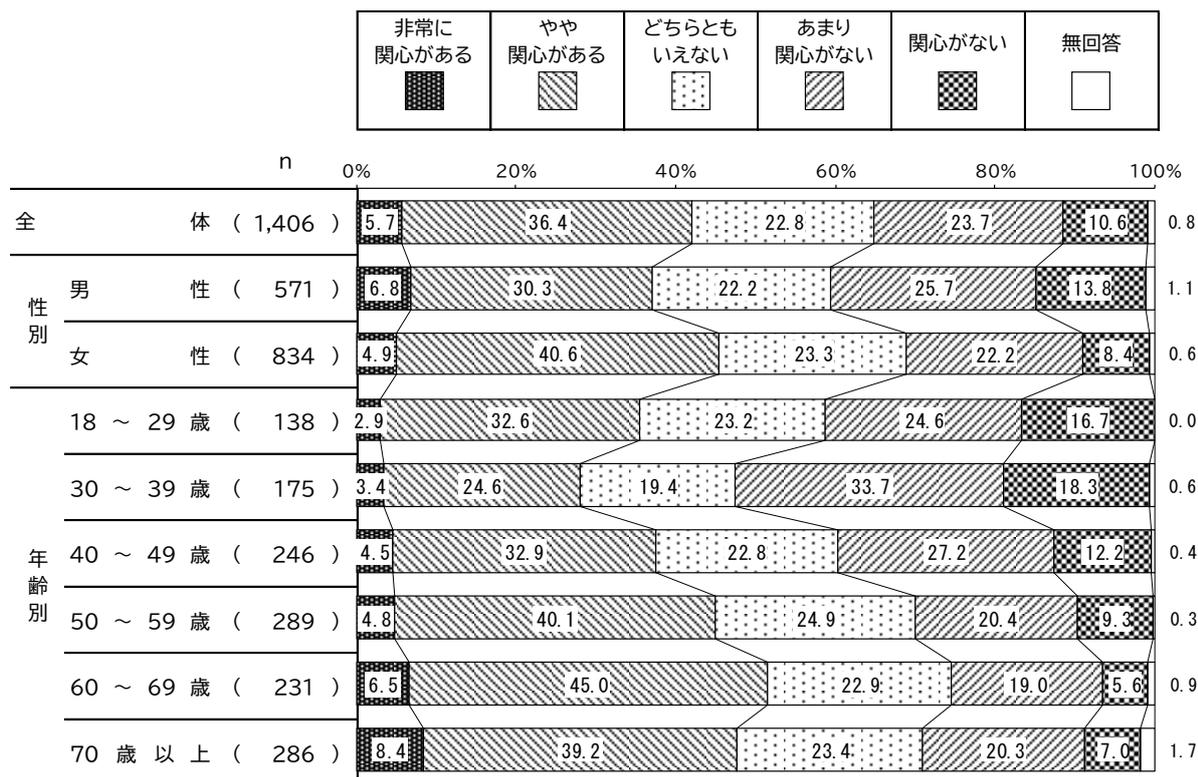


図Ⅲ-67 ボランティアや市民活動への関心度

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「非常に興味がある」と「やや興味がある」を合わせた『興味がある人』の割合は、女性（45.5%）が男性（37.1%）より8.4ポイント高くなっている。一方、「あまり興味がない」と「興味がない」を合わせた『興味がない人』の割合は、男性（39.5%）が女性（30.6%）より8.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『興味がある人』の割合は、50歳以上で44.9%～51.5%の範囲にあり、4割を超えている。一方、『興味がない人』の割合は、18～29歳（41.3%）、30～39歳（52.0%）で4割を超えている。



図Ⅲ－６８ ボランティアや市民活動への関心度（性別／年齢別）

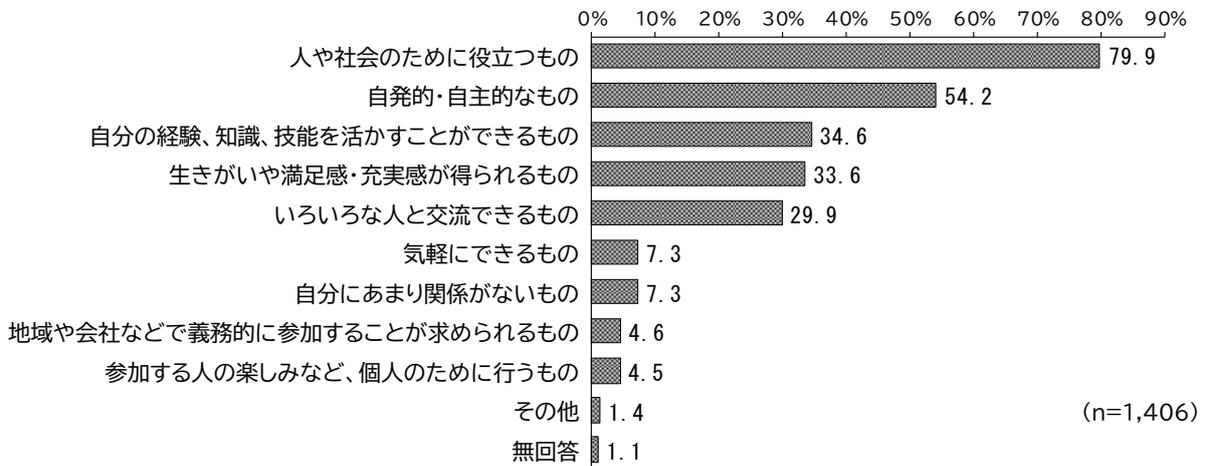
(3) ボランティアや市民活動に対するイメージ

「人や社会のために役立つもの」が8割

【問19】あなたは、ボランティアや市民活動に対して、どのようなイメージを持っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

ボランティアや市民活動に対して、どのようなイメージを持っているか聞いたところ、「人や社会のために役立つもの」が79.9%と最も高く、次いで、「自発的・自主的なもの」(54.2%)、「自分の経験、知識、技能を活かすことができるもの」(34.6%)、「生きがいや満足感・充実感が得られるもの」(33.6%)「いろいろな人と交流できるもの」(29.9%)と続いている。

「その他」については、「健康な者・体力がある者が参加するもの」(4件)などが挙げられている。



図Ⅲ－69 ボランティアや市民活動に対するイメージ

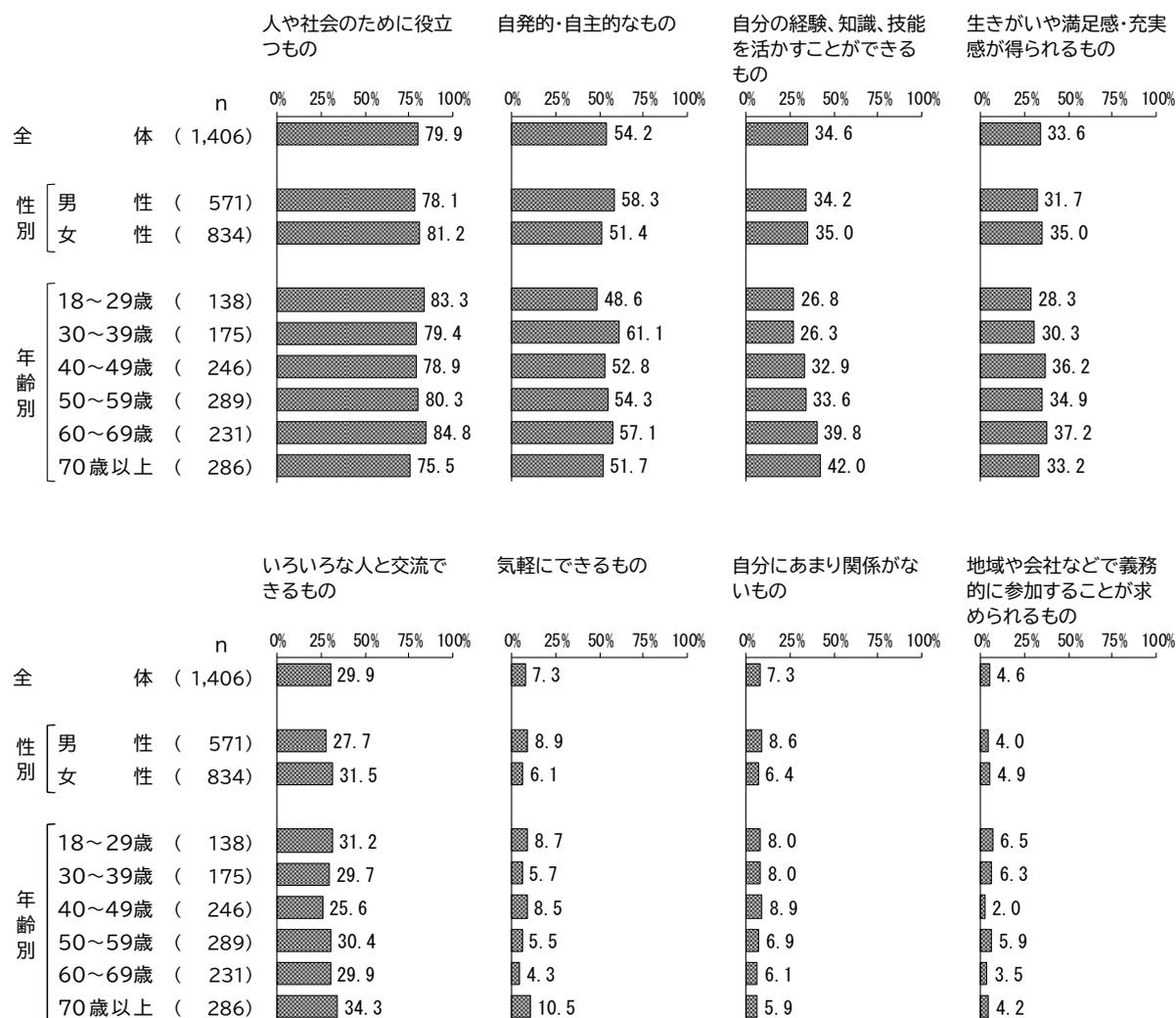
表Ⅲ－19 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
健康な者・体力がある者が参加するもの	4
暇・余裕・お金がある人の道楽、自己満足の場	3
市民活動は特定の集団に利用された活動のイメージ	3
年寄りの話し場、独身の若者は入れないところ	1
人間関係が職場よりも難しいもの	1
行政が行うものを市民に押し付けている	1
公金を正しく使っていないイメージ	1
やる側の上から目線	1
人件費の発生しない労働力	1
友人に誘われて付き合いで参加する印象	1
ゴミ拾いの印象	1
協力し合うこと	1
(記載なし)	2
合 計	21

【性別／年齢別】（上位 8 項目）

性別で比較すると、「自発的・自主的なもの」では、男性（58.3%）が女性（51.4%）より 6.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「人や社会のために役立つもの」は、60～69 歳（84.8%）で最も高く、「自発的・自主的なもの」は、30～39 歳（61.1%）で最も高い。「自分の経験、知識、技能を活かすことができるもの」は、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、最も低い 30～39 歳（26.3%）と最も高い 70 歳以上（42.0%）には 15.7 ポイントの差がある。



図Ⅲ－70 ボランティアや市民活動に対するイメージ 上位 8 項目（性別／年齢別）

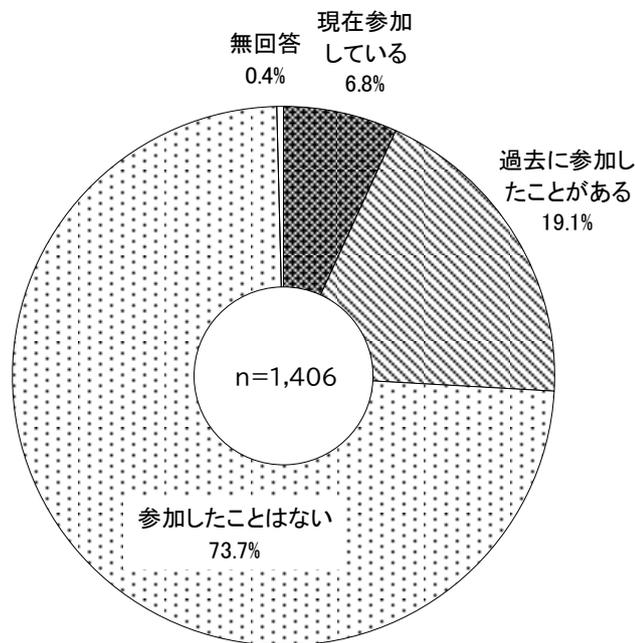
(4) ボランティアや市民活動への参加状況

『参加したことがある人』は2割超

【問20】あなたは、ボランティアや市民活動をしていますか。または、したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。(Qは1つ)

ボランティアや市民活動をしているか、または、したことがあるか聞いたところ、「現在参加している」は6.8%、「過去に参加したことがある」は19.1%となっており、「現在参加している」と「過去に参加したことがある」を合わせた『参加したことがある人』の割合は、25.9%となっている。

一方、「参加したことはない」人の割合は、73.7%と7割を超えている。

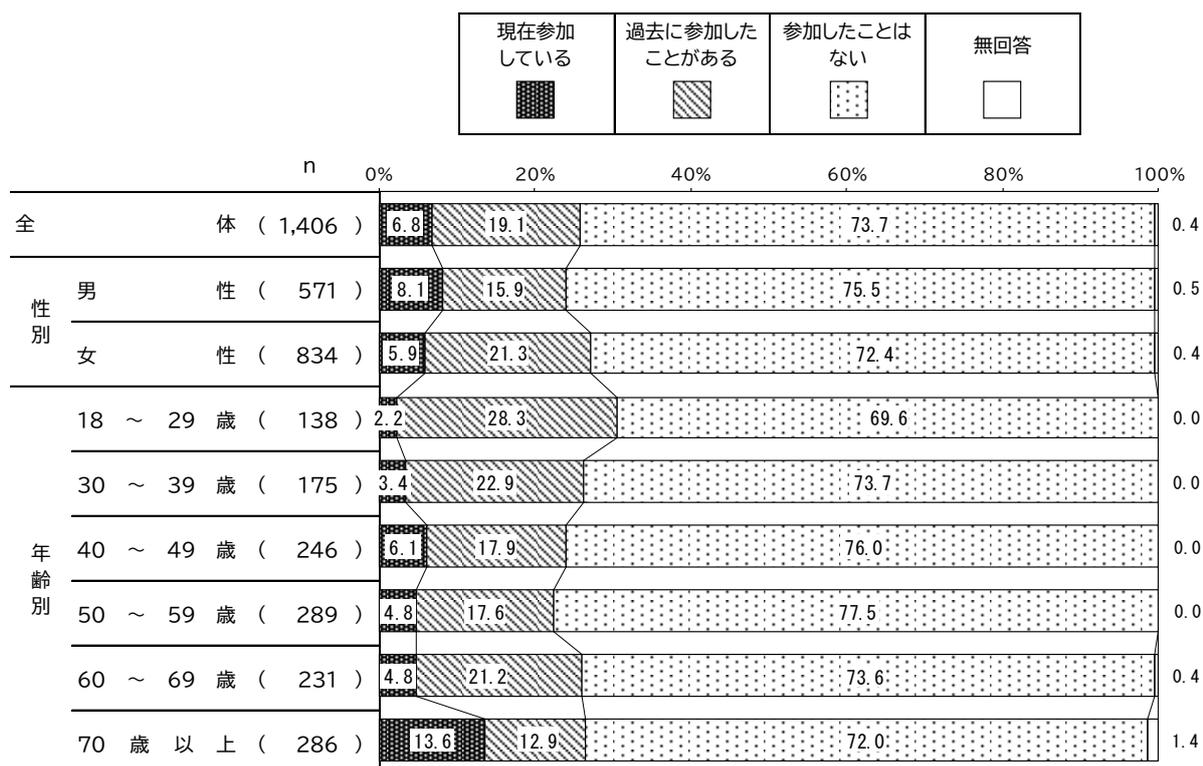


図Ⅲ-71 ボランティアや市民活動への参加状況

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「現在参加している」と「過去に参加したことがある」を合わせた『参加したことがある人』の割合は、女性（27.2%）が男性（24.0%）より 3.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『参加したことがある人』の割合は、18～29 歳（30.5%）で、3割を超えている。一方、「参加したことはない」人の割合は、18～29 歳を除く全ての年齢で 72.0%～77.5% の範囲にあり、7割を超えている。



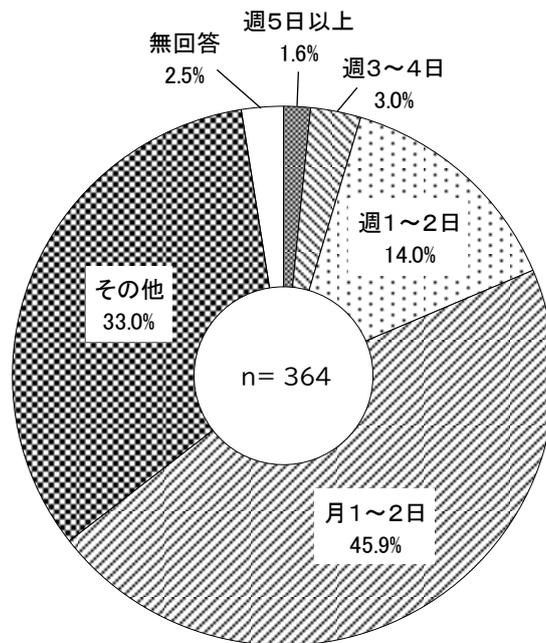
図Ⅲ－72 ボランティアや市民活動への参加状況（性別／年齢別）

(4-1) ボランティアや市民活動への参加頻度

「月1～2日」が4割超  
 (問20で「1. 現在参加している」または「2. 過去に参加したことがある」とお答えの方)  
 【問20-1】どれぐらいの頻度で参加活動をしていますか。または、活動をしていましたか。次の中から1つだけ選んでください。なお、活動が複数団体の場合は、合算した数を選んでください。(〇は1つ)

ボランティアや市民活動をしているか、または、したことがあるかで「現在参加している」、「過去に参加したことがある」と答えた人(364人)に、どれぐらいの頻度で参加活動をしているか、または、活動をしていたか聞いたところ、「月1～2日」が45.9%と最も高く、次いで、「その他」(33.0%)、「週1～2日」(14.0%)、「週3～4日」(3.0%)、「週5日以上」(1.6%)となっており、「週1～2日」と「週3～4日」と「週5日以上」を合わせた『週1日以上の人』の割合は18.6%で2割弱となっている。

「その他」については、「年1～2回、半年に1回」(25件)などが挙げられている



図Ⅲ-73 ボランティアや市民活動への参加頻度

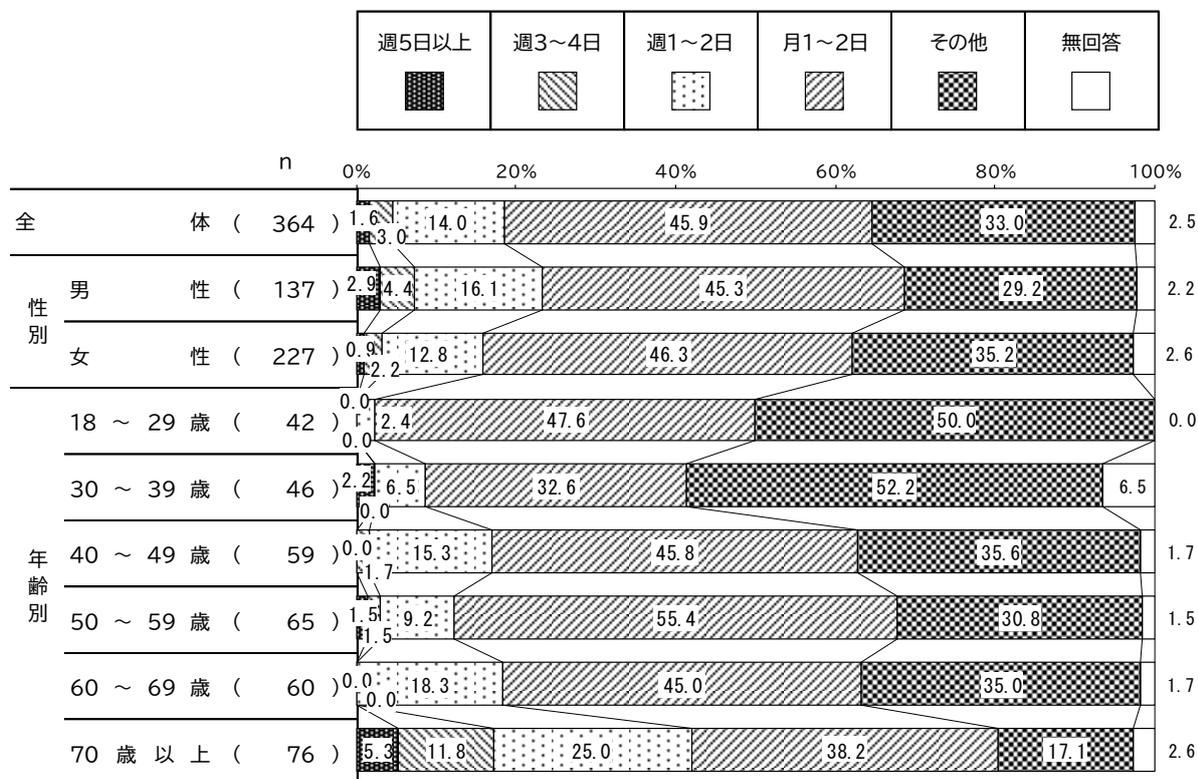
表Ⅲ-20 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
年1～2回、半年に1回	25
年に数回	17
過去に1～2回のみ	15
不定期・単発・短期・要請に応じて	11
過去に数回	6
数年に1回	5
その他	19
(記載なし)	22
合計	120

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「週1～2日」と「週3～4日」と「週5日以上」を合わせた『週1日以上』の人の割合は、男性（23.4%）が女性（15.9%）より7.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『週1日以上の人』の割合は、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、最も低い18～29歳（2.4%）と最も高い70歳以上（42.1%）では、39.7ポイントの差がある。



図Ⅲ－74 ボランティアや市民活動への参加頻度（性別／年齢別）

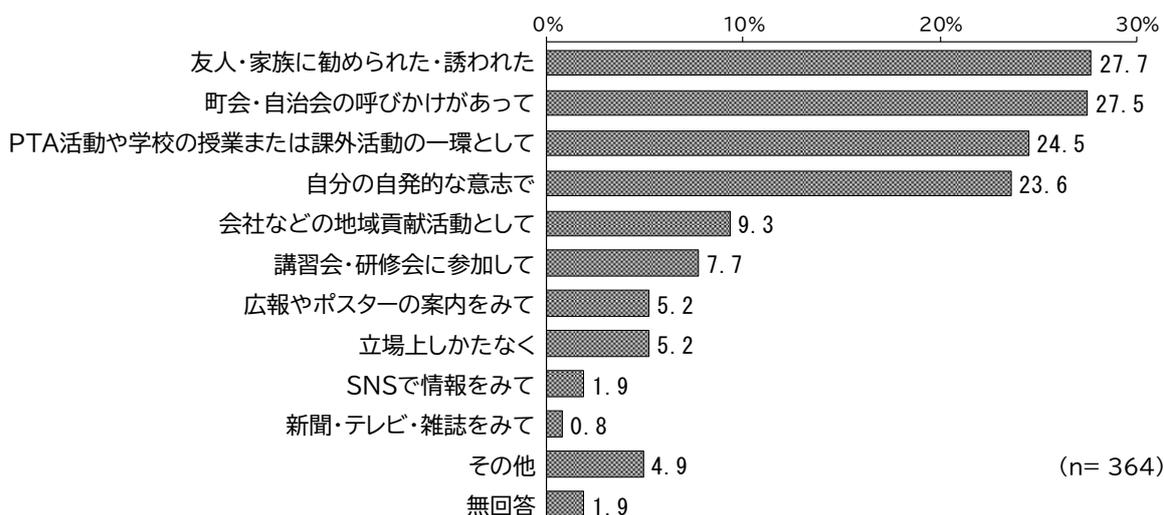
(4-2) ボランティアや市民活動に参加した「きっかけ」

「友人・家族に勧められた・誘われた」と「町会・自治会の呼びかけがあって」が3割近く

【問20-2】ボランティアや市民活動に参加した「きっかけ」は何ですか。次の中から主なものを2つだけ選んでください。(〇は2つ)

ボランティアや市民活動をしているか、または、したことがあるかで「現在参加している」、「過去に参加したことがある」と答えた人(364人)に、ボランティアや市民活動に参加した「きっかけ」を聞いたところ、「友人・家族に勧められた・誘われた」が27.7%で最も高く、次いで、「町会・自治会の呼びかけがあって」(27.5%)、「PTA活動や学校の授業または課外活動の一環として」(24.5%)、「自分の自発的な意志で」(23.6%)と、いずれも2割を超えている。

「その他」については、「学校・高校・大学の行事・委員会・授業の一環で」(5件)などが挙げられている。



図Ⅲ-75 ボランティアや市民活動に参加した「きっかけ」

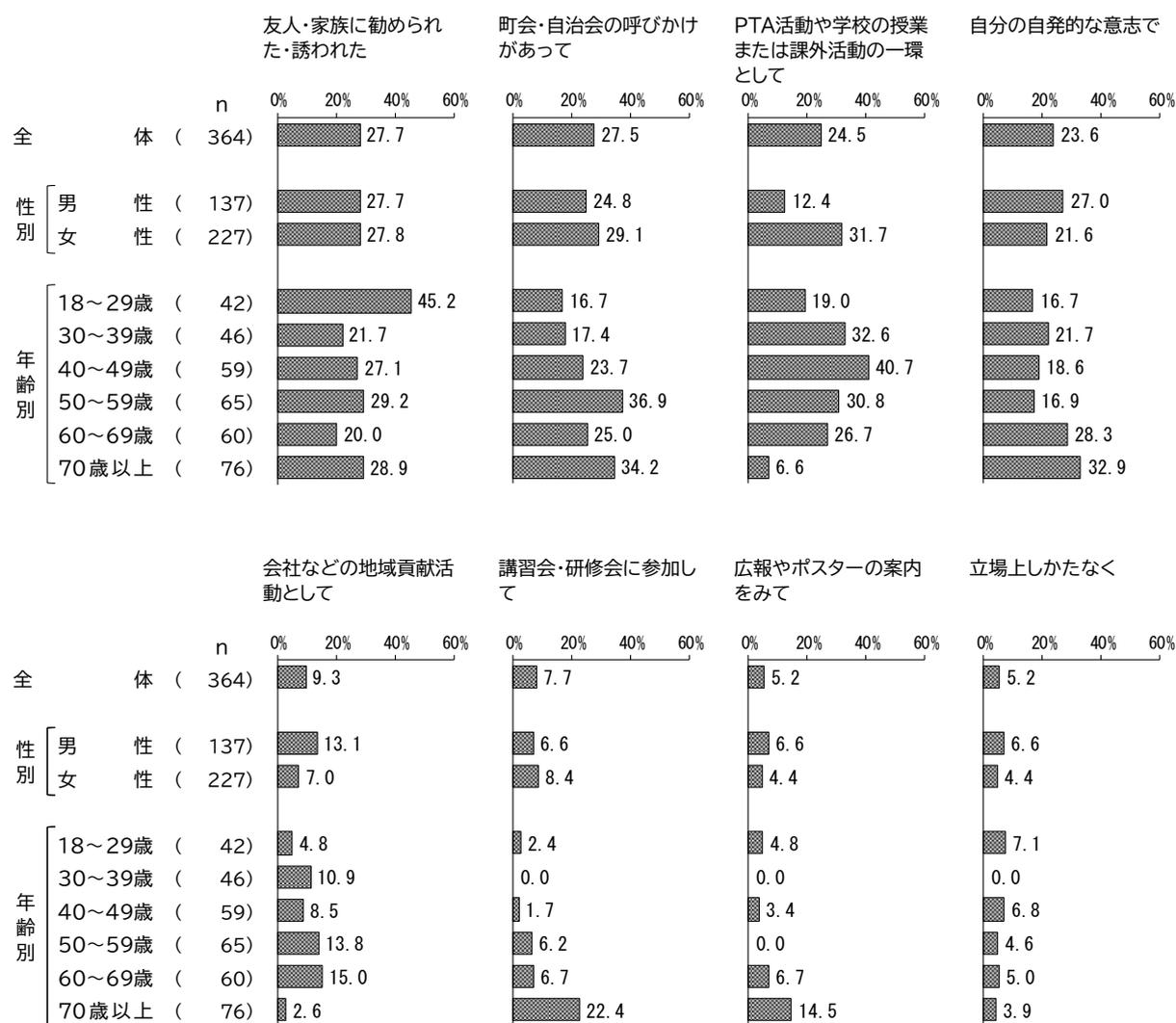
表Ⅲ-21 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
学校・高校・大学の行事・委員会・授業の一環で	5
ボーイスカウト・ガールスカウト活動で	2
近所の人・知人との関係で	2
その他	8
(記載なし)	1
合計	18

【性別／年齢別】（上位8項目）

性別で比較すると、「PTA活動や学校の授業または課外活動の一環として」では、女性（31.7%）が男性（12.4%）より19.3ポイント高く、「会社などの地域貢献活動として」は、男性（13.1%）が女性（7.0%）より6.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「友人・家族に勧められた・誘われた」では、18～29歳が45.2%で最も高く、「PTA活動や学校の授業または課外活動の一環として」では、40～49歳が40.7%で最も高くなっており、4割を超えている。



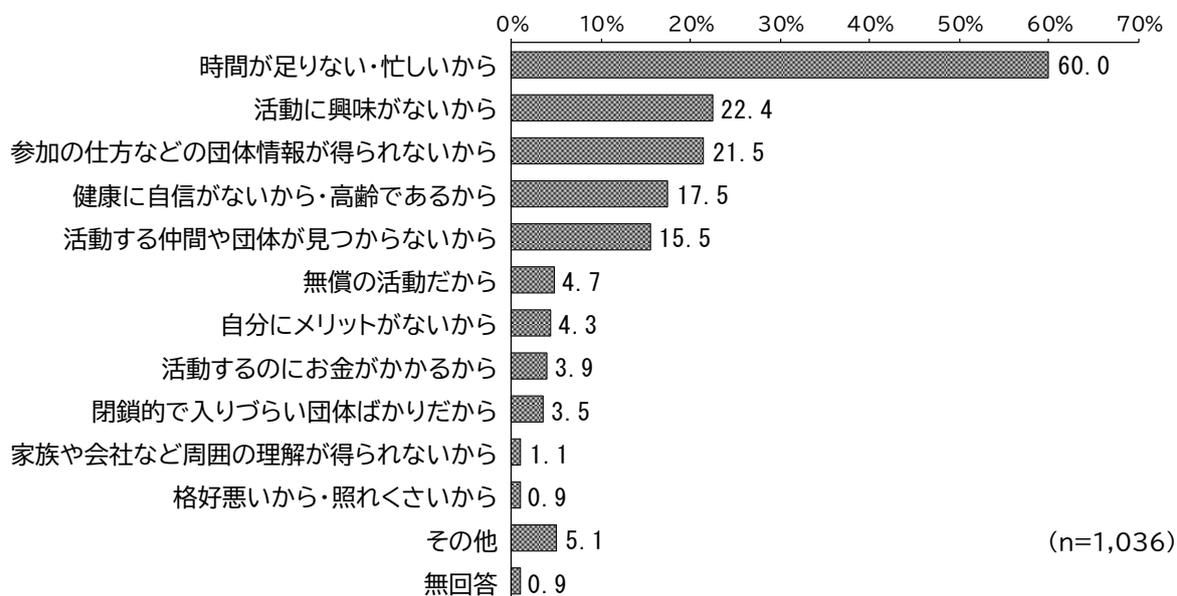
図Ⅲ－76 ボランティアや市民活動に参加した「きっかけ」 上位8項目（性別／年齢別）

(4-3) ボランティアや市民活動に参加しない理由

「時間が足りない・忙しいから」が6割  
 (問20で「3. 参加したことはない」とお答えの方)  
 【問20-3】ボランティアや市民活動に参加したことがない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

ボランティアや市民活動をしているか、または、したことがあるかで「参加したことはない」と答えた人(1,036人)に、ボランティアや市民活動に参加したことがない理由について聞いたところ、「時間が足りない・忙しいから」が60.0%で突出して高く、次いで、「活動に興味がないから」(22.4%)、「参加の仕方などの団体情報が得られないから」(21.5%)までが2割を超えており、以下、「健康に自信がないから・高齢であるから」(17.5%)、「活動する仲間や団体が見つからないから」(15.5%)と続いている。

「その他」については、「人と交流するのが苦手だから」(7件)などが挙げられている。



図Ⅲ-77 ボランティアや市民活動に参加しない理由

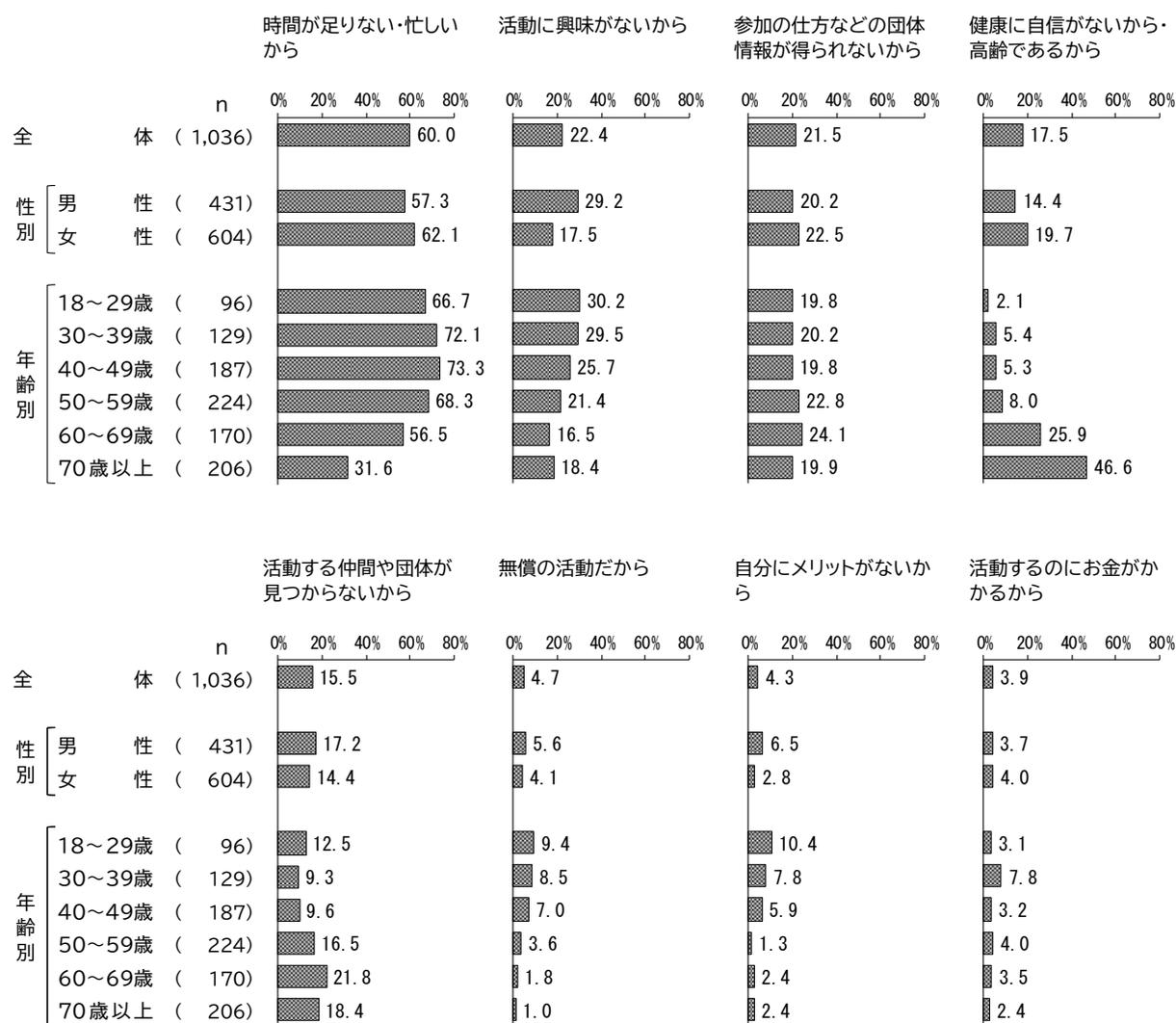
表Ⅲ-22 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
人と交流するのが苦手だから	7
仕事をしているから	6
子育て中だから、介護をしているから	6
機会・きっかけがないから	5
体が不自由だから、病気だから	4
生活にゆとり・余裕がないから	4
経験、知識、技能、能力がないから	3
その他	14
(記載なし)	6
合計	55

【性別／年齢別】（上位 8 項目）

性別で比較すると、「活動に興味がないから」では、男性（29.2%）が女性（17.5%）より 11.7 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「時間が足りない・忙しいから」では、30～39 歳（72.1%）、40～49 歳（73.3%）が 7 割を超えて高くなっている。また、「健康に自信がないから・高齢であるから」では、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、最も低い 18～29 歳（2.1%）と最も高い 70 歳以上（46.6%）には 44.5 ポイントの差がある。



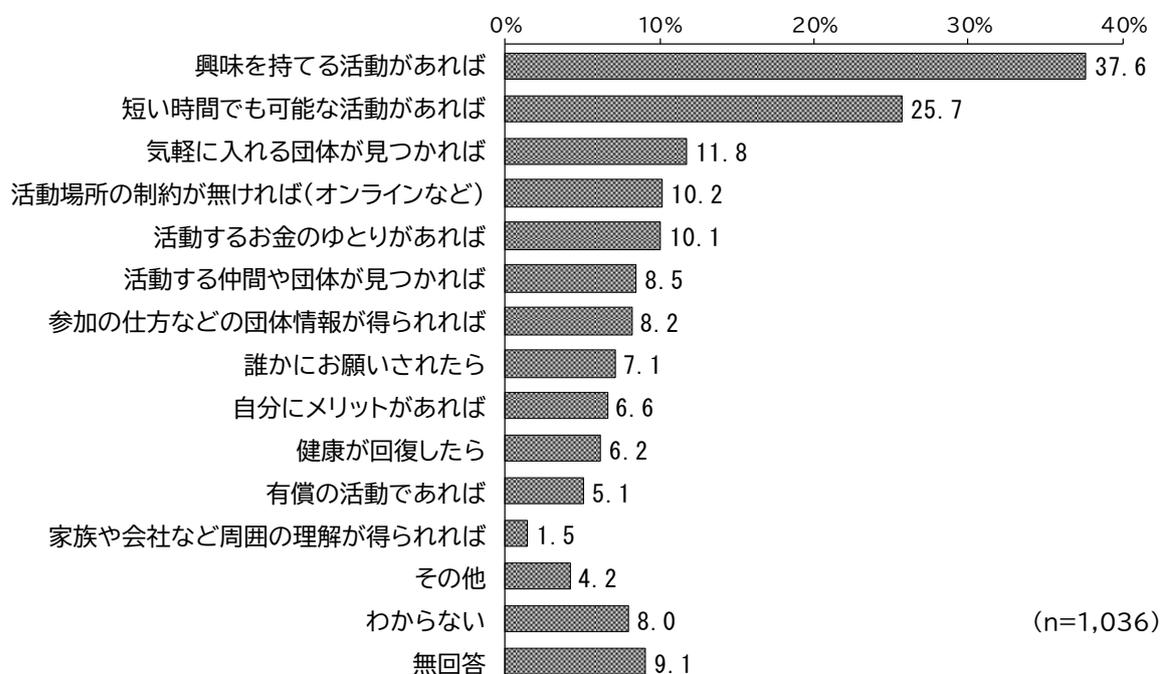
図Ⅲ－78 ボランティアや市民活動に参加しない理由 上位 8 項目（性別／年齢別）

(4-4) ボランティアや市民活動に参加する状況・条件

「興味を持てる活動があれば」が4割近く  
**【問20-4】どのような状況・条件になればボランティアや市民活動に参加すると思いますか。次の中から主なものを2つ選んでください。(〇は2つ)**

ボランティアや市民活動をしているか、または、したことがあるかで「参加したことはない」と答えた人(1,036人)に、どのような状況・条件になればボランティアや市民活動に参加すると思うか聞いたところ、「興味を持てる活動があれば」が37.6%で最も高く、次いで、「短い時間でも可能な活動があれば」(25.7%)までが2割を超え、以下、「気軽に入れる団体が見つければ」(11.8%)、「活動場所の制約が無ければ(オンラインなど)」(10.2%)、「活動するお金のゆとりがあれば」(10.1%)と続いている。

「その他」については、「時間・ゆとり・余裕ができれば」(22件)などが挙げられている。



図Ⅲ-79 ボランティアや市民活動に参加する状況・条件

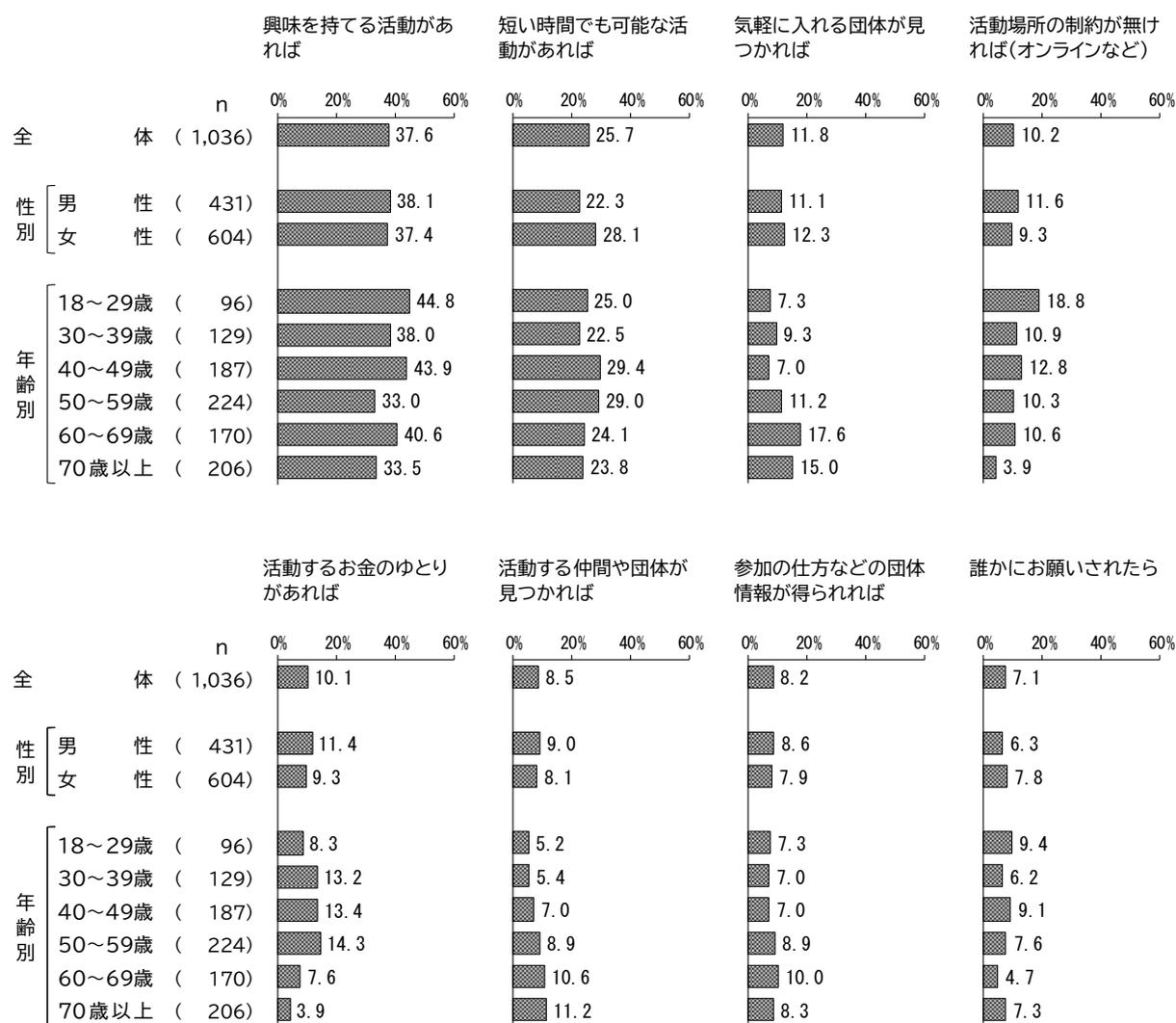
表Ⅲ-23 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
時間・ゆとり・余裕ができれば	22
退職したら、定年したら	8
高齢・病気・介護・育児で参加できない	8
その他	6
(記載なし)	3
合計	47

【性別／年齢別】（上位 8 項目）

性別で比較すると、「短い時間でも可能な活動があれば」は、女性（28.1%）が男性（22.3%）より 5.8 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「興味を持てる活動があれば」では、18～29 歳（44.8%）、40～49 歳（43.9%）、60～69 歳（40.6%）で 4 割を超えている。「活動場所の制約が無ければ（オンラインなど）」では、最も低い 70 歳以上（3.9%）と最も高い 18～29（18.8%）では 14.9 ポイントの差がある。



図Ⅲ－80 ボランティアや市民活動に参加する状況・条件 上位 8 項目（性別／年齢別）

(4-5) ボランティアや市民活動に参加したい活動内容

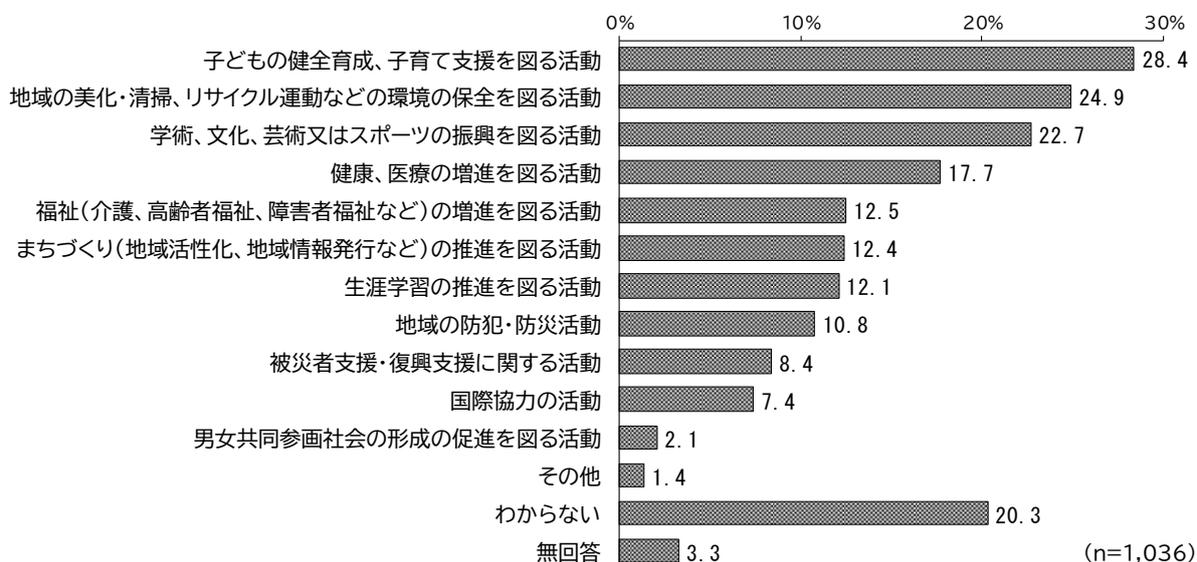
「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」が3割弱

【問20-5】ボランティアや市民活動に参加するとしたら、どのような内容の活動に参加したいですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

ボランティアや市民活動をしているか、または、したことがあるかで「参加したことはない」と答えた人(1,036人)に、ボランティアや市民活動に参加するとしたら、どのような内容の活動に参加したいか聞いたところ、「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」が28.4%で最も高く、次いで、「地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動」(24.9%)、「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」(22.7%)と続いている。

一方、「わからない」が20.3%と2割となっている。

「その他」については、「地域猫・動物保護・里親探しに関する活動」(7件)などが挙げられている。



図Ⅲ-81 ボランティアや市民活動に参加したい活動内容

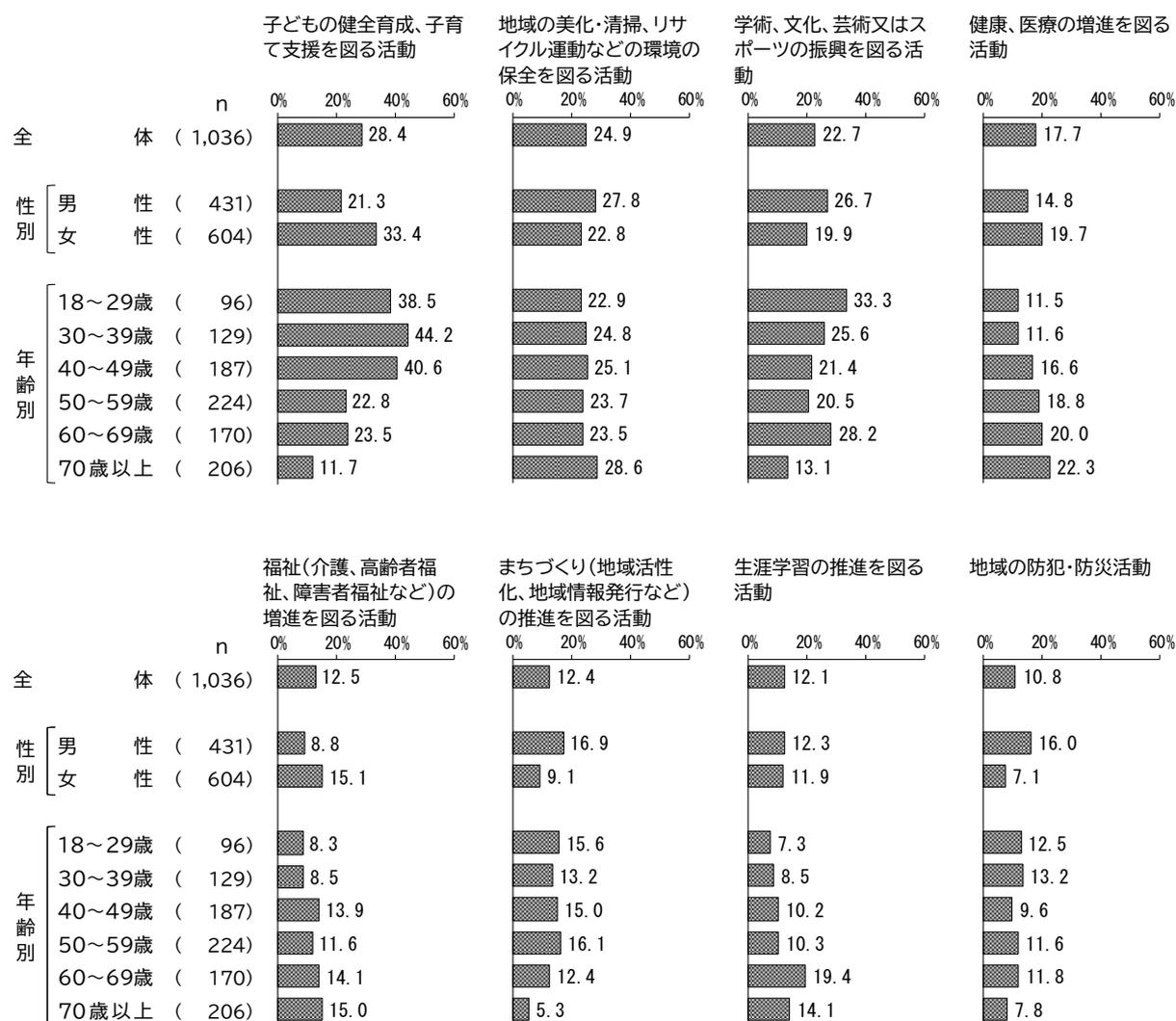
表Ⅲ-24 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
地域猫・動物保護・里親探しに関する活動	7
農業に関する活動	2
その他	6
(記載なし)	1
合計	16

【性別／年齢別】（上位 8 項目）

性別で比較すると、「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」、「福祉（介護、高齢者福祉、障害者福祉など）の増進を図る活動」は、女性（33.4%、15.1%）が男性（21.3%、8.8%）よりそれぞれ 12.1、6.3 ポイント高く、「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」、「まちづくり（地域活性化、地域情報発行など）の推進を図る活動」、「地域の防犯・防災活動」は、男性（26.7%、16.9%、16.0%）が女性（19.9%、9.1%、7.1%）よりそれぞれ 6.8、7.8、8.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「子どもの健全育成、子育て支援を図る活動」は、30～39 歳（44.2%）、40～49 歳（40.6%）で 4 割を超えている。また、「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」は、年齢が下がるに従い高くなる傾向が見られ、最も低い 70 歳以上（13.1%）と最も高い 18～29 歳（33.3%）で 20.2 ポイントの差がある。一方、「健康、医療の増進を図る活動」は、年齢が上がるに従い高くなっており、最も低い 18～29 歳（11.5%）と最も高い 70 歳以上（22.3%）で 10.8 ポイントの差がある。



図Ⅲ－82 ボランティアや市民活動に参加したい活動内容 上位 8 項目（性別／年齢別）

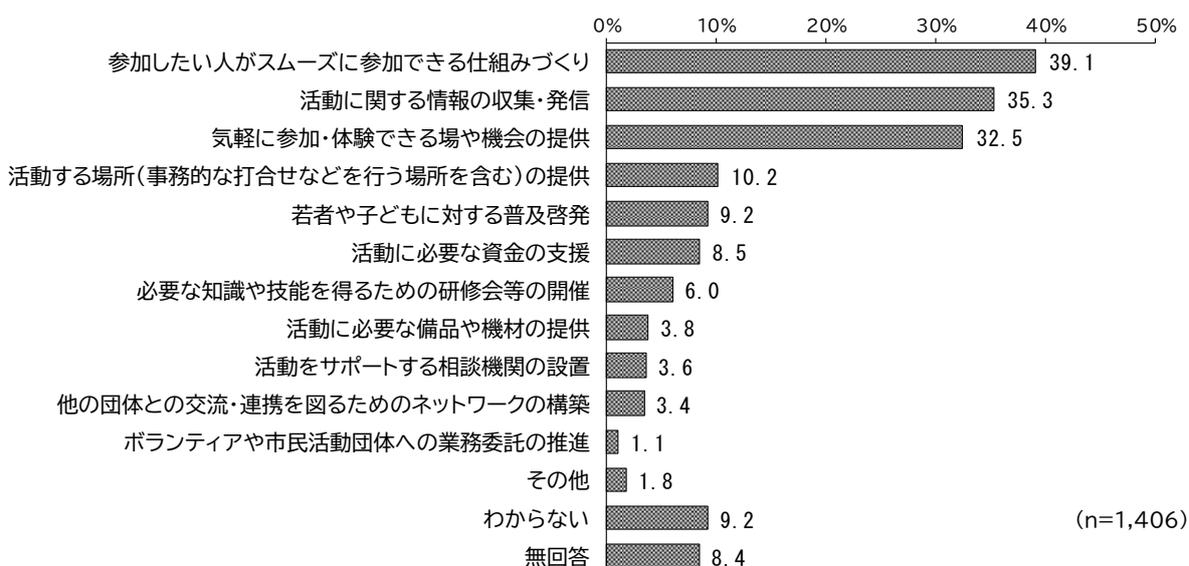
(5) ボランティアや市民活動を活性化していくために望ましいと思う施策

「参加したい人がスムーズに参加できる仕組みづくり」が4割弱

【問21】 今後、ボランティアや市民活動をさらに活性化していくために、市はどのような施策を展開することが望ましいと思われますか。次の中から主なものを2つ選んでください。(〇は2つ)

今後、ボランティアや市民活動をさらに活性化していくために、市はどのような施策を展開することが望ましいと思うかについて聞いたところ、「参加したい人がスムーズに参加できる仕組みづくり」が39.1%と最も高く、次いで、「活動に関する情報の収集・発信」(35.3%)、「気軽に参加・体験できる場や機会の提供」(32.5%)までが3割を超えており、以下、「活動する場所(事務的な打合せなどを行う場所を含む)の提供」(10.2%)と続いている。

「その他」については、「活動する人の目的・ニーズを理解する、声を聞く、現場を見る」(3件)などが挙げられている。



図Ⅲ－83 ボランティアや市民活動を活性化していくために望ましいと思う施策

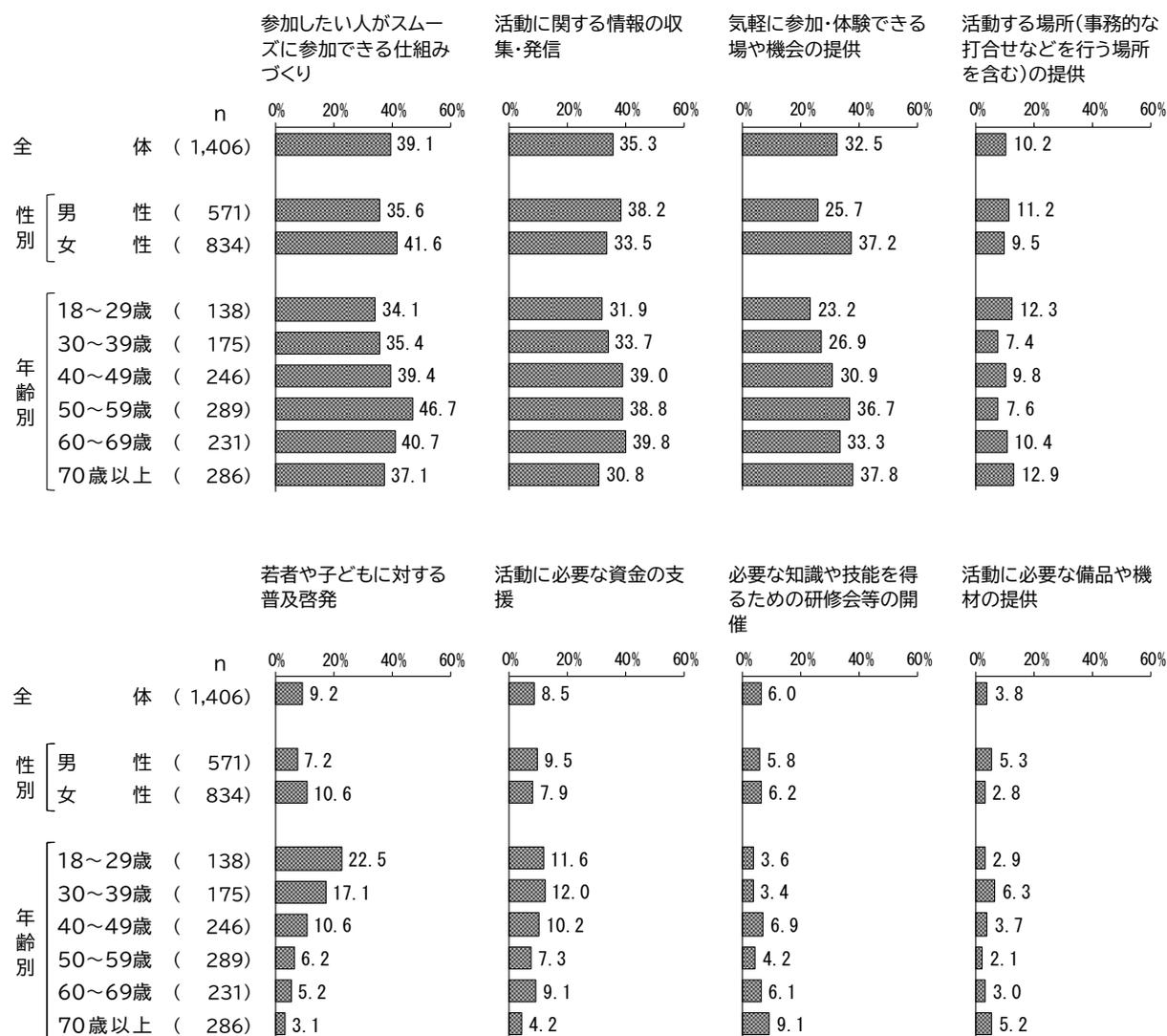
表Ⅲ－25 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
活動する人の目的・ニーズを理解する、声を聞く、現場を見る	3
活動する人の生活基盤を安定させる	2
SNSを利用した広報活動、興味を惹くPR	2
その他	14
(記載なし)	4
合計	25

【性別／年齢別】（上位 8 項目）

性別で比較すると、「参加したい人がスムーズに参加できる仕組みづくり」、「気軽に参加・体験できる場や機会の提供」は、女性（41.6%、37.2%）が男性（35.6%、25.7%）よりそれぞれ 6.0、11.5 ポイント高く、「活動に関する情報の収集・発信」は、男性（38.2%）が女性（33.5%）より 4.7 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「参加したい人がスムーズに参加できる仕組みづくり」は、50～59 歳（46.7%）、60～69 歳（40.7%）で 4 割を超えている。「気軽に参加・体験できる場や機会の提供」は、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、最も低い 18～29 歳（23.2%）と最も高い 70 歳以上（37.8%）では 14.6 ポイントの差がある。一方、「若者や子どもに対する普及啓発」は、年齢が下がるに従い高くなり、最も低い 70 歳以上（3.1%）と最も高い 18～29 歳（22.5%）では 19.4 ポイントの差がある。



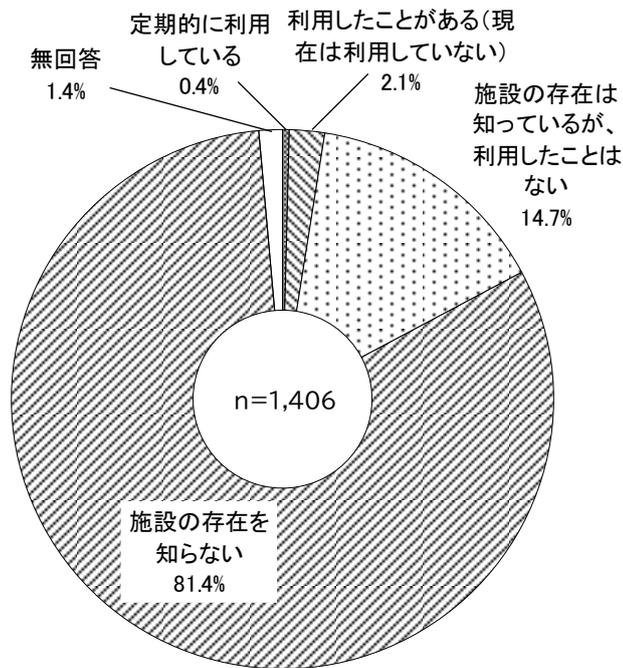
図Ⅲ－8 4 ボランティアや市民活動を活性化していくために望ましいと思う施策  
上位 8 項目（性別／年齢別）

(6) 市民活動サポートセンターの認知状況

『知っている人』は2割近く

【問22】 船橋駅前フェイスビル5階にボランティア・市民活動推進施設として平成15年に設置された市民活動サポートセンターをご存じですか。次の中から1つだけ選んでください。(〇は1つ)

船橋駅前フェイスビル5階にボランティア・市民活動推進施設として平成15年に設置された市民活動サポートセンターを知っているかについて聞いたところ、「施設の存在を知らない」が81.4%と最も高く、次いで、「施設の存在は知っているが、利用したことはない」(14.7%)、「利用したことがある(現在は利用していない)」(2.1%)、「定期的にご利用している」(0.4%)となっており、「定期的にご利用している」、「利用したことがある(現在は利用していない)」、「施設の存在は知っているが、利用したことはない」を合わせた『知っている人』の割合は、17.2%となっている。

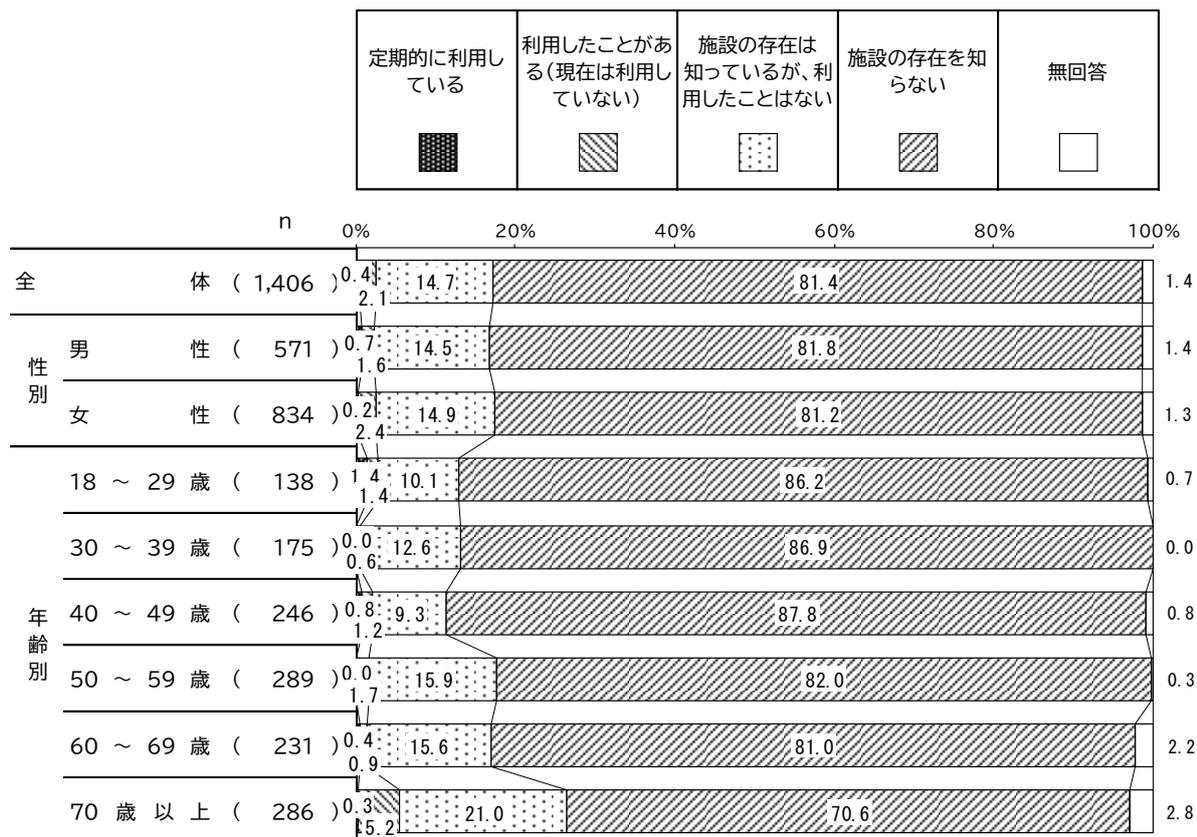


図Ⅲ－85 市民活動サポートセンターの認知状況

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「定期的にご利用している」、「利用したことがある（現在は利用していない）」、「施設の存在は知っているが、利用したことはない」を合わせた『知っている人』の割合は、男性（16.8%）、女性（17.5%）とほとんど変わらない。

年齢別にみると、「利用したことがある（現在は利用していない）」、「施設の存在は知っているが、利用したことはない」は、70歳以上（5.2%、21.0%）で最も高く、『知っている人』の割合も70歳以上では26.5%と3割近い。



図Ⅲ－８６ 市民活動サポートセンターの認知状況（性別／年齢別）

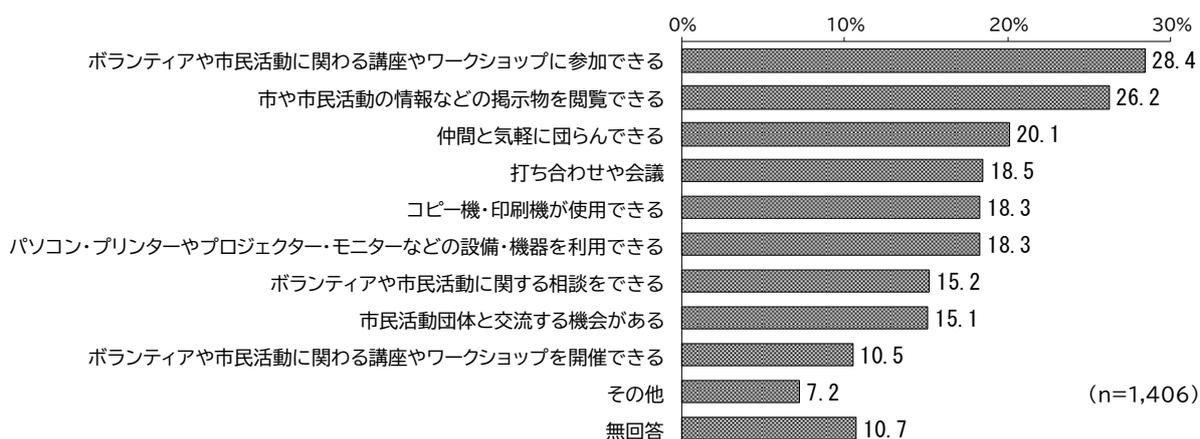
(7) 市民活動サポートセンターを利用したいと思う条件

「ボランティアや市民活動に関わる講座やワークショップに参加できる」が3割弱

**【問23】** この市民活動サポートセンターを利用するにあたって、施設でどのようなことができれば利用したいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。(〇はいくつでも)

市民活動サポートセンターを利用するにあたって、施設でどのようなことができれば利用したいと思うか聞いたところ、「ボランティアや市民活動に関わる講座やワークショップに参加できる」が28.4%と最も高く、次いで、「市や市民活動の情報などの掲示物を閲覧できる」(26.2%)、「仲間と気軽に団らんできる」(20.1%)までが2割を超えており、以下、「打ち合わせや会議」(18.5%)、「コピー機・印刷機が利用できる」、「パソコン・プリンターやプロジェクター・モニターなどの設備・機器を利用できる」(ともに18.3%)と続いている。

「その他」については、「施設が近所・距離が近くであれば利用できる」(4件)などが挙げられている。



図Ⅲ－87 市民活動サポートセンターを利用したいと思う条件

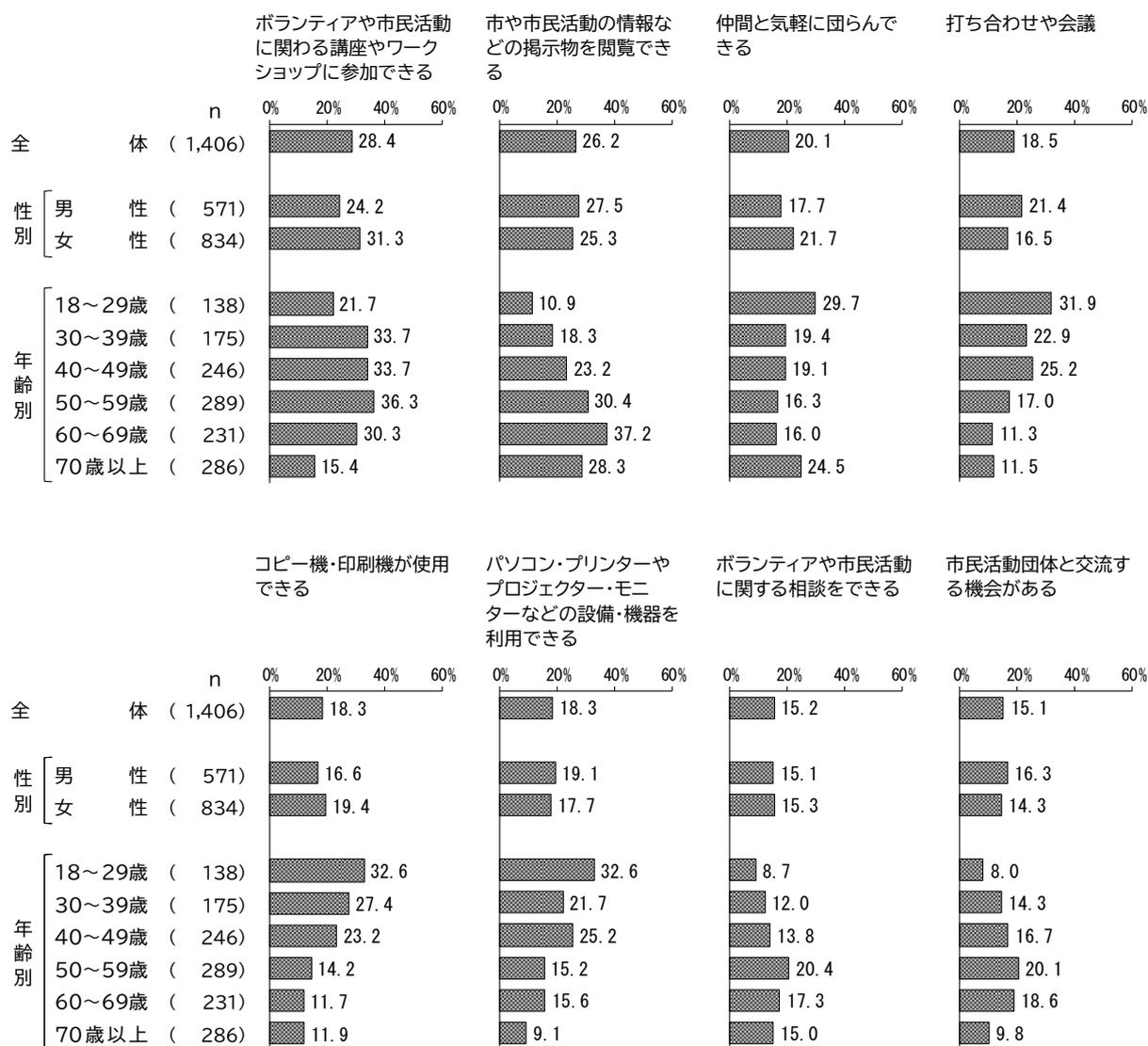
表Ⅲ－26 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
施設が近所・距離が近くであれば利用できる	4
作業・自習ができるスペース	3
無料WiFiが利用できる	2
その他	17
参加できない・利用できない	6
利用したいと思わない・利用しない	16
特になし	19
わからない	22
(記載なし)	13
合計	102

【性別／年齢別】（上位 8 項目）

性別で比較すると、「ボランティアや市民活動に関わる講座やワークショップに参加できる」は、女性(31.3%)が男性(24.2%)より 7.1 ポイント高く、「打ち合わせや会議」は、男性(21.4%)が女性(16.5%)より 4.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「市や市民活動の情報などの掲示物を閲覧できる」は、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、最も低い 18～29 歳(10.9%)と最も高い 60～69 歳(37.2%)では 26.3 ポイントの差がある。一方、「コピー機・印刷機が使用できる」は、年齢が下がるに従い高くなる傾向が見られ、最も低い 60～69 歳(11.7%)と最も高い 18～29 歳(32.6%)では 20.9 ポイントの差がある。

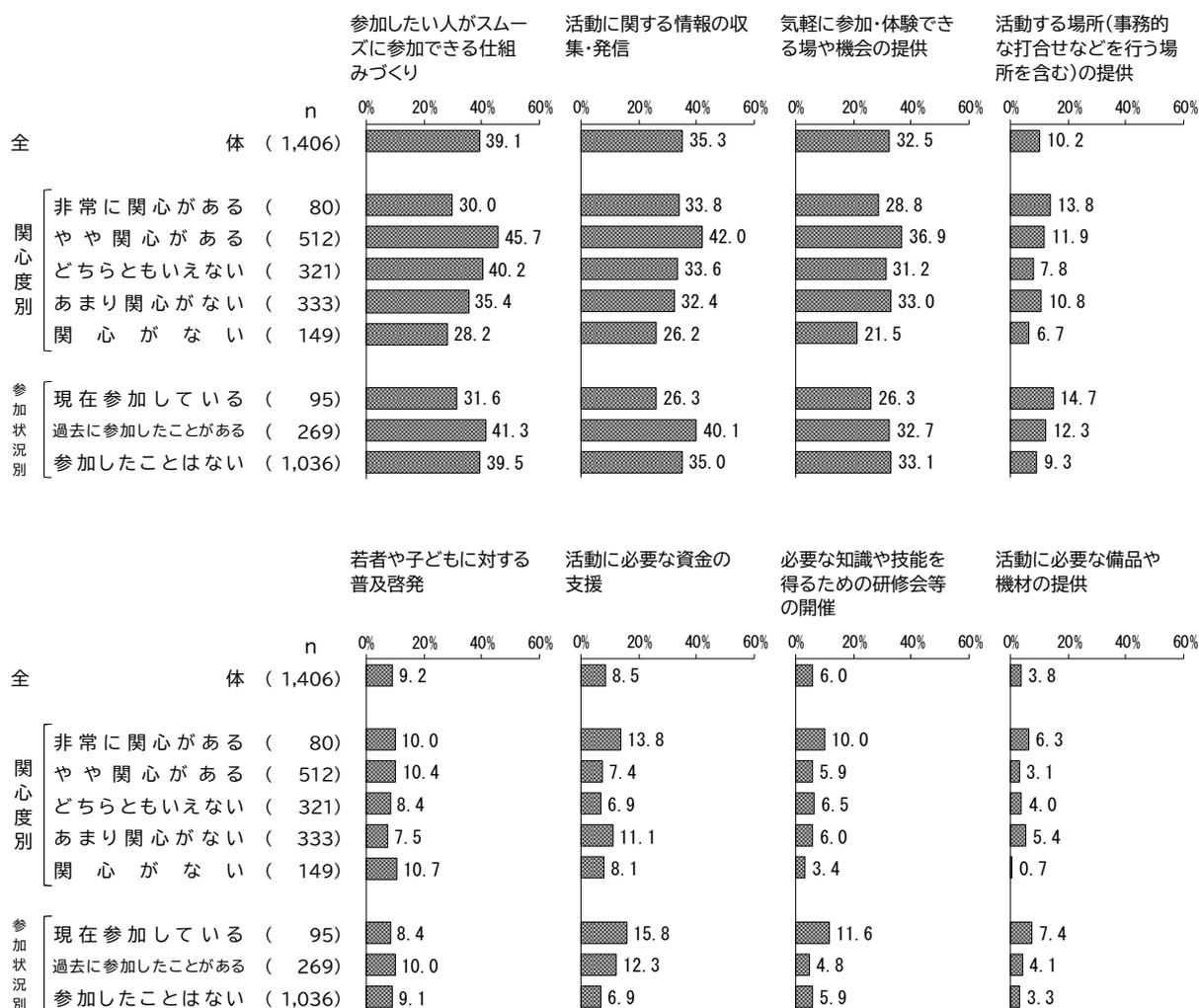


図Ⅲ－８８ 市民活動サポートセンターを利用したいと思う条件 上位 8 項目（性別／年齢別）

(8) 「ボランティア・市民活動」概観

ボリュームゾーンであるやや関心がある人は「参加したい人がスムーズに参加できる仕組みづくり」、「活動に関する情報の収集・発信」を所望

ボランティアや市民活動を活性化していくために望ましいと思う施策について、ボランティアや市民活動への関心度別および参加状況別にみると、やや関心がある人は、「参加したい人がスムーズに参加できる仕組みづくり」(45.7%)、「活動に関する情報の収集・発信」(42.0%)の割合が4割を超えて最も高く、過去に参加したことがある人でも、「参加したい人がスムーズに参加できる仕組みづくり」(41.3%)、「活動に関する情報の収集・発信」(40.1%)の割合が4割を超えており、ボランティアや市民活動への参加を促すためにもこれらの施策の実施が望まれる。



図Ⅲ－89 ボランティアや市民活動を活性化していくために望ましいと思う施策上位8項目（ボランティアや市民活動への関心度別および参加状況別）

## 5. 「居住する住宅」について

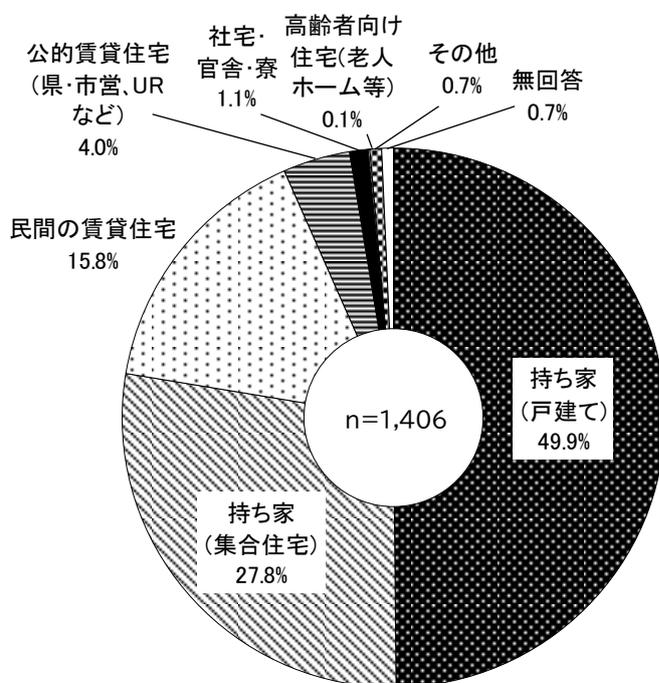
### (1) 居住している住宅

「持ち家（戸建て）」が5割

【問24】現在どのような住宅にお住まいですか。（〇は1つ）

現在どのような住宅にお住まいになっているか聞いたところ、「持ち家（戸建て）」が49.9%で最も高く、次いで、「持ち家（集合住宅）」（27.8%）、「民間の賃貸住宅」（15.8%）、「公的賃貸住宅（県・市営、URなど）」（4.0%）、「社宅・官舎・寮」（1.1%）、「高齢者向け住宅（老人ホーム等）」（0.1%）となっている。

「その他」については、「親・兄の持ち家」（7件）などが挙がっている。



図Ⅲ－90 居住している住宅

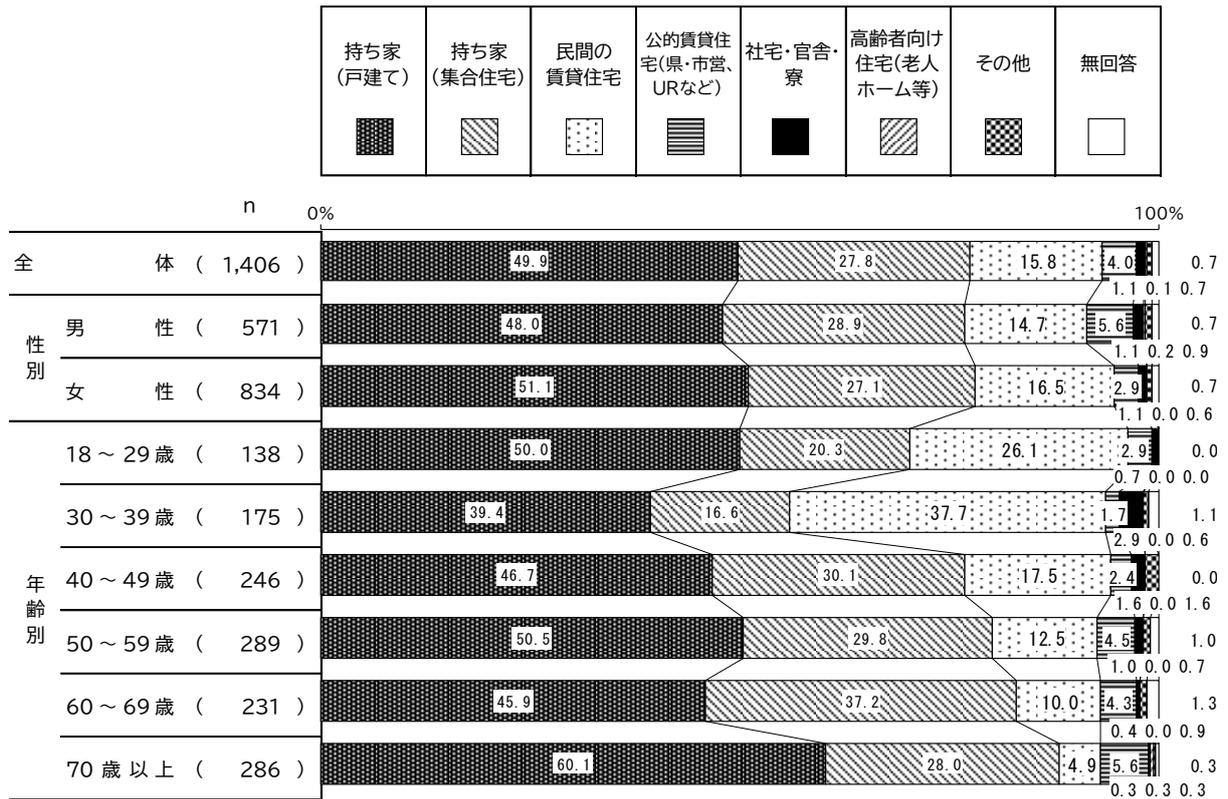
表Ⅲ－27 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
親・兄の持ち家	7
その他	2
（記載なし）	1
合計	10

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「持ち家（戸建て）」では、女性（51.1%）が男性（48.0%）より 3.1 ポイント高く、「公的賃貸住宅（県・市営、UR など）」では、男性（5.6%）が女性（2.9%）より 2.7 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「持ち家（戸建て）」では、割合が最も低い 30～39 歳（39.4%）と最も高い 70 歳以上（60.1%）には 20.7 ポイントの差がある。一方、「民間の賃貸住宅」では、割合が最も低い 70 歳以上（4.9%）と最も高い 30～39 歳（37.7%）には 32.8 ポイントの差がある。



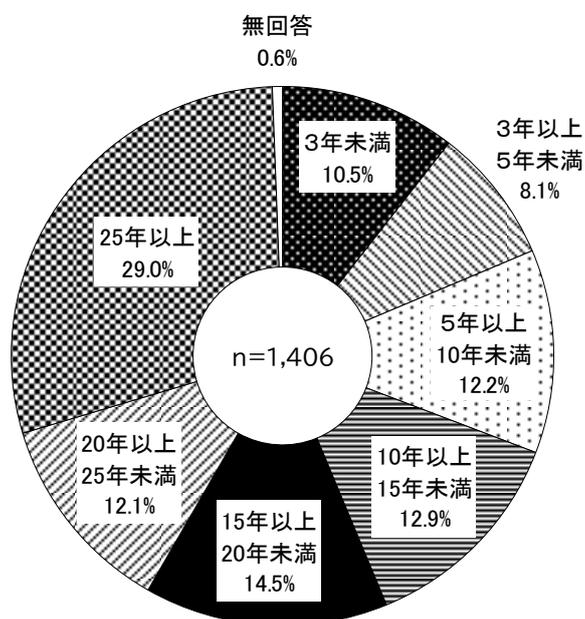
図Ⅲ－91 居住している住宅（性別／年齢別）

(2) 居住している住宅の居住年数

「25年以上」が3割弱

【問25】現在のお住まいの住宅には何年住んでいますか。(〇は1つ)

現在のお住まいの住宅には何年住んでいるか聞いたところ、「25年以上」が29.0%で最も高く、次いで、「15年以上20年未満」(14.5%)、「10年以上15年未満」(12.9%)、「5年以上10年未満」(12.2%)、「20年以上25年未満」(12.1%)、「3年未満」(10.5%)、「3年以上5年未満」(8.1%)となっている。

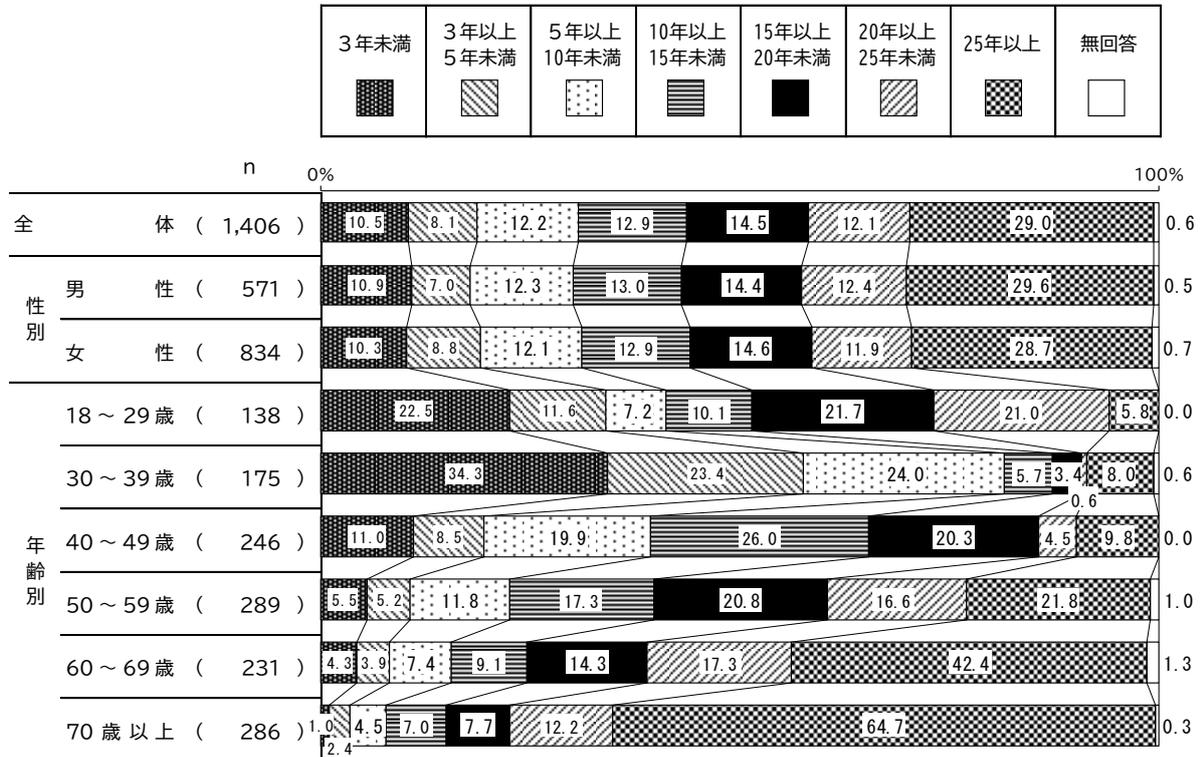


図Ⅲ-92 居住している住宅の居住年数

【性別／年齢別】

性別で比較すると、現在居住している住宅の居住年数に差は見られない。

年齢別にみると、「25年以上」では、年齢が上がるに従い高くなり、最も低い18～29歳(5.8%)と最も高い70歳以上(64.7%)には58.9ポイントの差がある。一方、「3年未満」では、年齢が下がるに従い高くなる傾向が見られ、最も低い70歳以上(1.0%)と最も高い30～39歳(34.3%)には33.3ポイントの差がある。



図Ⅲ－93 居住している住宅の居住年数（性別／年齢別）

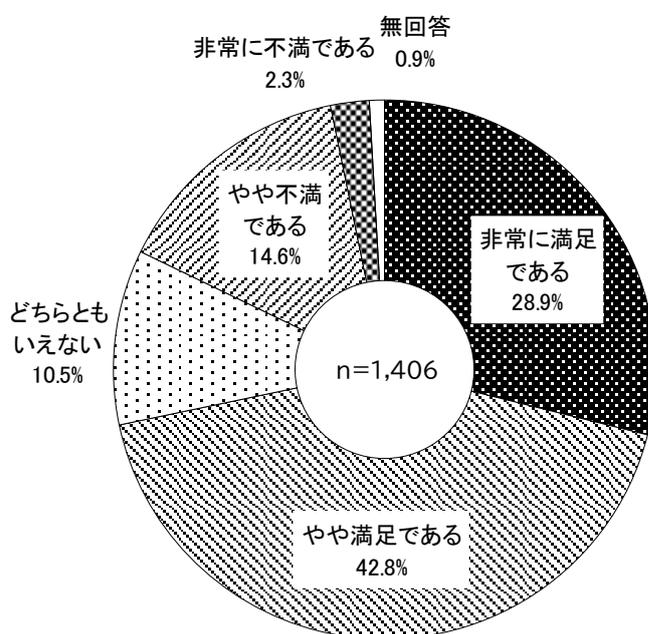
### (3) 居住している住宅の満足度

『満足である人』が7割超

【問26】現在のお住まいの住宅についてどのように感じていますか。(〇は1つ)

現在のお住まいの住宅についてどのように感じているかについて聞いたところ、「非常に満足である」(28.9%)と「やや満足である」(42.8%)を合わせた『満足である人』の割合は、71.7%と7割を超えている。

一方、「やや不満である」(14.6%)と「非常に不満である」(2.3%)を合わせた『不満である人』の割合は、16.9%となっている。

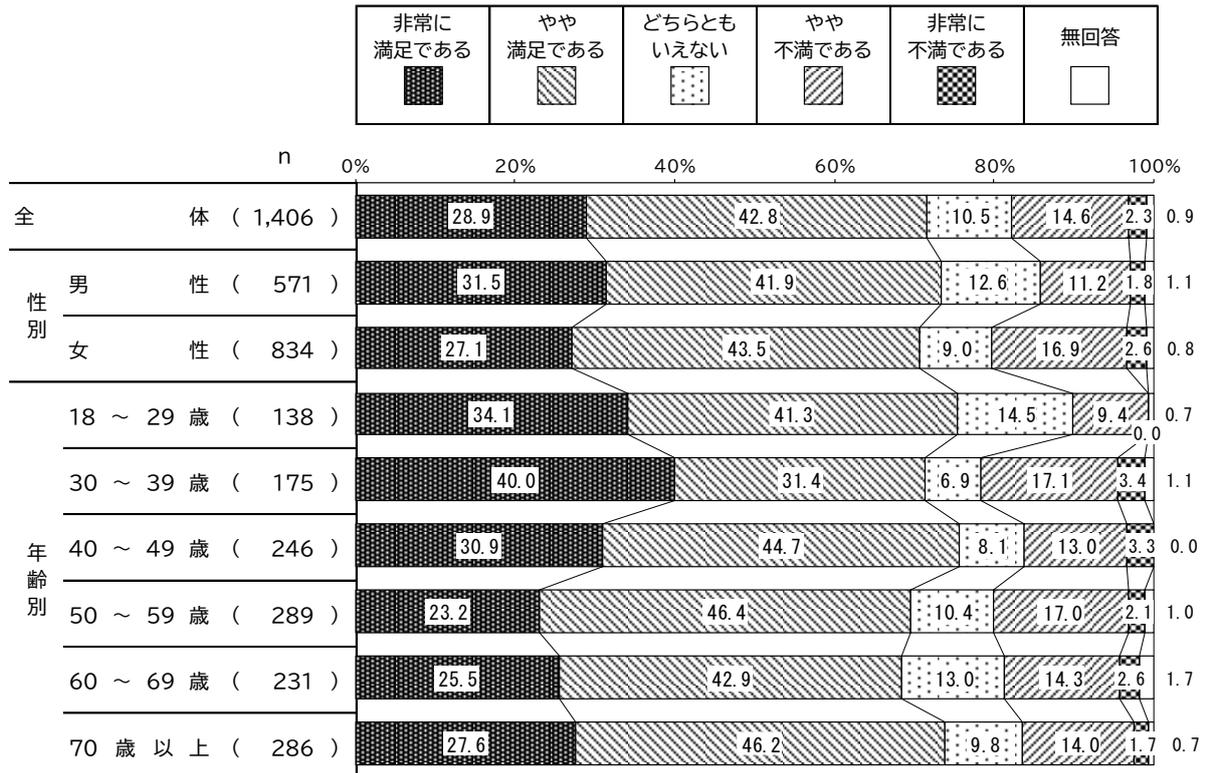


図Ⅲ－94 居住している住宅の満足度

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「非常に満足である」と「やや満足である」を合わせた『満足である人』の割合は、男性（73.4%）が女性（70.6%）より 2.8 ポイント高く、「やや不満である」と「非常に不満である」を合わせた『不満である人』の割合は、女性（19.5%）が男性（13.0%）より 6.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足である人』の割合は、最も低い 60～69 歳（68.4%）と最も高い 40～49 歳（75.6%）には 7.2 ポイントの差がある。一方、『不満である人』の割合は、最も低い 18～29 歳（9.4%）と最も高い 30～39 歳（20.5%）には 11.1 ポイントの差がある。



図Ⅲ－95 居住している住宅の満足度（性別／年齢別）

(4) 居住している住宅で困っていることや不安に思っていること

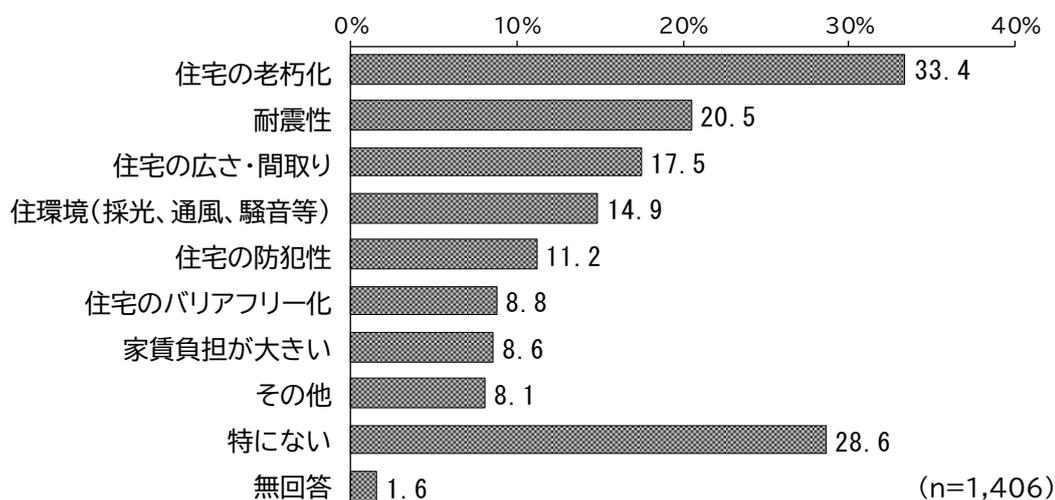
「住宅の老朽化」が3割超

【問27】現在のお住まいの住宅について、困っていることや不安に思っていることはありますか。(〇は3つまで)

現在のお住まいの住宅について、困っていることや不安に思っていることはあるか聞いたところ、「住宅の老朽化」が33.4%で最も高く、次いで、「耐震性」(20.5%)、「住宅の広さ・間取り」(17.5%)、「住環境(採光、通風、騒音等)」(14.9%)と続いている。

一方、「特にない」の割合は、28.6%となっている。

「その他」については、「ローン返済・修繕費・積立金・管理費・駐車場費が高い」、「駅から遠い・駅まで遠い・交通の便が悪い」、「住民トラブル・近所との問題・外国人住人のマナー問題」(いずれも11件)などが挙げられている。



図Ⅲ-96 居住している住宅で困っていることや不安に思っていること

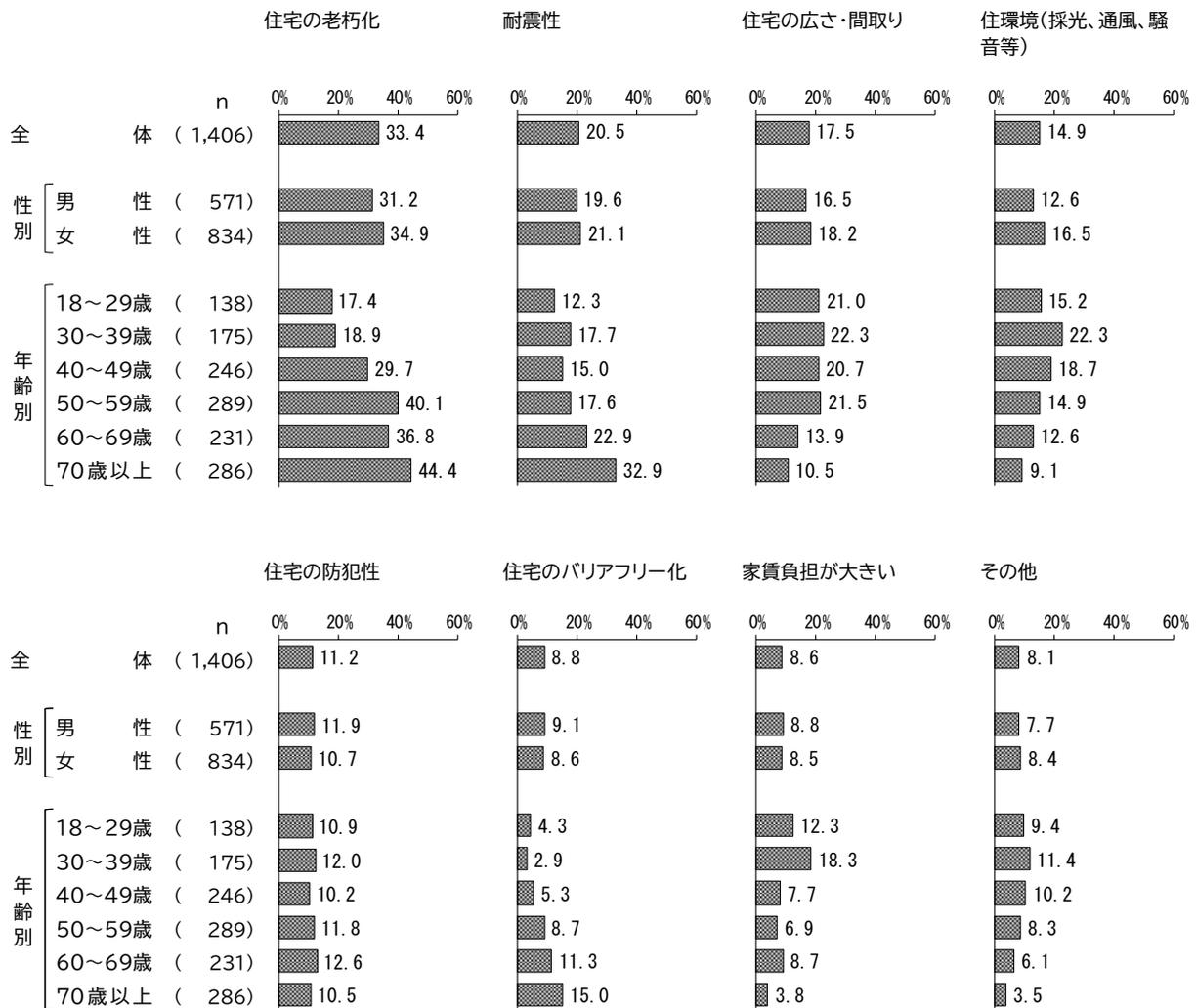
表Ⅲ-28 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
ローン返済・修繕費・積立金・管理費・駐車場費が高い	11
駅から遠い・駅まで遠い・交通の便が悪い	11
住民トラブル・近所との問題・外国人住人のマナー問題	11
道が狭い・道が整備されていない・渋滞している	10
雨漏り・水漏れ・冠水・浸水・水害	9
エレベーターがない	6
虫が多い・虫が出る	4
近所・近隣の空き家の問題	4
その他	50
(記載なし)	4
合計	120

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「住宅の老朽化」、「住環境（採光、通風、騒音等）」では、女性（34.9%、16.5%）が男性（31.2%、12.6%）よりそれぞれ3.7、3.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「住宅の老朽化」、「耐震性」では、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、割合が最も低い18～29歳（17.4%、12.3%）と最も高い70歳以上（44.4%、32.9%）にはそれぞれ27.0、20.6ポイントの差がある。また、「住宅のバリアフリー化」でも、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、割合が最も低い30～39歳（2.9%）と最も高い70歳以上（15.0%）には12.1ポイントの差がある。一方、「住環境（採光、通風、騒音等）」は年齢が下がるに従い高くなる傾向が見られ、割合が最も低い70歳以上（9.1%）と最も高い30～39歳（22.3%）には13.2ポイントの差がある。



図Ⅲ－97 居住している住宅で困っていることや不安に思っていること（性別／年齢別）

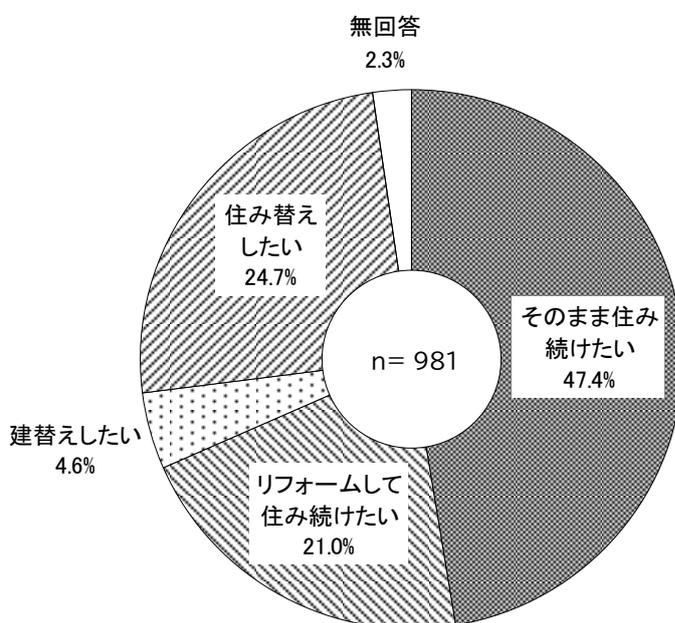
(4-1) 居住している住宅の今後の居留意向

「そのまま住み続けたい」が5割近く

(問27で「1」～「8」のいずれかをお答えの方)

【問27-1】現在のお住まいの住宅について、今後も住み続けたいと考えていますか。  
(〇は1つまで)

現在のお住まいの住宅について、困っていることや不安に思っていることがあると答えた人(981人)に、現在のお住まいの住宅について、今後も住み続けたいと考えているか聞いたところ、「そのまま住み続けたい」が47.4%で最も高く、次いで、「住み替えしたい」(24.7%)、「リフォームして住み続けたい」(21.0%)、「建替えしたい」(4.6%)となっている。

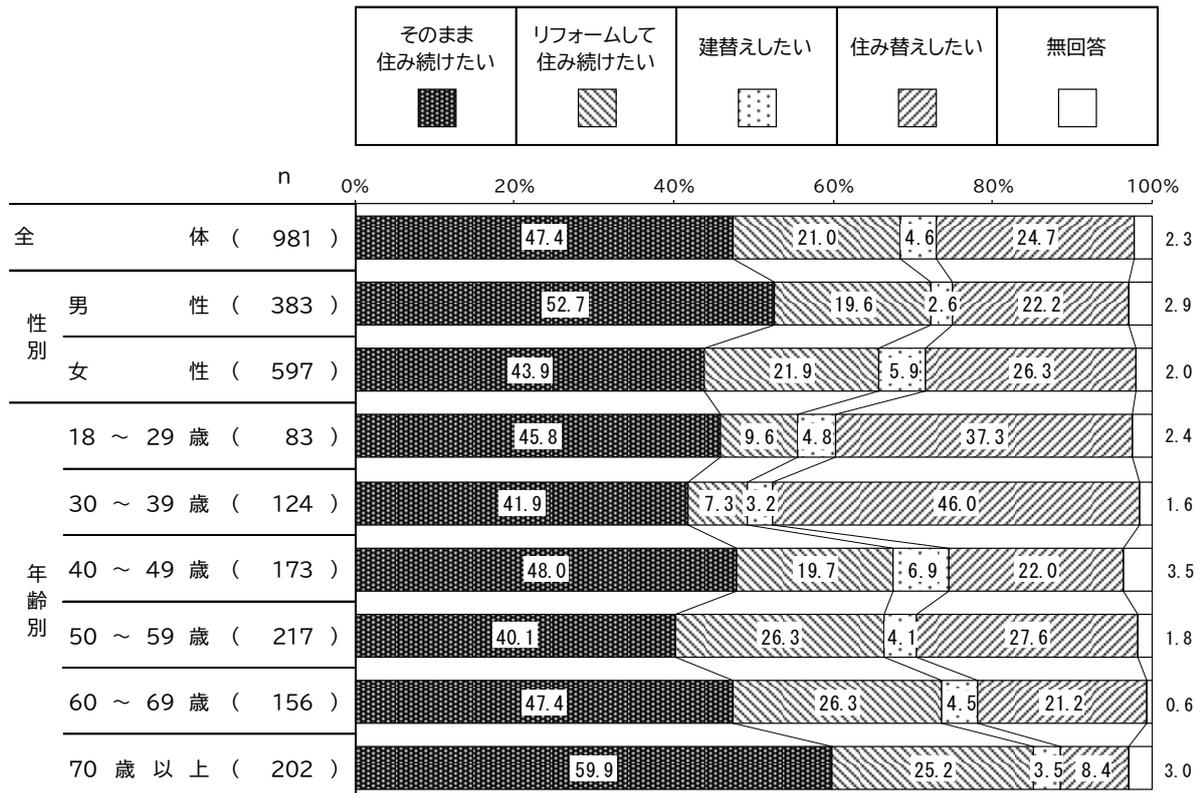


図Ⅲ-98 居住している住宅の今後の居留意向

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「そのまま住み続けたい」では、男性（52.7%）が女性（43.9%）より8.8ポイント高くなっている。一方、「住み替えしたい」では、女性（26.3%）が男性（22.2%）より4.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「そのまま住み続けたい」では、70歳以上が59.9%と他の年齢の比べて高く、「住み替えしたい」では、30～39歳が46.0%と他の年齢の比べて高くなっている。「リフォームして住み続けたい」では、50歳以上の年齢で25.2～26.3%の範囲にあり、2割を超えている。



図Ⅲ－99 居住している住宅の今後の居留意向（性別／年齢別）

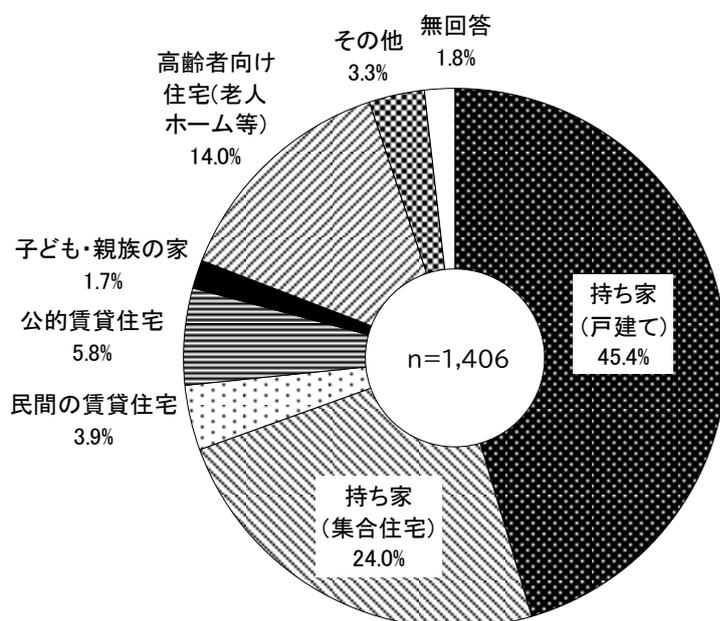
(5) 高齢になったときに居住を考える住宅

『持ち家の人』は7割弱

【問28】 高齢になったとき（すでに高齢の方も含む）に、どのような住宅に住むことを考えていますか。（〇は1つ）

高齢になったとき（すでに高齢の方も含む）に、どのような住宅に住むことを考えているかについて聞いたところ、「持ち家（戸建て）」が45.4%で最も高く、次いで、「持ち家（集合住宅）」（24.0%）、「高齢者向け住宅（老人ホーム等）」（14.0%）、「公的賃貸住宅」（5.8%）と続いている。なお、「持ち家（戸建て）」と「持ち家（集合住宅）」を合わせた『持ち家の人』の割合は69.4%と7割弱となっている。

「その他」については、「まだわからない・悩み中・思案中」（25件）などが挙がっている。



図Ⅲ-100 高齢になったときに居住を考える住宅

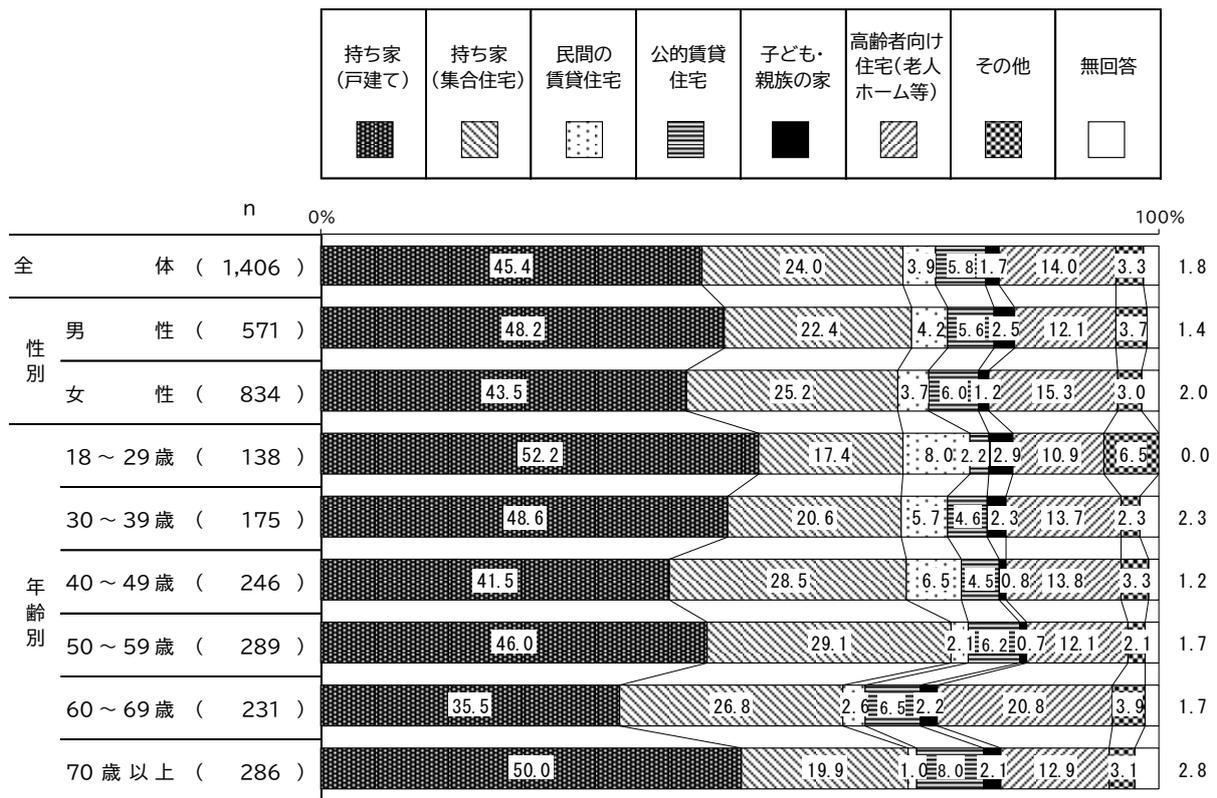
表Ⅲ-29 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
まだわからない・悩み中・思案中	25
集合住宅	5
実家・別宅	3
介護付きマンション	3
その他	6
(記載なし)	5
合計	47

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「持ち家（戸建て）」では、男性（48.2%）が女性（43.5%）より 4.7 ポイント高く、「持ち家（集合住宅）」、「高齢者向け住宅（老人ホーム等）」では、女性（25.2%、15.3%）が男性（22.4%、12.1%）よりそれぞれ 2.8、3.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「持ち家（戸建て）」では、18～29 歳（52.2%）と 70 歳以上（50.0%）で高く、5 割を超えている。「持ち家（集合住宅）」では、割合が最も低い 18～29 歳（17.4%）と最も高い 50～59 歳（29.1%）には 11.7 ポイントの差がある。「高齢者向け住宅（老人ホーム等）」では、60～69 歳で 20.8% と他の年齢に比べて高く、2 割を超えている。



図Ⅲ－101 高齢になったときに居住を考える住宅（性別／年齢別）

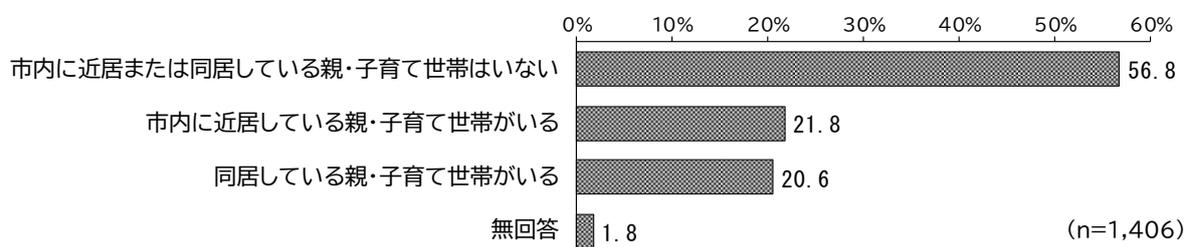
(6) 同居または市内に近居している親・子育て世帯の有無

『同居または市内に近居している親・子育て世帯がいる人』が4割超

【問29】あなたのご家庭には、同居または市内に近居（1.2km以内※）している親・子育て世帯がいますか。（〇はいくつでも）

※徒歩約15分圏内

ご家庭に、同居または市内に近居（1.2 km以内）している親・子育て世帯がいるか聞いたところ、「市内に近居または同居している親・子育て世帯はいない」の割合が56.8%と最も高くなっている。次いで、「市内に近居している親・子育て世帯がいる」（21.8%）、「同居している親・子育て世帯がいる」（20.6%）となっており、これらを合わせた『同居または市内に近居している親・子育て世帯がいる人』は4割を超えている。

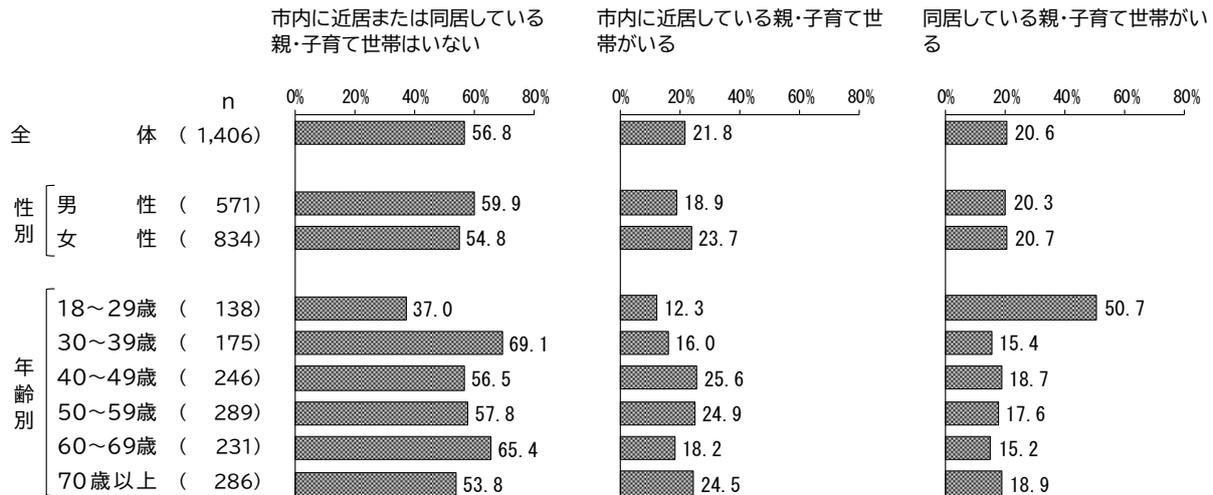


図Ⅲ－102 同居または市内に近居している親・子育て世帯の有無

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「市内に近居または同居している親・子育て世帯はいない」では、男性（59.9%）が女性（54.8%）より 5.1 ポイント高く、「市内に近居している親・子育て世帯がいる」では、女性（23.7%）が男性（18.9%）より 4.8 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「同居している親・子育て世帯がいる」では、18～29歳で 50.7%と最も高く 5割を超えている。「市内に近居または同居している親・子育て世帯はいない」では、最も高い 30～39歳（69.1%）と最も低い 18～29歳（37.0%）には、32.1 ポイントの差がある。

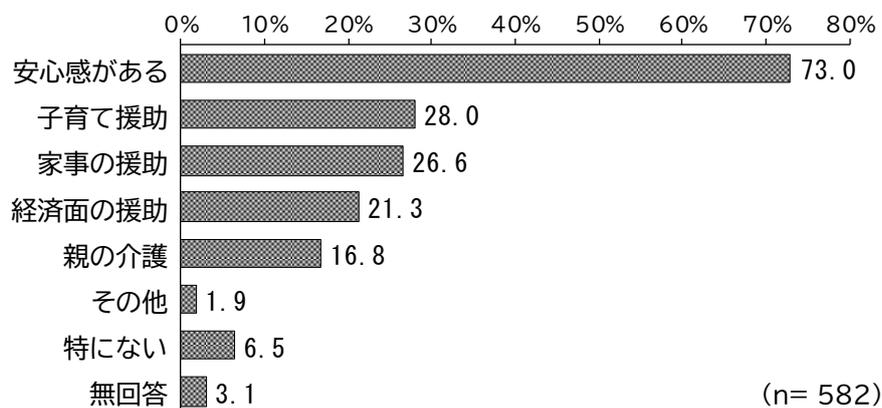


図Ⅲ－103 同居または市内に近居している親・子育て世帯の有無（性別／年齢別）

(6-1) 親・子育て世帯と同居または近居して良かった点

「安心感がある」が7割超
(問29で「1. 同居している親・子育て世帯がいる」または「2. 市内に近居している親・子育て世帯がいる」とお答えの方に)
【問29-1】親・子育て世帯と同居または近居して良かった点は何ですか。(〇は3つまで)

「ご家庭に、同居または市内に近居(1.2 km以内)している親・子育て世帯がいる」と答えた人(582人)に、親・子育て世帯と同居または近居して良かった点は何かについて聞いたところ、「安心感がある」が73.0%と最も高く、次いで、「子育て援助」(28.0%)、「家事の援助」(26.6%)、「経済面の援助」(21.3%)までが2割を超え、「親の介護」(16.8%)と続いている。なお、良かった点は「特にない」と回答した人は6.5%となっており、1割未満である。



図Ⅲ-104 親・子育て世帯と同居または近居して良かった点

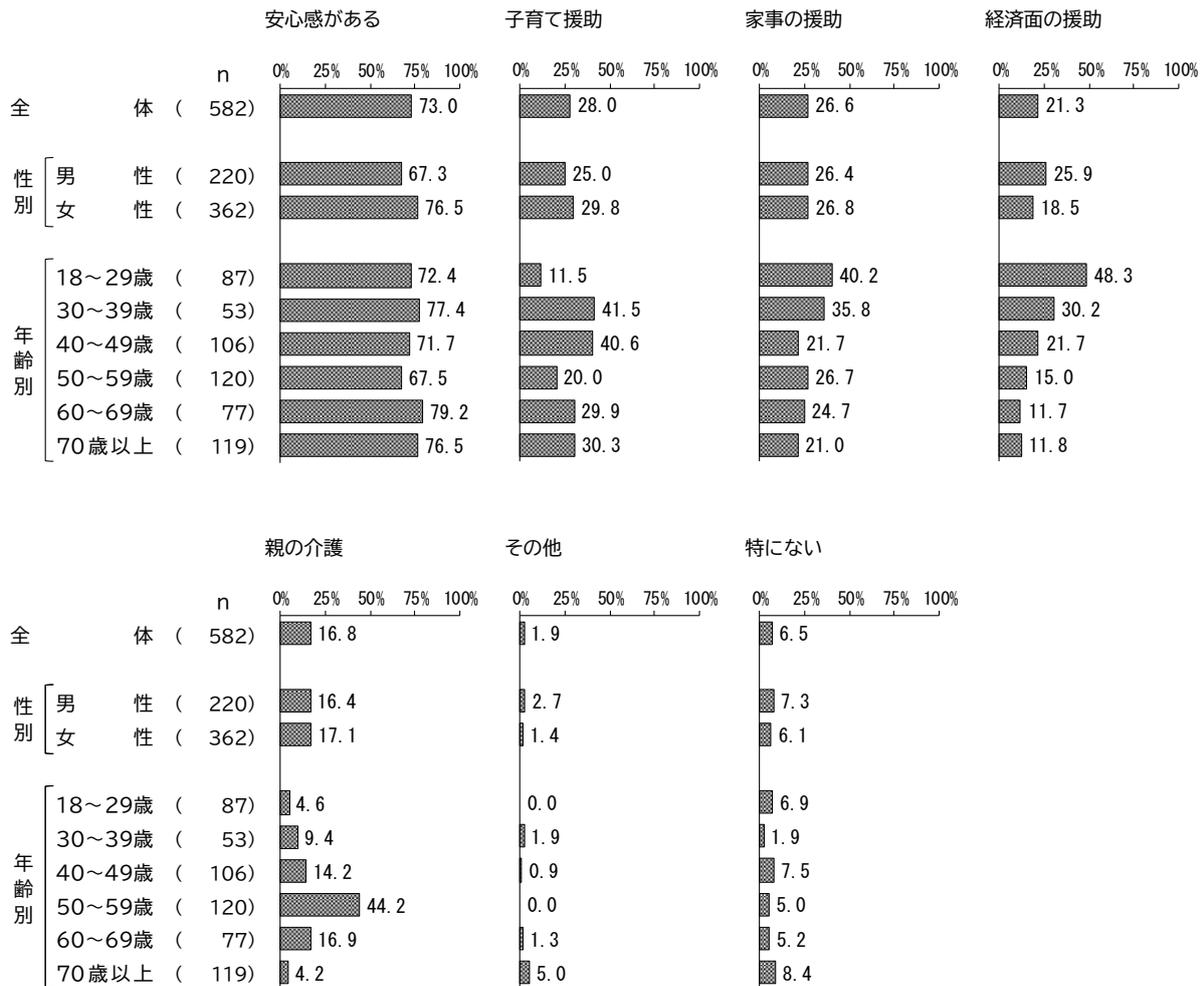
表Ⅲ-30 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
生活に刺激がある	1
息子も娘も難病でケアできる	1
孫がよく来る	1
子どもと生活できる	1
気軽にすぐ会える	1
夫の親のためメリットはあまりない	1
その他	2
(記載なし)	3
合計	11

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「安心感がある」、「子育て援助」では、女性(76.5%、29.8%)が男性(67.3%、25.0%)よりそれぞれ9.2、4.8ポイント高くなっている。一方、「経済面の援助」では、男性(25.9%)が女性(18.5%)より7.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「家事の援助」、「経済面の援助」では、18～29歳が40.2%、48.3%で最も高く4割を超えている。「子育て援助」では、30～39歳(41.5%)と40～49歳(40.6%)で4割を超えている。「親の介護」では、50～59歳が44.2%と他の年齢に比べて突出して高くなっている。

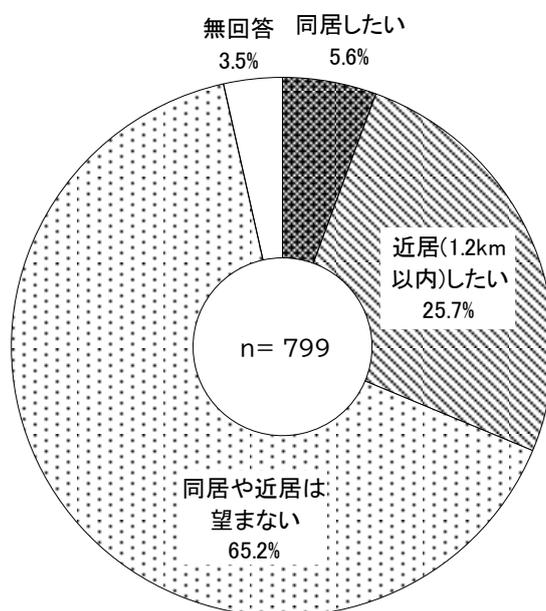


図Ⅲ－１０５ 親・子育て世帯と同居または近居して良かった点（性別／年齢別）

(6-2) 今後の親・子育て世帯と同居や近居の意向

「同居や近居は望まない」が6割超
(問29で「3. 市内に近居または同居している親・子育て世帯はいない」とお答えの方に)
【問29-2】今後、親・子育て世帯と同居や近居をしたいと考えていますか。(〇は1つ)

「ご家庭に、市内に近居(1.2 km以内)または同居している親・子育て世帯はいない」と答えた人(799人)に、今後、親・子育て世帯と同居や近居をしたいと考えているかについて聞いたところ、「同居や近居は望まない」が65.2%で最も高く、次いで、「近居(1.2km以内)したい」(25.7%)、「同居したい」(5.6%)となっている。

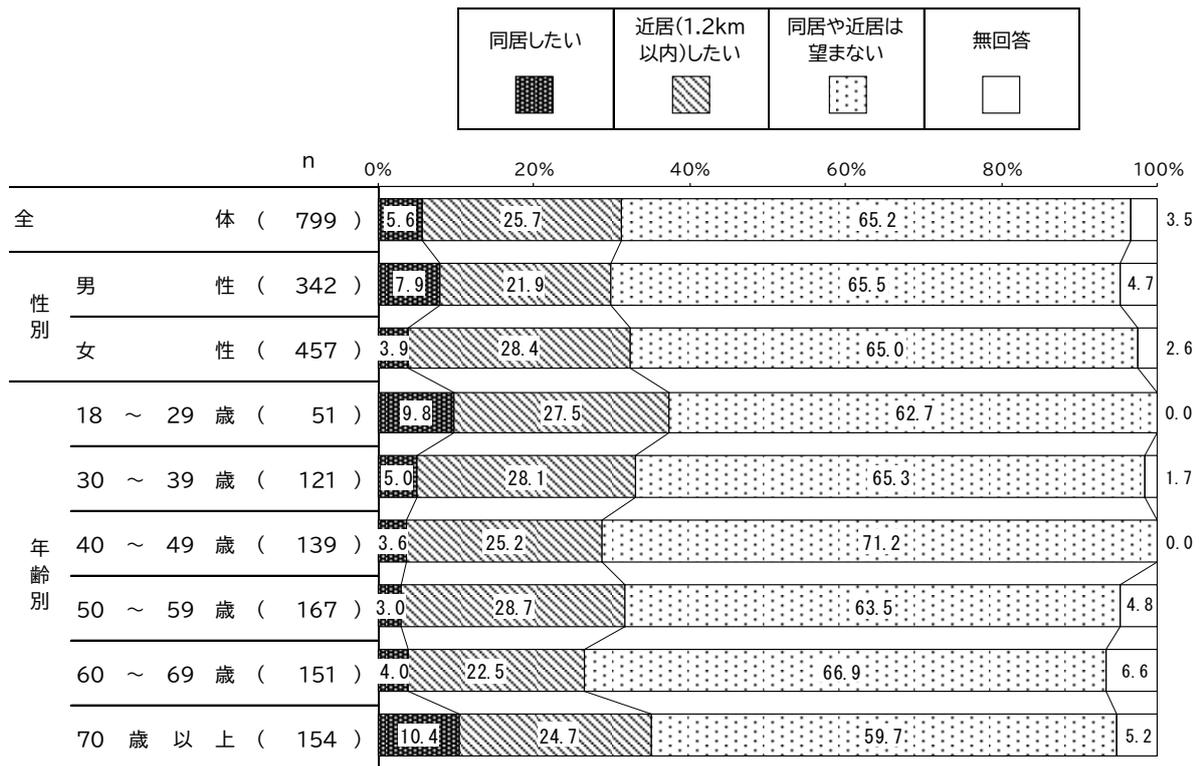


図Ⅲ-106 今後の親・子育て世帯と同居や近居の意向

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「同居したい」では、男性（7.9%）が女性（3.9%）より、4.0ポイント高い。一方、「近居（1.2km以内）したい」では、女性（28.4%）が男性（21.9%）より6.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「同居したい」では、18～29歳（9.8%）と70歳以上（10.4%）が他の年齢と比べて高くなっている。「同居や近居は望まない」では、40～49歳が71.2%と7割を超えており、他の年齢と比べて高くなっている。

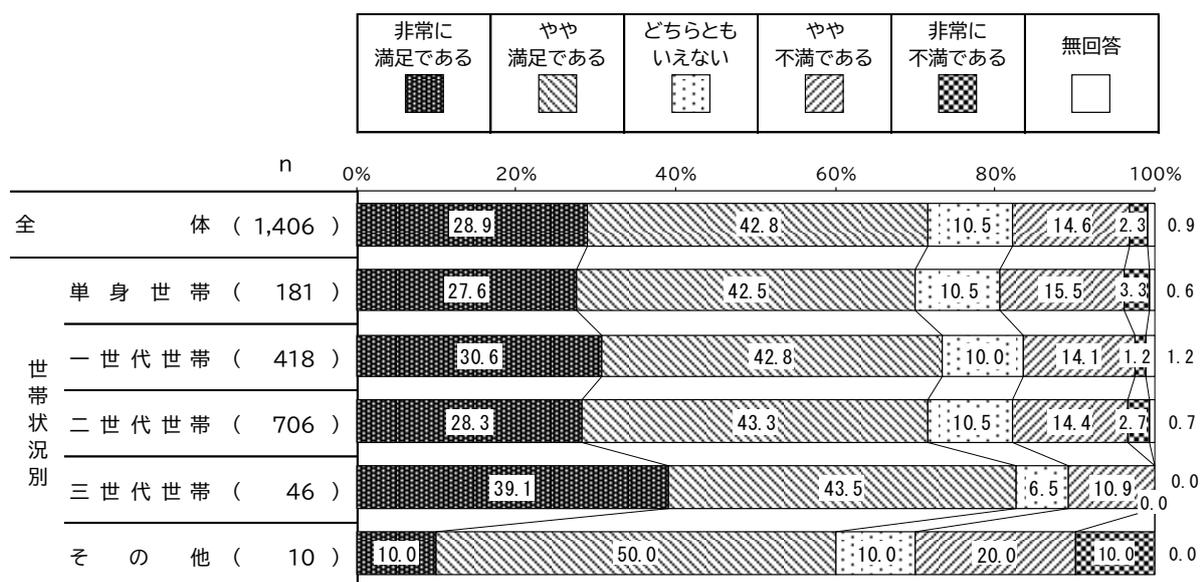


図Ⅲ－107 今後の親・子育て世帯と同居や近居の意向（性別／年齢別）

### (7) 「居住する住宅」概観

三世代世帯では『満足である人』が8割超

現在のお住まいの住宅についてどのように感じているかについて、世帯状況別にみると、「非常に満足である」と「やや満足である」を合わせた『満足である人』の割合は、三世代世帯（親と子と孫など）で82.6%と最も高く8割を超えている。一方、「やや不満である」と「非常に不満である」を合わせた『不満である人』の割合は、単身世帯（ひとり暮らし）で18.8%と他の世帯状況と比べて高くなっている。



図Ⅲ－108 居住している住宅の満足度（世帯状況別）

## 6. 「市の施策」について

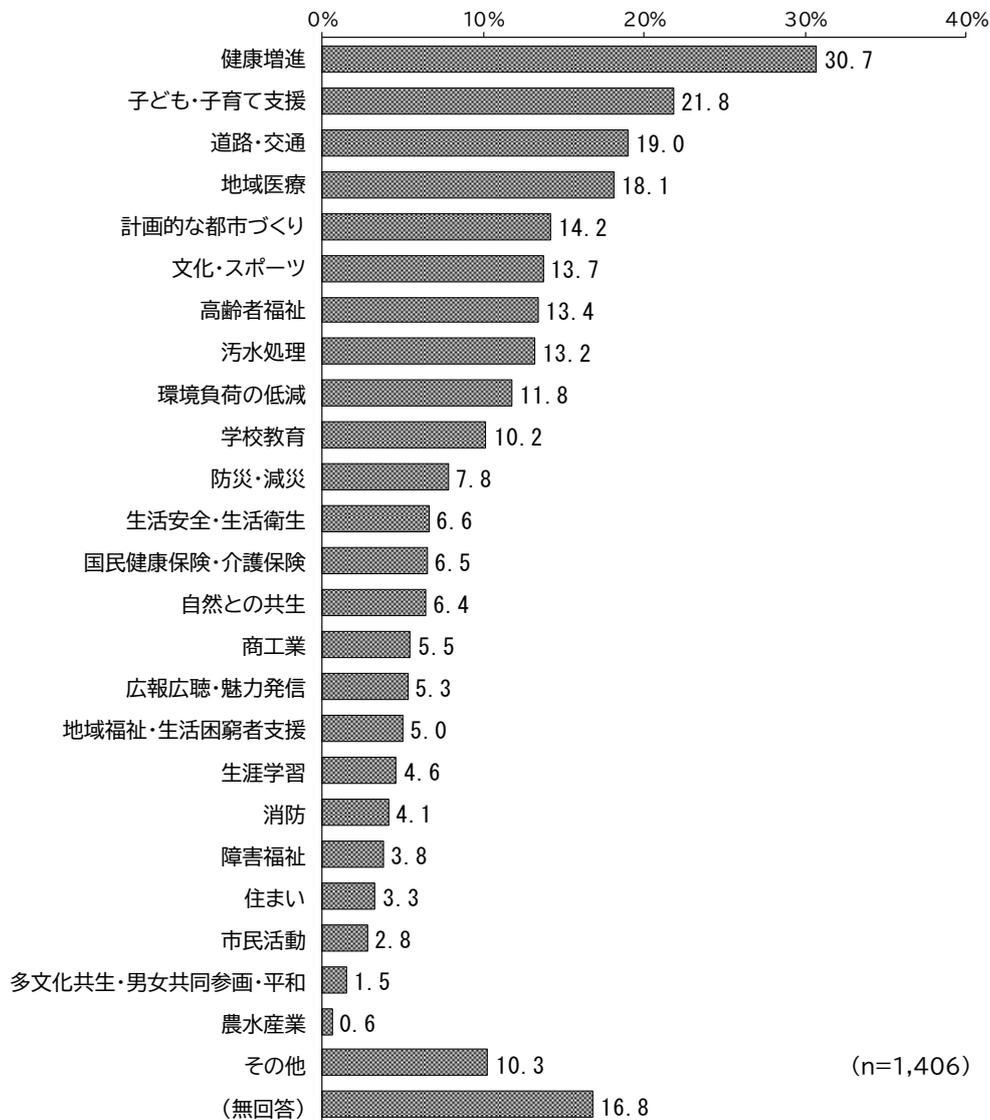
### (1) ここ数年でよくなったもの

よくなったものは、「健康増進」が最も高く3割超

【問30】次ページの「表 市の施策（25項目）」について、どのように感じていますか。

① ここ数年でよくなったもの（5つまで選んで番号を記入してください）

25項目の市の施策（無回答を含めて26項目）について、「ここ数年でよくなったもの」は何か聞いたところ、「健康増進」が30.7%で最も高く、次いで「子ども・子育て支援」（21.8%）、「道路・交通」（19.0%）、「地域医療」（18.1%）、「計画的な都市づくり」（14.2%）、「文化・スポーツ」（13.7%）、「高齢者福祉」（13.4%）、「汚水処理」（13.2%）、「環境負担の低減」（11.8%）、「学校教育」（10.2%）の順で上位10項目が挙げられている。



図Ⅲ－109 ここ数年でよくなったもの

表Ⅲ－３１ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
高校生までの医療費助成	4
小・中学生へのタブレットの配布	2
ジェットなどプロスポーツの誘致	2
Faceビルでの土・日の市民窓口の開設	2
南船橋など住みやすくなった	2
市役所・図書館の職員の対応	2
その他	33
興味・関心がない	3
よくなったものはない・特にない・実感できない	58
わからない	48
合 計	156

【性別／年齢別／地区別】（上位 10 項目）

性別で比較すると、「子ども・子育て支援」、「環境負荷の低減」では、女性（24.9%、13.7%）が男性（17.3%、9.1%）よりそれぞれ 7.6、4.6 ポイント高くなっている。

「道路・交通」では、男性（23.3%）が女性（16.1%）より 7.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「健康増進」、「地域医療」、「高齢者福祉」では、60～69 歳（40.3%、23.8%、18.2%）と 70 歳以上（43.0%、24.1%、18.9%）が他の年齢に比べ高くなっている。

「子ども・子育て支援」では 30～39 歳（30.9%）と 40～49 歳（36.2%）が他の年齢に比べ高く、「学校教育」では 18～29 歳（16.7%）と 40～49 歳（17.5%）が他の年齢に比べ高くなっている。

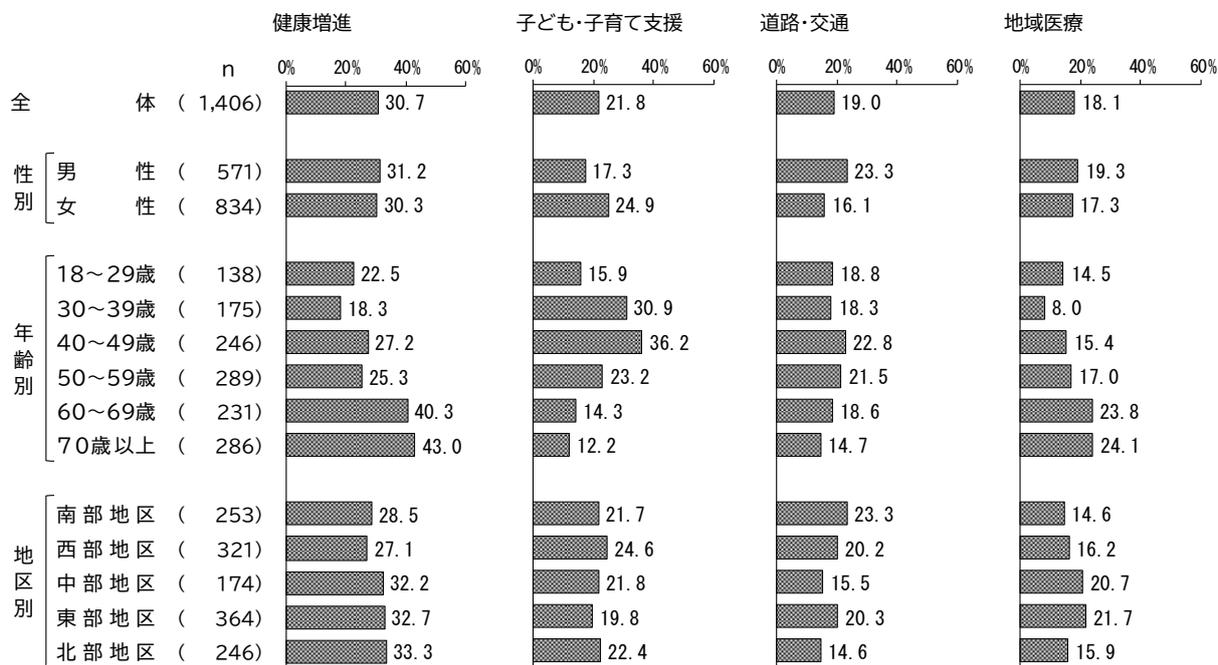
「計画的な都市づくり」では、年齢が下がるに連れ割合が高くなる傾向が見られ、最も高い 18～29 歳（20.3%）と最も低い 70 歳以上（10.5%）に 9.8 ポイントの差がある。

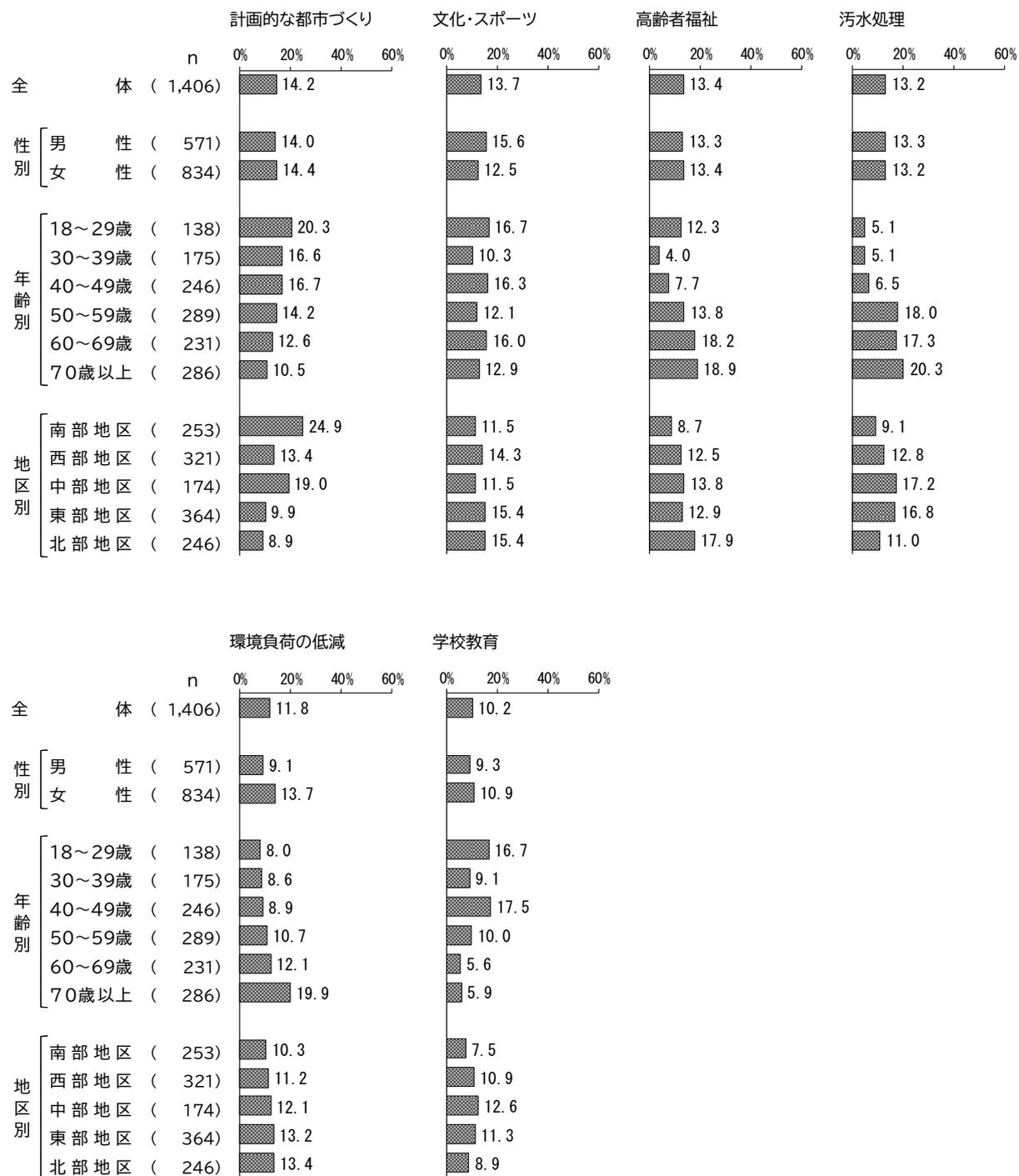
「環境負荷の低減」では、年齢が上がるに連れ割合が高くなっており、最も高い 70 歳以上（19.9%）と最も低い 18～29 歳（8.0%）に 11.9 ポイントの差がある。

地区別にみると、「計画的な都市づくり」では、最も高い南部地区（24.9%）と最も低い北部地区（8.9%）に 16.0 ポイントの差がある。

「高齢者福祉」では、最も高い北部地区（17.9%）と最も低い南部地区（8.7%）に 9.2 ポイントの差がある。

「汚水処理」では、最も高い中部地区（17.2%）と最も低い南部地区（9.1%）に 8.1 ポイントの差がある。





図Ⅲ-110 ここ数年でよくなったもの 上位10項目（性別／年齢別／地区別）

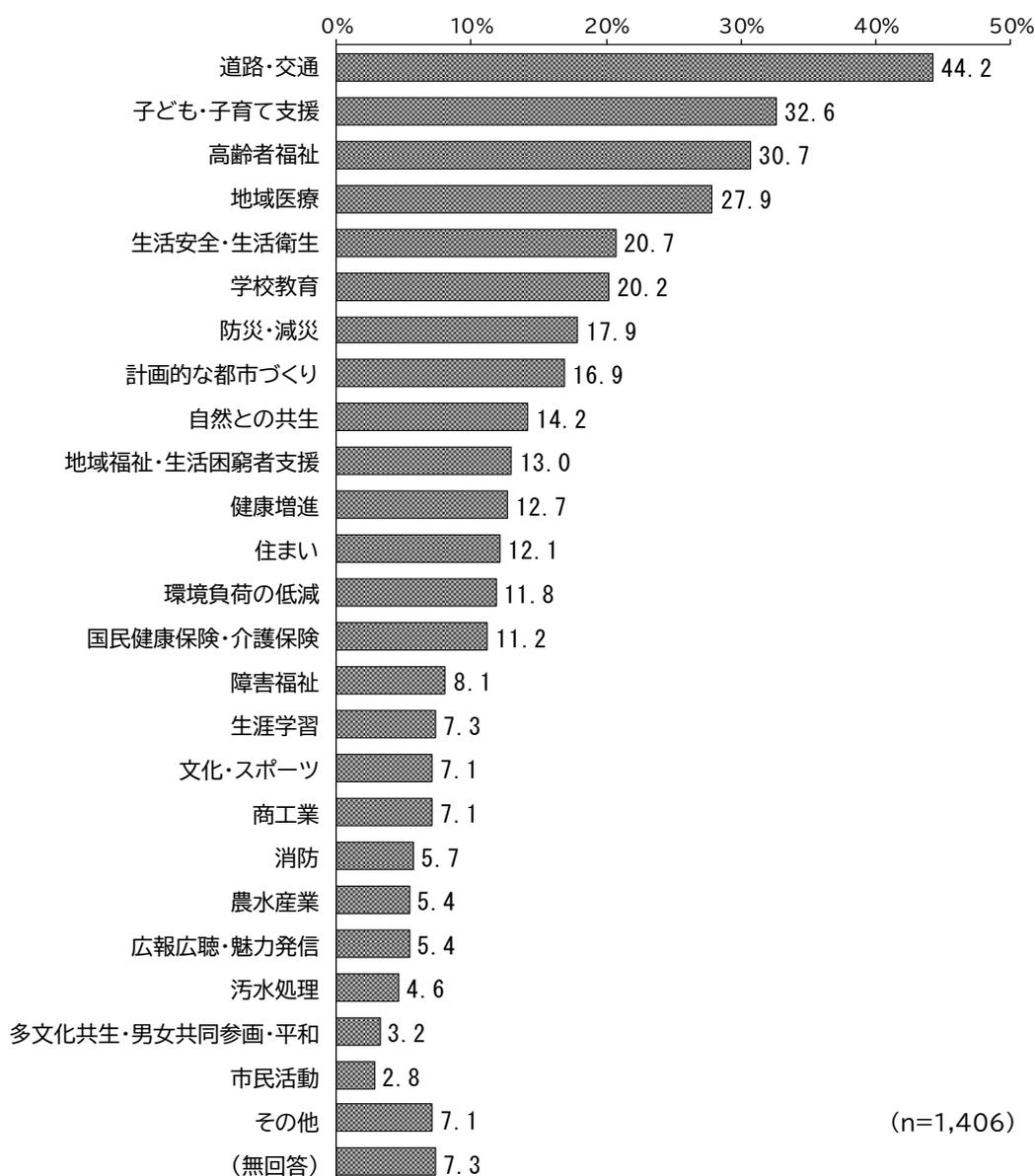
(2) 力を入れるべきもの

力を入れるべきものは、「道路・交通」が最も高く4割超

【問30】次ページの「表 市の施策(25項目)」について、どのように感じていますか。

② 力を入れるべきもの (5つまで選んで番号を記入してください)

25項目の市の施策(無回答を含めて26項目)について、「力を入れるべきもの」は何か聞いたところ、「道路・交通」が44.2%で最も高く、次いで「子ども・子育て支援」(32.6%)、「高齢者福祉」(30.7%)、「地域医療」(27.9%)、「生活安全・生活衛生」(20.7%)、「学校教育」(20.2%)、「防災・減災」(17.9%)、「計画的な都市づくり」(16.9%)、「自然との共生」(14.2%)、「地域福祉・生活困窮者支援」(13.0%)の順で上位10項目が挙がっている。



図Ⅲ-111 力を入れるべきもの

表Ⅲ－３２ 「その他」の内容

「その他」の内容	件数
都市計画・まちづくり・道路・渋滞に関すること	36
運動場・公園（ボール遊びができる）・海釣り公園・キャンプ場の整備・充実	12
子育て支援・若者支援・助成・無償化などに関すること	11
予防接種・ワクチン・健康づくり・病院・医療体制に関すること	8
高齢者・障がい者・生活困窮者福祉・支援・手続きに関すること	8
ルール・マナー（自転車の運転・路上喫煙・外国人）に関すること	7
学校教育・給食に関すること	6
環境美化（ポイ捨て・河川投棄・植栽管理・道の泥など）に関すること	6
災害対策・防災に関すること	6
治安・防犯対策・客引き対策・駅前活動に関すること	6
婚活支援・妊活支援に関すること	5
鉄道・駅に関すること	4
ごみ（回収数など）に関すること	4
空き家・ゴミ屋敷の問題に関すること	4
ボランティアに関すること	4
地域猫・動物愛護に関すること	3
雨水・汚水・下水道の整備に関すること	3
図書館の整備・充実	3
その他	22
期待しない	3
特にない	6
わからない	7
（記載なし）	4
合 計	178

【性別／年齢別／地区別】（上位 10 項目）

性別で比較すると、「防災・減災」、「計画的な都市づくり」では、男性（19.1%、18.4%）が女性（17.0%、15.8%）よりそれぞれ 2.1、2.6 ポイント高くなっている。

「学校教育」では、女性（21.3%）が男性（18.6%）より 2.7 ポイント高くなっている。

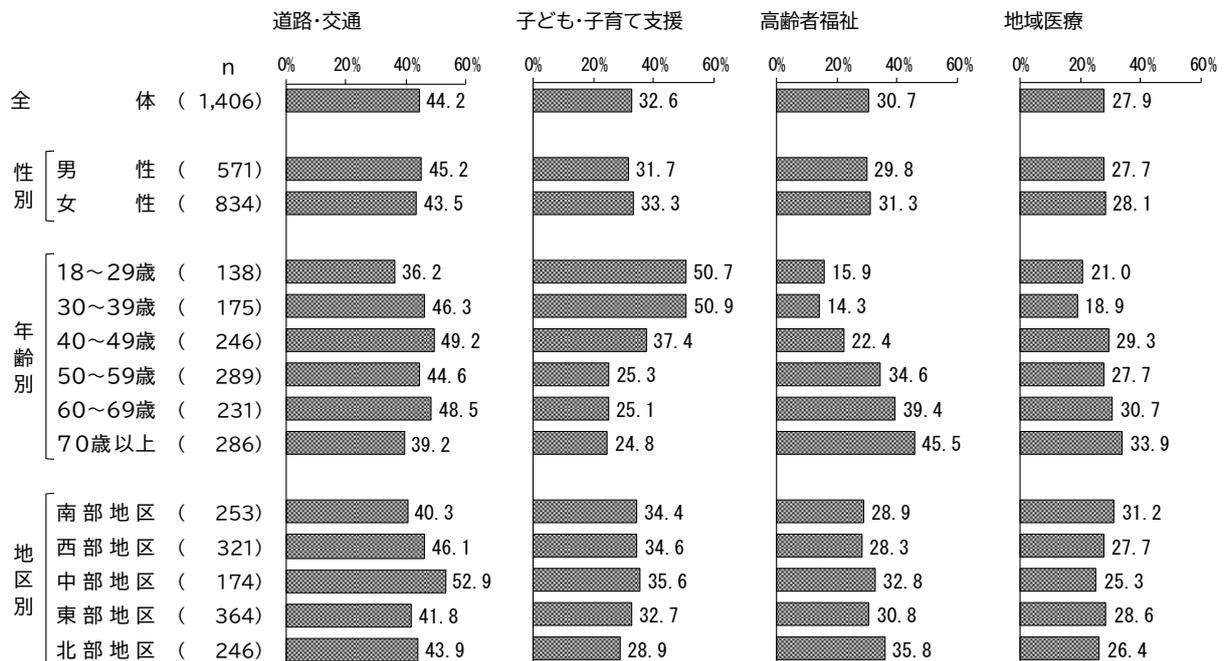
年齢別にみると、「子ども・子育て支援」では、18～29 歳（50.7%）、30～39 歳（50.9%）が 5 割を超えており、他の年齢に比べて高くなっている。

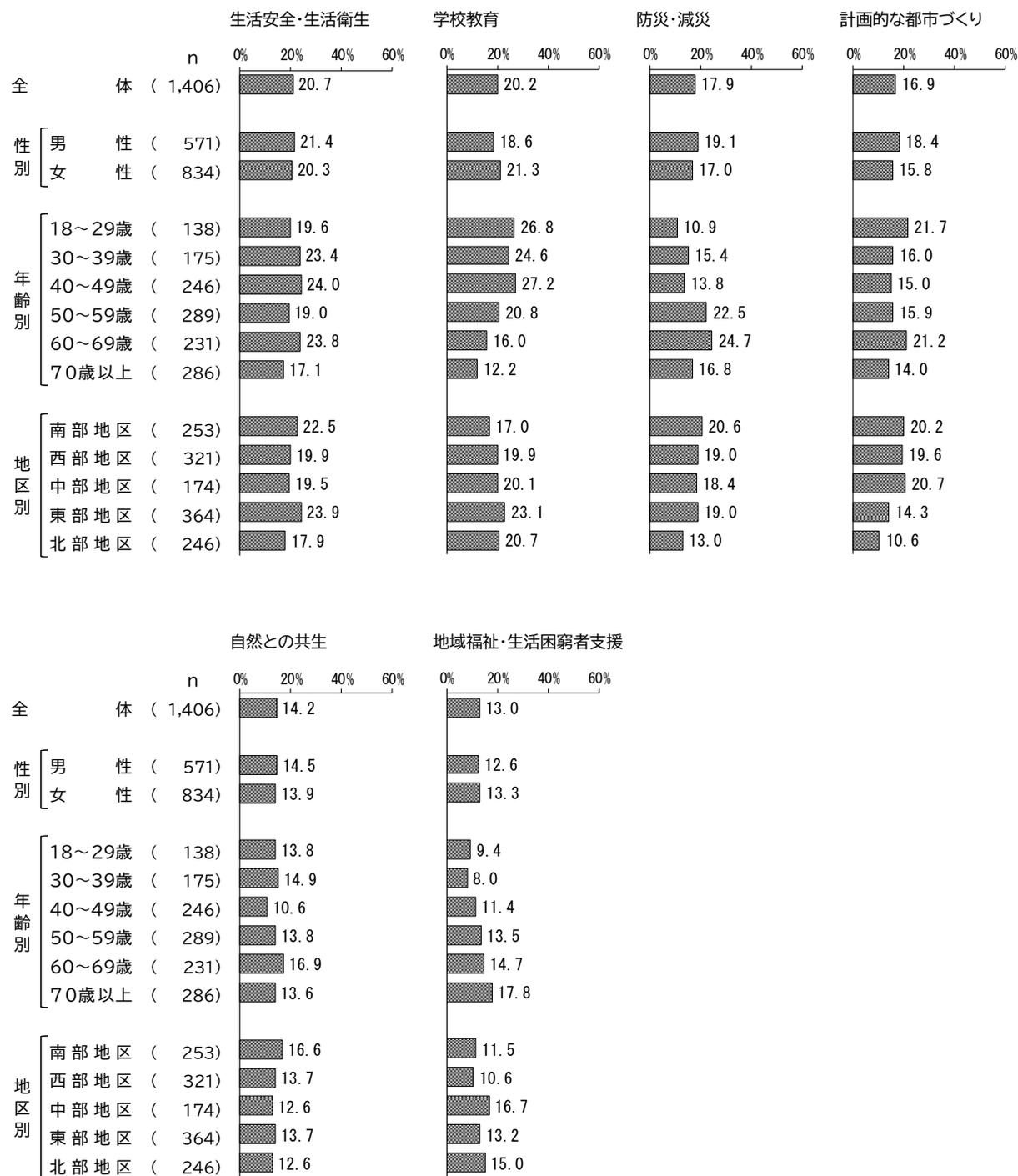
「高齢者福祉」、「地域福祉・生活困窮者支援」では、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、最も低い 30～39 歳（14.3%、8.0%）と最も高い 70 歳以上（45.5%、17.8%）にはそれぞれ 31.2、9.8 ポイントの差がある。

「学校教育」では、18～29 歳（26.8%）と 40～49 歳（27.2%）の割合が他の年齢に比べ高く、「地域医療」では、70 歳以上（33.9%）の割合が他の年齢に比べ高くなっている。

地区別にみると、「道路・交通」では、最も高い中部地区（52.9%）と最も低い南部地区（40.3%）には 12.6 ポイントの差があり、「計画的な都市づくり」では、最も高い中部地区（20.7%）と最も低い北部地区（10.6%）で 10.1 ポイントの差がある。

「防災・減災」では、最も高い南部地区（20.6%）と最も低い北部地区（13.0%）で 7.6 ポイントの差があり、「高齢者福祉」では、最も高い北部地区（35.8%）と最も低い西部地区（28.3%）には 7.5 ポイントの差がある。





図Ⅲ-112 力を入れるべきもの 上位10項目（性別／年齢別／地区別）

## 7. 自由意見

### (1) 自由意見のまとめ

自由意見については、572人から回答があり、回答内容を下表のとおり分類したところ、944件の意見が寄せられた。

1人の回答者が複数の意見を記入している場合は、それぞれの項目で1件、明確に良い意見と悪い意見が併記されている場合には、同じ項目で2件としている。

回答内容を分類し集計した結果は以下のとおりである。

表Ⅲ－33 自由意見のまとめ

項目	件数	構成比 (%)
道路・渋滞・歩道	172	18.2
保育・子育て	69	7.3
市役所・フェイス・議会	60	6.4
まちづくり・都市計画	46	4.9
税金・財政・政策等	46	4.9
教育・文化・スポーツ	43	4.6
病院・医療	42	4.4
交通機関	37	3.9
広報・HP・SNS	35	3.7
商工業・農業・イベント	33	3.5
公園	30	3.2
学区・学校	28	3.0
治安・防犯	27	2.9
高齢者支援	26	2.8
アンケート関連	26	2.8
自然・環境	25	2.6
介護・福祉	25	2.6
自動車・自転車	23	2.4
災害・防災	19	2.0
ごみ・リサイクル	19	2.0
地域社会・自治会	19	2.0
雨水・上下水道	13	1.4
コロナ対策	13	1.4
動物・鳥・虫	10	1.1
生活困窮者支援	8	0.8
雇用・就労支援	8	0.8
空き家	7	0.7
国際社会	6	0.6
たばこ	5	0.5
その他	24	2.5
合計	944	100.0

## (2) 自由意見の抜粋

自由意見の回答内容を分類した項目ごとに、主な意見を抜粋して示す。

### 【道路・渋滞・歩道】

- ・道が狭いのが難点です。土日は車だと混むので、近場であれば自転車等を使わざるを得ない状況です。子どもの通学路も車とすれ違うので、毎日心配しています。(女性・40～49歳)
- ・道路(歩道)のガタツキ、ヒビ割れ等の破損個所の修復、道路歩道脇に繁茂している雑草の除草に取り組んでほしい。(男性・18～29歳)
- ・新しい道を作る際、狭く設計するのをやめてほしい。トラックやバスと2車線なのに並行して走れない。緊急車両がきても避けるスペースがない。信号について、完全歩車分離を増やしてほしい。船橋駅前等、歩行者の飛び出しが多過ぎる。歩行者も多過ぎて、車の右折左折が全くできない。(女性・30～39歳)
- ・居住地域周辺の慢性的な道路の渋滞に非常に困っています。特に湾岸地域(国道357号、14号)の車の交通量に対して、インフラ整備が不十分であり遅れていると感じられます。根本的な解決のため新湾岸道路の建造をぜひよろしくお願いします。(男性・30～39歳)
- ・人口増により、車輛が増加しているが、車道・歩道の整備が追いついていないので、片側2車線の道路や右左折のレーンを増やしてください。安全な歩道の確保もお願いします。(男性・50～59歳)
- ・自転車専用通行ラインの整備。特に市街地における駅に向かう道路。(男性・70歳以上)
- ・船橋駅南側、宮本地区をよく自転車利用するのですが、大神宮～宮本辺りまでの坂を上っていく道がとても狭く、歩道も人1人分ほどしか歩けない狭さのため、子どもを2人連れて歩くとときや子乗せ自転車で通るときなど、いつも怖い思いをしています。その通りから14号方面へ抜ける道も住宅街の割に車通りが多く、スピードを出します。特に宮小前の辺りは朝もすごいです。幼稚園の送迎等、安心して利用できる歩道の対策を願います。(女性・30～39歳)
- ・成田街道はとても危険。長期的にでも拡幅するようお願いしたい。船橋は道路が狭く、自転車用・歩行者用の道路を作ってほしい。(女性・70歳以上)
- ・とにかく道路事情が悪すぎる。渋滞で市内の移動に時間がかかる。幹線道路が狭いうえ、歩道がきちんと整備されていない。狭い歩道に電柱もあるので、車道にはみ出して歩かなくてはいけない場合もあり、危ない場所が多い。側溝のふたに躓いたり、凹凸に引っかかって転ぶ子どももいて、バリアフリーには程遠いと思う。工場や倉庫が多いのに、荷物を運ぶ大きな車が余裕をもって通れる道路も少ない。道路の整備にもっと力を入れるべきだと思う。(女性・50～59歳)
- ・前貝塚の清和幼稚園付近の道路は車も歩行者も自転車も多く、そして狭いです。時間帯によっては車のすれ違いをするのに混雑してしまっていて、歩行者も自転車も足止めを食らっているのをよく見ます。子どもも多いので危ないと感じるため時間帯限定で一方通行にしてほしいと思います。(女性・18～29歳)
- ・電柱が傾いていて心配です。また道路の両サイドに電柱があり、狭い道では車の運転が難しい。(男性・60～69歳)
- ・自転車で通りづらい狭い道があるので、広くしてほしい。自転車で通るとき、路肩が波うっていて危ない道があるので、平らにしてほしいです(新船橋～塚田沿線)。(女性・60～69歳)

## 【保育・子育て】

- ・今後子育てを考えているので、働く女性として子育てし易い環境や制度があると、安心して住み続けられると思います。(女性・18～29歳)
- ・現在子育て中ですが、船橋市からの給付金がとても助かっています。ありがとうございます。子ども手当の所得税制限もなくなると嬉しく思います。(女性・30～39歳)
- ・保育園に入園できない。点数の項目にも疑問を感じる部分がある。年収に応じて保育料が変わってくるのにも不満がある。2人目半額が適応されないのは痛手である。保育料を多く支払うために働いているのではない。保育資格を保有しているが、幼稚園勤めでは満額点にならない事も不満である。もう一度見直していただきたい。(女性・30～39歳)
- ・子育て世帯への支援として、ここ数年で何度か現金給付されたが、その現金を保育園の環境整備や保育士の待遇改善に使ってほしいです。2人の子どもの通う保育園で保育士が続けざまに退職されるタイミングがあり、もっと支援が必要なのではないかと思ったため。(男性・30～39歳)
- ・子育て中で医療費を300円から0円に。給食費の無償化などもっと。子どもがいる家庭に対して優しい船橋になってほしい。(男性・40～49歳)
- ・子どもの医療費が高校生まで300円になったことはありがたいです。他県は高校生まで無料のところもあるので、是非無料にしていきたいと思います。(女性・40～49歳)
- ・子育て世代ですが、今ある子どもたちの助成などを所得制限で受けることができない人が多過ぎます。非課税でなければ恩恵は受けられない制度に疑問です。共働きでも余裕があるとまでは言えません。船橋市として市民に手を差し伸べて頂けませんか。(女性・40～49歳)
- ・子育て世帯に対する支援(医療費・学費・各種手当)の充実により、若い世代を流入させ、活力維持と人口減少を抑止。(男性・50～59歳)
- ・ファミリーサポートやベビーシッターなどの充実や費用負担、医療費の無料化など他県他市町村に比べ、劣る点が多いと思います。子育て支援センターも南本町1か所じゃ少ないと思います。第3子を5月に産んで、以前(第1子、第2子)と変わってないのかと思いました。(女性・30～39歳)
- ・隣の市川市の小学校給食はもう無料になっているのに、船橋市はまだですね。(女性・30～39歳)
- ・子育て、学校教育において、小中学校の給食、入学時にかかる学用品(体操服など)を無料にしてほしいです。子育ては年齢が上がるほどお金がかかります。特に中学は見えない経費が多過ぎます。高校までは安心して勉強できる環境を平等にあたえていただきたいと思います。(女性・40～49歳)

## 【市役所・フェイス・議会】

- ・デジタルサービス課の設置希望。デジタル化難民の防止策よろしくお願いします。(女性・18～29歳)
- ・市議会の様子を市川市のようにYouTubeで見たい。(男性・60～69歳)
- ・市議会議員の活動があまり見えません。活動の状況報告を発信してくださる方もいますが、こんなに多くの議員が必要なのか理解できません。(女性・70歳以上)
- ・現在自治会の役員をしていますが、市役所の担当分野が細分化されていて、どこへ相談していいか理解しづらい。(男性・70歳以上)
- ・ペーパーレスの方向にすることに反対です。パソコン、プリンターなど、持っていない人は多

くいます。電子メールでやり取りをすることは、苦手です。特に、生涯スポーツ課とのやり取りは、今まで通り用紙で申請できることを願います。報告する事も多いので、アナログを希望します。(男性・60～69歳)

- ・夫の転勤で1年ほど前に船橋へ。当時生後半年の子どもを連れて市役所へ色々な手続きをしに行きました。とても大変だった記憶があります。赤ちゃん連れや体の不自由な方向けに1か所で済む窓口があればなと思います。(女性・30～39歳)
- ・市の臨時職員を採用する際は、せめて漢数字、ローマ数字、ギリシャ数字など一般知識のある方にしてください。住所確認の際にこの程度わからないと困ります。また、ふるさと納税の品物も再検討をお願いします。赤字脱却できるような魅力のある物をお願いします。また少しはふるさと納税のコメントも確認した方がよいかと。以前より行政サービスが悪くなった気がします。(女性・40～49歳)
- ・土、日、市役所が休みのとき電話しても警備員が対応、留守番電話のように住所・指名・電話番号・要件を聞く等して月曜日に担当者から連絡が来るようにしてもらいたい。市の出張所ですべての業務ができる様、早くしてもらいたい。わざわざ湊町まで行くことは大変です。(男性・18～29歳)
- ・ふなばし市議だよりが年に数回ポストに入っていますが、紙質等もとても立派なカラー刷りのもので、かなりの費用が掛かっているのではないかといつも感じています。ホームページでは議会報コンクールで受賞したとのことで喜ばしいことではありますが、全戸に配布する費用を考えると、そこまで立派な物が必要かなと思ってしまいます。閉じ穴も付いていますが、なかなか内容をじっくり読んで保管しておく家庭は少ないのではと思います。(女性・60～69歳)

#### 【まちづくり・都市計画】

- ・船橋市は、JR 船橋駅を中心としたエリア（南船橋駅や東西線新駅発想含めて）ばかりに再開発を推進しており、JR 津田沼駅を中心とした東部地区（新京成沿線を含む）は、放置されたままになっている。近年、津田沼地区は JR 線南側の習志野市側の発展が著しく、船橋市側は旧態依然としている。パルコ閉店を放置するのではなく、従来の商業機能に加え、体験型サービスや文化機能、子育て兼老人向けサービス、行政サービス等を提供する時代に則した地域開発を是非ともお願いしたい。(男性・70歳以上)
- ・海老川上流地区開発について、不明な点が多い。市はもっと丁寧に説明すべきだと思います。何故その地域なのか、地震対策は、他の地域への影響は、何故駅の費用を市が負担するのか、地権者や業者と市長の癒着があるのでは？と疑心暗鬼にさえなってしまいます。そして医療センターは今の計画ではなく、安全な土地に建てるべきだと思います。(男性・50～59歳)
- ・JR 船橋駅前の沈下が激しい。西武百貨店の閉店以降、さびれてきている。JR 南船橋駅方面ばかり力を入れている印象がある。JR 船橋駅前は船橋市の顔なのだから、開発・整備にももう少し力を入れてほしい。(女性・60～69歳)
- ・東京に近く、千葉市とは異なる未来につながる特徴ある街作り（政令指定都市）を目指してほしい。西船橋駅は単なる乗換駅だけでなく、西船橋駅界隈の都市開発を推し進めてもらいたい。(男性・60～69歳)
- ・築年数の古いマンションが増えてきています。容積率や建ぺい率等の規制緩和を柔軟に行い、市が積極的に建て替えの推進や補助等を行ってほしいです。(女性・30～39歳)

## 【税金・財政・政策等】

- ・船橋駅前の居酒屋のキャッチを止める人、ボランティア？有償？が仲良くキャッチとセブンイレブンの前でしゃべっていたり、邪魔で本当に無駄でしかない。あの人たちはボランティアでお金は市から出していないですよ。あんな適当な仕事で市民の税金を使っているとしたら、船橋市を嫌いになります。市民の税金は市民の為に有用な使い方をお願いします。(女性・18～29歳)
- ・助成金などを幅広い支援を施してほしい。調べても、すでに終了してしまっている助成金や補助金が多く、他の市の方がよく見えてしまう。(女性・30～39歳)
- ・空室は多いのに高齢者や生活保護受給者に貸してくる人が少ない。若い人は25,000円で借りられるのに。市が借り上げて、貸し出す方が費用がかからない。税金の無駄使いが減らせられると思う！！(女性・70歳以上)
- ・市県民税が高いので、無駄をなくしてほしい。(女性・40～49歳)
- ・社会的弱者の立場にある人達が救われる市政を望む。本当に必要としている人達にしっかり手当等届きますように。(女性・50～59歳)
- ・船橋市は恵まれている市だと思うので、これからも市民のためにより良い市政を打ち立てて活動してください。(女性・無回答)
- ・給付金について、10歳、3歳児へのお米券はどのように決めるのでしょうか。年収とは関係ないのでしょうか。非課税でも悠々自適な生活をしている人もたくさんいます。私の父は年金を1円も貰えず亡くなりました。40年間収めた税金はどこへ行くのでしょうか。有効に使ってこそ意義があるのだと思います。例えばヤングケアラーなど(船橋は取り組みが遅い)。(女性・40～49歳)

## 【教育・文化・スポーツ】

- ・船橋市と日本の南極観測はあまり縁がないかも知れませんが、現在船橋湾に保留されている南極観測船 SHIRASE(旧しらせ)の有効活用を検討していただけないでしょうか。もちろんSHIRASEはウェザーニューズ社の所有物であるので、行政が直接保管に関わることはできないとは思いますが、青少年のイベントなどで活用してもらえればと強く思います。(男性・60～69歳)
- ・大型開発が続くようだが、図書館・美術館・博物館のような文化的施設がもう少し増えても良いように思う。人口の割に、また予算規模の割に文化的な物が弱いと感じている。(男性・40～49歳)
- ・私の周りにはスケボーを趣味としている人たちがたくさんいます。船橋市にスケボーパークを作してほしいと強く願っています。(男性・40～49歳)
- ・中央図書館があまりにも本がボロボロです。八千代市の図書館に行ってショックでした。あまりにも立派で…外観だけでなく、中身もリニューアルしてほしい。(女性・60～69歳)
- ・学校教育の在り方を根本的に見直してほしい。子どもが発達障害・不登校で悩んでいるが、どんな子でも安心して学校に通えるようになってほしい。未来を担う子どもたちのため、どうかお願いします。(女性・30～39歳)
- ・図書館の数が少ない。いちばん近い所でも、バイクで30分はかかる。以前住んでいた習志野市は通える図書館は3か所もあった。習志野の図書館も使えるとは知らず、しばらく30分かけて船橋市の図書館に行っていたが、今はバイクで5分の習志野市の図書館を利用している。(男性・50～59歳)

- ・千葉ジェッツのホームが船橋にあり、スポーツ観戦の楽しさを知りました。(女性・40～49歳)
- ・クボタスピアーズ船橋東京ベイとの繋がりを強くし、地元を盛りあげてほしいです。広報紙への掲載や市役所での優勝報告会はありましたが、決勝戦のパブリックビューイングや優勝パレード等があっても良かったと思います。(男性・30～39歳)

#### 【病院・医療】

- ・胃がん検診は、毎年できるようにしてほしいです。(女性・70歳以上)
- ・今年より小室地区に医院がゼロになりました。不安に思っている人が多数います。1軒でもいいです。医者を小室へよこしてください。お願いいたします。(女性・70歳以上)
- ・骨密度の測定を再開してください。(男性・60～69歳)
- ・様々なワクチンの助成が望まれます。今は带状疱疹のワクチンを検討していますが、高額なので悩んでいます。(女性・50～59歳)
- ・船橋法典駅周辺に小児科がないので困っています(小児科がない事がいちばんきついです)。(男性・40～49歳)
- ・娘が今妊娠をしているのですが、市立医療センターの産科にお世話になっています。先月までは妊婦健診がいつでもできたのですが、先月からは隔週になってしまいました。産科医の不足のせいだと思いますが、できればいつでも受診できるように産科医を増やしてほしいです。(女性・50～59歳)
- ・国、県の言いなりに全てならず、是々非々で独自の判断で対処してもらいたい(例：コロナ対応・ワクチン対応)。(男性・60～69歳)
- ・習志野市との境に住んでいるので、成人歯科健康調査等を受けられる医療機関に、隣の市(津田沼駅周辺)のものを含めていただけるとありがたいです。(女性・30～39歳)
- ・小児科の予約が全く取れない。予約開始時間の1分後には埋まっている。救急のとき、夜間・休日など、24時間行ける病院がほしい(松戸の千葉西総合のような病院)。休日診療担当の病院に電話しても、電話が全く繋がらなくて困りました。(女性・40～49歳)
- ・休日・夜間の病院(対応してくれる)を、わかりやすく市のHPなどに載せてほしいです。(男性・50～59歳)

#### 【交通機関】

- ・船橋京成バスを主な移動手段として利用させていただいているのですが、ここ最近で本数が少なくなっていてしまっていることに不安を感じております。通勤や買い出しなど、日常生活に欠かせない物ですので、公共交通機関は安心して利用できるよう、充実をお願いしたいです。(女性・30～39歳)
- ・JR船橋駅と京成船橋駅の乗り換えのエスカレーター付近が混雑している。アクセスしやすくしてほしい。JR改札前の出店が邪魔で、人の流れが悪い。全体的に汚い不衛生な町という印象です。改善希望します。(男性・30～39歳)
- ・津田沼駅～東京駅まで快速電車で30分と便利だとは思いますが、津田沼駅に行くのにバスで15分～30分かかり、都心へと向かうと1時間半～2時間はかかってしまうことに不便さを感じています。バスはなかなか来なかったり、渋滞したり、また料金が値上がりしたことも不満に思います。(女性・50～59歳)
- ・塚田地区は若い人も増えましたが高齢者も多く、交通面で困っている方がたくさんいらっしゃいます。バスも走っておらず、タクシーも呼ばないといけないため不便です。馬込沢のように

ミニバスを運行していただけますように願っております。(女性・50～59歳)

- ・これから高齢者が増えていく世の中で、高齢者の方も自由に安全に低コストで利用できる交通手段(乗り合いバス・市営バス・タクシーetc)が増えることを望みます。もちろん妊娠中の方や小さなお子様連れのファミリーも利用できるとなお良いかと思えます。(女性・30～39歳)
- ・東葉高速線の運賃を下げてください。(女性・18～29歳)

#### 【広報・HP・SNS】

- ・5類移行後、市のHPのコロナ関連の情報がとてもわかりにくくなった。まだ需要があるのだから、わかりやすくしてほしい。(女性・60～69歳)
- ・先日も病院で「今日住所を問われて、自分の住所を言えなかった」という方がいました。どうしたら良いのだろうと話されたので、地域包括支援センターの番号を教えたのですが、もっとお年寄りに困ったときはどうすべきか広く伝えるべきだと思います。広報にでも大きく記載すべきだと思います。小さな字では読みません(女性・60～69歳)
- ・先日、駅前や別の場所にて「メディカルタウン」の情報を耳にしました。よくよく聞いてみると、地盤や災害時に不安があるということ。表面を聞くと、とても良い計画のように思っていたのですが、そういった部分の説明を初めて知り驚きました。ここ数年、今までとは違う異常気象や災害も多く見られていますので、この点でしっかりと説明や内容を知られる機会があると安心して住めると思えます。広報や皆様のよく見られるツールにて説明があると嬉しいです。(女性・30～39歳)
- ・町内の防災無線が聞こえないため、市のアプリを使用しています。通知内容が細かくとても助かります。(女性・50～59歳)
- ・船橋市は市議会議員の一部の方が報告会を開いてくださるのでありがたいです。船橋市は情報提供をもっと頑張れ！(男性・40～49歳)
- ・目に見えるような施策をしてほしい。市民便利帳は、良いと思います。医療や病気を相談できるところを便利帳に載せてほしい。(男性・60～69歳)

#### 【商工業・農業・イベント】

- ・船橋の花火大会ですが、平日に開催する意味がわかりません。船橋に住んでいながら、3～4回位しか観ていない。会社から帰ったら終わっている。昨年、色々な場所でお祭りが開催しましたが、船橋は中止でしたよね。今年は秋？何かズレている。やる気がないのかと思ってしまいます。(女性・50～59歳)
- ・船橋駅周辺の商業施設が物足りない。もう少し充実してほしい。(女性・18～29歳)
- ・県民の森を市民のために活用するイベント等行ってほしい。県民の森はあまり来訪者も多くないうちにみえるし、もったいない。(女性・60～69歳)
- ・船橋市が住み良いと思うのは、農業・漁業・酪農が身近にある安らぎと新鮮な食物。(女性・60～69歳)
- ・一次産業(農業・漁業)に対する補助金。このままでは船橋の農業が本当になくなります。(男性・無回答)
- ・先日4年ぶりの市民まつりが大盛況で、受け継がれた伝統が廃れず嬉しく思っています。これからは長く伝えていくことができるよう、船橋市の伝統に触れる機会をたくさん作れたら良いなと思います。(女性・30～39歳)

### 【公園】

- ・中国の公園のように大人も利用できる健康器具が公園にあったら嬉しいです。(女性・50～59歳)
- ・整備が行き届いている、キレイな公園がほしいです。公園にカフェがあったらステキで、若者が増えるのではないのでしょうか。(女性・18～29歳)
- ・子どもたちがボールを使って思いきり遊べる場所を増やしてほしい。公園の遊具が1度撤去されてしまうと、新設しないことが多いように感じている。新しい遊具を少しずつ設置してほしい。(男性・40～49歳)
- ・子育て環境として、近隣に魅力のある公園がないです。アンデルセン公園は楽しくてよく行きますが、近所の公園は面積も小さく、遊具もすべり台、鉄棒、ブランコのどれかがちょこんと置いてある程度です。小さい子どもから小学生くらいまで遊べる遊具のある中規模の公園をもっと増やしてほしい。(女性・40～49歳)
- ・子どもが遊べる大きな公園が必要。他の市(松戸や柏)に比べ少ない。ボールが使える公園。高低差がなくキャンプやバーベキューができれば良いと思う。(女性・40～49歳)
- ・運動公園にスケートパークを建設してもらいたい。(男性・無回答)

### 【学区・学校】

- ・船橋市は教育費に掛ける予算が少ないと思います。給食費の無償化を実現してほしいです。また、市で教員を雇って配置するとともに、各学校各学年に1人ずつの支援員を配置してほしいです。スクールカウンセラーも、毎日相談できるように配置してほしいです。学校を新設して大規模学校を減らしてほしいです。老朽化した校舎の建て替えも進めてください。(男性・50～59歳)
- ・公立校に通う子の親ですが、我が子の中1のときのクラス編成がひどく、毎日2人の男の子から暴言をあげられ、かつクラスは授業中も先生の声が聞こえないくらいうるさく、勉強できる環境ではなく精神を病んでしまいました。今は回復傾向にありますが、非常識がまかり通る学校生活を送る中で、それに耐えうる強い精神を持つ生徒、常識を作ることを楽しむ子が学校に通え、常識ある行動をとる者が精神をやられ、不登校や遅刻になるケースが増えているようです。県立高を考えた場合、内申書に欠席遅刻の回数など記入欄がありますが、広島県のように内申をシンプル(欠席・遅刻欄・学校活動欄なし)に変更し、実力主義にもっと変革すべきだと思います。(女性・40～49歳)
- ・小学校の生徒数が様々なので、学区の見直しを図り、バランスを考えた方が良いと思います。(女性・40～49歳)
- ・前原西1丁目の小中学生は、遠方の学校に通う事を余儀なくされており、交通安全面を含め、相当な負荷を何十年と強いられてきています。すぐ近くの小中学校は習志野市の管轄下なので、行政上の都合当然だという理屈はあるものの、通学時間や距離の適正性からは大きく逸脱する現状と考えます。市政区分の観点からもこうした例外的状況の放置は良くない事だと当市に在住以後、ずっと感じています。(男性・60～69歳)

### 【治安・防犯】

- ・市内で自転車やバッグを盗まれる人が多い気がします。身内や自分も経験済み。防犯体制に力を入れてほしいです。(女性・40～49歳)
- ・駅周辺(裏通り)などにいる居酒屋のキャッチなどが多く話しかけてきたり、道路、歩道を問

わず道をふさぐのですごく邪魔です。また、近辺の駐輪場などで喫煙もしたりしているので汚れています。正直歩行の邪魔です。あと、近寄り難いです。(男性・30～39歳)

- ・駅前客引き(呼び込み)をすぐにやめてほしい。治安が悪い、マスクもしていないし、コロナも怖いし、邪魔だし、何とかしてください。船橋市の他市から来た人の評価が下がります。(男性・18～29歳)
- ・川口市の例もあり、治安が心配。安易な外国人受け入れは反対。(男性・無回答)
- ・痴漢に注意の看板があります。こんな看板を立てるなら、もっと明るく街灯をつけて。金杉小の周りは暗くて危険です。街灯を多くしてほしいです。(女性・40～49歳)
- ・まだ安心して街(特に駅前)を夜に歩けない。治安の悪さに不安があります。最近では海外の方がたむろしている場所もあり気になります。(男性・40～49歳)
- ・子どもを持つ親として、不審者対策の強化をお願いしたいです。例えば小中学校の警備。また暗い夜道の街灯設置。(男性・50～59歳)
- ・通勤・通学の歩道の拡大。街の中の防犯や安全性。防犯カメラの設置(住宅街)。(女性・40～49歳)

#### 【高齢者対策】

- ・高齢者が健康維持するための1つとして運動することは必須と考え、高齢者(70歳以上)に対して一定の補助を行う事で結果的に医療費軽減に繋がるのではと検討願います。(男性・70歳以上)
- ・子どもたちには児童ホームがありますが、お年寄りが気軽に話ができる場所作りをしてください。お茶を飲んだり、食事ができる場所、まちの駅をぜひ船橋に作ってほしい。お友達が増える、交流ができる、そういう場所がほしい。(女性・70歳以上)
- ・高齢の両親が市内にいますが、駅から遠い所に居住しているため、現在も車を運転しています。近々免許返納を進める予定ですが、車を手放した後が非常に心配です。高齢者が金銭的に負担軽減され、容易に医療機関を受診したり、生活必需品を購入できるようにしていただきたいです。(女性・40～49歳)
- ・数年前から親の介護をしています。高齢者支援制度でタクシー券、おむつ、配達、住宅改修を利用し、とても助かっています。一方でこの制度を知らない人も多くいます。介護認定を受けたときに厚い冊子をもらい、中を見ましたが、理解しにくい言葉が多く、高齢者のための冊子なのに寄り添っていないと感じました。高齢の方、介護をする方、サポートする方、みんなの負担を軽減するために、この支援制度が若い方にも知ってもらう必要があると思います。(女性・40～49歳)
- ・子育て支援同様、高齢化社会に向けて、予算を組み特養老人ホームを増やしてほしい。(女性・50～59歳)

#### 【アンケート関連】

- ・こういったアンケートをネット上で回答できると、若い人を中心に回答率が上がると思います。  
※現在の方法に加えてQRコードを同梱し、どちらでも回答できるようにする等。理由はポストに投函する等の手順が減り、その場ですぐに完了するため、回答へのハードルが下がるのではと考えます。(女性・18～29歳)
- ・本アンケートについて、集計に相当な時間(時間・コスト)がかかると感じます。マークシート・インターネットによる回答の方がよいのでは。(男性・40～49歳)

- ・若い世代には回答者に抽選でギフトカードプレゼント等があった方が調査への回答率が上がるのではないかと感じました。(女性・30～39歳)
- ・このようなアンケートは無意味、市民によって選ばれた市長が構想し、実現可能なものから実施し、それを議会がチェックしていけば良いのであって、国がこれこれの項目を推進しなさいと言ってきたからと言って形だけ整えてもしょうがない。(男性・60～69歳)
- ・意識調査について、良くなったもの、力を入れるべきものなど、反対意見の調査項目がほぼない事に不安を感じる。多数決・そんなくなどの市政で、何ができるかわからない。市についてとても頑張ってくれていると思うが、少し改善してほしい。(女性・40～49歳)
- ・市民意識調査について、市民の意見を是非反映させてほしい。そうすれば船橋市はすばらしい住みたくなる市になるのではないのでしょうか。(女性・60～69歳)

#### 【自然・環境】

- ・市街化して便利になるのは良いですが、田園地域や森林の減少が残念です。良い環境を維持してほしいです。(女性・70歳以上)
- ・近年、船橋市上空を飛ぶ飛行機が多くなったような気がします。ヘリコプターやプロペラ機の高度も低いので騒音が気になっています。市民が安全・安心で平穩に暮らせるよう各方面への働きかけをお願いいたします。(男性・60～69歳)
- ・三番瀬で潮干狩りができることがとても嬉しいです。(女性・40～49歳)
- ・船橋市に居を構えた時、緑の多い地域を選びました。そんな中で風致地区を選んで住んでいましたが、最近はその緑地も住宅になっていて、どうしてそうなるのか不思議に思っています。住民が増えるのは良い事ですが、環境が大きく変わることに不安を感じています。(男性・70歳以上)
- ・区画整理に伴い、桜の木や大きな桃の木などを伐採してしまったのが非常に残念です(飯山満駅周辺)。(女性・50～59歳)
- ・温暖化対策による市民への意識向上の呼びかけも強化してほしい。経済よりも、動物や自然を守る船橋になってほしい。(女性・50～59歳)
- ・川辺の整備(草刈等)早めにしてほしい。草が大きくなりすぎ散歩がしにくい。(女性・60～69歳)
- ・公園や学校の敷地内に夾竹桃が植えられていますが、毒性や火事になった場合のことはどう考えて対策されているのかが気になります。(女性・40～49歳)

#### 【介護・福祉】

- ・障害者給付金について、年金を納められなくて、給付金が受けられないことになり、本人に生活する意欲がなくなりつつあり困っている。(男性・40～49歳)
- ・介護、医療職の人材の不足も問題に感じます。介護現場では、人員さえ適切に配置されていれば、もっと手厚い介護をできるのにと、もどかしさを感じています。ほとんどの人が直面する、老後の環境を整えることは、暮らしの安心につながると思います。(男性・30～39歳)
- ・田喜野井は、三山にある包括センターが管轄ですが、大部分の人は三山方面に普段いかないところです。駅などよく見かけるところに作るべきです。(女性・60～69歳)
- ・私は発達障害であるため、大人の発達障害を支援する施設があると望ましいです。このような施設を作る場合、平日夜や土日祝日も相談できると良いです。(女性・30～39歳)
- ・障害児を持つ親が高齢になり将来を悲観して無理心中を選択しないよう手を差し伸べてくださ

い。(男性・60～69歳)

- ・東京都重度心身障害者手当のような、介護を必要とする方に対して月額6万円が毎月支給される制度を船橋市にもしてほしい。生活保護は受けたくはないが生きていくのが大変。(女性・40～49歳)
- ・介護環境についてはこの10年で著しく向上したと考えますが、今後もこの状況が継続可能なのか、不安が残る。(女性・50～59歳)
- ・高齢化が進み、介護施設や病院など介護の必要な方が多くいます。夜の時間もできるような人材の確保を行政からも進めていただきたいです。(女性・60～69歳)

#### 【自転車・自動車】

- ・自転車のマナー違反が多く、子どもたちが危険な場面が散見される。自転車のマナーを注意喚起してほしい。(女性・30～39歳)
- ・津田沼駅前の駐輪場が少なくて困る。(女性・30～39歳)
- ・自転車の無灯火運転の撲滅。(男性・30～39歳)
- ・道路の自転車逆走が非常に危険。ヘルメット着用以前に子どもへ道路法を先に指導してほしい。(女性・50～59歳)
- ・交通マナーを守らない人が多いため、警察などによる指導、啓発の強化をお願いしたいです。特に自転車の右側走行、歩道走行が多い。狭い道が多いのはやむを得ないと思うので、皆が気持ちよく暮らせるようマナー意識の向上を働きかけていただきたいです。(男性・40～49歳)
- ・昼間においては、市清掃車の通行が多く、通行マナーも良くないです。当該道路に面している車庫への入庫時には他のドライバーからひどい言葉をもらいます。学童の通学路でもあり、高齢者の通行もあり、隣接道路は私共の生活道路です。夜間においてはスピード超過の車両も走行しております。犠牲者が発生してからでは遅いので、是非警察との協力の下、改善・対策を強く要望します。(男性・50～59歳)
- ・自転車用道路が船橋駅周辺に整備されていてありがたく思っています。しかし、路上駐車が多く、結局活用できず困っています。(女性・30～39歳)

#### 【災害・防災】

- ・崖が多い場所に住んでいるので、大雨で土砂崩れが起きないか心配。(女性・18～29歳)
- ・防災の放送が聞きとれない栄町に住んでいる。チャイムは聞こえるのに放送内容が聞き取りにくい。何かを喋っているのはわかるが、内容がわかりづらい。聴力に異常はありません。(女性・70歳以上)
- ・大規模災害時の避難場所の確保や災害備品の適正な備蓄。重点的にお願いします。(男性・30～39歳)
- ・馬込地区は宅地が多いため、住宅が建ちすぎる。人口の増加により、災害時の避難場所を確保することが困難となりそう。(男性・50～59歳)
- ・船橋市に住んで20年以上たつが、災害等に対する備えが良くなったと感じる。引き続き自然災害に対する意識をもって市政運営を宜しくお願いしたいです。(男性・70歳以上)

#### 【ごみ・リサイクル】

- ・交通に支障のない、路上ごみステーションにごみ箱を設置することを許可し、かつ市からごみ箱を無償貸与していただきたい。(男性・70歳以上)

- ・ごみ（燃えるごみ）の収集ですが、週2回になってから夏場は悪臭が酷いです。夏季だけでも週3回を希望します。（男性・60～69歳）
- ・小栗原公園の前の千葉銀行の一角にごみ置場があり、そこにバイクなどで乗り付け、不法投棄の場所となっています。また、ルールが守られておらず異臭がします。（女性・40～49歳）
- ・園芸用の使用済みの土の回収を年2回ぐらいやっていただきたい。花をたくさん育てたいが、古い土の処理に困っている。（女性・60～69歳）
- ・不用品でも捨てるにはもったいない物があるが、自由に持ち込めて、必要な人がもらえる場所があったらいいと思う。Weショップ（神奈川県や埼玉県にはある）のような施設がほしい。あと、洋服を古着として出したときは、処分されるのか、再利用されるのか知りたい。（女性・70歳以上）
- ・不燃ごみの収集回数が少ないため、月2回に増えると嬉しいです。（女性・40～49歳）
- ・コロナ禍の前までは、二和向台駅前の図書館の所に小型の電気製品の回収ボックスがあったのですが、コロナ禍になり、ボックスがなくなりとても困っています。時折利用していましたが、なるべく早く回収ボックスを置いていただきたいと思います。（女性・70歳以上）

#### 【地域社会・自治会】

- ・現在私が住んでいる大穴では、各町会から成り立つ自治会連合会という組織がありますが、近年急激にその連合会から離脱する町会が、後を絶えません。運動会やお祭りなど、行事は行われるようになりましたが、徐々に参加者も減り、やや盛り上がり欠けてきているように思えます。こうした現象が他の地域でも起きていると聞いています。近隣の方とのコミュニケーションが薄れていくことで万が一の有事の際などで手を取り合うことに違和感を覚えるような地域にはなってほしくないかと常に思います。（女性・50～59歳）
- ・市民活動（町会・自治会活動の促進）の件。今回自治会の役員を引き受けましたが、毎月の定例会、行事、会計の担当もしておりますが、仕事もしているので、自治会の活動が負担になっています。もっと軽減できるよう対策してほしいです。（女性・50～59歳）
- ・自治会同士の相互連絡をやすくして、他自治会の情報を多く知り活動の活性化を進められればいいと思います。（男性・70歳以上）
- ・地域コミュニティの皆無に不安を感じます。自治会町会も仲違い、セクト化、権力化の分断で老人会も快適に運用されていないようです。施設やシステムはありますが市役所等の運用面で改善の余地があるようです。自治会町会公民館（その類）セミナー講習会等を通して地域住民（近所同士）の身近な地域コミュニティ作りの土台を自治体としても少子高齢化の激しい今、構築していかないと治安防災面からも先が思いやられます。（男性・70歳以上）

#### 【雨水・上下水道】

- ・大雨が降ると道路が冠水する所が多いので、道路を高くし水の逃げ道も作ってほしい。（女性・50～59歳）
- ・何度も何度も掘り返している下水道。こないだもやっていたと思う事が多い。下水道使用費や水道代が安くなると聞いていたのに安くならず、余計に高くなったが何故ですか？（女性・18～29歳）
- ・上下水道料金をもう少し安くしてほしい。以前より断然高い。（男性・18～29歳）
- ・水がまずいです。浄水器なしでは飲めません。（女性・30～39歳）
- ・川の歩道は雨が降ると水たまりができて歩けません。（女性・50～59歳）

- ・三咲駅の裏側（業務スーパー側）の小道（駅から駐輪場の端くらいまで）が大雨や台風の日になると冠水してしまい、通行できなくて困るので対策をお願いします。（女性・30～39歳）

#### 【コロナ対策】

- ・船橋市に住んでいますが、かかりつけ医のほとんどが習志野市にあったので、コロナ禍に大変困りました。集団接種の予約が取れず病院に連絡しても通院したことがない者は対応してもらえなかったり等。（女性・50～59歳）
- ・コロナの際も近隣の市町村に比べ著しく対応が遅い上、患者への食糧の提供もなかった。（女性・50～59歳）
- ・コロナ対応も体制も市川の職員の方がしっかりされていました。船橋市はネット任せで、問い合わせ等もできなかったのが、大変困りました。（女性・40～49歳）
- ・コロナのような感染症がこの先も起こるかもしれないので、パンデミックに備えてほしい。（女性・60～69歳）
- ・コロナになっても電話確認が1本あったのみで必要な物資の提供や案内がなかった。（男性・50～59歳）

#### 【動物・鳥・虫】

- ・地域ネコ活動を、市として行ってほしいです。今以上に野良ネコが増えないように、お世話をするボランティアなどを支援していただきたいです。また、その活動を広報などで周知してほしいです。たまに虐待されているネコもいるようです。※地域ネコのお世話をしている場所の目の前に「ネコに餌をあげないでください」の市役所の看板があることに矛盾を感じています。（女性・50～59歳）
- ・近所に湧水池があるが、整備されず町会で清掃もしたりするが、市が中心となってもっと綺麗にしてほしい。今どき、蚊柱ができていく市があるだろうか。とにかく蚊が多いです。（男性・70歳以上）
- ・道端に犬のフンがたくさんあり、下を見ながら歩かなければいけない状況です。キレイで歩きやすいようになったら良いと思います。（女性・40～49歳）
- ・カラスがゴミを荒らしたり飛び回っているのをどうにかしてほしい。（女性・18～29歳）
- ・地域ネコのことを考えてほしい。町会を通しての無料手術はハードルが高い。個人でできるようにしてほしい。地域ネコ・殺処分のことを広報に載せてほしい。殺処分をゼロにしてほしい。その代わりにボランティアや個人団体などを受け入れてくれる人に資金を出してほしい。個人や団体、里親と里親になりたい人の場所を提供してほしい。子どもたちに殺処分のことを知ってもらいたい。学校でボランティアの人がお話し合いをしてもらいたい。（男性・50～59歳）

#### 【生活困窮者支援】

- ・私の親は年金生活者だが国民年金のため、月に7万くらいしかもらえない。とても生活に困っている。そういう世帯には月に10kgくらいお米や食べ物（長期保存できるもの）を配るなど、対策をしてほしい。はっきり言って、生活保護を申請するレベルなのにそういうものにも頼らないで必死に頑張っているお年寄りもいることを分かってほしい。生活保護以外の低所得者を助けてほしい。（女性・40～49歳）
- ・ここ半年、フェイスのペDESTリアンデッキやNEXTの閉店した店などの目立たない場所に生活困窮者の方がいらっしゃるのが気になる。今のところ、同じ人が2～3人毎日同じところに

いらっしゃるので、私も含め皆さん見て見ぬふりで通り過ぎていると思う。力を入れるべきものに生活困窮者支援を選んだ理由です。(女性・50～59歳)

#### 【雇用・就労支援】

- ・市職員の採用に際し、行政職種の民間経験者枠を復活していただきたい。(女性・40～49歳)
- ・市の関連施設で働くが、10年以上1円も昇給せず、ベース賃金は最低時給を下回っている。金銭的に困窮している訳ではないが、この現実が信じ難い。(女性・40～49歳)
- ・地元でできる仕事情報がほしいです。フルタイムではなく週末だけでOKな副業をしたいです。(女性・50～59歳)

#### 【空き家】

- ・昭和40年代に宅地開発されたエリアの空き家問題(住む人が居なくて老朽化が進み、町の美観を損ねている)に着手してほしい。高齢の親と同居しているが、親が亡くなった後、入居できる高齢者向け賃貸住宅を確保・提供していただけたら安心できる。(女性・50～59歳)
- ・空き家や、手入れされていない(空き家に見える)家を非常に多く感じている。そして、近隣に住んでいる住人は困っていることがあっても、直接家主にコンタクトできない状況であり、相談窓口もなく、今現在もストレスになっている。引越して船橋市に住んで20年になるが、改善されることなく、悪化している。(女性・50～59歳)
- ・家の前にある空き家の木・草・虫・ネズミ・ハクビシンが出てきて困っています。大きな木の枝がどんどん伸びてきています。数年前の台風では瓦が2枚落ちて来ましたが、伸びた枝は空き家の隣の家のガス室外機まで伸びて、とても危ないです。解決しなくて困っています。(女性・50～59歳)
- ・長年、南船橋駅前の空き地が何も利用されずもったいないと思っていたのですが、最近整備されマンションやテラスができ、やっと活用され、とてもよかったです。(女性・40～49歳)

#### 【国際社会】

- ・市内には外国から来た人が多く暮らし、子育てをしている女性もたくさんいます。言葉の問題、経済的困窮など課題を持つ人が多いと見受けられます。困りごとを相談してもどこに何を話したら改善できるかわからない。1つの課だけに相談しても他の問題はどうすればよいか説明してもらえないという状況があります。困りごとを抱えたままの生活は子どもたちに影響します。市内に暮らす外国人のワンストップ相談ができる仕組みがほしいと思います。加えて外国から来た子どもたちの手助けをするボランティア活動の運営を期待します。(女性・70歳以上)
- ・外国人の居住者が今後も増えていくと思われます。偏見差別のない社会、誰もが住みやすい船橋市であるようお願いしています。(女性・70歳以上)

#### 【たばこ】

- ・船橋駅周辺は歩きタバコがものすごく多いので取り締まりを強化してほしい。(男性・40～49歳)
- ・喫煙場所がなさすぎる。(男性・70歳以上)
- ・路上のタバコポイ捨てが多いです。重点区域だけでなく、もっと多くの区域に看板など設置してほしいです。また過料2,000円ですがもっと高い過料の方が抑制力があると思います。ステッカーや看板配布などお願いします。(女性・30～39歳)

- ・歩きタバコ等の迷惑行為への対応等により力を入れて頂けるとありがたいです。検挙や罰則の強化等の取り組みに期待しています。誰もがよりよく生活できる街になってほしいと切に願っています。(男性・40～49歳)



#### IV. 調査票

---



## 令和5年度 船橋市 市民意識調査

船橋市のまちづくりについて あなたの声をお聞かせください

日頃より、船橋市政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

市は、「人も まちも 輝く 笑顔あふれる船橋」を将来都市像として、市民の皆様が自分らしく輝くとともに、都市としての輝きも創出することで、笑顔の輪が広がり、さらに活気あふれるまちを目指しています。

本調査は、このようなまちを目指すうえで、市民の皆様の生活についての実感や日頃の行動などについてご意見をお聞かせいただき、これまでの市の取組みを評価するとともに、今後の市政運営に反映させるものとして行うものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、これまでの市の取組みに対する市民の皆様の実感をしっかり把握し、今後の取組みや、まちづくりに生かしていくためにも、ぜひ、本調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

調査の実施にあたりましては、市内にお住いの満18歳以上の方の中から無作為に選んだ3,000名の方へお送りしています。

調査結果については、「広報ふなばし」や市のホームページなどで公表しますが、統計的に処理されます(この調査は無記名であり、個人が特定されることはありません。)ので、個人の考え方が公表されることはありません。また、調査の目的以外に使用することは一切ありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

令和5年10月

船橋市長 松戸 徹

### ～ ご記入にあたって ～

1. 調査票や返信用封筒に、住所・氏名を記入する必要はありません。
2. ご記入は、必ず宛名のご本人がおこなってください。
3. ご記入は、黒や青のボールペン、濃い色の鉛筆などをご使用ください。  
ご記入方法は、2ページ目の「**■ご回答にあたって■**」をご覧ください。
4. 「その他」を選んだ場合は、( )内に具体的な内容をご記入ください。
5. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、

**令和5年10月25日(水)まで** にご投函ください。

6. ご不明の点などありましたら下記までお問い合わせください。

<お問い合わせ先> 〒273-8501 船橋市湊町2丁目10番25号  
船橋市役所 市民の声を聞く課  
電話：047-436-2784 FAX：047-436-2789  
e-mail：shiminnokoe@city.funabashi.lg.jp

■ご回答にあたって■

●回答例（1）

以下のような質問については、選択肢の番号を「(○は1つ)」と指示した数だけで囲んでください。以下の例では、「1. 愛着がある」と回答したことになります。

【問1】あなたは、「船橋市」に愛着を持っていますか。(○は1つ)

- |   |                                   |                                |
|---|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> 1. 愛着がある | <input type="radio"/> 3. あまり愛着がない | <input type="radio"/> 5. わからない |
| <input type="radio"/> 2. やや愛着がある          | <input type="radio"/> 4. 愛着がない    |                                |

●回答例（2）

以下のように、選択肢として「その他」や選んでいただくと同時に記入をお願いする選択肢があります。そのような場合、右側のカッコ内に必要な記入をお願いします。

【問13】過去1年間に、大腸がん検診〔便潜血反応検査（検便）など〕を受診しましたか。(○は1つ)

- |  |
|--|
| <input type="radio"/> 1. 船橋市が実施したがん検診で受けた  |
| <input type="radio"/> 2. 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた                                |
| <input checked="" type="radio"/> 3. その他の機会（「 <b>自費で人間ドッグ</b> 」や「 <b>他の自治体のがん検診</b> 」等）で受けた |
| <input type="radio"/> 4. 受けなかった  |

●回答例（3）

質問の前に、「(問29で「3. 市内に近居または同居している親・子育て世帯はいない」とお答えの方に)」などの網掛けされた記載がある質問については、該当する場合にのみご回答ください。

(問29で「3. 市内に近居または同居している親・子育て世帯はいない」とお答えの方に)

【問29-2】今後、親・子育て世帯と同居や近居をしたいと考えていますか。(○は1つ)

- |  |
|--|
| <input type="radio"/> 1. 同居したい                     |
| <input checked="" type="radio"/> 2. 近居（1.2km以内）したい |
| <input type="radio"/> 3. 同居や近居は望まない                |

●回答例（4）

以下のように、別表の番号の記入をお願いする質問があります。

以下の例では、「市の施策（25項目）」の番号を5つまで枠内に記入してください。

【問30】次ページの「表 市の施策（25項目）」について、どのように感じていますか。

- ① ここ数年でよくなったもの  
(5つまで選んで番号を記入してください)

1	4	21		
---	---	----	--	--

表 市の施策（25項目）

番号	基本施策	施策の主な内容
1	健康増進	健康づくりの推進、疾病予防対策の充実、感染症対策等の健康危機管理の強化
2	地域医療	在宅医療の推進、難病患者等の支援体制の充実、医療提供体制の充実、救急医療体制の充実
3	高齢者福祉	生きがいづくりの推進、特別養護老人ホームの整備・介護人材の確保、相談支援体制の充実、家事援助等の生活支援の充実
4	地域福祉・生活困難者支援	地域福祉の体制整備、生活困難者への支援、包括的・相談支援体制の構築

## 1 「住みごころ」についてお聞きします

【すべての方に】

【問1】あなたは、「船橋市」に愛着を持っていますか。(〇は1つ)

- |            |             |          |
|------------|-------------|----------|
| 1. 愛着がある   | 3. あまり愛着がない | 5. わからない |
| 2. やや愛着がある | 4. 愛着がない    |          |

【問2】あなたは、今後も「船橋市」に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

- |                |              |          |
|----------------|--------------|----------|
| 1. 住み続けたい      | 3. できれば移転したい | 5. わからない |
| 2. しばらくは住み続けたい | 4. 移転したい     |          |

【問3】あなたは、「船橋市」を住みよいまちと感じていますか。(〇は1つ)

- |              |             |        |
|--------------|-------------|--------|
| 1. 住みよい      | 2. まあまあ住みよい | ⇒問3-1へ |
| 3. あまり住みよくない | 4. 住みよくない   | ⇒問3-2へ |
| 5. わからない     |             | ⇒問4へ   |

(問3で「1. 住みよい」または「2. まあまあ住みよい」とお答えの方)

【問3-1】住みよいと感じるのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

- |                                 |                         |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから      | 6. 公園などの憩いの場所が多いから      |
| 2. 商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから      | 7. 福祉の施設・制度が充実しているから    |
| 3. 道路、下水道などの都市基盤が整備されているから      | 8. 保健や医療の施設・体制が充実しているから |
| 4. 公民館、図書館などの社会教育・文化施設が充実しているから | 9. 親しみのある自然が残っているから     |
| 5. スポーツ・レクリエーション施設が充実しているから     | 10. 防災・防犯体制が充実しているから    |
|                                 | 11. 静かさなどの周辺環境がよいから     |
|                                 | 12. 近隣とのつきあいがうまくいっているから |
|                                 | 13. その他 (.....)         |
- ⇒問4へ

(問3で「3. あまり住みよくない」または「4. 住みよくない」とお答えの方)

【問3-2】住みよくないと感じるのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

- |                                |                              |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 通勤・通学に不便だから                 | 6. 公園などの憩いの場所が少ないから          |
| 2. 商店などが近くになく、日常の買い物に不便だから     | 7. 福祉の施設・制度が十分でないから          |
| 3. 道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから    | 8. 保健や医療の施設・体制が十分でないから       |
| 4. 公民館、図書館などの社会教育・文化施設が十分でないから | 9. 自然が少ないから                  |
| 5. スポーツ・レクリエーション施設が十分でないから     | 10. 防災・防犯体制が十分でないから          |
|                                | 11. 騒音、大気汚染などがあり、周辺環境がよくないから |
|                                | 12. 近隣とのつきあいがうまくいっていないから     |
|                                | 13. その他 (.....)              |
- ⇒問4へ

## 2 「広報活動」についてお聞きします

【すべての方に】

【問4】 普段、情報入手するためによく利用する情報媒体は何ですか。(〇はいくつでも)

- |                          |         |
|--------------------------|---------|
| 1. パソコン                  |         |
| 2. 携帯機器 (スマートフォン、タブレット等) | →問4-1 へ |
| 3. 新聞                    |         |
| 4. テレビ (ケーブルテレビを除く)      |         |
| 5. ケーブルテレビ               |         |
| 6. ラジオ                   |         |
| 7. その他 (.....)           | →問5 へ   |

(問4で「1. パソコン」または「2. 携帯機器 (スマートフォン、タブレット等)」とお答えの方)

【問4-1】 普段よく利用 (閲覧) するソーシャルメディア系サービス・アプリは何ですか。(〇はいくつでも)

- |                  |              |            |
|------------------|--------------|------------|
| 1. LINE          | 4. TikTok    | 7. 利用していない |
| 2. X (旧 Twitter) | 5. Instagram | 8. その他 ( ) |
| 3. Facebook      | 6. YouTube   |            |

【すべての方に】

【問5】 普段、市の事業やイベント情報などをどこから入手しますか。(〇はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1. 広報ふなばし (紙)                                  |
| 2. 広報ふなばし (電子媒体。スマートフォン用アプリ「マチイロ」など)           |
| 3. 船橋市ホームページ (検索サイトからの取得も含む)                   |
| 4. ふなばし CITYNEWS (ケーブルテレビ/地上デジタル 11ch・YouTube) |
| 5. デジタルサイネージ (船橋駅前歩道橋デジタルサイネージ、庁舎にあるモニターなど)    |
| 6. データ放送 (チバテレビ※d ボタンの「市町村情報」)                 |
| 7. ふなばし情報メール・船橋市公式 LINE                        |
| 8. 船橋市公式 X (旧 Twitter)                         |
| 9. 船橋市公式 Facebook                              |
| 10. 船橋市広報課公式 YouTube                           |
| 11. 船橋市公式アプリ (「ふなっぶ」など)                        |
| 12. 船橋市民便利帳                                    |
| 13. 地域の情報誌                                     |
| 14. 船橋市ホームページ以外のインターネット                        |
| 15. 新聞、新聞折り込み                                  |
| 16. テレビ  |
| 17. 家族や友人、知人との会話から                             |
| 18. その他 (.....)                                |
| 19. 入手していない                                    |

## 【問6】 広報紙やホームページで知りたい情報は何ですか。(〇は3つまで)

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 公共施設の利用案内        | 10. 消費生活や食生活など          |
| 2. 催し物やイベント、サークル活動  | 11. 国民健康保険や国民年金の加入手続きなど |
| 3. 医療（予防接種、休日診療など）  | 12. 市議会の活動内容            |
| 4. 都市計画や再開発のまちづくり   | 13. ボランティア活動            |
| 5. 福祉（給付、貸付、サービスなど） | 14. 規制や公共サービスの有料化など     |
| 6. 散策コースやレジャー       | 15. 市勢や統計調査などの基礎データ     |
| 7. 地域の気象、防災         | 16. 新型コロナウイルス関連情報       |
| 8. まちの話題            | 17. その他（.....）          |
| 9. 教育、文化            | 18. 特にない・わからない          |

## 【問7】 「広報ふなばし」を読んでいますか。次の中から1つ選んでください。(〇は1つ)

- |              |              |        |
|--------------|--------------|--------|
| 1. よく読んでいる   | 2. ときどき読んでいる | ⇒問7-1へ |
| 3. あまり読んでいない |              |        |
| 4. 読まない      |              | ⇒問7-4へ |

（問7で「1. よく読んでいる 2. ときどき読んでいる 3. あまり読んでいない」とお答えの方）

## 【問7-1】 「広報ふなばし」をどこで入手していますか。次の中からすべて選んでください。(〇はいくつでも)

- |                             |                      |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 新聞折り込み                   | 5. 郵便局・銀行            |
| 2. 自宅にポストイング                | 6. 商業施設              |
| 3. 公共施設（市役所・フェイス・出張所・公民館など） | 7. 船橋市ホームページ         |
| 4. 駅スタンド                    | 8. スマートフォン用アプリ「マチイロ」 |
|                             | 9. その他（.....）        |

## 【問7-2】 「広報ふなばし」は月2回（1日・15日）発行しています。発行回数で好ましいものを、次の中から1つ選んでください。(〇は1つ)

- |          |         |               |
|----------|---------|---------------|
| 1. 現行の通り | 2. 毎月1回 | 3. その他（.....） |
|----------|---------|---------------|

## 【問7-3】 「広報ふなばし」は読みやすいですか。次の中から1つ選んでください。(〇は1つ)

- |          |        |
|----------|--------|
| 1. 読みやすい | ⇒問8へ   |
| 2. 読みにくい | ⇒問7-5へ |

（問7で「4. 読まない」とお答えの方）

## 【問7-4】 「広報ふなばし」を読まない理由を次の中から1つ選んでください。(〇は1つ)

- |                              |        |
|------------------------------|--------|
| 1. 読みにくい                     | ⇒問7-5へ |
| 2. 読みたい情報がない                 |        |
| 3. 他の手段で情報を得ている（船橋市ホームページなど） | ⇒問8へ   |
| 4. 入手方法がわからない                |        |
| 5. その他（.....）                |        |



## 【すべての方に】

【問10】健康に関する情報を得る場合、どこから得ますか。すべて選んでください。

(〇はいくつでも)

- |                         |                              |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. かかりつけ医、医療機関          | 5. 市役所、保健所、保健センターなどの<br>公共施設 |
| 2. 家族、友人                | 6. スポーツジム、ドラッグストアなどの<br>商業施設 |
| 3. 職場の人、知人、近隣住民         | 7. その他 ( )                   |
| 4. テレビ、インターネット、<br>本、雑誌 |                              |

## 【問11】「フレイル」を知っていますか。(〇は1つ)

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 言葉を聞いたことがあり、内容も知っている |
| 2. 言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 3. 言葉を聞いたことがなく、内容も知らない  |

※「フレイル」…介護が必要な状態に至る前段階として、高齢期に心身の機能が衰えた状態。

## 【問12】過去1年間に、肺がん検診〔胸のレントゲン撮影や喀痰（かくたん）検査など〕を受診しましたか。(〇は1つ)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 船橋市が実施したがん検診で受けた                   |
| 2. 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた |
| 3. その他の機会 ( ) で受けた                    |
| 4. 受けなかった                             |

## 【問13】過去1年間に、大腸がん検診〔便潜血反応検査（検便）など〕を受診しましたか。(〇は1つ)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 船橋市が実施したがん検診で受けた                   |
| 2. 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた |
| 3. その他の機会 ( ) で受けた                    |
| 4. 受けなかった                             |

## 【問14】過去2年間に、胃がん検診〔バリウムによるレントゲン撮影や内視鏡（胃カメラ、ファイバースコープ）による撮影など〕を受診しましたか。(〇は1つ)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 船橋市が実施したがん検診で受けた                   |
| 2. 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた |
| 3. その他の機会 ( ) で受けた                    |
| 4. 受けなかった                             |

## 【20歳以上の女性のみ】

【問15】過去2年間に、子宮頸がん検診（子宮の細胞検査など）を受診しましたか。  
（〇は1つ）

1. 船橋市が実施したがん検診で受けた
2. 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた
3. その他の機会（ ）で受けた
4. 受けなかった

## 【20歳以上の女性のみ】

【問16】過去2年間に、乳がん検診 {マンモグラフィ撮影や乳房超音波（エコー）検査など} を受診しましたか。（〇は1つ）

1. 船橋市が実施したがん検診で受けた
2. 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診で受けた
3. その他の機会（ ）で受けた
4. 受けなかった

## 4 「ボランティア・市民活動」についてお聞きします

船橋市では、環境問題や高齢者への支援、子どもの安全などの社会課題に対して、地域団体やNPO法人等の団体や市民の方々が、主体的で活発な活動を行っています。このような「市民の自主的で営利を目的としない社会貢献活動」を市民活動と位置づけ、市民活動サポートセンターの開設や市民活動団体の公益的な活動を支援しています。現在の支援のあり方や内容を改善するとともに、皆様のまちづくりへの参加の機会への支援を一層すすめていくことを目的として、この調査を実施します。

## 【すべての方に】

【問17】あなたは、「ボランティア」または「市民活動」という言葉を知っていましたか。次の中から1つだけ選んでください。（〇は1つ）

1. ボランティアのみ知っていた
2. 両方知っていた
3. どちらも知らない

【問18】あなたは、ボランティアや市民活動にどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。（〇は1つ）

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1. 非常に関心がある  | 4. あまり関心がない |
| 2. やや関心がある   | 5. 関心がない    |
| 3. どちらともいえない |             |

【問19】あなたは、ボランティアや市民活動に対して、どのようなイメージを持っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1. 人や社会のために役立つもの
2. 生きがいや満足感・充実感が得られるもの
3. 自分の経験、知識、技能を活かすことができるもの
4. 自発的・自主的なもの
5. 地域や会社などで義務的に参加することが求められるもの
6. 気軽にできるもの
7. いろいろな人と交流できるもの
8. 参加する人の楽しみなど、個人のために行うもの
9. 自分にあまり関係がないもの
10. その他 (.....)

【問20】あなたは、ボランティアや市民活動をしていますか。または、したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。(〇は1つ)

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| 1. 現在参加している     |         |
| 2. 過去に参加したことがある | ⇒問20-1へ |
| 3. 参加したことはない    | ⇒問20-3へ |

(問20で「1. 現在参加している」または「2. 過去に参加したことがある」とお答えの方)

【問20-1】どれぐらいの頻度で参加活動をしていますか。または、活動をしていましたか。次の中から1つだけ選んでください。なお、活動が複数団体の場合は、合算した数を選んでください。(〇は1つ)

- |          |               |
|----------|---------------|
| 1. 週5日以上 | 4. 月1～2日      |
| 2. 週3～4日 | 5. その他(.....) |
| 3. 週1～2日 |               |

【問20-2】ボランティアや市民活動に参加した「きっかけ」は何ですか。次の中から主なものを2つだけ選んでください。(〇は2つ)

- |                             |                  |
|-----------------------------|------------------|
| 1. 友人・家族に勧められた・誘われた         | 6. 広報やポスターの案内をみて |
| 2. PTA活動や学校の授業または課外活動の一環として | 7. 新聞・テレビ・雑誌をみて  |
| 3. 町会・自治会の呼びかけがあって          | 8. SNSで情報をみて     |
| 4. 講習会・研修会に参加して             | 9. 自分の自発的な意志で    |
| 5. 会社などの地域貢献活動として           | 10. 立場上しかたなく     |
|                             | 11. その他(.....)   |

## 【問20で「3. 参加したことはない」とお答えの方】

【問20-3】ボランティアや市民活動に参加したことがない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 時間が足りない・忙しいから        | 7. 格好悪いから・照れくさいから        |
| 2. 活動に興味がないから           | 8. 健康に自信がないから・高齢であるから    |
| 3. 活動するのにお金がかかるから       | 9. 自分にメリットがないから          |
| 4. 家族や会社など周囲の理解が得られないから | 10. 参加の仕方などの団体情報が得られないから |
| 5. 活動する仲間や団体が見つからないから   | 11. 無償の活動だから             |
| 6. 閉鎖的で入りづらい団体ばかりだから    | 12. その他 (.....)          |

【問20-4】どのような状況・条件になればボランティアや市民活動に参加すると思いますか。次の中から主なものを2つ選んでください。(〇は2つ)

- |                              |                        |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 活動場所の制約が無ければ<br>(オンラインなど) | 7. 気軽に入れる団体が見つければ      |
| 2. 短い時間でも可能な活動があれば           | 8. 健康が回復したら            |
| 3. 興味を持てる活動があれば              | 9. 自分にメリットがあれば         |
| 4. 活動するお金のゆとりがあれば            | 10. 参加の仕方などの団体情報が得られれば |
| 5. 家族や会社など周囲の理解が得られれば        | 11. 有償の活動であれば          |
| 6. 活動する仲間や団体が見つければ           | 12. 誰かにお願いされたら         |
|                              | 13. その他 (.....)        |
|                              | 14. わからない              |

【問20-5】ボランティアや市民活動に参加するとしたら、どのような内容の活動に参加したいですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

(〇はいくつでも)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 健康、医療の増進を図る活動                 |
| 2. 福祉（介護、高齢者福祉、障害者福祉など）の増進を図る活動  |
| 3. 子どもの健全育成、子育て支援を図る活動           |
| 4. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動        |
| 5. 生涯学習の推進を図る活動                  |
| 6. 地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動 |
| 7. 地域の防犯・防災活動                    |
| 8. まちづくり（地域活性化、地域情報発行など）の推進を図る活動 |
| 9. 国際協力の活動                       |
| 10. 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動          |
| 11. 被災者支援・復興支援に関する活動             |
| 12. その他 (.....)                  |
| 13. わからない                        |

## 【すべての方に】

【問21】 今後、ボランティアや市民活動をさらに活性化していくために、市はどのような施策を展開することが望ましいと思われますか。次の中から主なものを2つ選んでください。(〇は2つ)

1. 活動する場所（事務的な打合せなどを行う場所を含む）の提供
2. 活動に関する情報の収集・発信
3. 他の団体との交流・連携を図るためのネットワークの構築
4. 必要な知識や技能を得るための研修会等の開催
5. 参加したい人がスムーズに参加できる仕組みづくり
6. 活動をサポートする相談機関の設置
7. 活動に必要な資金の支援
8. 活動に必要な備品や機材の提供
9. ボランティアや市民活動団体への業務委託の推進
10. 気軽に参加・体験できる場や機会の提供
11. 若者や子どもに対する普及啓発
12. その他（.....）
13. わからない

【問22】 船橋駅前フェイスビル5階にボランティア・市民活動推進施設として平成15年に設置された市民活動サポートセンターをご存じですか。次の中から1つだけ選んでください。(〇は1つ)

1. 定期的に利用している
2. 利用したことがある（現在は利用していない）
3. 施設の存在は知っているが、利用したことはない
4. 施設の存在を知らない

【問23】 この市民活動サポートセンターを利用するにあたって、施設でどのようなことができれば利用したいと思いませんか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。(〇はいくつでも)

1. 打ち合わせや会議
2. コピー機・印刷機が利用できる
3. 市や市民活動の情報などの掲示物を閲覧できる
4. パソコン・プリンターやプロジェクター・モニターなどの設備・機器を利用できる
5. ボランティアや市民活動に関わる講座やワークショップを開催できる
6. ボランティアや市民活動に関わる講座やワークショップに参加できる
7. ボランティアや市民活動に関する相談をできる
8. 市民活動団体と交流する機会がある
9. 仲間と気軽に回らnder
10. その他（.....）



【問27で「1」～「8」のいずれかをお答えの方】

【問27-1】現在のお住まいの住宅について、今後も住み続けたいと考えていますか。

(○は1つまで)

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1. そのまま住み続けたい    | 3. 建替えしたい  |
| 2. リフォームして住み続けたい | 4. 住み替えしたい |

【すべての方に】

【問28】高齢になったとき(すでに高齢の方も含む)に、どのような住宅に住むことを考えていますか。(○は1つ)

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 1. 持ち家(戸建て)        |  |
| 2. 持ち家(集合住宅)       |  |
| 3. 民間の賃貸住宅         |  |
| 4. 公的賃貸住宅          |  |
| 5. 子ども・親族の家        |  |
| 6. 高齢者向け住宅(老人ホーム等) |  |
| 7. その他( )          |  |

【問29】あなたのご家庭には、同居または市内に近居(1.2km以内※)している親・子育て世帯がいますか。(○はいくつでも)

- |                              |         |
|------------------------------|---------|
| 1. 同居している親・子育て世帯がいる          |         |
| 2. 市内に近居している親・子育て世帯がいる       | →問29-1へ |
| 3. 市内に近居または同居している親・子育て世帯はいない | →問29-2へ |

※徒歩約15分圏内

【問29で「1. 同居している親・子育て世帯がいる」または「2. 市内に近居している親・子育て世帯がいる」とお答えの方に】

【問29-1】親・子育て世帯と同居または近居して良かった点は何ですか。(○は3つまで)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. 安心感がある | 5. 経済面の援助 |
| 2. 子育て援助  | 6. その他( ) |
| 3. 親の介護   | 7. 特にない   |
| 4. 家事の援助  |           |

【問29で「3. 市内に近居または同居している親・子育て世帯はいない」とお答えの方に】

【問29-2】今後、親・子育て世帯と同居や近居をしたいと考えていますか。(○は1つ)

- |                   |
|-------------------|
| 1. 同居したい          |
| 2. 近居(1.2km以内)したい |
| 3. 同居や近居は望まない     |

6 「市の施策」についてお聞きします

【問30】次ページの「表 市の施策（25項目）」について、どのように感じていますか。

① ここ数年でよくなったもの

（5つまで選んで番号を記入してください）

<input type="text"/>				
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

「25. その他」を回答した場合は、具体的内容をお書きください。


② 力を入れるべきもの

（5つまで選んで番号を記入してください）

<input type="text"/>				
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

「25. その他」を回答した場合は、具体的内容をお書きください。


表 市の施策（25項目）

番号	基本施策	施策の主な内容
1	健康増進	健康づくりの推進、疾病予防対策の充実、感染症対策等の健康危機管理の強化
2	地域医療	在宅医療の推進、難病患者等の支援体制の充実、医療提供体制の充実、救急医療体制の充実
3	高齢者福祉	生きがいづくりの推進、特別養護老人ホームの整備・介護人材の確保、相談支援体制の充実、家事援助等の生活支援の充実
4	地域福祉・生活困窮者支援	地域福祉の体制整備、生活困窮者への支援、包括的な相談支援体制の構築
5	障害福祉	障害への理解の促進、相談・生活支援の充実
6	国民健康保険・介護保険	国民健康保険事業の適正な運営、介護保険事業の適正な運営
7	子ども・子育て支援	教育・保育の充実、子供の健全な育成、妊娠期から子育て期にわたる支援、特別な配慮を要する子供への支援、ひとり親家庭等の自立支援、児童虐待防止対策の強化
8	学校教育	教育内容の充実、特別支援教育の推進、不登校児童生徒や帰国・外国人生徒への支援等のニーズに応じた支援の充実、教育体制の整備
9	生涯学習	多様な学習ニーズへの対応と充実した学習機会の提供、学習と活動の循環
10	文化・スポーツ	文化振興、文化財の保存・活用、スポーツ振興
11	防災・減災	地域防災力の向上、防災体制の充実、都市防災機能の向上
12	消防	火災予防の推進、消防体制の充実、救急体制の充実
13	市民活動	市民活動への支援と協働の推進、町会・自治会活動の促進
14	多文化共生・男女共同参画・平和	国際交流・多文化共生の推進、男女共同参画の推進、平和施策の推進
15	住まい	市営住宅の供給や民間賃貸住宅への入居支援等の住宅セーフティネットの充実、住宅バリアフリー化の支援等の住宅ストックの適正な管理と質の向上
16	生活安全・生活衛生	交通安全意識の啓発、防犯体制の充実、安心して暮らす消費生活の確立、生活衛生の向上
17	商工業	商業環境の整備、企業活動の活性化支援、安定的な雇用の確保、卸売市場の機能強化・充実
18	農水産業	新規就農者・漁業就業者の育成等の人材育成と農地活用、流通・販売の強化
19	計画的な都市づくり	持続可能なまちづくり、JR南船橋駅南口市有地活用事業や海老川上流地区のまちづくりの推進等の良好な市街地の整備
20	道路・交通	歩行者空間の整備、自転車利用環境の整備、道路ネットワークの構築、地域公共交通の活性化
21	汚水処理	下水道の整備と管理、し尿処理体制の充実
22	自然との共生	自然を活かした水辺の整備、緑の保全と公園緑地の整備、生物多様性の保全・利用
23	環境負荷の低減	ごみの適正処理、地球温暖化対策の推進、生活環境の保全
24	広報広聴・魅力発信	広報広聴機能の充実、魅力発信の充実
25	その他	

## 7 「回答していただいた方」についてお聞きします

## 【F1】性別を教えてください。(〇は1つ)

1. 男性      2. 女性      3. 自認する性別をご記入ください(.....)

## 【F2】年齢を教えてください。(〇は1つ)

1. 18～29歳      3. 40～49歳      5. 60～69歳  
2. 30～39歳      4. 50～59歳      6. 70歳以上

## 【F3】職業を教えてください。(〇は1つ)

1. 農業・漁業      6. 学生(予備校生を含む)  
2. 会社員・公務員      7. 専業主婦(主夫)  
3. 自営・自由業・経営者      8. 無職(年金生活を含む)  
4. 家族従業(1を除く)※      9. その他(.....)  
5. アルバイト・パート・契約(派遣)社員

※「家族従業」とは、個人事業主の家族で、その事業を手伝っている者

## 【F4】世帯状況を教えてください。(〇は1つ)

1. 単身世帯(ひとり暮らし)      4. 三世帯世帯(親と子と孫など)  
2. 一世帯世帯(夫婦のみ、兄弟姉妹のみ)      5. その他(.....)  
3. 二世帯世帯(親子など)

## 【F5】「船橋市」に何年くらいお住まいですか。(〇は1つ)

1. 5年未満      4. 20年以上  
2. 5年以上10年未満      5. 生まれたときから  
3. 10年以上20年未満

## 【F6】現在お住まいの地区を教えてください。

次ページの「表 居住地区一覧」から該当する「地区の番号」を1つ記入してください。

## 【F7】現在お住まいのところに住む以前は、どちらにお住まいでしたか。(〇は1つ)

1. 生まれたときから現在のところ      4. 東京都・神奈川県・埼玉県  
2. 船橋市内の他の地区      5. 「1～4」以外の道府県  
3. 千葉県の他の市町村      6. 日本国外

「表 居住地区一覧」

番号	地区名	住所
1	宮本	宮本、市場、東船橋、東町、駿河台
2	湊町	本町3丁目、湊町、浜町、若松、日の出、西浦、栄町、潮見町、高瀬町
3	本町	本町1～2丁目・4～7丁目
4	海神	南本町、海神、海神町、海神町東・西・南、南海神
5	葛飾	山野町、印内町、葛飾町、本郷町、古作町、古作、西船、印内、東中山
6	中山	二子町、本中山
7	塚田	旭町、行田町、行田、山手、北本町、前貝塚町
8	法典	丸山、上山町、馬込町、馬込西、藤原
9	夏見	夏見、夏見町、夏見台、米ヶ崎町
10	高根・金杉	高根町、金杉町、金杉、金杉台、緑台
11	高根台	高根台1～6丁目
12	新高根・芝山	芝山、新高根、高根台7丁目
13	前原	前原東、前原西、中野木
14	二宮・飯山満	二宮、飯山満町、滝台町、滝台
15	薬円台	薬円台、薬園台町、七林町
16	三山・田喜野井	三山、田喜野井、習志野
17	習志野台	習志野台、西習志野
18	二和	二和東、二和西
19	三咲	三咲町、三咲、南三咲
20	八木が谷	八木が谷町、咲が丘、みやぎ台、八木が谷、高野台
21	松が丘	松が丘
22	大穴	大穴町、大穴南、大穴北
23	豊富	小室町、小野田町、大神保町、神保町、車方町、鈴身町、豊富町、金堀町、楠が山町、古和釜町
24	坪井	坪井町、坪井東、坪井西

8 「市政に関するご意見・ご要望」についてお聞きします

最後に、船橋市の市政に関するご意見やご要望など、どんなことでも結構ですので  
ご記入ください。


以上で質問は終了です。

ご協力ありがとうございました。

この調査票を同封の返信用封筒に入れ、**10月25日（水）まで**に  
ご投函ください。

（お知らせ）

- 調査結果及び活用状況は、船橋市ホームページにて公表いたします。
- ご希望の方には、調査結果概要版（ふなばしタウンレポート）と活用状況を送付いたしますので、市民の声を聞く課までメール、電話、FAXにてご連絡ください。（送付の時期は、ホームページ公表後の来年4～5月頃になります）
- ご連絡先は、表紙（1ページ目）の枠内に記載してあります。



## 都市宣言

### スポーツ健康都市宣言（昭和五十八年十月十日）

私たち船橋市民は、地域に根ざしたスポーツ活動を通じて健康で豊かな心とからだを育て、活力ある近代的な都市をめざして、ここにスポーツ健康都市を宣言します。

- 一、市民一人ひとりがスポーツに親しみ、健康な生活を営もう。
- 一、みんなでスポーツを楽しむ機会をつくり、子どもを健やかに育てよう。
- 一、スポーツを通じて、いきいきとした地域の輪を広げよう。
- 一、スポーツを通じて多くの仲間とふれあい、はずむ心を世界に伸ばそう。

### 平和都市宣言（昭和六十一年十二月十九日）

船橋市は、現在人口五十一万人を擁する首都圏有数の中核都市に成長し、第二の飛躍期を迎えている。そして、「活力ある近代的都市」を市政の目標に掲げ、より豊かな福祉社会実現のため懸命な努力を続けているところである。

しかし、郷土船橋の限りない繁栄は、日本の安全と世界の恒久平和なくしては望み得ないものである。

私たち船橋市民は、世界の恒久平和を願い、我が国の国是である非核三原則を遵守し、平和を脅かす核兵器の廃絶を目指して最大の努力を払うことを決意し、ここに「平和都市」を宣言する。

### 福祉と緑の都市宣言（平成四年九月十四日）

船橋市は、今や人口五十四万人を擁する首都圏屈指の中核都市へと成長し、二十一世紀に向けさらに大きく飛躍しようとしております。

私たち船橋市民は、緑豊かな環境の中で、お年寄りや障害をもつ方々を大切にす優しい心をはぐくみ、次代を担う子供たちが、すくすくと成長できる生きがいと温もりに満ちたまちづくりを目指し、ここに「福祉と緑の都市」を宣言いたします。

---

## 令和5年度 市民意識調査報告書

令和6年2月発行

- 【発行】 〒273-8501 船橋市湊町2丁目10番25号  
船橋市市長公室 市民の声を聞く課  
☎ 047 (436) 2784 (直通)  
ホームページ <https://www.city.funabashi.lg.jp/>  
メールアドレス [shiminnokoe@city.funabashi.lg.jp](mailto:shiminnokoe@city.funabashi.lg.jp)
- 【実施】 〒261-8501 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目3番地  
幕張テクノガーデン CB棟3階 MBP  
株式会社 総合企画 千葉事務所  
☎ 043 (330) 3600 (代表)

---

●この冊子は、地球環境保全推進のため、再生紙を使用しています。



